

第 22 回「県民健康調査」検討委員会

日 時 平成 28 年 2 月 15 日 (月) 13 : 30

場 所 ザ・セレクトン福島 本館 3 階「吾妻」

配付資料一覧

- 次 第
- 第 22 回「県民健康調査」検討委員会 出席者名簿
- 第 22 回「県民健康調査」検討委員会 座席表

- 資 料 1 県民健康調査「基本調査」の実施状況について
- 資 料 2 県民健康調査「甲状腺検査（本格検査）」実施状況
- 資 料 3-1 県民健康調査「健康診査」の実施状況について
- 資 料 3-2 平成 26 年度 既存健診対象外の県民に対する健康診査の実施状況について
- 資 料 4-1 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の実施状況
- 資 料 4-2 平成 26 年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果通知書
- 資 料 5 平成 26 年度 「妊産婦に関する調査」結果報告
- 資 料 6 福島原発事故における甲状腺被ばくの線量推定

- 「県民健康調査」検討委員会におけるデータ提供に係る検討部会の設置について
- 県民健康調査における中間取りまとめ 最終案
- 中間取りまとめ（案）への委員意見

第 22 回 「県民健康調査」 検討委員会次第

日 時 平成 28 年 2 月 15 日 (月) 13 : 30

場 所 ザ・セレクトン福島 本館 3 階「吾妻」

1 開 会

2 議 事

(1) 基本調査について

(2) 詳細調査について

① 甲状腺検査

② 健康診査

③ こころの健康度・生活習慣に関する調査

④ 妊産婦に関する調査

(3) データ提供に係る検討部会の設置について

(4) 中間取りまとめについて

(5) その他

3 閉 会

第22回「県民健康調査」検討委員会 出席者名簿

平成28年2月15日

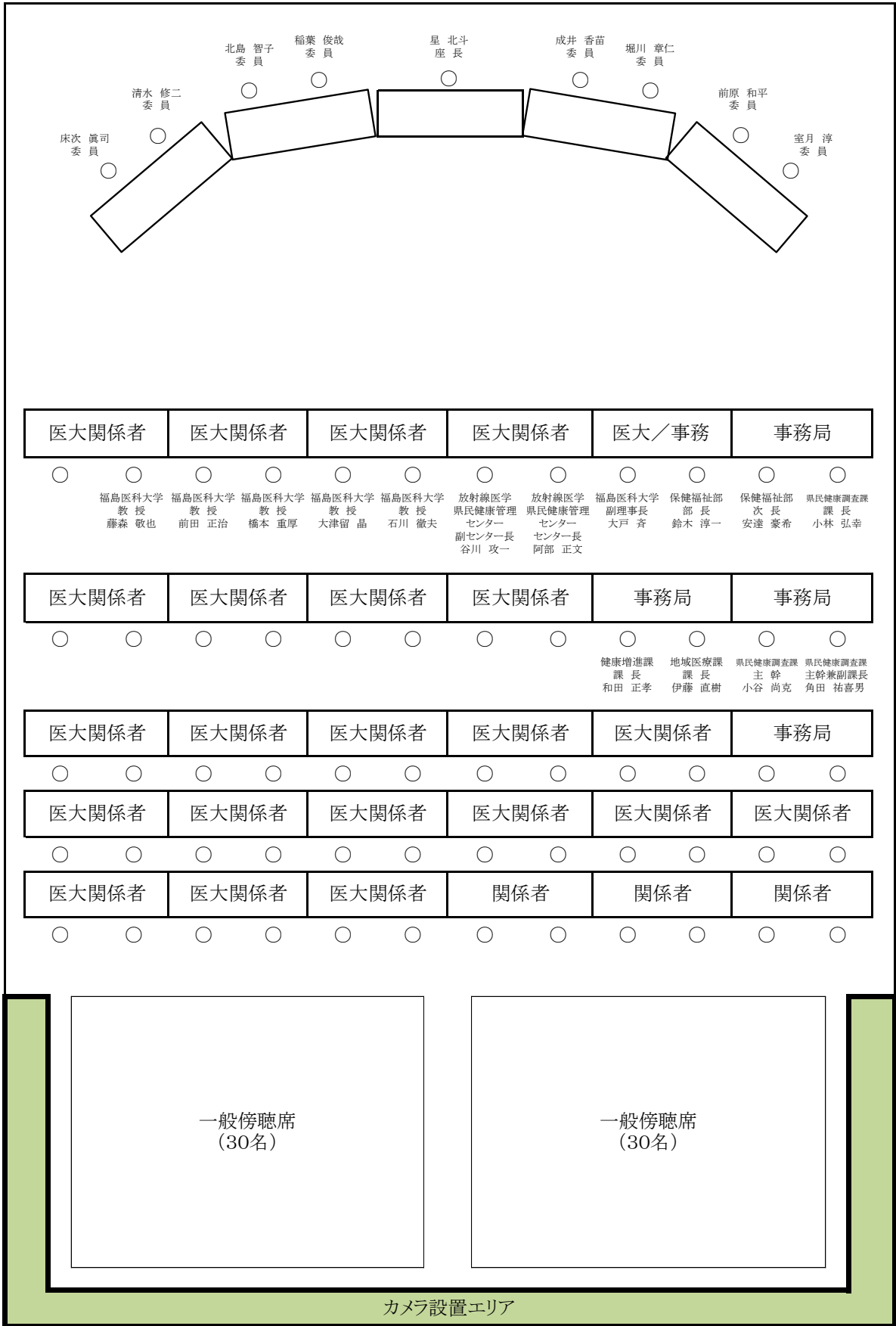
○委員

50音順、敬称略

氏名	所属及び職名	出欠
明石 真言	国立研究開発法人放射線医学総合研究所 理事	欠席
稲葉 俊哉	国立大学法人広島大学 原爆放射線医科学研究所 教授	出席
春日 文子	国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部長 (日本学術会議前副会長)	欠席
北島 智子	環境省 環境保健部長	出席
児玉 和紀	公益財団法人放射線影響研究所 主席研究員	欠席
清水 一雄	学校法人日本医科大学 名誉教授 医療法人社団金地病院 名誉院長 (日本甲状腺外科学会前理事長)	欠席
清水 修二	国立大学法人福島大学 人文社会学群経済経営学類 特任教授	出席
高村 昇	国立大学法人長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授	欠席
津金 昌一郎	国立研究開発法人国立がん研究センター 社会と健康研究センター長	欠席
床次 眞司	国立大学法人弘前大学 被ばく医療総合研究所 放射線物理学部門 教授	出席
成井 香苗	福島県臨床心理士会 会員 (前東日本大震災対策プロジェクト代表)	出席
星 北斗	一般社団法人福島県医師会 副会長	出席
堀川 章仁	双葉郡医師会 会長	出席
前原 和平	一般社団法人福島県病院協会 副会長 (前会長)	出席
室月 淳	地方独立行政法人宮城県立こども病院 産科科長 (国立大学法人東北大学大学院医学系研究科先進発達医学講座胎児医学分野教授)	出席

第22回「県民健康調査」検討委員会 座席表

開催日時 平成28年2月15日(月) 13:30
 会場 ザ・セレクトン福島 本館3階「吾妻」



県民健康調査「基本調査」の実施状況について

1 問診票の回答状況及び線量推計作業状況

(1) 問診票の回答状況

平成27年12月31日現在、全県ベースでは対象者2,055,326人のうち、564,083人から回答が寄せられ、回答率は27.4%となっている。このうち簡易版で回答いただいた方が71,020人^(注1)である(表1)。また、簡易版の送付と平成25年度より継続して実施

表1 基本調査問診票 回答状況
H27.12.31現在

対象者数		2,055,326	
回 答 数	詳細版	493,063	24.0%
	簡易版	71,020	3.5%
	計	564,083	27.4%

※回答率は、回答数の区分ごとに端数処理

している甲状腺検査会場における書き方支援事業等により、若年層の回答率が增加するとともに、本年度実施した市町村の健診・検診会場における書き方支援事業によっても中高年層の方々を中心に回答をいただいた(表2)。

表2 年齢階級別 回答率

年齢階級	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~	計
H24.10.31 現在 (A)	28.4%	19.4%	16.6%	21.9%	19.9%	21.6%	27.0%	23.0%
H27.12.31 現在 (B)	46.3%	35.5%	18.0%	24.5%	22.3%	22.9%	27.9%	27.4%
差(B)-(A)(ポイント)	17.9	16.1	1.4	2.6	2.4	1.3	0.9	4.4

(注1) 簡易版の回答数については、随時、回答内容を精査した結果、詳細版で回答いただく必要のある方が含まれている可能性があるため、確定数値ではない。なお、以下に示す問診票の回答、線量推計、結果通知の状況に関しては、簡易版、詳細版を合算した数値である。

(2) 線量推計作業・結果通知

回答数564,083件のうち97.0%にあたる547,380件の推計作業が完了しており、うち544,607件が結果通知済となっている(表3)。^(注2)

表3 基本調査問診票 回答・線量推計・結果通知

H27.12.31 現在

地域区分 (先行+全県民)	調 査 対 象 者 数 a	回 答 数 b	回 答 率 c=b/a	線 量 推 計 済 数 d	推 計 率 e=d/b	結 果 通 知 済 数 f	通 知 率 g=f/b
県 北	504,042	151,754	30.1%	148,241	97.7%	147,983	97.5%
県 中	557,237	135,878	24.4%	132,307	97.4%	131,491	96.8%
県 南	152,225	34,954	23.0%	33,695	96.4%	33,174	94.9%
会 津	267,203	57,137	21.4%	54,303	95.0%	54,061	94.6%
南 会 津	30,789	6,358	20.7%	5,960	93.7%	5,950	93.6%
相 双	195,604	89,914	46.0%	87,227	97.0%	86,720	96.4%
い わ き	348,226	88,088	25.3%	85,647	97.2%	85,228	96.8%
計	2,055,326	564,083	27.4%	547,380	97.0%	544,607	96.5%

※先行地区(川俣町山木屋地区、浪江町及び飯館村)を含む全県ベース

※市町村別の状況は、別添資料1のとおり^(注2)

なお、震災当時県内に滞在されていた方や住民票を置かず
に居住されていた方(一時滞
在者等)に対する推計作業等
も継続して行っている(表4)^(注2)。

表4 一時滞在者等からの問診票回答・線量推計・結果通知

H27.12.31 現在

発 送 数 a	回 答 数 b	回 答 率 c=b/a	線 量 推 計 済 数 d	推 計 率 e=d/b	結 果 通 知 済 数 f	通 知 率 g=f/b
3,959	2,205	55.7%	1,957	88.8%	1,943	88.1%

(注2) 表3、4および別添資料1に示した回答数、線量推計済数、結果通知済数には、3月11日以降の行動記録が4ヶ月未満の回答に関する数も含まれている。なお、個々人に対する結果通知においては、推計の対象となった期間(行動記録が得られた期間)を明示している。

2 実効線量推計結果の状況

表3に示した線量推計済の対象者から、推計期間が4ヶ月未満の方を除いて線量別の人数分布を集計した結果を表5に示す。累計468,748人の推計のうち放射線業務従事経験者を除く459,620人の推計結果は、県北地区では約87%の方が、県中地区では約92%の方が2mSv未満となっている。また、県南地区では約88%の方が、会津・南会津地区では99%以上の方が1mSv未満となり、さらに、相双地区は約77%の方が、いわき地区でも99%以上の方が1mSv未満となっている。

実効線量 (mSv)	全データ	「放射線業務従事経験者を除く」の地域別内訳(%は地域ごとの線量割合)										相双 (注4)	いわき				
		放射線業務従事経験者を除く		県北 (注3)		県中		県南		会津				南会津			
		93.8%	62.1%	24,853	20.1%	57,643	51.5%	25,460	88.2%	44,456	99.3%			4,837	99.3%	55,661	77.3%
～1未満	291,093	285,418	62.1%	83,056	67.0%	45,780	40.9%	3,386	11.7%	300	0.7%	34	0.7%	12,658	17.6%	631	0.9%
～2未満	148,178	145,845	31.7%	15,499	12.5%	8,138	7.3%	17	0.1%	25	0.1%	0	0.1%	1,687	2.3%	30	0.0%
～3未満	25,769	25,396	5.5%	468	0.4%	423	0.4%	0	—	1	0.0%	0	0.0%	595	0.8%	4	0.0%
～4未満	1,571	1,491	0.3%	40	0.0%	5	0.0%	0	—	0	—	0	—	458	0.6%	1	0.0%
～5未満	550	504	0.1%	19	0.0%	3	0.0%	0	—	0	—	0	—	366	0.5%	1	0.0%
～6未満	441	389	0.1%	10	0.0%	1	0.0%	0	—	1	0.0%	0	—	218	0.3%	0	—
～7未満	268	230	0.1%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	115	0.2%	0	—
～8未満	155	116	0.0%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	77	0.1%	0	—
～9未満	118	78	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	41	0.1%	0	—
～10未満	72	41	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	36	0.1%	0	—
～11未満	69	36	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	29	0.0%	0	—
～12未満	52	30	0.0%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	13	0.0%	0	—
～13未満	37	13	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	12	0.0%	0	—
～14未満	34	12	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	0.0%	0	—
～15未満	27	6	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	15	0.0%	0	—
15以上～	314	15	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	0.0%	0	—
計	468,748	459,620	100.0%	123,948	100%	111,993	100%	28,863	100%	44,783	100%	4,871	100%	71,987	100%	73,175	100%
最高値	66mSv	25mSv		11mSv		6.3mSv		2.6mSv		6.0mSv		1.9mSv		25mSv		5.9mSv	
平均値	0.9mSv	0.8mSv		1.4mSv		1.0mSv		0.6mSv		0.2mSv		0.1mSv		0.8mSv		0.3mSv	
中央値	0.6mSv	0.6mSv		1.4mSv		0.9mSv		0.5mSv		0.2mSv		0.1mSv		0.5mSv		0.3mSv	

※線量別分布状況、年齢別・男女別内訳は、別添資料2、3のとおり。市町村別内訳は、別添資料4のとおり。

3 実効線量推計結果の評価

実効線量の推計結果に関しては、これまでと同様の傾向にあると言える。

これまでの疫学調査により100mSv以下での明らかな健康への影響は確認されていない¹⁾ことから、4ヶ月間の外部被ばく線量推計値ではあるが、「放射線による健康影響があるとは考えにくい」と評価される。

参考文献

- 1) 放射線の線源と影響 原子放射線の影響に関する国連科学委員会 UNSCEAR2008年報告書〔日本語版〕第2巻 独立行政法人放射線医学総合研究所

4 回答率の向上活動

基本調査は、事故後4ヶ月間の外部被ばく線量を推計する唯一の方法であり、今後の長期にわたる健康管理において重要な基礎資料になることから、市町村等と連携しながら県民への周知を図り、回答率向上に向けた各種取り組みを展開している。

平成27年度においても、引き続き、対面式での記入支援要望に合わせた事業展開を中心に、回答率向上に努めている。なお、直近の取り組みとしては、昨年11月末まで市町村健診・検診会場における書き方支援を計119回実施したとともに、甲状腺検査会場における書き方支援も引き続き実施中である。

※回答率向上に向けた活動内容（平成27年度）は、次頁一覧のとおり。

活動区分	活動内容	場所及び期間	回数等	備考
県民への直接アプローチ	「甲状腺検査」出張説明会での基本調査啓発	県内一円 平成27年5月16日～	15回	対象者 (幼稚園、小中高校等の保護者) 約 270人
	甲状腺検査会場での「書き方相談コーナー」設置	会津若松市、いわき市、須賀川市、喜多方市、相馬市、鏡石町、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、磐梯町、猪苗代町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、西郷村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、埴町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、小野町、新地町 平成27年4月7日、12日、21日、28日、7月17日～9月16日、10月13日～12月25日 神奈川県相模原市、横浜市 平成27年6月6日、7日 埼玉県加須市、さいたま市 平成27年9月26日、27日 千葉県柏市、千葉市 平成27年11月28日、29日	78回	対象者 約 11,600人
	県民健康調査の詳細調査調査票等への「基本調査問診票」提出確認及び提出促進依頼を表記して案内	田村市、南相馬市、川俣町、広野町、榎葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村及び伊達市の特定避難勧奨地点の属する区域の住民並びに、平成25年8月1日から平成27年7月31日までに、県内各市町村において母子健康手帳を交付された方、上記期間内に県外市区町村から母子健康手帳を交付された方のうち、県内で妊婦健診を受診し分娩された方 (平成27年4月～平成27年12月健康診査などの啓発チラシ等に基本調査問診票提出の確認・提出促進の依頼事項を表記・案内)	—	対象者 約 258,000人
	甲状腺検査案内通知において、検査会場での基本調査問診票の「書き方相談コーナー」設置を併せて案内	神奈川県 平成27年5月2日 埼玉県 平成27年8月19・31日 千葉県 平成27年10月19日	—	対象者 約 7,000人
	市町村を通じたアプローチ	市町村健診・検診会場での「書き方相談コーナー」設置	福島市、郡山市、いわき市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、本宮市 平成27年6月3日～6月24日、7月1日～11月30日	119回
一般広報活動	新聞・テレビ・ラジオ等による報道	—	新聞2回 テレビ2回 ラジオ1回 地方広報誌1回	取材、県政放送など

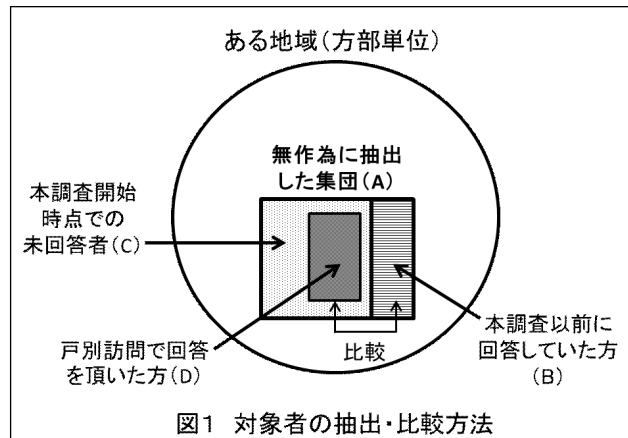
5 基本調査で得られている線量分布の「代表性」に関する調査

(1)目的

今までの基本調査で得られている線量分布が県民全体の状況を正しく反映し、偏りのない縮図になっているかどうか(線量分布の代表性)の検討を行うことを目的としている。

(2)方法

各地域(方部)から無作為に抽出した集団(図1の(A))の中の未回答者(図1の(C))を対象とした戸別訪問を行い、問診票への回答を依頼する。戸別訪問によって回答が得られた方(図1の(D))の線量と、本調査以前に回答していた方(図1の(B))の線量とを方部ごとに比較する。このため今までに得られている線量が幅広い範囲に分布している方部ほど、無作為に抽出する方(図1の(A))の数を多めにする。



各方部において、図1の(B)と(D)に該当する対象者の線量が同等であるかどうかを明らかにするため、線量の平均値に関する同等性検定を行う。

(3)結果

①戸別訪問結果について

戸別訪問対象者は全県で2,645人であり、そのうち990人から回答を頂いた。その中から、該当期間は県外に居住していた3人と、震災日以降に生まれた2人、及び放射線業務従事経験者と回答された24人を除いた961人に関する線量について、本調査以前に回答していた方の線量と比較を行った。

②線量の平均値の比較

7つの方部において、それぞれ戸別訪問によって回答を頂いた方の線量の平均値から、本調査以前に回答していた方(無作為抽出者の中で回答済みだった方)の線量の平均値を引いた差は、 -0.09 mSv から $+0.12$ mSv の間の値であった(詳細は次ページを参照)。

線量の平均値に関する同等性検定の結果、 0.25 mSv 以内の同等性基準において、95%以上の確率(有意水準 5%)で両者の線量は同等であることが示された。これにより、各方部において今までに得られた線量分布は当該方部を代表するもので、偏りのない縮図になっていると考えられる。

推計期間 : 4か月間 (2011/3/11~2011/7/11) の方のみ
放射線業務従事経験者 : 除外

無作為抽出者の中で回答済みだった方と戸別訪問で回答を頂いた方との比較

地域	項目	無作為抽出者の中 で回答済みだった 方 (図1の (B))	戸別訪問で回答 を頂いた方 (図1の (D))	実効線量の平均値 の差 (D-B) (mSv)
県北	実効線量の 平均値 (mSv)	1.41	1.53	0.12
	対象者の人数	168	171	
県中	実効線量の 平均値 (mSv)	1.04	0.95	-0.09
	対象者の人数	190	224	
県南	実効線量の 平均値 (mSv)	0.73	0.68	-0.05
	対象者の人数	41	71	
会津	実効線量の 平均値 (mSv)	0.19	0.24	0.05
	対象者の人数	11	34	
南会津	実効線量の 平均値 (mSv)	0.19	0.19	0.00
	対象者の人数	15	49	
相双	実効線量の 平均値 (mSv)	0.73	0.81	0.08
	対象者の人数	1,138	388	
いわき	実効線量の 平均値 (mSv)	0.32	0.40	0.08
	対象者の人数	25	24	

基本調査 問診票 市町村別 回答・線量推計・結果通知 状況

(先行十全県民)

平成27年12月31日 現在

地域区分		調査対象者数	回答数	回答率	線量推計済数	推計率	結果通知済数	通知率	備考
		a	b	c=b/a	d	e=d/b	f	g=f/b	
北	福島市	295,645	93,612	31.7%	91,997	98.3%	91,855	98.1%	
	二本松市	60,857	16,870	27.7%	16,181	95.9%	16,156	95.8%	
	伊達市	67,577	18,235	27.0%	17,764	97.4%	17,738	97.3%	
	本宮市	31,762	9,076	28.6%	8,745	96.4%	8,702	95.9%	
	桑折町	13,207	3,879	29.4%	3,770	97.2%	3,769	97.2%	
	国見町	10,316	3,023	29.3%	2,935	97.1%	2,935	97.1%	
	川俣町	15,885	5,148	32.4%	4,982	96.8%	4,961	96.4%	
	大玉村	8,793	1,911	21.7%	1,867	97.7%	1,867	97.7%	
計	504,042	151,754	30.1%	148,241	97.7%	147,983	97.5%		
中	郡山市	339,719	86,575	25.5%	84,537	97.6%	84,410	97.5%	
	須賀川市	80,163	17,090	21.3%	16,608	97.2%	16,291	95.3%	
	田村市	41,723	10,490	25.1%	10,123	96.5%	9,803	93.5%	
	鏡石町	13,109	2,881	22.0%	2,818	97.8%	2,793	96.9%	
	天栄村	6,470	1,229	19.0%	1,194	97.2%	1,180	96.0%	
	石川町	17,487	4,194	24.0%	4,065	96.9%	4,065	96.9%	
	玉川村	7,337	1,493	20.3%	1,426	95.5%	1,425	95.4%	
	平田村	7,053	1,654	23.5%	1,592	96.3%	1,588	96.0%	
	浅川町	7,163	1,507	21.0%	1,443	95.8%	1,443	95.8%	
	古殿町	6,319	1,309	20.7%	1,261	96.3%	1,261	96.3%	
	三春町	18,993	4,855	25.6%	4,754	97.9%	4,748	97.8%	
小野町	11,701	2,601	22.2%	2,486	95.6%	2,484	95.5%		
計	557,237	135,878	24.4%	132,307	97.4%	131,491	96.8%		
南	白河市	65,428	15,961	24.4%	15,414	96.6%	14,916	93.5%	
	西郷村	20,088	4,974	24.8%	4,826	97.0%	4,820	96.9%	
	泉崎村	6,931	1,380	19.9%	1,332	96.5%	1,329	96.3%	
	中島村	5,306	969	18.3%	940	97.0%	939	96.9%	
	矢吹町	18,341	4,064	22.2%	3,921	96.5%	3,920	96.5%	
	棚倉町	15,384	3,016	19.6%	2,894	96.0%	2,884	95.6%	
	矢祭町	6,489	1,462	22.5%	1,387	94.9%	1,386	94.8%	
	塙町	10,062	2,309	22.9%	2,210	95.7%	2,209	95.7%	
	鮫川村	4,196	819	19.5%	771	94.1%	771	94.1%	
計	152,225	34,954	23.0%	33,695	96.4%	33,174	94.9%		
津	会津若松市	127,815	29,180	22.8%	28,191	96.6%	28,168	96.5%	
	喜多方市	53,202	10,918	20.5%	9,919	90.8%	9,764	89.4%	
	北塩原村	3,276	603	18.4%	573	95.0%	572	94.9%	
	西会津町	7,725	1,436	18.6%	1,335	93.0%	1,335	93.0%	
	磐梯町	3,888	791	20.3%	769	97.2%	737	93.2%	
	猪苗代町	16,271	3,639	22.4%	3,489	95.9%	3,470	95.4%	
	会津坂下町	17,881	3,238	18.1%	3,093	95.5%	3,090	95.4%	
	湯川村	3,513	708	20.2%	675	95.3%	673	95.1%	
	柳津町	4,077	717	17.6%	681	95.0%	681	95.0%	
	三島町	2,031	373	18.4%	338	90.6%	338	90.6%	
	金山町	2,544	629	24.7%	569	90.5%	568	90.3%	
昭和村	1,569	354	22.6%	317	89.5%	317	89.5%		
会津美里町	23,411	4,551	19.4%	4,354	95.7%	4,348	95.5%		
計	267,203	57,137	21.4%	54,303	95.0%	54,061	94.6%		
南会津	下郷町	6,650	1,242	18.7%	1,166	93.9%	1,162	93.6%	
	檜枝岐村	614	142	23.1%	133	93.7%	133	93.7%	
	只見町	5,030	1,139	22.6%	1,065	93.5%	1,063	93.3%	
	南会津町	18,495	3,835	20.7%	3,596	93.8%	3,592	93.7%	
	計	30,789	6,358	20.7%	5,960	93.7%	5,950	93.6%	
相	相馬市	37,371	13,261	35.5%	12,722	95.9%	12,574	94.8%	
	南相馬市	70,013	30,151	43.1%	29,406	97.5%	29,234	97.0%	
	広野町	5,165	2,214	42.9%	2,138	96.6%	2,126	96.0%	
	楢葉町	7,963	4,180	52.5%	4,010	95.9%	3,993	95.5%	
	富岡町	15,751	8,617	54.7%	8,407	97.6%	8,379	97.2%	
	川内村	2,996	1,538	51.3%	1,487	96.7%	1,483	96.4%	
	大熊町	11,473	6,074	52.9%	5,851	96.3%	5,820	95.8%	
	双葉町	7,051	3,948	56.0%	3,843	97.3%	3,825	96.9%	
	浪江町	21,335	12,958	60.7%	12,661	97.7%	12,635	97.5%	
	葛尾村	1,541	824	53.5%	767	93.1%	759	92.1%	
	新地町	8,357	2,706	32.4%	2,604	96.2%	2,571	95.0%	
飯館村	6,588	3,443	52.3%	3,331	96.7%	3,321	96.5%		
計	195,604	89,914	46.0%	87,227	97.0%	86,720	96.4%		
一	いわき市	348,226	88,088	25.3%	85,647	97.2%	85,228	96.8%	
計	2,055,326	564,083	27.4%	547,380	97.0%	544,607	96.5%		

県民健康調査 基本調査

外部被ばく線量推計結果 推計期間 4か月間(3/11~7/11)

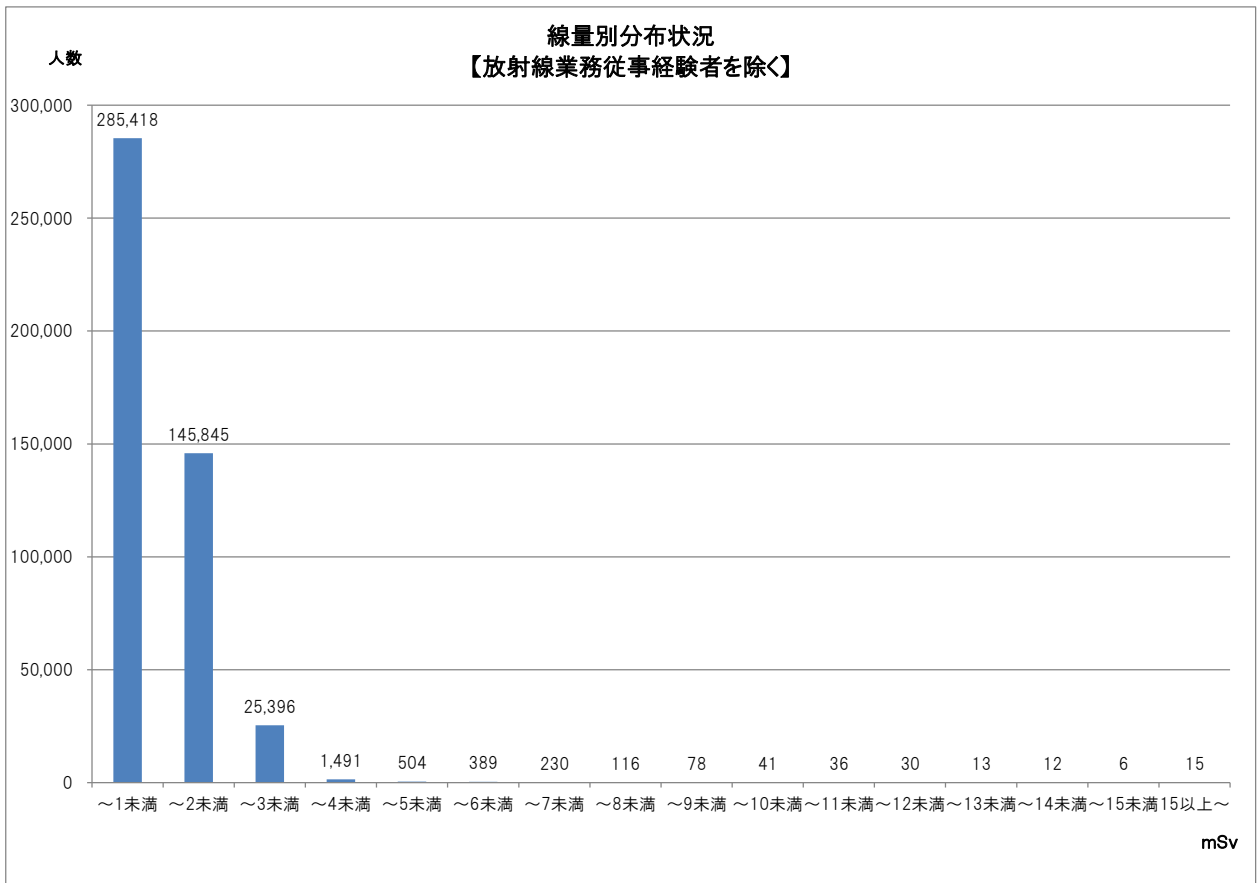
平成27年12月31日 現在

【 全県調査(先行調査+全県民調査) 】

地域別・線量別推計

実効線量 (mSv)	全データ	放射線業務従 事経験者除く	左の内訳							放射線業務従事経験者除く 線量別割合(%)		
			県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき			
~1未満	291,093	285,418	24,853	57,643	25,460	44,456	4,837	55,661	72,508	62.1	93.8	99.8
~2未満	148,178	145,845	83,056	45,780	3,386	300	34	12,658	631	31.7		
~3未満	25,769	25,396	15,499	8,138	17	25	0	1,687	30	5.5	5.8	
~4未満	1,571	1,491	468	423	0	1	0	595	4	0.3		
~5未満	550	504	40	5	0	0	0	458	1	0.1	0.2	
~6未満	441	389	19	3	0	0	0	366	1	0.1		
~7未満	268	230	10	1	0	1	0	218	0	0.1	0.1	
~8未満	155	116	1	0	0	0	0	115	0	0.0		
~9未満	118	78	1	0	0	0	0	77	0	0.0	0.0	
~10未満	72	41	0	0	0	0	0	41	0	0.0		
~11未満	69	36	0	0	0	0	0	36	0	0.0	0.0	
~12未満	52	30	1	0	0	0	0	29	0	0.0		
~13未満	37	13	0	0	0	0	0	13	0	0.0	0.0	
~14未満	34	12	0	0	0	0	0	12	0	0.0		
~15未満	27	6	0	0	0	0	0	6	0	0.0	0.0	
15以上~	314	15	0	0	0	0	0	15	0	0.0		
計	468,748	459,620	123,948	111,993	28,863	44,783	4,871	71,987	73,175	100.0	100.0	100.0
最高値	66	25	11	6.3	2.6	6.0	1.9	25	5.9			
平均値	0.9	0.8	1.4	1.0	0.6	0.2	0.1	0.8	0.3			
中央値	0.6	0.6	1.4	0.9	0.5	0.2	0.1	0.5	0.3			

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある



推計期間 4か月間(3/11~7/11)

平成27年12月31日 現在

年齢別・線量別 内訳【放射線業務従事経験者を除く】

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									計
	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	
～1未満	47,571	43,839	21,015	33,715	28,271	32,556	35,856	25,510	17,085	285,418
～2未満	22,867	21,517	10,028	18,155	16,524	18,421	19,234	12,179	6,920	145,845
～3未満	6,398	4,223	1,127	2,327	2,214	2,935	3,365	1,968	839	25,396
～4未満	250	157	81	158	153	229	231	163	69	1,491
～5未満	19	47	35	39	75	95	80	76	38	504
～6未満	14	13	29	34	46	86	73	66	28	389
～7未満	3	6	10	22	24	45	52	47	21	230
～8未満	4	4	8	9	13	35	22	14	7	116
～9未満	2	6	2	7	8	16	16	12	9	78
～10未満	0	1	2	3	3	12	11	5	4	41
～11未満	1	1	1	2	6	11	5	6	3	36
～12未満	0	0	1	3	0	5	8	11	2	30
～13未満	0	0	0	0	1	6	4	1	1	13
～14未満	0	0	1	1	1	4	3	2	0	12
～15未満	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6
15以上～	0	0	0	0	3	3	6	1	2	15
計	77,129	69,814	32,340	54,475	47,342	54,462	58,969	40,061	25,028	459,620

男女別・線量別 内訳【放射線業務従事経験者を除く】

実効線量 (mSv)	男女別				計	左の線量別 割合(%)
	男性	左の線量別 割合(%)	女性	左の線量別 割合(%)		
～1未満	127,533	60.5	157,885	63.4	285,418	62.1
～2未満	67,631	32.1	78,214	31.4	145,845	31.7
～3未満	13,798	6.5	11,598	4.7	25,396	5.5
～4未満	950	0.5	541	0.2	1,491	0.3
～5未満	282	0.1	222	0.1	504	0.1
～6未満	199	0.1	190	0.1	389	0.1
～7未満	130	0.1	100	0.0	230	0.1
～8未満	64	0.0	52	0.0	116	0.0
～9未満	49	0.0	29	0.0	78	0.0
～10未満	24	0.0	17	0.0	41	0.0
～11未満	22	0.0	14	0.0	36	0.0
～12未満	16	0.0	14	0.0	30	0.0
～13未満	6	0.0	7	0.0	13	0.0
～14未満	8	0.0	4	0.0	12	0.0
～15未満	3	0.0	3	0.0	6	0.0
15以上～	12	0.0	3	0.0	15	0.0
計	210,727	100.0	248,893	100.0	459,620	100.0

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある

市町村別・評価線量別集計 (放射線業務従事経験者を除く)

市町村名	積算線量(mSv)																計
	~1 未満	~2 未満	~3 未満	~4 未満	~5 未満	~6 未満	~7 未満	~8 未満	~9 未満	~10 未満	~11 未満	~12 未満	~13 未満	~14 未満	~15 未満	15以上	
県北	福島市	16,135	52,333	9,307	151	13	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	77,953
	二本松市	1,310	8,392	3,450	88	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,241
	伊達市	4,376	9,035	1,133	147	8	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	14,706
	本宮市	735	5,328	1,213	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,299
	桑折町	315	2,747	66	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,131
	国見町	963	1,435	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,410
	川俣町	629	2,733	185	56	17	6	3	0	0	0	0	1	0	0	0	3,630
	大玉村	390	1,053	133	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,578
県北計	24,853	83,056	15,499	468	40	19	10	1	1	0	0	1	0	0	0	123,948	
県中	郡山市	23,768	40,281	7,695	413	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	72,166
	須賀川市	10,663	3,171	333	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,171
	田村市	7,613	676	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,315
	鏡石町	2,331	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,405
	天栄村	395	571	55	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,022
	石川町	3,131	38	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,170
	玉川村	1,151	17	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,171
	平田村	1,285	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,319
	浅川町	1,182	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,197
	古殿町	1,046	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,062
	三春町	3,111	806	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,943
	小野町	1,967	83	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,052
県中計	57,643	45,780	8,138	423	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	111,993	
県南	白河市	12,087	1,248	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,344
	西郷村	2,204	1,958	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,164
	泉崎村	1,094	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,116
	中島村	788	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800
	矢吹町	3,286	79	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,366
	棚倉町	2,458	28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,489
	矢祭町	1,111	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,120
	塙町	1,802	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,824
	鮫川村	630	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	640
	県南計	25,460	3,386	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,863
会津	会津若松市	23,218	156	13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	23,388
	喜多方市	8,197	54	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,255
	北塩原村	464	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	468
	西会津町	997	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	999
	磐梯町	649	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	659
	猪苗代町	2,815	29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,847
	会津坂下町	2,590	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,605
	湯川村	574	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	578
	柳津町	538	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	542
	三島町	245	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245
	金山町	401	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	404
	昭和村	235	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	236
	会津美里町	3,533	21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,557
会津計	44,456	300	25	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	44,783	
南会津	下郷町	937	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	942
	檜枝岐村	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103
	只見町	860	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	864
	南会津町	2,937	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,962
南会津計	4,837	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,871	
相双	相馬市	9,963	452	87	20	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	10,529
	南相馬市	19,069	6,206	512	99	35	3	7	4	1	0	1	0	0	0	0	25,937
	広野町	1,835	58	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1,897
	楢葉町	3,382	130	13	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3,529
	富岡町	5,822	1,102	98	18	3	2	0	3	2	0	1	0	0	0	0	7,051
	川内村	962	350	16	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1,332
	大熊町	3,364	1,281	112	17	6	4	4	3	0	2	2	1	0	4	1	4,801
	双葉町	2,670	468	77	18	6	4	3	6	2	1	0	2	0	0	2	3,259
	浪江町	5,735	2,113	383	68	40	17	12	13	9	6	11	7	5	4	3	8,434
	葛尾村	501	162	24	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	692
	新地町	2,172	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,192
飯館村	186	316	363	348	363	333	189	85	62	30	23	17	8	4	3	2,334	
相双計	55,661	12,658	1,687	595	458	366	218	115	77	41	36	29	13	12	6	71,987	
いわき	いわき市	72,508	631	30	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73,175
計(A)	285,418	145,845	25,396	1,491	504	389	230	116	78	41	36	30	13	12	6	459,620	
割合		62.1	31.7	5.5	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	99.9
		93.8		5.8		0.2		0.1	0.0		0.0		0.0		0.0		99.9
			99.8					0.2				0.0				0.0	100.0
一時滞在者等(B)		1,398	270	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,688
計(A)+(B)	286,816	146,115	25,414	1,493	504	389	230	116	78	41	36	30	13	12	6	461,308	

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある

県民健康調査「甲状腺検査（本格検査）」実施状況

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、現時点での甲状腺の状態を把握するための一回目の検査（先行検査）に引き続き、甲状腺の状態を継続して確認するための検査（本格検査）を実施している。

2. 対象者

先行検査における対象者（平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた福島県民）に加え、本格検査では平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民にまで拡大して検査を実施している。

3. 実施期間

平成26年4月2日から検査を開始し、平成26年度及び平成27年度の2か年で全ての対象者に検査を実施している。

その後は、対象者が20歳を超えるまでは2年ごと、それ以降は25歳、30歳等の5年ごとの節目健診により、長期にわたり検査を実施する。ただし、25歳時の検査までは5年以上空けないこととする。

4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、福島県内外の医療機関等と連携して実施している。

一次検査については、対象者の利便性を考慮し、県内各地の医療機関でも検査が受診できるよう調整を進めており、平成27年12月31日現在、協定を締結した35か所の検査実施機関において検査が可能となっている。

また、福島県外の検査実施機関については、平成27年12月31日現在、全都道府県計101か所の検査実施機関と協定を締結している。

二次検査については、県内では平成25年7月から郡山市及びいわき市の2か所、平成26年8月からは会津若松市の1か所の検査実施機関において実施しており、県外でも平成25年11月から検査を開始し、平成27年12月31日現在、29か所の検査実施機関において検査が可能となっている。

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

(i) A判定：A1、A2判定の場合は次回（平成28年度以降）の検査まで経過観察としている。

(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合。

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合。

(ii) B判定：B判定の場合は二次検査を実施している。

5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合。

なお、A2 の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B 判定としている。

(iii) C 判定：C 判定の場合は二次検査を実施している。

甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。

(2) 二次検査

一次検査の結果、B 判定または C 判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

(3) 検査の流れ

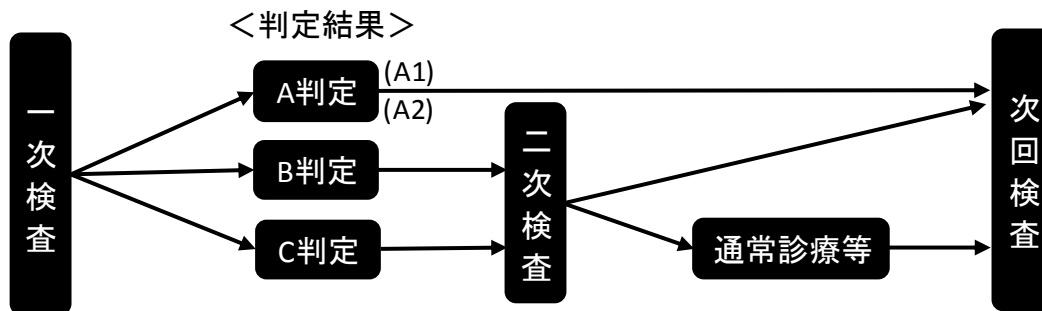


図 1. 検査の流れ

6. 実施対象年度別市町村

平成 26 年度及び平成 27 年度の各実施対象市町村は次のとおり。



図 2. 実施対象年度別市町村

II 調査結果概要（平成 27 年 12 月 31 日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

平成 26 年 4 月 2 日から検査を開始し、平成 26 年度の 25 市町村に加え、平成 27 年度は 34 市町村の計 59 市町村 381,261 人（平成 27 年 12 月 31 日現在）を対象として、236,595 人（62.1%）の検査を実施した。※^{1,2}

そのうち、220,088 人（93.0%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送している。※³

検査結果は A 判定（表 1 の A1 及び A2 判定）の方が 218,269 人（99.2%）、B 判定の方が 1,819 人（0.8%）、C 判定の方は 0 人であった。

表1. 一次検査進捗状況

平成27年12月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果判定数(人)			
		受診率 (%) イ (イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A		二次検査対象者	
					A1 エ(エ/ウ)	A2 オ(オ/ウ)	B カ(カ/ウ)	C キ(キ/ウ)
平成26年度 実施対象市町村計	216,874	155,536 (71.7)	10,448	154,609 (99.4)	64,486 (41.7)	88,863 (57.5)	1,260 (0.8)	0 (0.0)
平成27年度 実施対象市町村計	164,387	81,059 (49.3)	1,991	65,479 (80.8)	25,079 (38.3)	39,841 (60.8)	559 (0.9)	0 (0.0)
合計	381,261	236,595 (62.1)	12,439	220,088 (93.0)	89,565 (40.7)	128,704 (58.5)	1,819 (0.8)	0 (0.0)

表2. 結節・のう胞の人数・割合

平成27年12月31日現在

	結果確定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ (イ/ア)	5.0mm以下 ウ (ウ/ア)	20.1mm以上 エ (エ/ア)	20.0mm以下 オ (オ/ア)
平成26年度 実施対象市町村計	154,609	1,256 (0.8)	977 (0.6)	2 (0.0)	89,266 (57.7)
平成27年度 実施対象市町村計	65,479	555 (0.8)	325 (0.5)	4 (0.0)	40,060 (61.2)
合計	220,088	1,811 (0.8)	1,302 (0.6)	6 (0.0)	129,326 (58.8)

※¹ 市町村別受診状況は、資料 1 のとおり。

※² 本県以外の都道府県別受診状況は、資料 2 のとおり。

※³ 市町村別結果状況は、資料 3 のとおり。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 対象者等については、重複の精査等を行っているため、既出の報告者数と異なっている。

(2) 年齢階級別受診率

平成 26 年度実施対象市町村の平成 26 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上の年齢階級で 25.5%と、他の年齢階級に比べ低くなっている。

表3.平成26年度実施対象市町村における年齢階級別受診率

平成27年12月31日現在

		計	年齢階級別内訳			
			2～7歳	8～12歳	13～17歳	18～21歳
平成26年度実施対象市町村計	対象者数(人) ア	216,874	56,479	53,375	57,783	49,237
	受診者数(人) イ	155,536	43,860	49,196	49,920	12,560
	受診率(%) イ/ア	71.7	77.7	92.2	86.4	25.5

- 平成 27 年度実施対象市町村については検査が進捗していないため未集計。
- 年齢階級は平成 26 年 4 月 1 日時点の年齢。

(3) 先行検査結果との比較

先行検査で A 判定 (A1 及び A2 判定) と判断された 202,122 人のうち、本格検査で A 判定 (A1 及び A2 判定) は 200,992 人 (99.4%)、B 判定は 1,130 人 (0.6%) であった。

また、先行検査で B 判定と判断された 1,081 人のうち、本格検査で A 判定 (A1 及び A2 判定) は 502 人 (46.4%)、B 判定は 579 人 (53.6%) であった。

表4.先行検査結果との比較

平成27年12月31日現在

		先行検査結果 計 注1	本格検査結果内訳 注2			
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)		
先行 検査 結果	A1	106,773 (100.0)	70,365 (65.9)	36,060 (33.8)	348 (0.3)	0 (0.0)
	A2	95,349 (100.0)	8,971 (9.4)	85,596 (89.8)	782 (0.8)	0 (0.0)
	B	1,081 (100.0)	90 (8.3)	412 (38.1)	579 (53.6)	0 (0.0)
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	受診なし	16,885 (100.0)	10,139 (60.0)	6,636 (39.3)	110 (0.7)	0 (0.0)
計		220,088 (100.0)	89,565 (40.7)	128,704 (58.5)	1,819 (0.8)	0 (0.0)

注 1 上段は本格検査結果確定者の先行検査結果 (人)

先行検査結果総数 (300,476 人) の内訳ではない。

注 2 上段は先行検査結果に対する本格検査結果内訳 (人)、下段は割合 (%)

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

平成 26 年 6 月からは本格検査対象者についても二次検査を実施しており、対象者 1,819 人のうち 1,172 人 (64.4%) が受診し、そのうち 1,087 人 (92.7%) が二次検査を終了している。

※⁴

その 1,087 人のうち、292 人 (表 5 の次回検査 A1 と A2) (26.9%) は詳細な検査の結果 A1 もしくは A2 判定相当として、次回検査となった。

一方、795 人 (73.1%) は、概ね 6 か月後または 1 年後に通常診療 (保険診療) となる方等であった。

表5. 二次検査進捗状況

平成27年12月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人) イ (イ/ア) 受診率 (%)	確定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果確定数(人)			
				次回検査		通常診療等	
				A1 エ (エ/ウ)	A2 オ (オ/ウ)	カ (カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ (キ/カ)
平成26年度 実施対象市町村計	1,260	990 (78.6)	942 (95.2)	36 (3.8)	220 (23.4)	686 (72.8)	139 (20.3)
平成27年度 実施対象市町村計	559	182 (32.6)	145 (79.7)	4 (2.8)	32 (22.1)	109 (75.2)	18 (16.5)
合計	1,819	1,172 (64.4)	1,087 (92.7)	40 (3.7)	252 (23.2)	795 (73.1)	157 (19.7)

※⁴ 市町村別実施状況は資料5のとおり。

- 次回検査は一次検査基準でA1、A2の範囲内であることが確認された方(甲状腺に疾病のある方を含む)。
- 通常診療等は概ね6か月後または1年後に経過観察(保険診療)する方及びA2基準値を超える等の方。

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を行った方のうち、51人が「悪性ないし悪性疑い」の判定となった。

51人の性別は男性21人、女性30人であった。また、二次検査時点での年齢は10歳から23歳(平均年齢は16.9±3.3歳)、腫瘍の大きさ5.3mmから30.1mm(平均腫瘍径は9.9±4.6mm)であった。

なお、51人の先行検査の結果は、A判定が47人(A1が25人、A2が22人)、B判定が4人であった。

表6. 細胞診結果(平均年齢と平均腫瘍径の()内は範囲を示す)

ア	平成26年度実施対象市町村	
	・悪性ないし悪性疑い	45人※ ⁵
	・男性：女性	17人：28人
	・平均年齢	17.2±3.0歳(10-23歳)、震災当時13.2±3.0歳(6-18歳)
	・平均腫瘍径	9.1±3.1mm(5.3-17.4mm)
イ	平成27年度実施対象市町村	
	・悪性ないし悪性疑い	6人※ ⁵
	・男性：女性	4人：2人
	・平均年齢	14.5±4.1歳(11-21歳)、震災当時10.0±3.9歳(7-16歳)
	・平均腫瘍径	16.4±8.4mm(8.3-30.1mm)
ウ	合計	
	・悪性ないし悪性疑い	51人※ ⁵
	・男性：女性	21人：30人
	・平均年齢	16.9±3.3歳(10-23歳)、震災当時12.9±3.3歳(6-18歳)
	・平均腫瘍径	9.9±4.6mm(5.3-30.1mm)

※⁵ 手術症例については資料6のとおり。

(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった 51 人の年齢、性分布

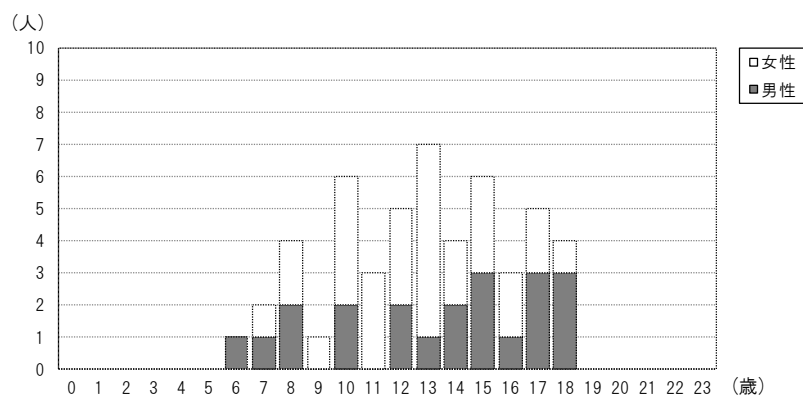


図3. 平成23年3月11日時点の年齢による分布

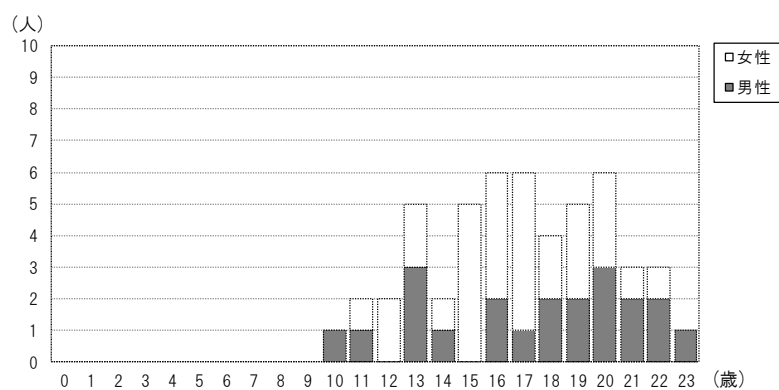


図4. 二次検査時点の年齢による分布

(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑い 51 人の基本調査結果

51 人のうち基本調査問診票を提出した方は 29 人 (56.9%) で、結果が通知された方は 29 人であった。このうち最大実効線量は 2.1mSv であった。

今後も、引き続き問診票の意義や重要性を説明し提出していただくよう働きかけていく。

表7.基本調査提出者の実効線量推計内訳(人)

平成27年12月31日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)								合計	
	0~5		6~10		11~15		16~18		男性	女性
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
1未満	0	0	3	0	1	4	2	0	6	4
2未満	0	0	0	1	3	4	3	3	6	8
5未満	0	0	1	0	0	2	1	1	2	3
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	4	1	4	10	6	4	14	15

● 推計値は外部被ばく実効線量を推計したものの。

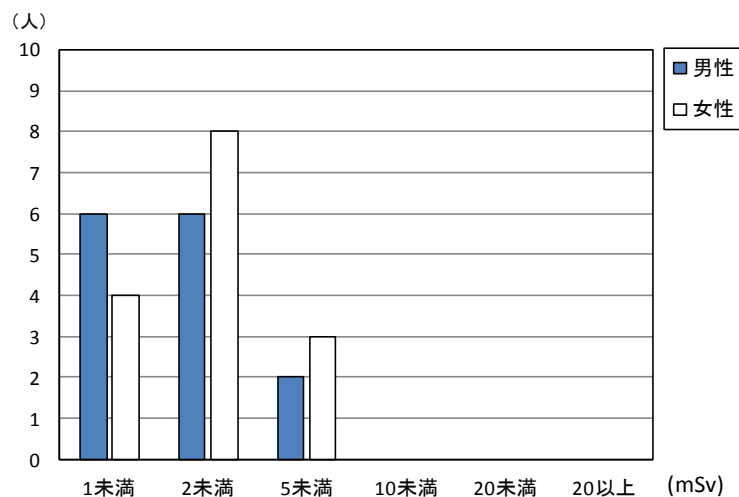


図 5. 基本調査提出者の実効線量推計内訳

(5) 血液検査及び尿中ヨウ素 (平成 27 年 12 月 31 日現在)

表 8. 血液データ 平均±SD (異常値の割合)

	FT4 注3 (ng/dL)	FT3 注4 (pg/mL)	TSH 注5 (μ IU/mL)	Tg 注6 (ng/mL)	TgAb 注7 (IU/mL)	TPOAb 注8 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74 注9	2.13~4.07 注9	0.340~3.880 注9	32.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い51人	1.2 ± 0.1 (3.9%)	3.5 ± 0.4 (0.0%)	1.7 ± 1.0 (11.8%)	38.8 ± 100.8 (21.6%)	— (21.6%)	— (13.7%)
その他1,034人	1.2 ± 0.2 (6.5%)	3.6 ± 0.6 (5.9%)	1.3 ± 0.9 (8.5%)	24.8 ± 67.8 (13.6%)	— (9.1%)	— (8.4%)

表 9. 尿中ヨウ素データ

(μ g/day)

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い51人	43	115	182	376	1,370
その他1,030人	33	116	185	348.8	11,800

注 3 FT4 (遊離サイロキシシン) …ヨードの数が 4 つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値 (代表的疾患: バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値 (代表的疾患: 橋本病) になることが多い。

注 4 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) …ヨードの数が 3 つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値 (代表的疾患: バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値 (代表的疾患: 橋本病) になることが多い。

注 5 TSH (甲状腺刺激ホルモン) …脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。

橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。

注 6 Tg (サイログロブリン) …甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。

甲状腺が破壊されたり、腫瘍が Tg を産生していたりする場合に高値になることが多い。

注 7 TgAb (抗サイログロブリン抗体) …サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。

注 8 TPOAb (抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体) …ペルオキシダーゼという酵素に対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。

注 9 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 市町村別二次検査結果（平成27年12月31日現在）

二次検査における悪性ないし悪性疑いの割合は、平成26年度実施対象市町村（国が指定した避難区域等の13市町村及び県北地方など12市町村）が0.03%、平成27年度実施対象市町村（いわき市、県南地方、会津地方などの34市町村）で0.01%となっている。

表10. 実施対象年度別市町村結果

平成26年度実施対象市町村

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(% イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(% ウ/ア
川俣町	1,742	21	1.2	18	0	0.00
浪江町	2,421	27	1.1	22	2	0.08
飯舘村	754	14	1.9	11	0	0.00
南相馬市	8,682	79	0.9	66	4	0.05
伊達市	9,039	83	0.9	75	7	0.08
田村市	4,926	50	1.0	42	2	0.04
広野町	664	9	1.4	7	0	0.00
檜葉町	961	5	0.5	4	0	0.00
富岡町	1,875	24	1.3	19	0	0.00
川内村	209	2	1.0	1	0	0.00
大熊町	1,654	14	0.8	11	1	0.06
双葉町	649	2	0.3	1	0	0.00
葛尾村	145	2	1.4	2	0	0.00
福島市	42,347	338	0.8	279	8	0.02
二本松市	7,795	57	0.7	48	1	0.01
本宮市	4,771	31	0.6	26	3	0.06
大玉村	1,255	5	0.4	4	0	0.00
郡山市	45,965	347	0.8	254	15	0.03
桑折町	1,618	14	0.9	10	1	0.06
国見町	1,225	9	0.7	7	0	0.00
天栄村	787	11	1.4	6	0	0.00
白河市	9,595	63	0.7	45	1	0.01
西郷村	3,154	27	0.9	18	0	0.00
泉崎村	988	3	0.3	1	0	0.00
三春町	2,315	23	1.0	13	0	0.00
小計	155,536	1,260	0.8	990	45	0.03

平成27年度実施対象市町村

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
いわき市	32,992	277	0.8	41	2	0.01
須賀川市	10,942	96	0.9	58	1	0.01
相馬市	4,481	28	0.6	20	1	0.02
鏡石町	1,912	15	0.8	11	0	0.00
新地町	982	13	1.3	8	0	0.00
中島村	714	3	0.4	2	1	0.14
矢吹町	2,276	12	0.5	7	0	0.00
石川町	1,902	10	0.5	2	0	0.00
矢祭町	708	3	0.4	1	0	0.00
浅川町	943	7	0.7	5	0	0.00
平田村	814	5	0.6	1	0	0.00
棚倉町	2,043	9	0.4	3	0	0.00
塙町	1,117	7	0.6	5	0	0.00
鮫川村	467	4	0.9	0	0	0.00
小野町	1,177	5	0.4	2	0	0.00
玉川村	921	6	0.7	1	0	0.00
古殿町	729	1	0.1	0	0	0.00
檜枝岐村	65	0	0.0	0	0	0.00
南会津町	1,682	16	1.0	5	0	0.00
金山町	114	0	0.0	0	0	0.00
昭和村	85	0	0.0	0	0	0.00
三島町	111	1	0.9	0	0	0.00
下郷町	591	4	0.7	0	0	0.00
喜多方市	2,928	8	0.3	0	0	0.00
西会津町	595	3	0.5	0	0	0.00
只見町	440	5	1.1	2	0	0.00
猪苗代町	1,669	9	0.5	5	0	0.00
磐梯町	377	2	0.5	1	0	0.00
北塩原村	354	2	0.6	1	0	0.00
会津美里町	603	1	0.2	0	0	0.00
会津坂下町	515	1	0.2	0	0	0.00
柳津町	362	0	0.0	0	0	0.00
会津若松市	5,336	6	0.1	1	1	0.02
湯川村	112	0	0.0	0	0	0.00
小計	81,059	559	0.7	182	6	0.01
合計	236,595	1,819	0.8	1,172	51	0.02

3. こころのケア・サポート

(1) 二次検査対象者へのサポート

二次検査対象者については、サポートチームを立ち上げ、心配や不安に対する、こころのケア・サポートに努め、「WEB相談」による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、本格検査開始以降、平成27年12月31日現在で、673人のサポートをしており、性別は男性238人、女性435人であった。この方々にのべ1,181回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時692回（58.6%）、2回目以降受診時451回（38.2%）（うち穿刺吸引細胞診時104回（8.8%））、インフォームドコンセント時38回（3.2%）であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームに引き継ぎ、継続して支援を行っている。

(2) 一次検査における検査結果説明について

平成27年7月から公共施設会場での一次検査では検査結果説明ブースを設置している。希望者には検査終了後、説明ブースにおいて医師が、超音波画像を提示しながら、結果を説明している。平成27年12月31日現在で、説明ブースを利用した方は受診者8,580人のうち5,743名（66.9%）であった。諸事情で説明ブースを設置できない会場や学校での検査では、学校説明会での対応や必要に応じて電話相談などの代替手段を行っている。

4. 本格検査2回目（検査3回目）の検査運営方針について

(1) 検査実施計画（第20回検討委員会です承）

20歳を超えるまでは2年ごとに市町村順に実施し（現行の枠組み）、それ以降は市町村順の枠組みをなくし、受診者に対し受診時期を分かり易くするため、25歳、30歳等の5年ごとの節目健診を実施する。ただし、25歳時の検査までは5年以上空けないこととする。

(2) 一次検査同意書（検査のお知らせ）の見直しについて（第21回検討委員会です承）

検査のお知らせに、検査の目的について詳しく触れ、検査で甲状腺の状態がある程度把握できる反面、ご心配をおかけすることもあることのお知らせしたうえで、一次検査同意書に検査の同意・不同意の確認欄を設け、対象者の検査に対する意思確認を明確に行う。

(3) 一次検査結果通知書の見直しについて（第21回検討委員会です承）

来年度以降、検査の回数が重なっていくことから、過去（前回と前々回）の検査結果を並記し、結果説明の表現を分かり易くするとともに、二次検査対象者の方には、二次検査受診希望の有無や通常（保険）診療の状況等について確認を行うこととする。

(4) 受診機会の確保に向けた取り組み

ア 休日実施

平日に受診できない方に対し、医大の出張検査を休日に実施する他、検査実施機関に対し休日実施や休日の検査枠の拡大等をお願いし、受診機会の確保を図る。

イ 就職・進学者への広報強化

多くが親元を離れる高等学校等卒業予定者向けに広報活動を行い、検査について理解してもらうことにより、将来に繋がる啓発を行う。

ウ 受診者の利便性を考え、現住所に基づいた検査お知らせを送る。

(5) 県内・県外検査実施機関との連携充実

ア 検査実施機関の整備・拡充

対象者が希望にそった身近な医療機関で受診できるよう、将来的には、医大の出張検査から検査実施機関を中心とした、持続可能な検査体制の確立を図る。なお、検査実施機関については、学卒者が増加していくことを踏まえ、地域間の均衡や受診者数の推移を見ながら、検査実施機関の依頼を行ってゆく。

イ 検査精度管理の維持

甲状腺検査の現状や検査における留意点などについて、検査実施機関連絡協議会を継続的に開催し、医大と検査実施機関の情報共有や検査の精度管理の維持・向上を図る。

(6) 検査への理解と結果説明の充実

ア 説明ブースの継続

イ 検査実施機関での結果説明についての協力体制

ウ 電話相談による結果説明の体制整備

エ 出張説明会の継続

オ 出前授業の継続

資料 1

市町村別一次検査実施状況

平成27年12月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 ※1	受診率 (%) 1/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) ※2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ※3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					2～7歳	8～12歳	13～17歳	18～23歳		
平成26年度実施対象市町村										
川俣町	2,460	1,742	49	70.8	426 24.5	572 32.8	593 34.0	151 8.7	65	3.7
浪江町	3,772	2,421	697	64.2	642 26.5	690 28.5	740 30.6	349 14.4	772	31.9
飯館村	1,123	754	33	67.1	184 24.4	270 35.8	238 31.6	62 8.2	42	5.6
南相馬市	12,982	8,682	1,748	66.9	2,258 26.0	2,856 32.9	2,629 30.3	939 10.8	1,910	22.0
伊達市	11,742	9,039	320	77.0	2,251 24.9	2,736 30.3	2,971 32.9	1,081 12.0	319	3.5
田村市	7,322	4,926	144	67.3	1,125 22.8	1,631 33.1	1,692 34.3	478 9.7	134	2.7
広野町	1,108	664	110	59.9	164 24.7	187 28.2	218 32.8	95 14.3	99	14.9
楢葉町	1,490	961	135	64.5	229 23.8	274 28.5	321 33.4	137 14.3	145	15.1
富岡町	3,101	1,875	443	60.5	452 24.1	490 26.1	627 33.4	306 16.3	477	25.4
川内村	360	209	20	58.1	49 23.4	73 34.9	67 32.1	20 9.6	22	10.5
大熊町	2,499	1,654	380	66.2	511 30.9	492 29.7	457 27.6	194 11.7	408	24.7
双葉町	1,258	649	255	51.6	177 27.3	212 32.7	179 27.6	81 12.5	267	41.1
葛尾村	240	145	15	60.4	34 23.4	54 37.2	45 31.0	12 8.3	11	7.6
福島市	55,735	42,347	2,350	76.0	10,963 25.9	12,692 30.0	13,305 31.4	5,387 12.7	2,775	6.6
二本松市	10,597	7,795	281	73.6	1,899 24.4	2,473 31.7	2,656 34.1	767 9.8	263	3.4
本宮市	6,344	4,771	163	75.2	1,214 25.4	1,505 31.5	1,545 32.4	507 10.6	169	3.5
大玉村	1,684	1,255	28	74.5	350 27.9	398 31.7	386 30.8	121 9.6	32	2.5
郡山市	66,759	45,965	2,699	68.9	10,546 22.9	15,277 33.2	15,237 33.1	4,905 10.7	3,209	7.0
桑折町	2,137	1,618	56	75.7	376 23.2	503 31.1	548 33.9	191 11.8	40	2.5
国見町	1,624	1,225	38	75.4	235 19.2	382 31.2	443 36.2	165 13.5	35	2.9
天栄村	1,101	787	23	71.5	212 26.9	262 33.3	250 31.8	63 8.0	24	3.0
白河市	12,742	9,595	286	75.3	2,533 26.4	2,923 30.5	3,114 32.5	1,025 10.7	316	3.3
西郷村	4,173	3,154	104	75.6	885 28.1	999 31.7	941 29.8	329 10.4	108	3.4
泉崎村	1,337	988	20	73.9	263 26.6	313 31.7	303 30.7	109 11.0	12	1.2
三春町	3,184	2,315	51	72.7	517 22.3	677 29.2	804 34.7	317 13.7	54	2.3
小計	216,874	155,536	10,448	71.7	38,495 24.7	48,941 31.5	50,309 32.3	17,791 11.4	11,708	7.5

※1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から出向いて実施した検査を受診した人数。

※2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階級別割合を記載。

※3 受診者のうち県外住所の方の人数。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査の検査受診時点の年齢。
- 対象者数等については重複の精査を行っているため、既出の報告数と異なっている。

平成27年12月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 ※1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) ※2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ※3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					2~7歳	8~12歳	13~17歳	18~23歳		
平成27年度実施対象市町村										
いわき市	64,294	32,992	1,288	51.3	5,780 17.5	9,218 27.9	12,875 39.0	5,119 15.5	1,430	4.3
須賀川市	15,878	10,942	226	68.9	2,472 22.6	3,643 33.3	3,681 33.6	1,146 10.5	243	2.2
相馬市	7,087	4,481	211	63.2	1,035 23.1	1,512 33.7	1,564 34.9	370 8.3	278	6.2
鏡石町	2,705	1,912	25	70.7	514 26.9	623 32.6	609 31.9	166 8.7	37	1.9
新地町	1,476	982	29	66.5	197 20.1	340 34.6	370 37.7	75 7.6	32	3.3
中島村	1,115	714	0	64.0	117 16.4	250 35.0	285 39.9	62 8.7	2	0.3
矢吹町	3,425	2,276	9	66.5	605 26.6	745 32.7	780 34.3	146 6.4	13	0.6
石川町	2,957	1,902	4	64.3	468 24.6	584 30.7	702 36.9	148 7.8	15	0.8
矢祭町	1,056	708	3	67.0	189 26.7	224 31.6	229 32.3	66 9.3	4	0.6
浅川町	1,391	943	0	67.8	201 21.3	308 32.7	355 37.6	79 8.4	4	0.4
平田村	1,272	814	0	64.0	200 24.6	271 33.3	287 35.3	56 6.9	2	0.2
棚倉町	3,090	2,043	7	66.1	498 24.4	671 32.8	712 34.9	162 7.9	16	0.8
塙町	1,716	1,117	4	65.1	238 21.3	358 32.1	405 36.3	116 10.4	6	0.5
鮫川村	723	467	0	64.6	123 26.3	154 33.0	151 32.3	39 8.4	0	0.0
小野町	1,990	1,177	3	59.1	219 18.6	417 35.4	420 35.7	121 10.3	9	0.8
玉川村	1,372	921	1	67.1	204 22.1	332 36.0	316 34.3	69 7.5	0	0.0
古殿町	1,082	729	4	67.4	189 25.9	218 29.9	245 33.6	77 10.6	7	1.0
檜枝岐村	110	65	3	59.1	8 12.3	20 30.8	34 52.3	3 4.6	2	3.1
南会津町	2,913	1,682	32	57.7	343 20.4	562 33.4	634 37.7	143 8.5	27	1.6
金山町	203	114	3	56.2	14 12.3	41 36.0	47 41.2	12 10.5	2	1.8
昭和村	134	85	3	63.4	20 23.5	25 29.4	31 36.5	9 10.6	3	3.5
三島町	197	111	0	56.3	10 9.0	44 39.6	49 44.1	8 7.2	1	0.9
下郷町	1,011	591	11	58.5	91 15.4	203 34.3	239 40.4	58 9.8	8	1.4
喜多方市	9,236	2,928	11	31.7	224 7.7	423 14.4	1,968 67.2	313 10.7	10	0.3
西会津町	1,055	595	0	56.4	123 20.7	167 28.1	269 45.2	36 6.1	0	0.0
只見町	735	440	3	59.9	96 21.8	154 35.0	155 35.2	35 8.0	3	0.7
猪苗代町	2,757	1,669	30	60.5	340 20.4	561 33.6	590 35.4	178 10.7	32	1.9
磐梯町	628	377	8	60.0	70 18.6	144 38.2	124 32.9	39 10.3	6	1.6
北塩原村	581	354	9	60.9	87 24.6	119 33.6	117 33.1	31 8.8	9	2.5
会津美里町	3,789	603	8	15.9	11 1.8	17 2.8	436 72.3	139 23.1	5	0.8
会津坂下町	3,182	515	7	16.2	6 1.2	32 6.2	361 70.1	116 22.5	7	1.4
柳津町	612	362	2	59.2	72 19.9	123 34.0	135 37.3	32 8.8	1	0.3
会津若松市	23,919	5,336	47	22.3	193 3.6	799 15.0	3,608 67.6	736 13.8	48	0.9
湯川村	696	112	0	16.1	0 0.0	4 3.6	81 72.3	27 24.1	0	0.0
小計	164,387	81,059	1,991	49.3	14,957 18.5	23,306 28.8	32,864 40.5	9,932 12.3	2,262	2.8
合計	381,261	236,595	12,439	62.1	53,452 22.6	72,247 30.5	83,173 35.2	27,723 11.7	13,970	5.9

資料 2

都道府県別県外検査実施状況

平成27年11月30日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	5	305	福井県	1	13	広島県	1	25
青森県	1	152	山梨県	2	106	山口県	1	13
岩手県	3	307	長野県	2	119	徳島県	1	10
宮城県	2	2,484	岐阜県	1	26	香川県	1	21
秋田県	1	230	静岡県	2	99	愛媛県	1	9
山形県	3	725	愛知県	3	188	高知県	1	14
茨城県	4	659	三重県	1	23	福岡県	3	72
栃木県	6	676	滋賀県	1	20	佐賀県	1	15
群馬県	2	203	京都府	3	83	長崎県	2	25
埼玉県	2	613	大阪府	6	200	熊本県	1	19
千葉県	3	700	兵庫県	1	119	大分県	1	33
東京都	12	1,932	奈良県	1	20	宮崎県	1	24
神奈川県	5	1,191	和歌山県	1	8	鹿児島県	1	23
新潟県	2	759	鳥取県	1	7	沖縄県	1	54
富山県	1	18	島根県	1	4			
石川県	1	47	岡山県	3	46			
						合計	100	12,439

- 受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から出向いて実施した検査を受診した人数。
- 福島県立医科大学から出向いて検査を行ったのは、新潟県（1回）・神奈川県（2回）、山形県（1回）、埼玉県（1回）、千葉県（1回）。

資料 3

市町村別一次検査結果

平成27年12月31日現在

受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
		判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
		A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
A1	A2								

平成26年度実施対象市町村

川俣町	1,742	1,733	766	946	21	0	20	13	1	955
		99.5	44.2	54.6	1.2	0.0	1.2	0.8	0.1	55.1
浪江町	2,421	2,379	974	1,378	27	0	27	17	0	1,389
		98.3	40.9	57.9	1.1	0.0	1.1	0.7	0.0	58.4
飯館村	754	753	355	384	14	0	14	3	0	389
		99.9	47.1	51.0	1.9	0.0	1.9	0.4	0.0	51.7
南相馬市	8,682	8,619	3,690	4,850	79	0	79	59	0	4,877
		99.3	42.8	56.3	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	56.6
伊達市	9,039	9,021	3,924	5,014	83	0	83	69	0	5,037
		99.8	43.5	55.6	0.9	0.0	0.9	0.8	0.0	55.8
田村市	4,926	4,850	1,994	2,806	50	0	50	29	0	2,824
		98.5	41.1	57.9	1.0	0.0	1.0	0.6	0.0	58.2
広野町	664	657	276	372	9	0	9	6	0	372
		98.9	42.0	56.6	1.4	0.0	1.4	0.9	0.0	56.6
榑葉町	961	951	399	547	5	0	5	8	0	547
		99.0	42.0	57.5	0.5	0.0	0.5	0.8	0.0	57.5
富岡町	1,875	1,835	764	1,047	24	0	24	19	0	1,055
		97.9	41.6	57.1	1.3	0.0	1.3	1.0	0.0	57.5
川内村	209	205	67	136	2	0	2	1	0	137
		98.1	32.7	66.3	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	66.8
大熊町	1,654	1,594	690	890	14	0	14	12	0	892
		96.4	43.3	55.8	0.9	0.0	0.9	0.8	0.0	56.0
双葉町	649	642	265	375	2	0	2	6	0	374
		98.9	41.3	58.4	0.3	0.0	0.3	0.9	0.0	58.3
葛尾村	145	142	71	69	2	0	2	1	0	69
		97.9	50.0	48.6	1.4	0.0	1.4	0.7	0.0	48.6
福島市	42,347	42,159	17,829	23,992	338	0	336	261	0	24,114
		99.6	42.3	56.9	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	57.2
二本松市	7,795	7,731	3,368	4,306	57	0	57	54	0	4,314
		99.2	43.6	55.7	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	55.8
本宮市	4,771	4,738	2,058	2,649	31	0	31	17	0	2,662
		99.3	43.4	55.9	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	56.2
大玉村	1,255	1,247	560	682	5	0	5	8	0	681
		99.4	44.9	54.7	0.4	0.0	0.4	0.6	0.0	54.6
郡山市	45,965	45,794	18,255	27,192	347	0	347	266	0	27,301
		99.6	39.9	59.4	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	59.6
桑折町	1,618	1,599	689	896	14	0	14	10	0	900
		98.8	43.1	56.0	0.9	0.0	0.9	0.6	0.0	56.3
国見町	1,225	1,215	484	722	9	0	8	10	1	723
		99.2	39.8	59.4	0.7	0.0	0.7	0.8	0.1	59.5
天栄村	787	778	321	446	11	0	11	11	0	454
		98.9	41.3	57.3	1.4	0.0	1.4	1.4	0.0	58.4
白河市	9,595	9,544	4,107	5,374	63	0	63	50	0	5,393
		99.5	43.0	56.3	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	56.5
西郷村	3,154	3,133	1,333	1,773	27	0	27	25	0	1,781
		99.3	42.5	56.6	0.9	0.0	0.9	0.8	0.0	56.8
泉崎村	988	985	364	618	3	0	3	10	0	618
		99.7	37.0	62.7	0.3	0.0	0.3	1.0	0.0	62.7
三春町	2,315	2,305	883	1,399	23	0	23	12	0	1,408
		99.6	38.3	60.7	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	61.1
小計	155,536	154,609	64,486	88,863	1,260	0	1,256	977	2	89,266
		99.4	41.7	57.5	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	57.7

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。

受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
		判定区分別割合(%)				結節(人)		のう胞(人)	
		A				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
		A1	A2	B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下

平成27年度実施対象市町村

いわき市	32,992	30,689	11,392	19,020	277	0	273	162	4	19,116
		93.0	37.1	62.0	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	62.3
須賀川市	10,942	10,840	4,188	6,556	96	0	96	54	0	6,601
		99.1	38.6	60.5	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	60.9
相馬市	4,481	4,433	1,878	2,527	28	0	28	23	0	2,534
		98.9	42.4	57.0	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	57.2
鏡石町	1,912	1,894	749	1,130	15	0	15	10	0	1,134
		99.1	39.5	59.7	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	59.9
新地町	982	980	389	578	13	0	13	1	0	585
		99.8	39.7	59.0	1.3	0.0	1.3	0.1	0.0	59.7
中島村	714	448	175	270	3	0	3	3	0	269
		62.7	39.1	60.3	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	60.0
矢吹町	2,276	1,946	764	1,170	12	0	12	4	0	1,175
		85.5	39.3	60.1	0.6	0.0	0.6	0.2	0.0	60.4
石川町	1,902	1,337	556	771	10	0	10	6	0	776
		70.3	41.6	57.7	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	58.0
矢祭町	708	645	237	405	3	0	3	0	0	407
		91.1	36.7	62.8	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	63.1
浅川町	943	522	213	302	7	0	7	2	0	305
		55.4	40.8	57.9	1.3	0.0	1.3	0.4	0.0	58.4
平田村	814	610	262	343	5	0	5	2	0	346
		74.9	43.0	56.2	0.8	0.0	0.8	0.3	0.0	56.7
棚倉町	2,043	1,259	487	763	9	0	9	3	0	769
		61.6	38.7	60.6	0.7	0.0	0.7	0.2	0.0	61.1
塙町	1,117	953	362	584	7	0	7	6	0	587
		85.3	38.0	61.3	0.7	0.0	0.7	0.6	0.0	61.6
鮫川村	467	427	159	264	4	0	4	4	0	266
		91.4	37.2	61.8	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	62.3
小野町	1,177	513	157	351	5	0	5	3	0	352
		43.6	30.6	68.4	1.0	0.0	1.0	0.6	0.0	68.6
玉川村	921	457	161	290	6	0	6	6	0	293
		49.6	35.2	63.5	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	64.1
古殿町	729	425	180	244	1	0	1	2	0	243
		58.3	42.4	57.4	0.2	0.0	0.2	0.5	0.0	57.2
檜枝岐村	65	53	21	32	0	0	0	1	0	31
		81.5	39.6	60.4	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	58.5
南会津町	1,682	1,548	597	935	16	0	16	4	0	946
		92.0	38.6	60.4	1.0	0.0	1.0	0.3	0.0	61.1
金山町	114	100	31	69	0	0	0	0	0	69
		87.7	31.0	69.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.0
昭和村	85	71	26	45	0	0	0	1	0	45
		83.5	36.6	63.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	63.4
三島町	111	82	16	65	1	0	1	0	0	66
		73.9	19.5	79.3	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	80.5
下郷町	591	525	218	303	4	0	4	2	0	305
		88.8	41.5	57.7	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	58.1
喜多方市	2,928	741	277	456	8	0	8	3	0	461
		25.3	37.4	61.5	1.1	0.0	1.1	0.4	0.0	62.2
西会津町	595	83	43	37	3	0	3	0	0	37
		13.9	51.8	44.6	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	44.6
只見町	440	420	163	252	5	0	5	2	0	254
		95.5	38.8	60.0	1.2	0.0	1.2	0.5	0.0	60.5
猪苗代町	1,669	1,482	604	869	9	0	9	7	0	873
		88.8	40.8	58.6	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	58.9
磐梯町	377	325	125	198	2	0	2	0	0	200
		86.2	38.5	60.9	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	61.5
北塩原村	354	307	123	182	2	0	2	1	0	182
		86.7	40.1	59.3	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	59.3
会津美里町	603	94	33	60	1	0	1	2	0	61
		15.6	35.1	63.8	1.1	0.0	1.1	2.1	0.0	64.9
会津坂下町	515	142	44	97	1	0	1	3	0	98
		27.6	31.0	68.3	0.7	0.0	0.7	2.1	0.0	69.0
柳津町	362	288	121	167	0	0	0	0	0	167
		79.6	42.0	58.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.0
会津若松市	5,336	813	321	486	6	0	6	8	0	487
		15.2	39.5	59.8	0.7	0.0	0.7	1.0	0.0	59.9
湯川村	112	27	7	20	0	0	0	0	0	20
		24.1	25.9	74.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.1
小計	81,059	65,479	25,079	39,841	559	0	555	325	4	40,060
		80.8	38.3	60.8	0.9	0.0	0.8	0.5	0.0	61.2
合計	236,595	220,088	89,565	128,704	1,819	0	1,811	1,302	6	129,326
		93.0	40.7	58.5	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	58.8

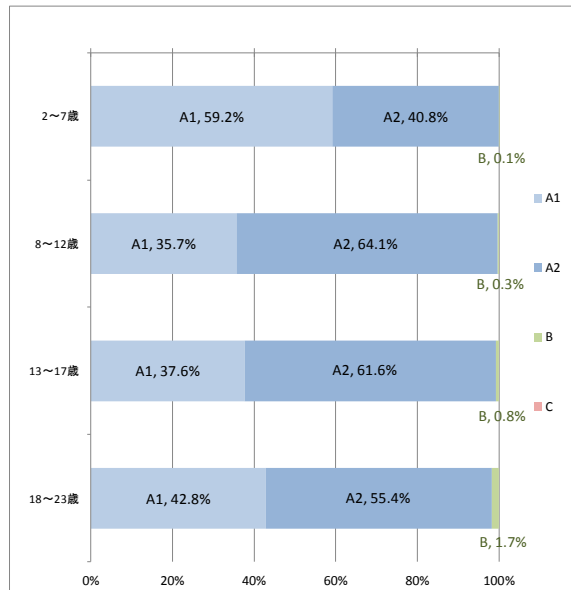
資料 4

1 検査結果確定者の年齢及び性別

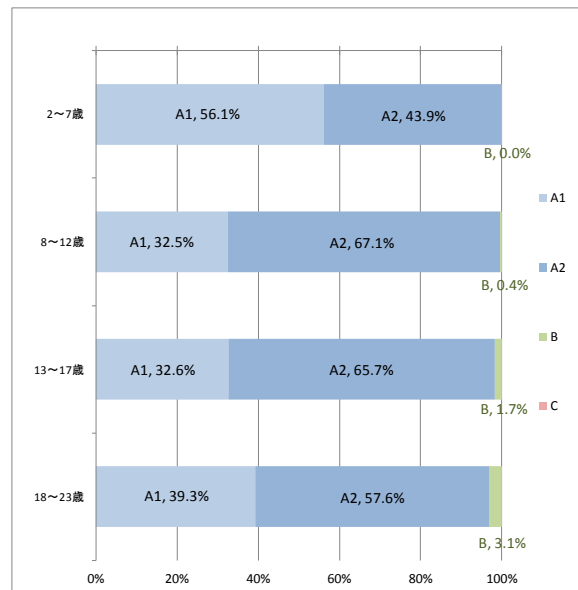
(単位 人)
平成27年12月31日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
2～7歳	15,480	13,882	29,362	10,670	10,868	21,538	17	12	29	0	0	0	26,167	24,762	50,929
8～12歳	12,601	10,931	23,532	22,636	22,552	45,188	89	148	237	0	0	0	35,326	33,631	68,957
13～17歳	14,375	12,063	26,438	23,522	24,321	47,843	309	633	942	0	0	0	38,206	37,017	75,223
18～23歳	4,984	5,249	10,233	6,449	7,686	14,135	200	411	611	0	0	0	11,633	13,346	24,979
合計	47,440	42,125	89,565	63,277	65,427	128,704	615	1,204	1,819	0	0	0	111,332	108,756	220,088

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

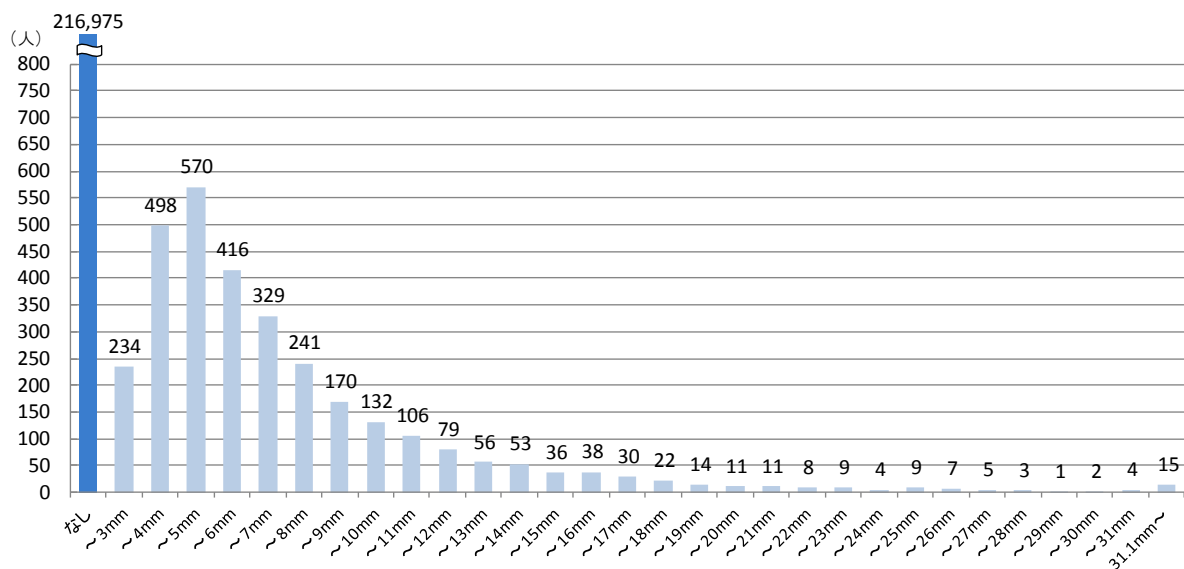
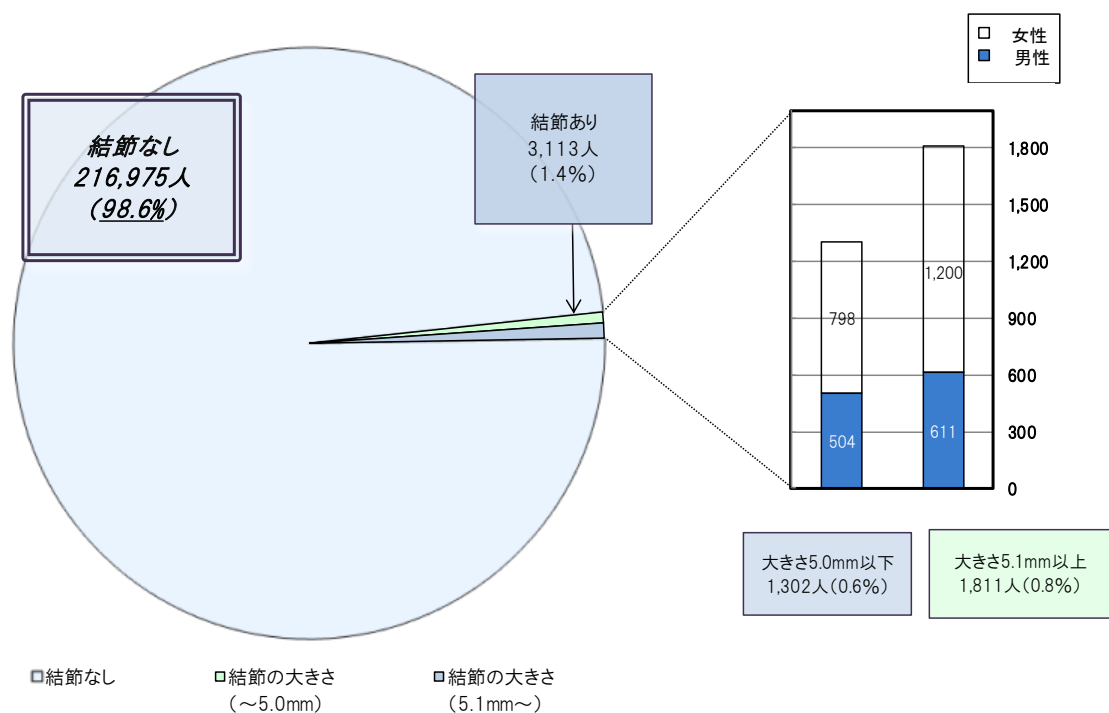


- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で 100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査の検査受診時点の年齢。

2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)
平成27年12月31日現在

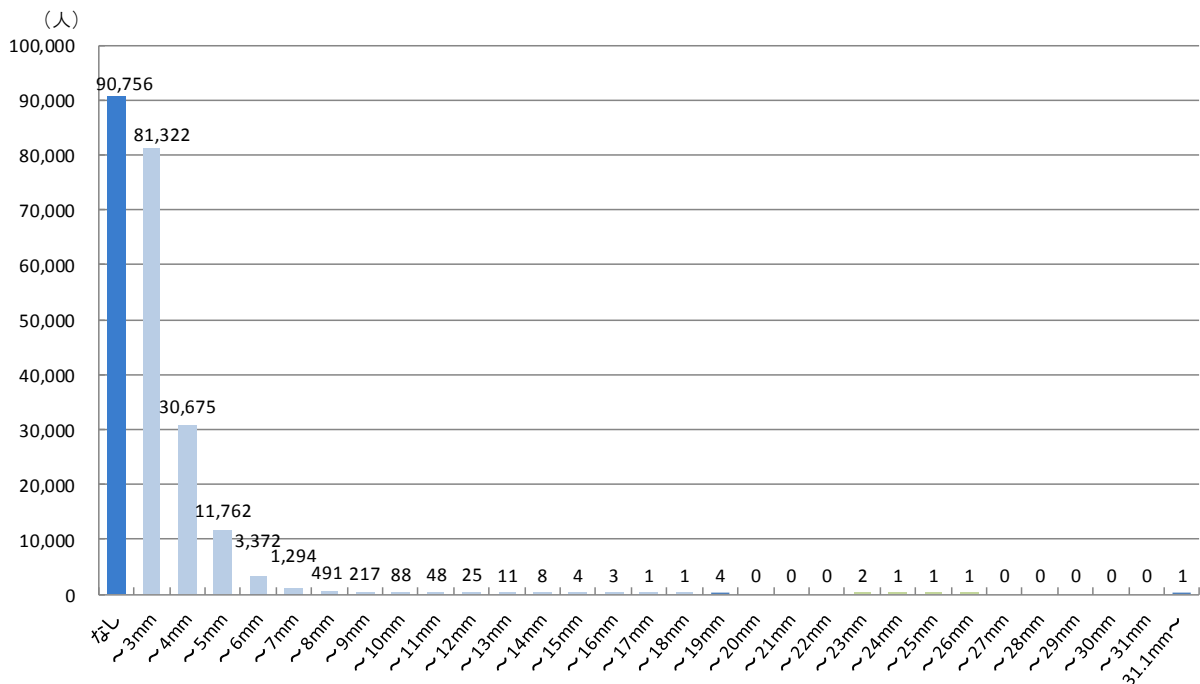
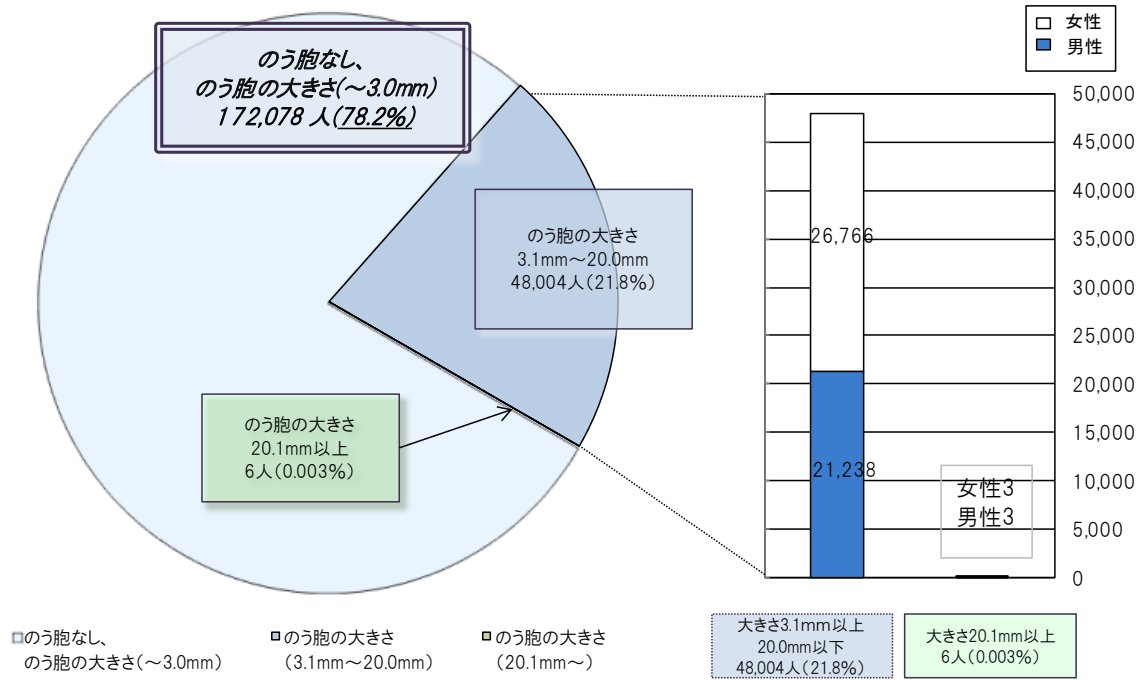
結節の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	110,217	106,758	216,975	A1	98.6%
～3.0mm	100	134	234	A2	0.6%
3.1～5.0mm	404	664	1,068		
5.1～10.0mm	426	862	1,288	B	0.8%
10.1～15.0mm	123	207	330		
15.1～20.0mm	42	73	115		
20.1～25.0mm	7	34	41		
25.1mm～	13	24	37		
計	111,332	108,756	220,088		



3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)
平成27年12月31日現在

のう胞の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	47,892	42,864	90,756	A1	78.2%
～3.0mm	42,199	39,123	81,322	A2	
3.1～5.0mm	19,325	23,112	42,437		
5.1～10.0mm	1,880	3,582	5,462		
10.1～15.0mm	30	66	96		
15.1～20.0mm	3	6	9	B	0.003%
20.1～25.0mm	2	2	4		
25.1mm～	1	1	2		
計	111,332	108,756	220,088		



資料 5

市町村別二次検査実施状況

平成27年12月31日現在

市町村名	一次検査実施者(人) ア	二次検査対象者(人) イ イ/ア(%)	計 ウ ウ/イ(%)	二次検査実施者(人)				結果確定数(人)							
				ウのうち 2~7歳 エ エ/ウ(%)	ウのうち 8~12歳 オ オ/ウ(%)	ウのうち 13~17歳 カ カ/ウ(%)	ウのうち 18~23歳 キ キ/ウ(%)	次回検診		通常診療等					
				ケ※1 ケ/ウ(%)	ク※2 ク/ウ(%)	コ※2 コ/ウ(%)	サ※3 サ/ウ(%)	シ シ/サ(%)							
平成26年度実施対象市町村															
川俣町	1,742	21	18	0	3	11	4	18	3	6	9	1			
		1.2	85.7	0.0	16.7	61.1	22.2	100.0	16.7	33.3	50.0	11.1			
浪江町	2,421	27	22	0	2	9	11	22	0	2	20	3			
		1.1	81.5	0.0	9.1	40.9	50.0	100.0	0.0	9.1	90.9	15.0			
飯館村	754	14	11	0	2	6	3	11	2	3	6	1			
		1.9	78.6	0.0	18.2	54.5	27.3	100.0	18.2	27.3	54.5	16.7			
南相馬市	8,682	79	66	2	10	27	27	64	4	16	44	13			
		0.9	83.5	3.0	15.2	40.9	40.9	97.0	6.3	25.0	68.8	29.5			
伊達市	9,039	83	75	1	17	38	19	73	0	26	47	9			
		0.9	90.4	1.3	22.7	50.7	25.3	97.3	0.0	35.6	64.4	19.1			
田村市	4,926	50	42	1	3	28	10	41	1	10	30	6			
		1.0	84.0	2.4	7.1	66.7	23.8	97.6	2.4	24.4	73.2	20.0			
広野町	664	9	7	0	1	3	3	7	0	3	4	0			
		1.4	77.8	0.0	14.3	42.9	42.9	100.0	0.0	42.9	57.1	0.0			
楢葉町	961	5	4	0	0	0	4	4	0	0	4	0			
		0.5	80.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0			
富岡町	1,875	24	19	0	3	4	12	16	1	5	10	1			
		1.3	79.2	0.0	15.8	21.1	63.2	84.2	6.3	31.3	62.5	10.0			
川内村	209	2	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0			
		1.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0			
大熊町	1,654	14	11	0	1	5	5	10	0	1	9	2			
		0.8	78.6	0.0	9.1	45.5	45.5	90.9	0.0	10.0	90.0	22.2			
双葉町	649	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0			
		0.3	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0			
葛尾村	145	2	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0			
		1.4	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0			
福島市	42,347	338	279	5	38	135	101	270	12	52	206	48			
		0.8	82.5	1.8	13.6	48.4	36.2	96.8	4.4	19.3	76.3	23.3			
二本松市	7,795	57	48	1	6	23	18	44	1	9	34	4			
		0.7	84.2	2.1	12.5	47.9	37.5	91.7	2.3	20.5	77.3	11.8			
本宮市	4,771	31	26	0	1	15	10	23	0	4	19	4			
		0.6	83.9	0.0	3.8	57.7	38.5	88.5	0.0	17.4	82.6	21.1			
大玉村	1,255	5	4	0	0	3	1	4	0	2	2	0			
		0.4	80.0	0.0	0.0	75.0	25.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0			
郡山市	45,965	347	254	6	30	120	98	238	8	46	184	38			
		0.8	73.2	2.4	11.8	47.2	38.6	93.7	3.4	19.3	77.3	20.7			
桑折町	1,618	14	10	0	1	5	4	9	0	3	6	1			
		0.9	71.4	0.0	10.0	50.0	40.0	90.0	0.0	33.3	66.7	16.7			
国見町	1,225	9	7	1	1	0	5	7	0	0	7	0			
		0.7	77.8	14.3	14.3	0.0	71.4	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0			
天栄村	787	11	6	0	0	3	3	6	1	1	4	1			
		1.4	54.5	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	16.7	16.7	66.7	25.0			
白河市	9,595	63	45	1	4	23	17	41	1	16	24	4			
		0.7	71.4	2.2	8.9	51.1	37.8	91.1	2.4	39.0	58.5	16.7			
西郷村	3,154	27	18	0	2	10	6	16	0	7	9	3			
		0.9	66.7	0.0	11.1	55.6	33.3	88.9	0.0	43.8	56.3	33.3			
泉崎村	988	3	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0			
		0.3	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0			
三春町	2,315	23	13	0	0	10	3	13	1	6	6	0			
		1.0	56.5	0.0	0.0	76.9	23.1	100.0	7.7	46.2	46.2	0.0			
小計	155,536	1,260	990	18	127	480	365	942	36	220	686	139			
		0.8	78.6	1.8	12.8	48.5	36.9	95.2	3.8	23.4	72.8	20.3			

※1 クには血液検査、尿検査及び細胞診実施者のうち、検査結果を通知していない対象者は含まない。

※2 ケ及びコは平成28年4月以降の本格検査において検査を実施する受診対象者。

※3 サは通常の保険診療枠として概ね6か月後または1年後に再診する受診対象者。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 年齢階級は本格検査の検査受診時点の年齢。

市町村名	一次検査実施者(人) ア	二次検査対象者(人) イ イ/ア(%)	計 ウ ウ/イ(%)	二次検査実施者(人)			
				ウのうち 2~7歳 エ エ/ウ(%)	ウのうち 8~12歳 オ オ/ウ(%)	ウのうち 13~17歳 カ カ/ウ(%)	ウのうち 18~23歳 キ キ/ウ(%)

計 ク※1 率 ク/ウ(%)	結果確定数(人)		通常診療等	
	次回検診		サ※3 率 サ/ク(%)	サのうち 細胞診 実施者 シ 率 シ/サ(%)
	A1 ケ※2 率 ケ/ク(%)	A2 コ※2 率 コ/ク(%)		

平成27年度実施対象市町村

いわき市	32,992	277	41	2	8	18	13
		0.8	14.8	4.9	19.5	43.9	31.7
須賀川市	10,942	96	58	0	9	31	18
		0.9	60.4	0.0	15.5	53.4	31.0
相馬市	4,481	28	20	2	2	10	6
		0.6	71.4	10.0	10.0	50.0	30.0
鏡石町	1,912	15	11	0	0	7	4
		0.8	73.3	0.0	0.0	63.6	36.4
新地町	982	13	8	0	2	4	2
		1.3	61.5	0.0	25.0	50.0	25.0
中島村	714	3	2	0	0	1	1
		0.4	66.7	0.0	0.0	50.0	50.0
矢吹町	2,276	12	7	0	1	3	3
		0.5	58.3	0.0	14.3	42.9	42.9
石川町	1,902	10	2	0	0	2	0
		0.5	20.0	0.0	0.0	100.0	0.0
矢祭町	708	3	1	0	0	0	1
		0.4	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0
浅川町	943	7	5	1	0	2	2
		0.7	71.4	20.0	0.0	40.0	40.0
平田村	814	5	1	0	0	1	0
		0.6	20.0	0.0	0.0	100.0	0.0
棚倉町	2,043	9	3	0	0	1	2
		0.4	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7
塙町	1,117	7	5	0	0	5	0
		0.6	71.4	0.0	0.0	100.0	0.0
鮫川村	467	4	0	0	0	0	0
		0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小野町	1,177	5	2	0	0	1	1
		0.4	40.0	0.0	0.0	50.0	50.0
玉川村	921	6	1	0	0	1	0
		0.7	16.7	0.0	0.0	100.0	0.0
古殿町	729	1	0	0	0	0	0
		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
檜枝岐村	65	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南会津町	1,682	16	5	0	3	2	0
		1.0	31.3	0.0	60.0	40.0	0.0
金山町	114	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和村	85	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
三島町	111	1	0	0	0	0	0
		0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下郷町	591	4	0	0	0	0	0
		0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
喜多方市	2,928	8	0	0	0	0	0
		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
西会津町	595	3	0	0	0	0	0
		0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
只見町	440	5	2	0	0	2	0
		1.1	40.0	0.0	0.0	100.0	0.0
猪苗代町	1,669	9	5	0	0	3	2
		0.5	55.6	0.0	0.0	60.0	40.0
磐梯町	377	2	1	0	0	0	1
		0.5	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
北塩原村	354	2	1	0	0	0	1
		0.6	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
会津美里町	603	1	0	0	0	0	0
		0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会津坂下町	515	1	0	0	0	0	0
		0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
柳津町	362	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会津若松市	5,336	6	1	0	0	0	1
		0.1	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
湯川村	112	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	81,059	559	182	5	25	94	58
		0.7	32.6	2.7	13.7	51.6	31.9

	31	1	6	24	6
	75.6	3.2	19.4	77.4	25.0
	45	1	11	33	5
	77.6	2.2	24.4	73.3	15.2
	19	0	5	14	1
	95.0	0.0	26.3	73.7	7.1
	9	0	1	8	0
	81.8	0.0	11.1	88.9	0.0
	8	1	1	6	1
	100.0	12.5	12.5	75.0	16.7
	2	0	0	2	1
	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0
	6	0	3	3	0
	85.7	0.0	50.0	50.0	0.0
	1	0	0	1	1
	50.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	0	0	3	1
	60.0	0.0	0.0	100.0	33.3
	1	0	1	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	2	0	0	2	1
	66.7	0.0	0.0	100.0	50.0
	2	0	0	2	0
	40.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	1	0	1	0
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	1	0	1	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0	2	3	0
	100.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	4	0	1	3	0
	80.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	0	0	1	1
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	145	4	32	109	18
	79.7	2.8	22.1	75.2	16.5

合計	236,595	1,819	1,172	23	152	574	423
		0.8	64.4	2.0	13.0	49.0	36.1

	1,087	40	252	795	157
	92.7	3.7	23.2	73.1	19.7

資料 6

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

- 1 平成 26 年度実施対象市町村、平成 27 年度実施対象市町村計
 - ・悪性ないし悪性疑い 51 人（手術実施 16 人：乳頭癌 16 人）

県民健康調査「健康診査」の実施状況について

1 平成 27 年度の実施状況

対象者：215,315 人（15 歳以下 25,296 人、16 歳以上 190,019 人）

【平成 27 年 12 月 31 日現在】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診での上乗せ健診 飯館村(5/13～) 田村市(5/25～) 葛尾村(6/6・6/7) 川俣町(6/17～) 南相馬市(7/6～) 広野町(7/7～) 川内村(8/31～) 双葉町(9/5～) 浪江町(9/18～) 楢葉町(9/28～) 富岡町(10/7～) 大熊町(10/20～)										集団健診 1月13日より実施中	
		受診者数 26,207人										医療機関での 個別健診 1月4日より実施中	
	県外	県外指定医療機関での健診 受診者数 698人											
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診 受診者数 6,206人											
	県外	県外指定医療機関での小児健診 受診者数 832人											

【県内に居住している対象者】

16 歳以上に関しては、昨年度と同様に伊達市を除く 12 市町村において市町村が実施する特定健康診査・総合健診で追加項目を上乗せ（以下「上乗せ健診」という。）して同時に実施した。受診者数は、速報値であるが 26,207 人である。

また、上乗せ健診を受診出来なかった方等を対象とした集団健診や医療機関での個別健診を平成 28 年 1 月から実施しているところである。（個別健診協力医療機関数 486 施設。）

15 歳以下の小児に関しては、昨年度と同様に平成 27 年 7 月～12 月までの約 6 ヶ月間で実施した。（協力医療機関数 99 施設。）受診者数は、速報値であるが 6,206 人である。

【県外に避難している対象者】

各都道府県で受診可能な医療機関を充実させるとともに、早期に実施できるよう 7 月中旬より順次案内を発送し 8 月から実施している。受診者数は、途中経過であるが 16 歳以上が 698 人、15 歳以下が 832 人である。

平成23・24・25・26年度県民健康調査「小児健康診査」

平成23・24・25・26年度県民健康調査「小児健康診査」
身長と体重の比較（0歳～6歳未満）

平成23・24・25・26年度県民健康調査「小児健康診査」
文部科学省学校保健統計調査との比較（6歳～15歳）

※年齢階級については受診時年齢を使用した。

平成23・24・25・26年度 県民健康調査「小児健康診査」
身長と体重の比較（0歳～6歳未満）

男子 身長 階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		差 (d)-(a)
	人数(人)	平均(cm)(a)	人数(人)	平均(cm)(b)	人数(人)	平均(cm)(c)	人数(人)	平均(cm)(d)	
10ヵ月～1歳未満	44	73.6	46	73.3	42	72.7	41	72.9	△ 0.7
1歳0ヵ月～	77	74.8	52	74.1	47	74.4	44	75.2	0.4
1歳2ヵ月～	68	76.5	64	77.2	35	77.0	35	77.3	0.8
1歳4ヵ月～	93	78.7	54	79.1	43	78.1	32	79.2	0.5
1歳6ヵ月～	80	81.2	59	80.2	30	79.8	45	80.0	△ 1.2
1歳8ヵ月～	73	82.1	56	82.5	32	82.6	32	81.1	△ 1.0
1歳10ヵ月～2歳未満	83	83.8	52	83.7	44	83.4	21	84.3	0.5
2歳0ヵ月～	281	86.6	181	87.4	177	87.1	111	86.1	△ 0.5
2歳6ヵ月～	269	90.7	196	91.4	170	91.4	105	90.9	0.2
3歳0ヵ月～	281	94.8	193	94.9	179	95.3	148	94.8	0.0
3歳6ヵ月～	257	98.6	170	99.0	176	98.2	150	98.4	△ 0.2
4歳0ヵ月～	258	101.7	203	102.3	172	101.8	162	102.5	0.8
4歳6ヵ月～	280	105.7	193	105.7	177	105.6	176	105.2	△ 0.5
5歳0ヵ月～	286	108.5	182	108.9	175	108.9	187	108.4	△ 0.1
5歳6ヵ月～6歳未満	293	111.4	199	111.9	180	111.9	155	112.0	0.6
合計	2,723		1,900		1,679		1,444		

女子 身長 階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		差 (d)-(a)
	人数(人)	平均(cm)(a)	人数(人)	平均(cm)(b)	人数(人)	平均(cm)(c)	人数(人)	平均(cm)(d)	
10ヵ月～1歳未満	36	71.5	49	72.0	45	72.6	39	71.3	△ 0.2
1歳0ヵ月～	79	73.7	60	73.4	45	74.0	33	73.3	△ 0.4
1歳2ヵ月～	85	75.1	41	75.2	43	75.9	34	74.5	△ 0.6
1歳4ヵ月～	80	77.4	54	77.8	28	78.7	26	77.9	0.5
1歳6ヵ月～	78	78.9	53	78.9	23	79.6	34	79.0	0.1
1歳8ヵ月～	86	81.2	49	81.1	47	80.9	35	81.2	0.0
1歳10ヵ月～2歳未満	98	82.0	52	81.8	51	82.9	38	82.5	0.5
2歳0ヵ月～	263	85.4	178	85.6	148	85.8	107	85.3	△ 0.1
2歳6ヵ月～	288	89.9	199	89.7	166	90.3	125	89.9	0.0
3歳0ヵ月～	255	93.5	208	94.0	164	94.0	134	93.5	0.0
3歳6ヵ月～	246	97.3	181	97.4	155	97.4	143	97.7	0.4
4歳0ヵ月～	275	100.6	175	100.8	197	101.3	163	101.1	0.5
4歳6ヵ月～	253	104.2	192	103.9	175	104.5	161	104.3	0.1
5歳0ヵ月～	286	107.6	197	107.5	168	107.8	174	108.2	0.6
5歳6ヵ月～6歳未満	296	110.3	191	111.1	153	111.0	150	111.4	1.1
合計	2,704		1,879		1,608		1,396		

平成23・24・25・26年度 県民健康調査「小児健康診査」
身長と体重の比較（0歳～6歳未満）

男子 体重 階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		差 (d)-(a)
	人数(人)	平均(kg)(a)	人数(人)	平均(kg)(b)	人数(人)	平均(kg)(c)	人数(人)	平均(kg)(d)	
10ヵ月～1歳未満	44	9.8	46	9.4	42	9.3	41	9.2	△ 0.6
1歳0ヵ月～	77	9.9	52	9.5	47	9.4	44	9.7	△ 0.2
1歳2ヵ月～	68	10.4	64	10.2	35	10.1	35	10.2	△ 0.2
1歳4ヵ月～	93	10.9	54	10.5	44	10.3	32	10.6	△ 0.3
1歳6ヵ月～	80	11.2	59	11.2	30	11.0	45	10.9	△ 0.3
1歳8ヵ月～	73	11.6	56	11.4	32	11.4	32	11.0	△ 0.6
1歳10ヵ月～2歳未満	83	12.0	52	11.6	44	11.6	21	11.9	△ 0.1
2歳0ヵ月～	281	12.7	181	12.8	177	12.5	111	12.1	△ 0.6
2歳6ヵ月～	269	13.8	196	13.5	170	13.6	105	13.3	△ 0.5
3歳0ヵ月～	281	14.8	193	14.6	179	14.6	148	14.5	△ 0.3
3歳6ヵ月～	257	15.9	170	15.7	176	15.7	150	15.5	△ 0.4
4歳0ヵ月～	258	16.8	203	16.6	172	16.5	162	16.6	△ 0.2
4歳6ヵ月～	280	17.9	193	17.8	177	17.7	176	17.5	△ 0.4
5歳0ヵ月～	286	18.7	182	18.5	175	19.0	187	18.7	0.0
5歳6ヵ月～6歳未満	293	20.0	199	19.9	180	20.2	155	19.7	△ 0.3
合計	2,723		1,900		1,680		1,444		

女子 体重 階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		差 (d)-(a)
	人数(人)	平均(kg)(a)	人数(人)	平均(kg)(b)	人数(人)	平均(kg)(c)	人数(人)	平均(kg)(d)	
10ヵ月～1歳未満	36	8.9	49	8.7	45	8.9	39	8.6	△ 0.3
1歳0ヵ月～	79	9.4	60	9.1	45	9.0	33	9.0	△ 0.4
1歳2ヵ月～	85	9.7	41	9.4	43	9.5	34	9.0	△ 0.7
1歳4ヵ月～	80	10.3	54	10.1	28	10.7	26	10.0	△ 0.3
1歳6ヵ月～	79	10.5	53	10.4	23	10.8	34	10.0	△ 0.5
1歳8ヵ月～	86	11.0	49	10.5	47	10.7	35	11.1	0.1
1歳10ヵ月～2歳未満	98	11.2	52	10.8	51	11.0	38	11.2	0.0
2歳0ヵ月～	263	12.1	178	11.9	148	11.9	107	11.8	△ 0.3
2歳6ヵ月～	288	13.2	199	12.9	166	13.0	125	13.0	△ 0.2
3歳0ヵ月～	255	14.1	208	14.1	164	13.8	134	13.8	△ 0.3
3歳6ヵ月～	246	15.2	181	15.0	155	15.0	143	15.0	△ 0.2
4歳0ヵ月～	275	16.4	175	16.0	197	16.2	163	16.0	△ 0.4
4歳6ヵ月～	253	17.2	193	17.0	175	17.1	161	17.1	△ 0.1
5歳0ヵ月～	286	18.4	197	18.2	168	18.5	174	18.4	0.0
5歳6ヵ月～6歳未満	296	19.3	191	19.6	153	19.6	150	19.6	0.3
合計	2,705		1,880		1,608		1,396		

平成23・24・25・26年度県民健康調査「小児健康診査」
文部科学省学校保健統計調査との比較（6歳～15歳）

男子(身長)

年齢	平成22年度 全国平均	平成26年度 全国平均	差	平成22年度 福島県平均	平成26年度 福島県平均	差	平成23年度 「小児健康診査」 平均値(e)	平成24年度 「小児健康診査」 平均値(f)	平成25年度 「小児健康診査」 平均値(g)	平成26年度 「小児健康診査」 平均値(h)	差	
	平均値(a)	平均値(b)	(b)-(a)	平均値(c)	平均値(d)	(d)-(c)	平均値(e)	平均値(f)	平均値(g)	平均値(h)	(H26小児)- (H23小児)	(H26小児)- (H26全国)
6歳	116.7	116.5	△ 0.2	116.6	116.6	0.0	116.6	116.6	117.3	116.8	(h)-(e)	(h)-(b)
7歳	122.5	122.4	△ 0.1	122.3	122.2	△ 0.1	122.8	123.0	122.8	123.4	0.6	1.0
8歳	128.2	128.0	△ 0.2	128.3	128.6	0.3	128.1	128.5	128.3	128.9	0.8	0.9
9歳	133.5	133.6	0.1	133.7	134.1	0.4	133.4	133.9	134.2	133.7	0.3	0.1
10歳	138.8	138.9	0.1	138.8	139.3	0.5	139.3	139.4	139.1	139.8	0.5	0.9
11歳	145.0	145.1	0.1	145.6	146.3	0.7	145.5	145.8	146.0	146.0	0.5	0.9
12歳	152.4	152.5	0.1	153.3	153.3	0.0	153.2	153.3	153.6	153.9	0.7	1.4
13歳	159.7	159.7	0.0	160.1	160.1	0.0	160.1	160.6	160.0	161.0	0.9	1.3
14歳	165.1	165.1	0.0	165.2	165.1	△ 0.1	165.3	165.7	165.6	165.7	0.4	0.6
15歳	168.2	168.3	0.1	168.6	168.5	△ 0.1	168.4	168.2	167.6	168.2	△ 0.2	△ 0.1

男子(体重)

年齢	平成22年度 全国平均	平成26年度 全国平均	差	平成22年度 福島県平均	平成26年度 福島県平均	差	平成23年度 「小児健康診査」 平均値(e)	平成24年度 「小児健康診査」 平均値(f)	平成25年度 「小児健康診査」 平均値(g)	平成26年度 「小児健康診査」 平均値(h)	差	
	平均値(a)	平均値(b)	(b)-(a)	平均値(c)	平均値(d)	(d)-(c)	平均値(e)	平均値(f)	平均値(g)	平均値(h)	(H26小児)- (H23小児)	(H26小児)- (H26全国)
6歳	21.4	21.3	△ 0.1	21.7	21.9	0.2	22.1	21.5	22.1	22.0	△ 0.1	0.7
7歳	24.0	24.0	0.0	24.3	24.5	0.2	24.8	24.8	24.8	25.2	0.4	1.2
8歳	27.2	27.0	△ 0.2	27.5	28.0	0.5	28.4	28.0	28.1	28.1	△ 0.3	1.1
9歳	30.5	30.4	△ 0.1	31.6	32.0	0.4	32.6	32.2	32.0	31.1	△ 1.5	0.7
10歳	34.1	34.0	△ 0.1	34.3	35.5	1.2	36.0	35.9	35.9	35.8	△ 0.2	1.8
11歳	38.4	38.4	0.0	39.7	40.3	0.6	40.5	40.7	40.6	41.0	0.5	2.6
12歳	44.1	44.0	△ 0.1	45.7	46.0	0.3	46.9	45.4	45.8	45.9	△ 1.0	1.9
13歳	49.2	48.8	△ 0.4	50.6	50.8	0.2	51.2	51.5	50.5	50.2	△ 1.0	1.4
14歳	54.4	53.9	△ 0.5	55.1	55.0	△ 0.1	56.1	56.1	56.2	55.3	△ 0.8	1.4
15歳	59.5	58.9	△ 0.6	61.7	60.9	△ 0.8	60.0	58.7	59.3	59.5	△ 0.5	0.6

平成23・24・25・26年度県民健康調査「小児健康診査」
文部科学省学校保健統計調査との比較（6歳～15歳）

年齢	平成22年度 全国平均 平均値(a)	平成26年度 全国平均 平均値(b)	差		平成22年度 福島県平均 平均値(c)	平成26年度 福島県平均 平均値(d)	差		平成23年度 「小児健康診査」 平均値(e)	平成24年度 「小児健康診査」 平均値(f)	平成25年度 「小児健康診査」 平均値(g)	平成26年度 「小児健康診査」 平均値(h)	差	
			(b)-(a)	(b)-(c)			(d)-(c)	(h)-(e)					(h)-(b)	
6歳	115.8	115.5	△ 0.3	△ 0.3	115.7	115.5	△ 0.2	115.6	115.6	115.8	115.2	△ 0.4	△ 0.3	
7歳	121.7	121.5	△ 0.2	△ 0.2	122.0	121.7	△ 0.3	121.5	121.6	121.8	122.0	0.5	0.5	
8歳	127.4	127.4	0.0	0.0	128.1	127.4	△ 0.7	127.5	127.9	127.2	127.6	0.1	0.2	
9歳	133.5	133.4	△ 0.1	△ 0.1	133.5	133.7	0.2	133.6	133.9	133.8	133.7	0.1	0.3	
10歳	140.2	140.1	△ 0.1	△ 0.1	139.7	140.0	0.3	140.4	140.0	140.8	140.8	0.4	0.7	
11歳	146.8	146.8	0.0	0.0	146.9	147.6	0.7	146.9	147.4	147.3	147.6	0.7	0.8	
12歳	151.9	151.8	△ 0.1	△ 0.1	151.6	152.0	0.4	152.2	152.1	151.7	152.0	△ 0.2	0.2	
13歳	155.0	154.8	△ 0.2	△ 0.2	155.1	154.9	△ 0.2	154.6	154.9	155.2	154.1	△ 0.5	△ 0.7	
14歳	156.5	156.4	△ 0.1	△ 0.1	156.2	156.0	△ 0.2	156.4	156.4	156.1	156.4	0.0	0.0	
15歳	157.1	157.0	△ 0.1	△ 0.1	156.7	156.7	0.0	157.0	157.3	157.1	157.1	0.1	0.1	

女子(身長)
(cm)

年齢	平成22年度 全国平均 平均値(a)	平成26年度 全国平均 平均値(b)	差		平成22年度 福島県平均 平均値(c)	平成26年度 福島県平均 平均値(d)	差		平成23年度 「小児健康診査」 平均値(e)	平成24年度 「小児健康診査」 平均値(f)	平成25年度 「小児健康診査」 平均値(g)	平成26年度 「小児健康診査」 平均値(h)	差	
			(b)-(a)	(b)-(c)			(d)-(c)	(h)-(e)					(h)-(b)	
6歳	21.0	20.8	△ 0.2	△ 0.2	21.0	21.3	0.3	21.7	21.1	21.1	21.1	△ 0.6	0.3	
7歳	23.5	23.4	△ 0.1	△ 0.1	24.1	24.3	0.2	24.1	24.0	24.0	24.0	△ 0.1	0.6	
8歳	26.5	26.4	△ 0.1	△ 0.1	27.2	27.0	△ 0.2	27.4	27.2	27.1	26.9	△ 0.5	0.5	
9歳	30.0	29.8	△ 0.2	△ 0.2	30.2	31.2	1.0	31.0	31.3	30.8	31.1	0.1	1.3	
10歳	34.1	34.0	△ 0.1	△ 0.1	34.0	34.1	0.1	35.7	34.8	35.6	35.0	△ 0.7	1.0	
11歳	39.0	39.0	0.0	0.0	40.0	40.6	0.6	40.5	40.7	40.6	40.2	△ 0.3	1.2	
12歳	43.8	43.6	△ 0.2	△ 0.2	45.1	45.2	0.1	45.8	44.0	43.8	44.4	△ 1.4	0.8	
13歳	47.3	47.2	△ 0.1	△ 0.1	48.7	48.9	0.2	48.5	47.4	47.8	46.7	△ 1.8	△ 0.5	
14歳	50.0	50.0	0.0	0.0	51.2	50.6	△ 0.6	51.8	50.7	49.7	49.7	△ 2.1	△ 0.3	
15歳	51.6	51.4	△ 0.2	△ 0.2	53.1	51.6	△ 1.5	53.5	51.7	50.9	52.1	△ 1.4	0.7	

女子(体重)
(kg)

文部科学省 平成22年度・平成26年度「学校保健統計調査」より抜粋

【結果】

◆身長

平成26年度の10ヵ月～6歳未満の男子未就学児童の身長は、平成23年度との比較では一定した傾向を示さなかった。一方、10ヵ月～6歳未満の女子未就学児童においては、平成23年度に比べ1歳4ヵ月未満、および2歳0か月の年区分を除くすべての年齢で身長は大であった。

平成26年度の男子小中学生の身長は、平成23年度に比べすべての年齢で大、同年度の全国平均と比べてもいずれの年齢でも大であった。

一方平成26年度の男子高校生（15歳）の身長は、平成23年度に比べ小、同年度の全国平均と比べても小であった。

平成26年度の女子小学生の身長は、平成23年度に比べ6歳を除くすべての年齢で大であったが、6歳では小であった。同年の全国平均と比べても同様であった。

平成26年度の女子中学生の身長は、平成23年度に比べ12歳、13歳では小、14歳では差がなかった。全国平均との比較では、12歳では大、13歳では小、14歳では差がなかった。

一方平成26年度の女子高校生（15歳）の身長は、平成23年度に比べ大、同年度の全国平均と比べても大であった。

◆体重

平成26年度の10ヵ月～6歳未満の未就学児童の体重は、平成23年度に比べ男女とも概ね小であったが、5歳0ヵ月～5歳6ヵ月未満の男女児、1歳10ヵ月～2歳未満の女児で不変、1歳8ヵ月～1歳10ヵ月未満および5歳6ヵ月～6歳未満の年齢区分の女児では大であった。

平成26年度の男子小中学生の体重は、平成23年度に比べ7歳と11歳を除いた他の年齢区分において小であったが、同年度の全国平均と比べるといずれの年齢においても大であった。

平成26年度の男子高校生（15歳）の体重も平成23年度に比べ小であったが、同年度における全国平均と比べると大であった。

平成26年度の女子小学生の体重は、平成23年度に比べ9歳を除くすべての年齢で小、9歳では大であった。全国平均と比べるといずれの年齢においても大であった。

平成26年度の女子中学生の体重は、平成23年度に比べすべての年齢で小であった。全国平均と比べると12歳では大、13歳、14歳では小であった。

平成26年度の女子高校生（15歳）の体重も平成23年度に比べ小であったが、全国平均と比べ大であった。

【まとめ】

平成26年度の避難指示区域を含む本調査対象地域における児童は、平成23年度と比較し、概ね身長は伸び、体重は減少した。（ただし未就学男子の身長は一定の傾向を示さなかった）。就学児童は全国平均と比べ身長・体重とも概ね大であった。

平成 26 年度 既存健診対象外の県民に対する健康診査の実施状況について

【目 的】

県民健康調査(長期にわたる県民の健康の見守り)の一環として、これまで既存制度による健康診断、健康診査を受診する機会がなかった県民に対して健康診査の機会を設けることにより、生涯にわたり生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療に資することで、健康長寿県を目指す。

【対 象】

健診実施年度に概ね 19 歳から 39 歳の年齢に達する者であって、実施年度の 4 月 1 日時点で福島県内に住民登録をしていた者。但し、別表に掲げる既存制度の健診を受診する機会がある者を除く。

別表

- ・ 労働安全衛生法に基づく健康診断(定期健康診断等)
 - ・ 学校保健安全法第 13 条に基づく児童生徒等の健康診査
 - ・ 県民健康調査として避難区域等[※]の県民を対象として県が行う健康診査(項目を上乗せして行う健康診査) 等
- ※避難区域等とは
田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域、及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点が属する区域)

【健診項目】

身長、体重、BMI、血圧、血液生化学(AST、ALT、 γ -GT、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、HbA1c、空腹時血糖(又は随時血糖))、尿検査(尿糖、尿蛋白)

【方 法】

市町村が実施する集団健診等において実施するとともに、県内の医療・健診機関又は別途設定する方法(集団健診)において実施した。

また、県外に自主避難している対象者の状況を踏まえ、県外の医療機関に協力をいただき健康診査を実施した。

【実 績】

受診者数 14,584 人、うちデータベース登録承諾者数 13,491 人(男性 3,286 人、女性 10,205 人)。

【結 果】

受診者の性別割合は、男性 24%、女性 76%、平成 24 年度以降同様の傾向だった。

血圧(収縮期・拡張期)、AST、ALT、 γ -GT、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、HbA1c、空腹時血糖において、特定健康診査における保健指導判定値及び受診勧奨値の対象となる者の割合は、女性より男性が高く、平成 24・25 年度と同様の結果だった。

健康日本 21 の目標値を上回っていたのも平成 25 年度と同様の結果であり、20 歳以上の男性の肥満者の割合、20 歳代女性のやせの者の割合、30 歳代男性の LDL コレステロール 160mg/dl 以上の者の割合だった。

また、目標値に達していたのは、平成 24・25 年度に引き続き男女共に収縮期血圧及び女性の LDL コレステロールだった。平成 24 年度では、HbA1c の血糖コントロール不良者の割合が男性 35-39 歳 1.2%と目標値 1.0%を上回っていたが、平成 25 年度からは男女共に目標値に達している。

BMI

□ BMIとは

身長と体重から計算されるBody Mass Index（肥満指数）の略です。

BMI=体重（kg）/（身長（m））²で算出されます。

□ 検査の意味

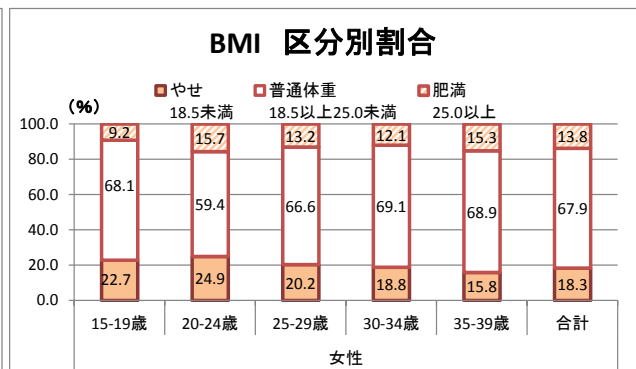
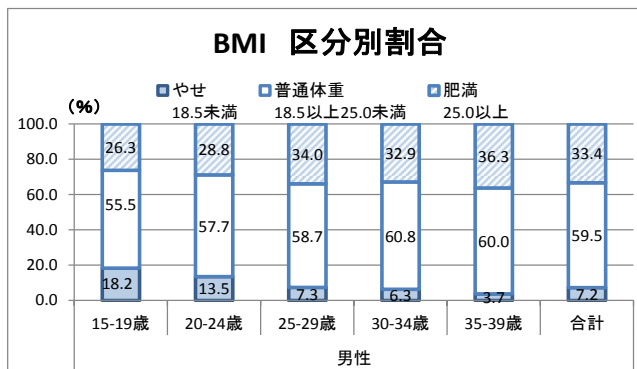
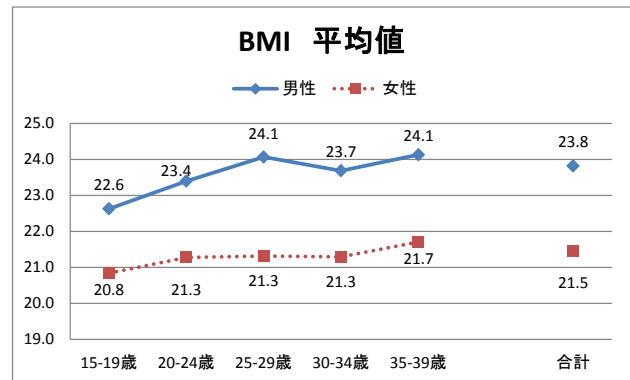
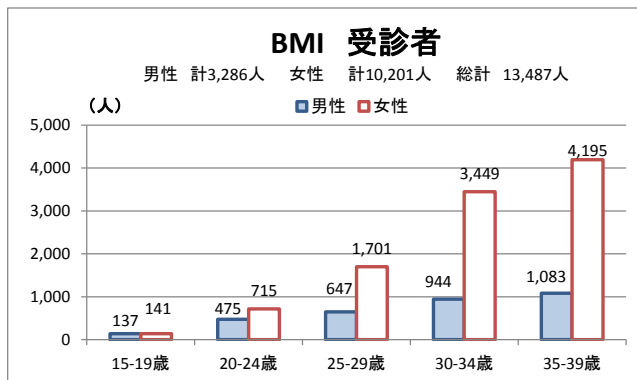
肥満度の判定方法の1つです。

【肥満度の判定基準（日本肥満学会 2000）】

日本肥満学会が決めた判定基準では、統計的にもっとも病気にかかりにくいBMI 22を標準とし、25以上を肥満として、肥満度を4つの段階に分けています。

BMI	
低体重(やせ)	18.5未満
普通体重	18.5以上25未満
肥満(1度)	25以上30未満
肥満(2度)	30以上35未満
肥満(3度)	35以上40未満
肥満(4度)	40以上

□ 結果



※ 各項目の割合は繰上げ表示をしており、合計が100%にならない場合があります。

男性の肥満者（BMI25.0以上）の割合は、20-24歳 28.8%、25-29歳 34.0%、30-34歳 32.9%、35-39歳 36.3%で健康日本21の目標値 28%を大きく上回っていました。

女性のやせ（BMI18.5未満）の割合は15-19歳 22.7%、20-24歳 24.9%、25-29歳 20.2%であり、健康日本21の目標値 20%を上回っていました。

(参考)

平成25年国民健康・栄養調査によるBMI平均値

	男性	女性(妊婦除外)
15-19歳	20.65	20.44
20-29歳	22.65	20.93
30-39歳	23.40	21.39

健康日本21目標値

【目標項目】適正体重を維持している者の増加（肥満（BMI25以上）、やせ（BMI18.5未満）の減少）
 【目標】（平成34年）20歳～60歳代男性の肥満者割合 28.0%
 20歳代女性のやせの者の割合 20.0%

収縮期血圧

□ 収縮期血圧とは

心臓が収縮して血液を押し出した瞬間は、血管に一番強く圧力がかかります。これを収縮期血圧（最高血圧）といいます。

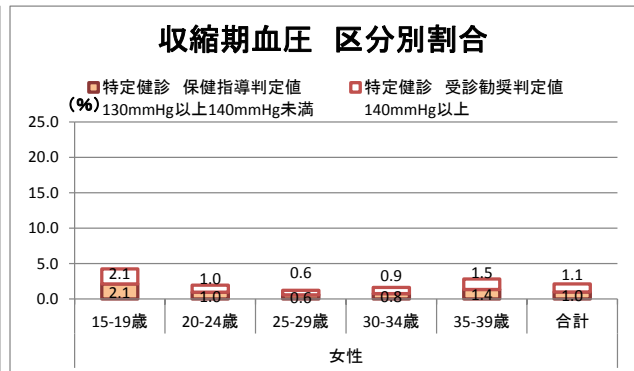
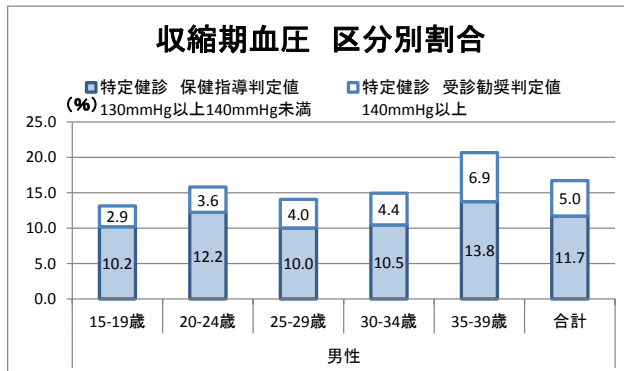
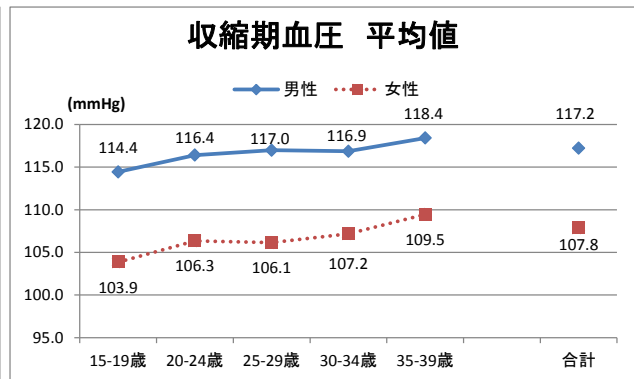
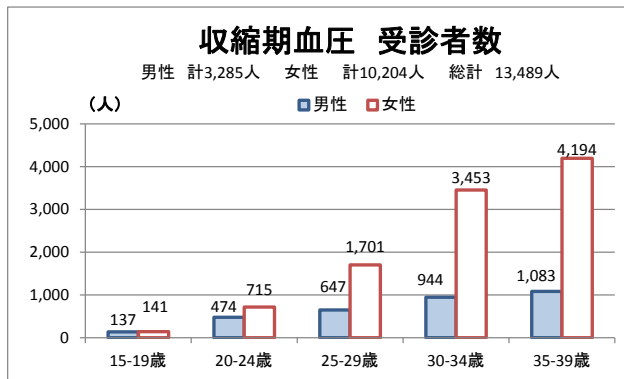
【高血圧治療ガイドライン 2009】（日本高血圧学会）
血圧の分類 成人における血圧値の分類

分類	収縮期血圧	かつ	拡張期血圧
至適血圧	< 120	かつ	< 80
正常血圧	< 130	かつ	< 85
正常高値血圧	130~139	または	85~89
I 度高血圧	140~159	または	90~99
II 度高血圧	160~179	または	100~109
III 度高血圧	≥ 180	または	≥ 110
(孤立性)収縮期高血圧	≥ 140	かつ	< 90

□ 検査の意味

血圧測定は、主に脳卒中や心臓病など、動脈と心臓に関する疾患が発症する危険度を評価するために行います。

□ 結果



収縮期血圧値の平均値は、男女共に年齢区分が上がる毎に上昇しており、これに伴い特定健診判定基準値における保健指導判定値（130mmHg 以上 140 mmHg 未満）及び受診勧奨判定値（140 mmHg 以上）の割合も高くなっていました。

収縮期血圧値が高い者の割合は、女性より男性が高くなっていました。

各年齢区分平均値は、男女共に健康日本 21 の目標値、男性 134 mmHg、女性 129 mmHg に達していませんでした。

(参考)

☞ 平成 25 年国民健康・栄養調査による収縮期血圧平均値 [血圧を下げる薬の使用を含む]

(単位: mmHg)	男性	女性
20-29 歳	119.9	108.2
30-39 歳	121.7	111.6

☞ 健康日本 21 目標値

【目標項目】高血圧の改善 (収縮期血圧の平均値の低下)
【目標】(平成 34 年) 男性 134 mmHg、女性 129 mmHg

拡張期血圧

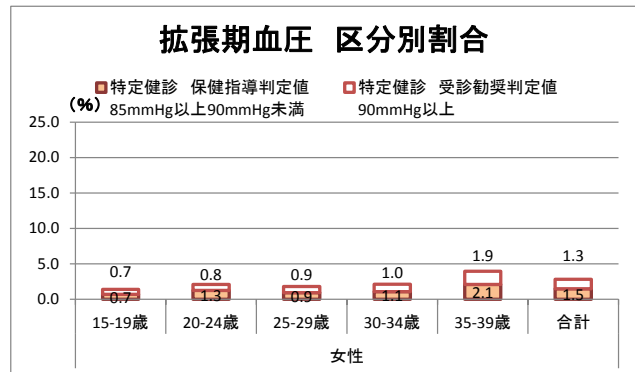
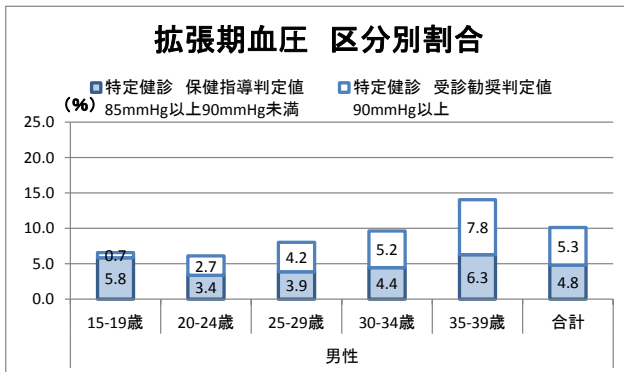
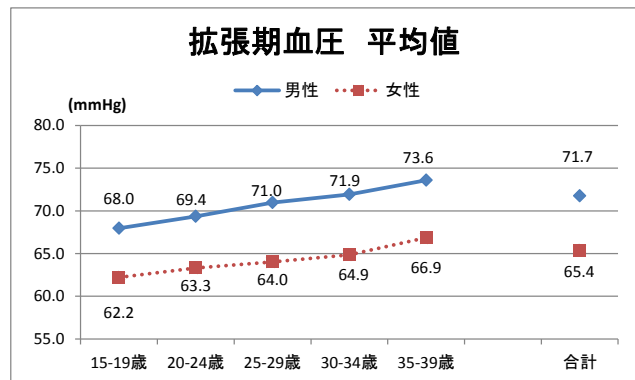
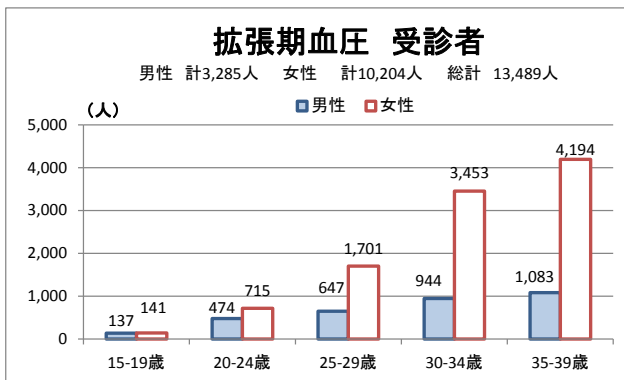
□ 拡張期血圧とは

収縮した後に心臓が広がる（拡張する）時には、圧力が一番低くなります。これを拡張期血圧（最低血圧）といいます。

□ 検査の意味

血圧測定は、主に脳卒中や心臓病など、動脈と心臓に関する疾患が発症する危険度を評価するためにを行います。

□ 結果



拡張期血圧値の平均値は、男女共、年齢区分が上がる毎に上昇していました。これに伴い特定健診判定基準値における保健指導判定値（85 mmHg 以上 90 mmHg 未満）及び受診勧奨判定値（90mmHg 以上）の割合も高くなっていました。

また、拡張期血圧が高い者の割合は、女性より男性が高くなっていました。

(参考)

平成 25 年国民健康・栄養調査による拡張期血圧平均値 [血圧を下げる薬の使用者含む]

(単位: mmHg)	男性	女性
20-29 歳	74.1	66.8
30-39 歳	78.0	70.9

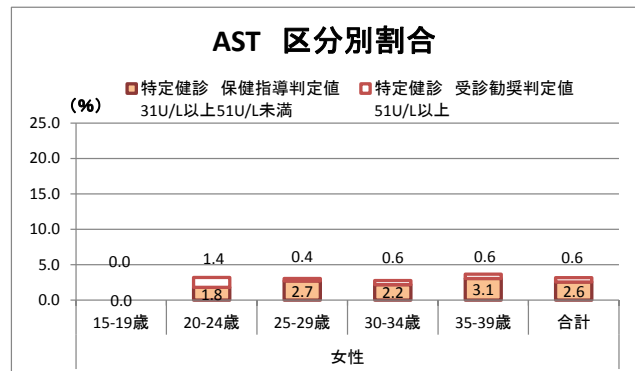
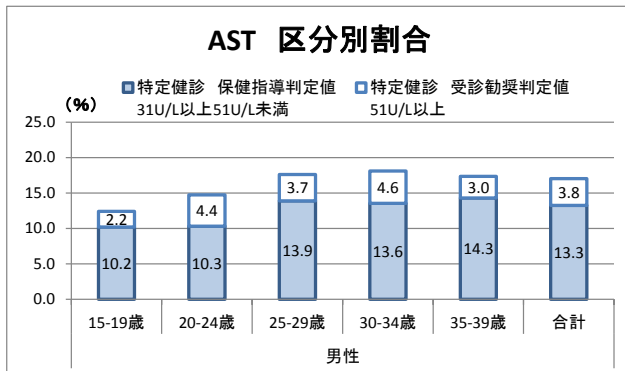
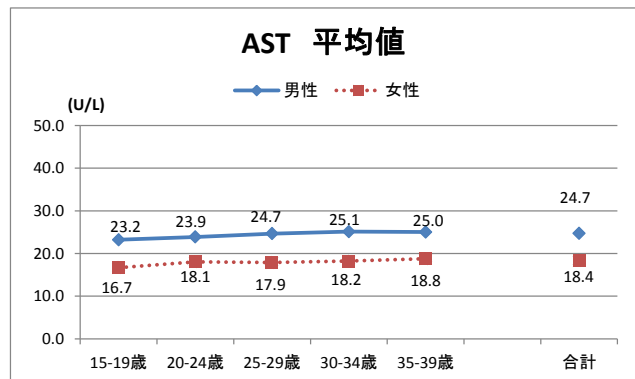
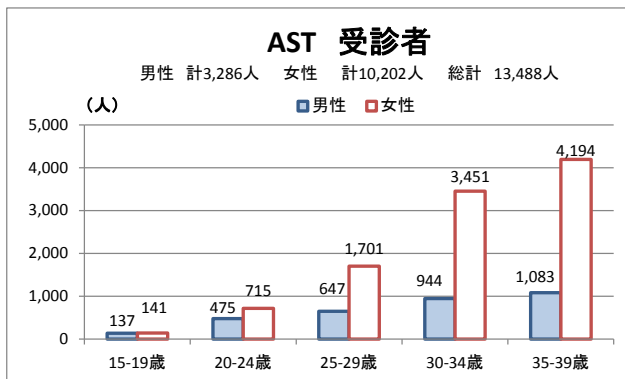
□ ASTとは

AST（アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ）は酵素の一種で、心臓の筋肉や骨格筋、肝臓に多く含まれています。

□ 検査の意味

血液中のASTの量により、主に肝臓や心臓にどの程度の障害が起きているかを知ることができます。

□ 結果



男性は女性より、ASTの特定健診判定基準値における保健指導判定値（31 U/L以上51 U/L未満）及び受診勧奨判定値（51U/L以上）の割合が高くなっていました。

（参考）

平成25年国民健康・栄養調査によるAST平均値

（単位：IU/L）	男性	女性
20-29歳	22.1	16.7
30-39歳	21.4	18.8

ALT

※GPT（グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ）と呼ばれていました。

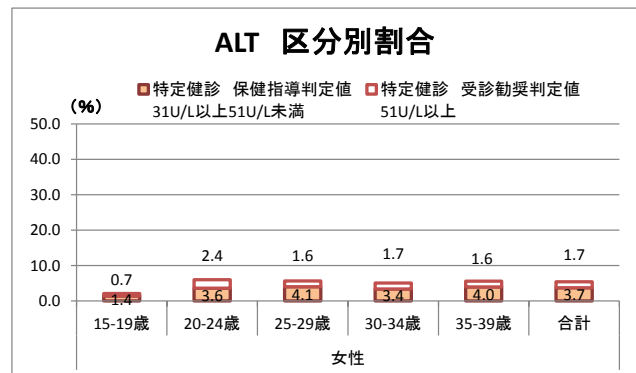
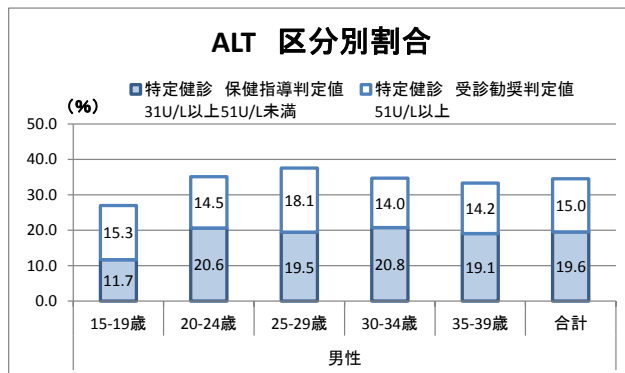
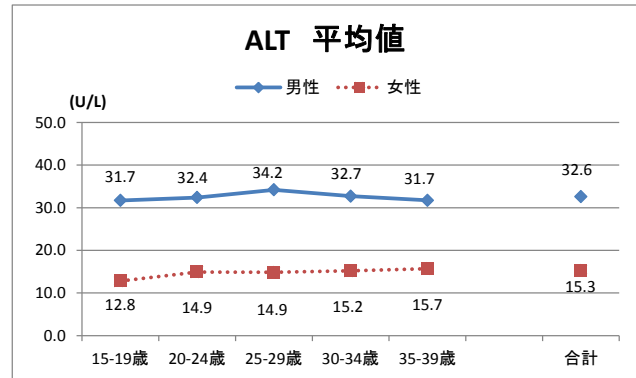
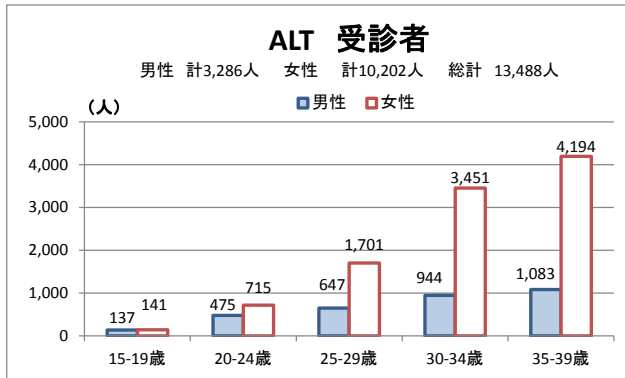
□ ALTとは

ALT（アラニンアミノトランスフェラーゼ）は、細胞内で作られる酵素で、主に肝細胞に存在します。

□ 検査の意味

血液中のASTの量により、肝臓になんらかの異常が起きているかを知ることができます。

□ 結果



男性は女性より、ALTの特定健診判定基準値における保健指導判定値（31 U/L以上 51 U/L未満）及び受診勧奨判定値（51 U/L以上）の割合が高くなっていました。

(参考)

平成25年国民健康・栄養調査によるALT平均値

(単位: IU/L)	男性	女性
20-29歳	27.0	13.2
30-39歳	25.6	16.6

γ-GT

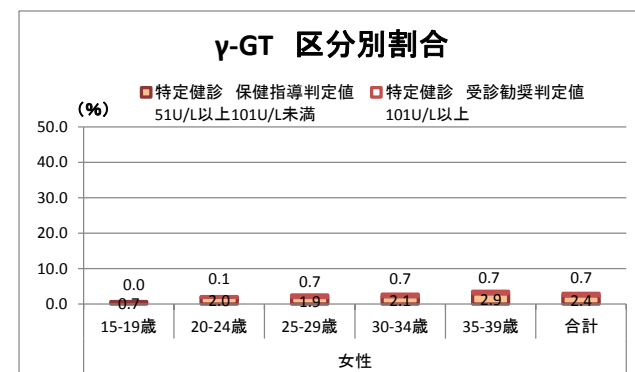
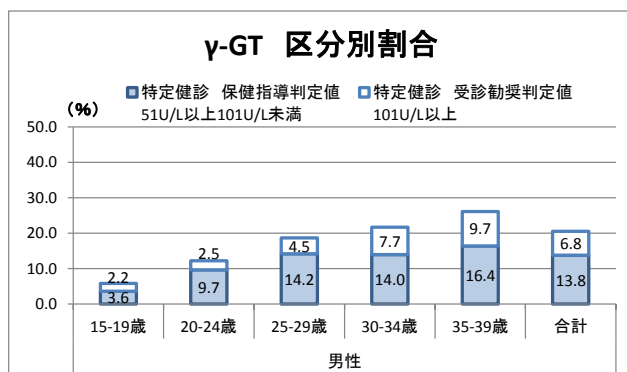
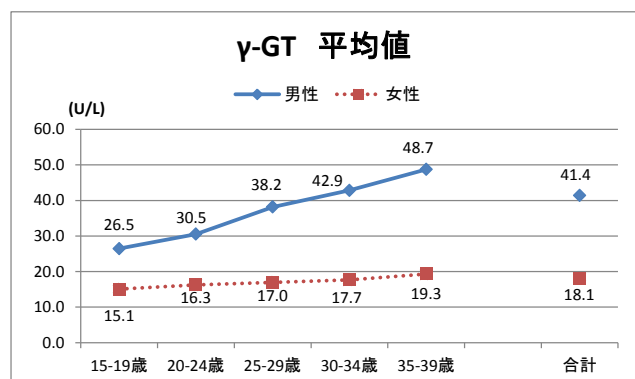
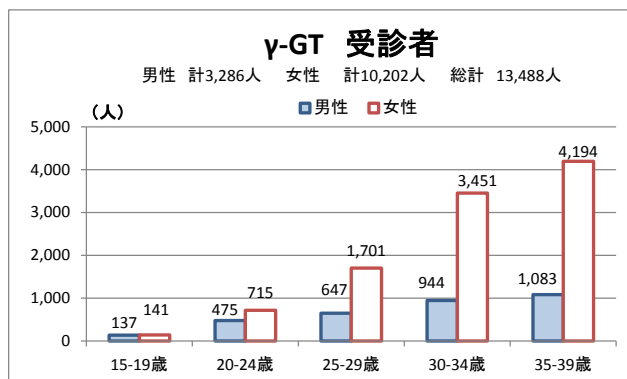
□ γ-GTとは

γ-GT（ガンマ・グルタミール・トランスペプチターゼ）は、腎臓や肝臓に多く存在する酵素です。

□ 検査の意味

この酵素はアルコールに敏感に反応するため、アルコール性の肝機能障害の判定に重要視されています。

□ 結果



γ-GTの男性平均値は、年齢区分が上がる毎に上昇しており、これに伴い特定健診判定基準値における保健指導判定値（51U/L以上101U/L未満）及び受診勧奨判定値（101U/L以上）の割合も高くなっています。

また、γ-GTが高い者の割合は、女性より男性が高くなっていました。

(参考)

平成25年国民健康・栄養調査によるγ-GT平均値

(単位: U/L)	男性	女性
20-29歳	27.3	15.0
30-39歳	36.0	18.6

中性脂肪 (TG)

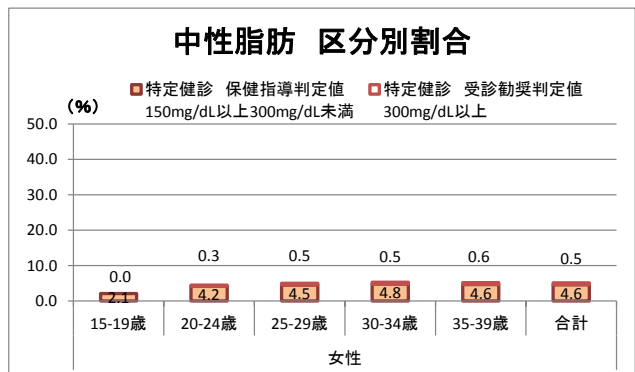
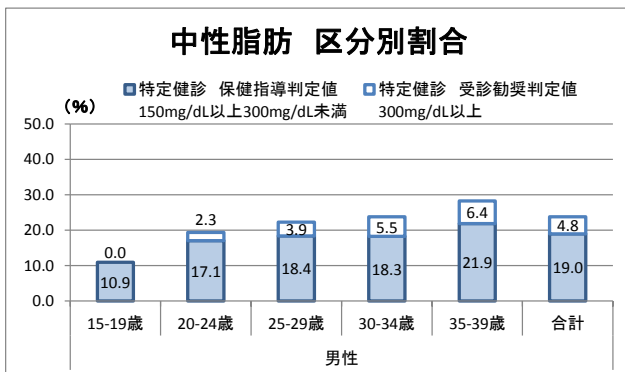
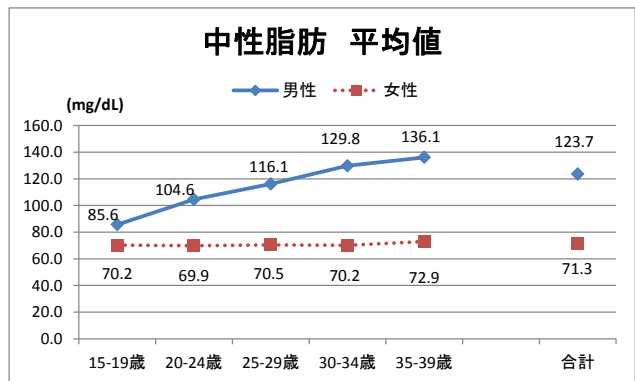
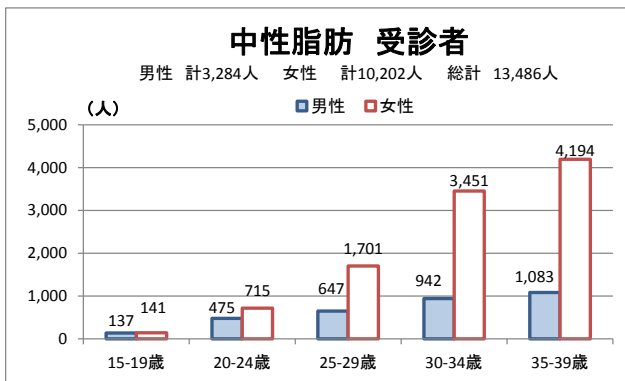
□ 中性脂肪とは

中性脂肪が多いと、HDLコレステロールが減ってLDLコレステロールが増えやすくなりますので、間接的に動脈硬化の原因となります。

□ 検査の意味

直接病気につながるわけではありませんが、動脈硬化をはじめ危険な病気の原因になりかねません。肝臓で増え過ぎれば脂肪肝に、皮下組織で増え過ぎれば肥満につながります。

□ 結果



中性脂肪の男性平均値は、年齢区分が上がる毎に上昇しており、これに伴い特定健診判定基準値における保健指導判定値（150mg/dL以上300mg/dL未満）及び受診勧奨判定値（300mg/dL以上）の割合も高くなっていました。

また、中性脂肪値が高い者の割合は、女性より男性が高くなっていました。

(参考)

☞ 平成25年国民健康・栄養調査による中性脂肪平均値 [コレステロールを下げる薬又は中性脂肪を下げる薬の使用者含む]

(単位: mg/dL)	男性	女性
20-29歳	138	77
30-39歳	175	97

HDL コレステロール

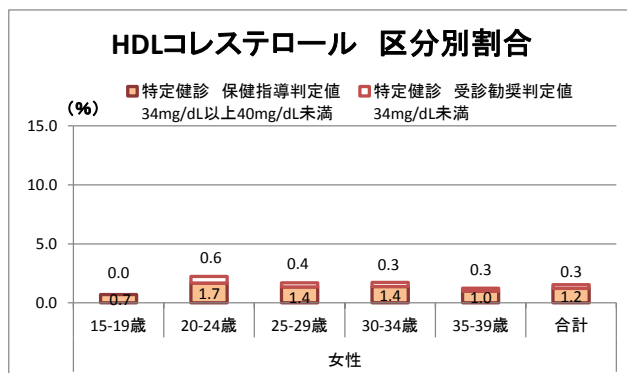
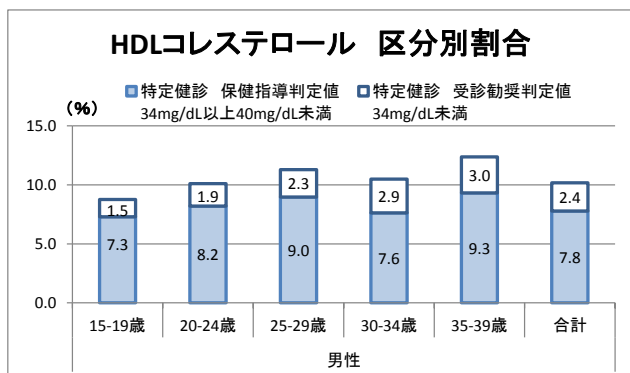
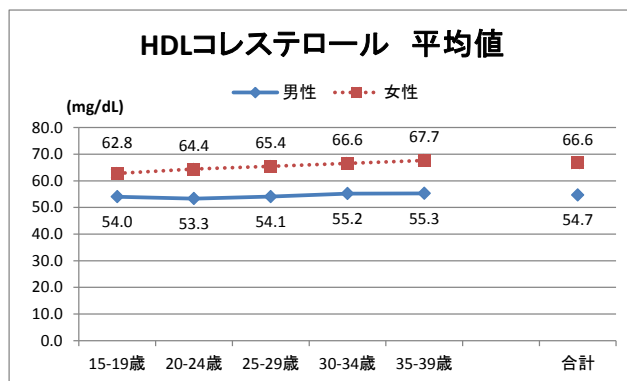
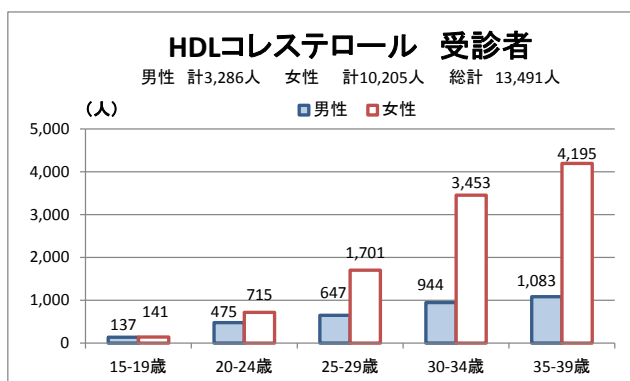
□ HDL コレステロールとは

血液中の余分なコレステロールを肝臓に運ぶ役割をして、血液中のコレステロールが増えるのを防いでいます。「善玉コレステロール」と呼ばれています。

□ 検査の意味

低 HDL コレステロール血症は、動脈硬化性疾患（冠動脈疾患、脳血管疾患、閉塞性動脈硬化症）の危険因子です。

□ 結果



HDL コレステロールの男性平均値は 50 mg/dL 台、女性平均値は 60mg/dL 台でした。また、HDL コレステロール値が低い者の割合は、女性より男性が高くなっていました。

(参考)

平成 25 年国民健康・栄養調査による HDL-C 平均値 [コレステロールを下げる薬又は中性脂肪を下げる薬の使用者含む]

(単位: mg/dL)	男性	女性
20-29 歳	56.2	66.8
30-39 歳	55.2	67.0

LDLコレステロール

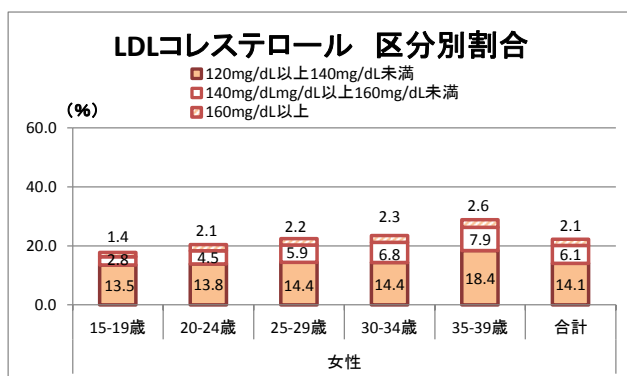
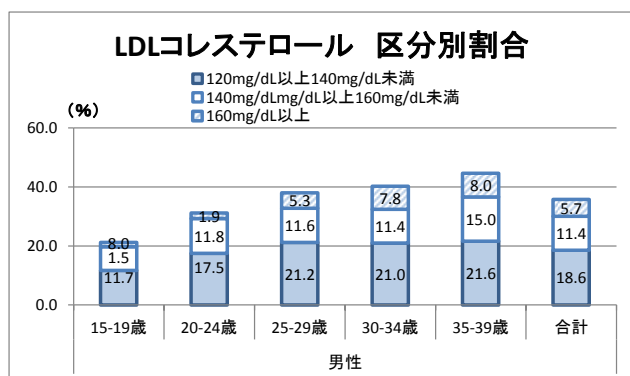
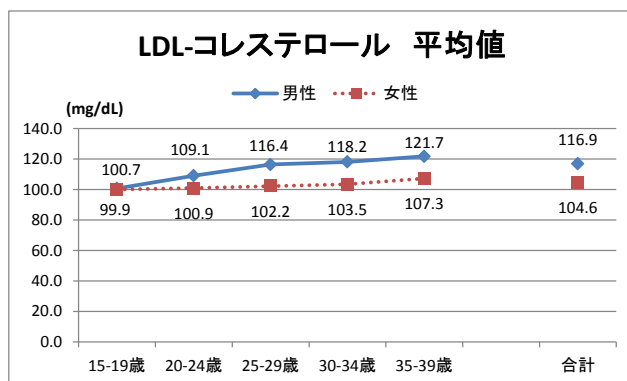
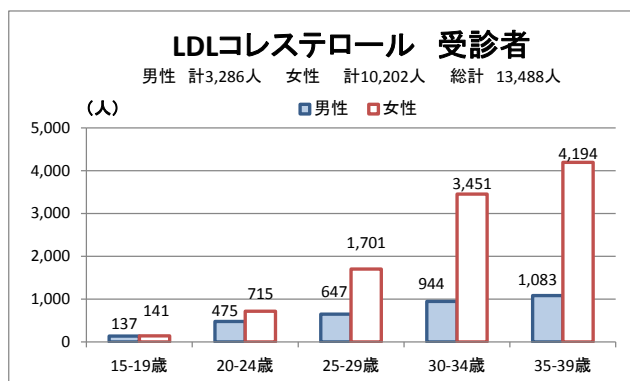
LDLコレステロールとは

コレステロールを細胞に届けている役割をしていますが、増えてしまうと血管を硬化させ動脈硬化を促進します。このため「悪玉コレステロール」と呼ばれています。

検査の意味

血液中のLDL（悪玉）コレステロールが多過ぎると、コレステロールが動脈の壁にくっついて動脈が厚く硬くなります。高LDLコレステロール血症は、冠動脈疾患、脳梗塞の危険因子です。

結果



LDLコレステロールの男性平均値は、年齢区分が上がる毎に上昇しており、これに伴い特定健診判定基準値における保健指導判定値（120mg/dL以上140mg/dL未満）及び受診勧奨判定値（140mg/dL以上）に相当する割合も高くなっていました。

また、LDLコレステロール値が高い者の割合は、女性より男性が高くなっていました。

160mg/dL以上の男性の割合は、30-34歳7.8%、35-39歳8.0%であり、健康日本21の目標値6.2%を上回っていました。女性では各年齢区分で目標値8.8を下回り目標値に達していませんでした。

(参考)

☞ 平成25年国民健康・栄養調査によるLDL-C平均値 [コレステロールを下げる薬又は中性脂肪を下げる薬の使用者含む]

(単位: mg/dL)	男性	女性
20-29歳	110.4	105.1
30-39歳	122.5	108.4

☞ 健康日本21 目標値

【目標項目】脂質異常症の減少

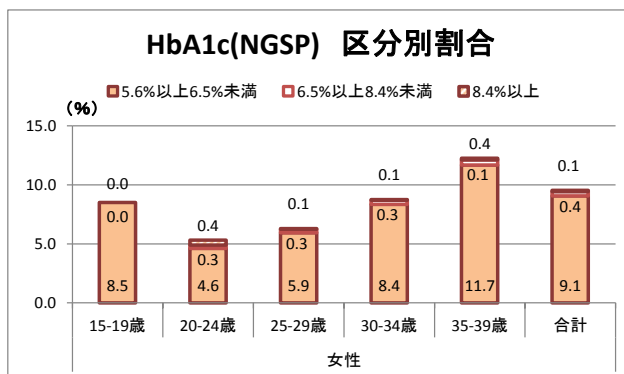
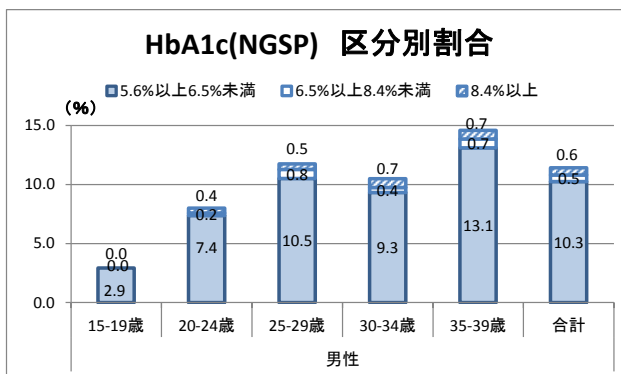
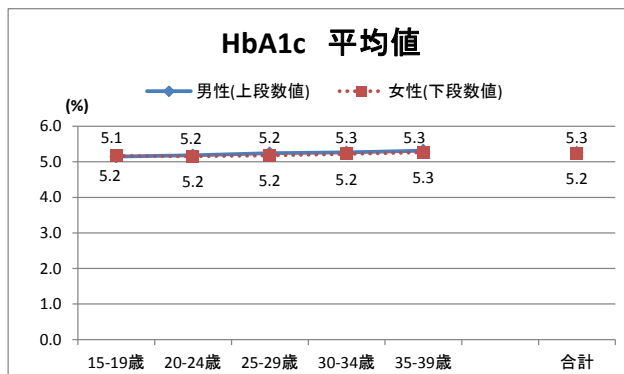
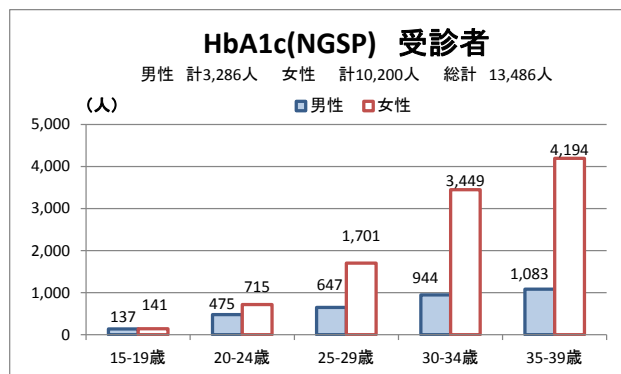
【目標】(平成34年) LDLコレステロール160mg/dL以上者の割合 男性6.2%、女性8.8%

HbA1c (NGSP)

NGSP : National Glycohemoglobin Standardization Program
(全米グリコヘモグロビン標準化プログラム)

- HbA1c (ヘモグロビン・エイワンシー) とは
血液検査をした日から過去1~2ヶ月間の血糖値の状況を反映します。
- 検査の意味
糖尿病の診断にも使われます。

□ 結果



HbA1c (NGSP 値) の平均値に男女差は見られませんでした。HbA1c (NGSP 値) が8.4%以上の者の割合は、男女共に各年齢区分で健康日本21の目標値1.0%を下回り目標値に達しました。

(参考)

☞ 平成25年国民健康・栄養調査によるHbA1c (NGSP) 平均値 [インスリン注射又は血糖を下げる薬の使用者含む]

(単位: %)	男性	女性
20-29歳	5.2	5.2
30-39歳	5.3	5.3

☞ 健康日本21 目標値

【目標項目】血糖コントロール指標におけるコントロール不良者 (HbA1c がJDS 値 8.0% (NGSP 値 8.4%) 以上の者) の割合の減少
【目標】(平成34年) 1.0 %

空腹時血糖

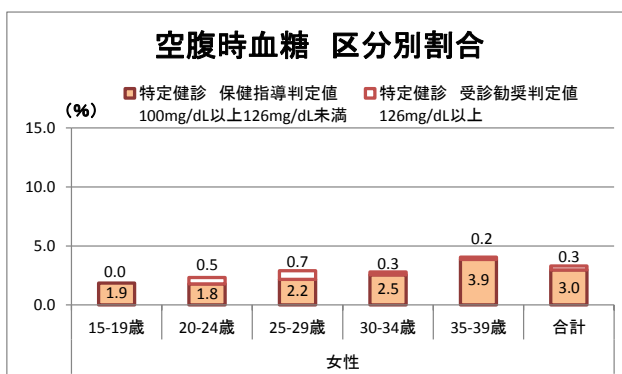
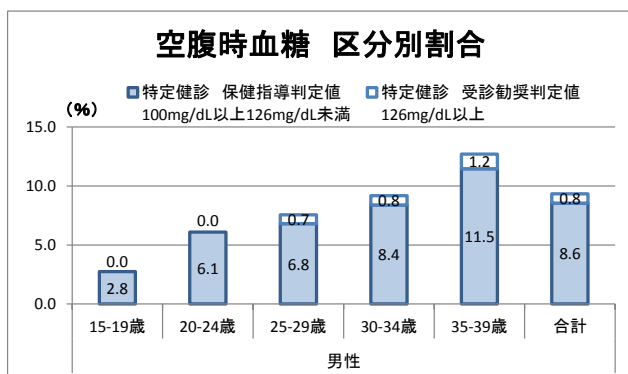
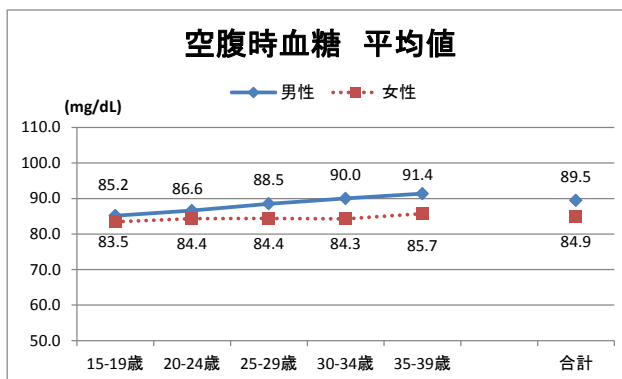
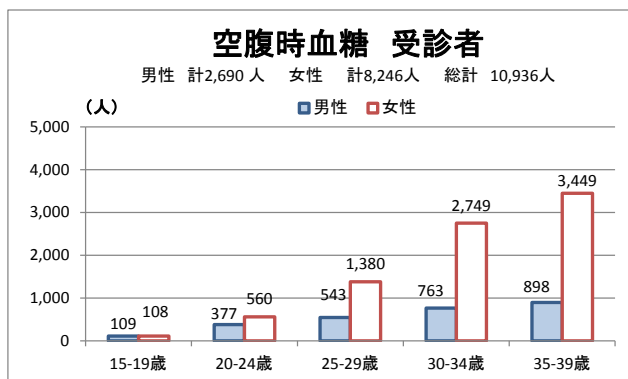
□ 空腹時血糖とは

空腹時（食後 10 時間以上）の血液中のブドウ糖の濃度のことです。

□ 検査の意味

糖尿病の診断に欠かせない検査です。血糖値は食事の影響を受けます。

□ 結果



空腹時血糖の男性平均値は、年齢区分が上がる毎に上昇しており、これに伴い特定健診判定基準値における保健指導判定値（100mg/dL 以上 126mg/dL 未満）及び受診勧奨判定値（126mg/dL 以上）の割合も高くなっていました。

また、空腹時血糖値が高い者の割合は、女性より男性が高くなっていました。

(参考)

平成 25 年国民健康・栄養調査による血糖値の平均値 [インスリン注射又は血糖を下げる薬の使用者含む]

(単位: mg/dL)	男性	女性
20-29 歳	91.0	89.3
30-39 歳	95.2	91.1

尿糖

□ 尿糖とは

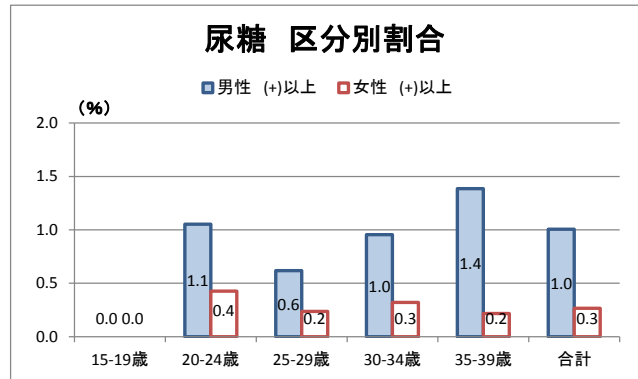
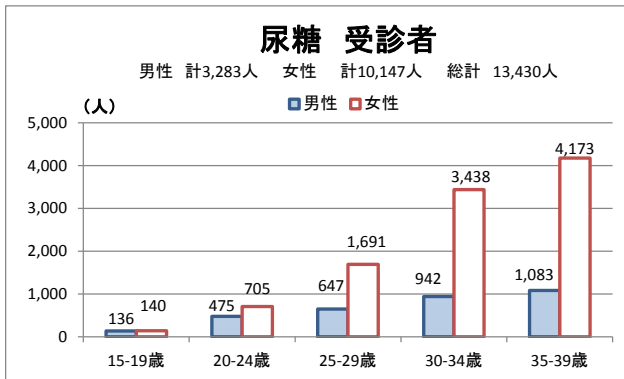
糖質が尿のなかに漏れ出した状態です。

□ 検査の意味

糖尿病の有無を診断するのに有効です。

【判定基準】正常は陰性（-）。ただし、ステロイド剤の服用や妊娠により、一時的に陽性になる場合もあります。

□ 結果



尿糖（+）以上の割合は、各年齢区分で女性より男性が高くなっていました。

尿蛋白

□ 尿蛋白とは

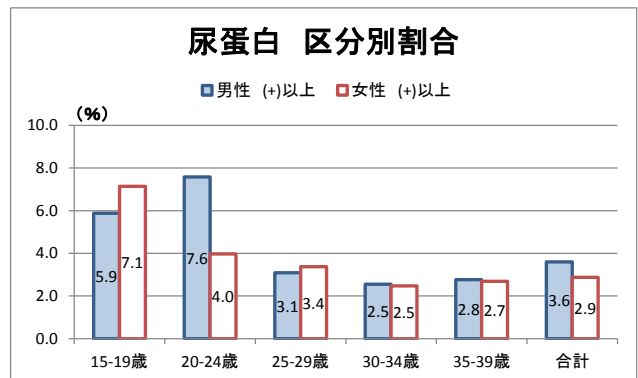
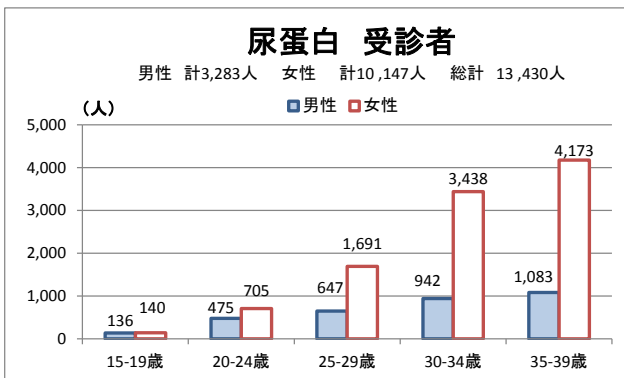
血液中の分子量の小さい蛋白質が尿のなかに漏れ出した状態です。

□ 検査の意味

尿蛋白は、腎臓の状態を調べる検査です。

【判定基準】正常は陰性（-）。ただし、ほんの少量の蛋白質にも反応するため、激しい運動をした時や、暑さ・寒さ、強いストレス、興奮、入浴後や生理の前後などは、腎臓に異常がなくても一時的に陽性になる場合もあります。

□ 結果



尿蛋白（+）以上の割合は、年齢区分が上がる毎に概ね減少していました。

県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の実施状況

1 平成 26 年度調査の支援結果

別紙「平成 26 年度県民健康調査『こころの健康度・生活習慣に関する調査』支援実施報告」参照。

2 平成 27 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」質問紙調査実施計画

(1) 目的

平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間で、住民の精神保健や生活習慣に関するきめ細やかな実態調査を実施した。また、平成 26 年度調査は、回答者の負担軽減等を目指し、また、ケアに直結した質問項目に厳選するため、質問項目を約半数に減じた。さらに、支援現場の意見を反映すべく、13 市町村からの要望項目を追加した。

今年度においても、引き続きこころの健康状態及び生活習慣の推移を見守り、継続して適切な支援を行うため、平成 26 年度調査と同様の質問紙調査を実施する。

また、支援が必要と思われる回答者を対象に電話等による支援を行うとともに、市町村及びふくしま心のケアセンターと連携し、効果的な支援を実施する。

(2) 対象者

避難区域等（平成 23 年度調査票送付時）の住民

208,385 人（平成 28 年 1 月 8 日現在）

〔避難区域等〕

広野町、榑葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村
南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）

(3) 実施計画

ア 調査方法

対象者に対して、調査票（自記式または保護者回答）を郵送。

イ 発送時期

平成 28 年 2 月上旬より順次発送予定。

ウ 調査区分

区分	対象者	備考
一 般	平成 12 年 4 月 1 日以前に生まれた方	自記式
中 学 生	平成 12 年 4 月 2 日から 平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた方	保護者回答 (一部自記式)
小 学 生	平成 15 年 4 月 2 日から 平成 21 年 4 月 1 日までに生まれた方	保護者回答

4歳～6歳	平成21年4月2日から 平成24年4月1日までに生まれた方	保護者回答
0歳～3歳	平成24年4月2日から 平成27年4月1日までに生まれた方	保護者回答

エ 主な調査項目

- (ア) 現在のところとからだの健康状態について
- (イ) 生活習慣（食生活、睡眠、喫煙、運動など）について
- (ウ) 現在の生活状況について（「一般」）

(4) 調査後の対応

- ア 回答内容を、医科大学の医師等が評価・分析する。こころの健康及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方には、臨床心理士や保健師・看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話支援等を行う。
- イ 電話支援等により医師の診察が必要と判断された場合は、県内医療機関の「登録医師（『3 登録医師』参照）」を紹介する。また、継続的な支援が必要な場合には、避難元の市町村やふくしま心のケアセンターと連携し、必要な支援を検討・提供する。
- ウ 登録医師の判断により、さらに専門家によるこころのケアが必要と判断された場合には、医科大学等（通常の診療行為）で対応する。具体的には、小児においては「こどもの心診療センター」、それ以外は「心身医療科」で対応する。
- エ こころの健康支援チームが放射線に関する相談を受け、当該専門医師等の対応が必要と判断された場合には、医科大学の教員による「放射線健康相談チーム」において対応する。また、放射線の影響による健康相談等のうち、直接診察が必要な場合には、専門医師等による対応を検討する。

3 登録医師

(1) 定義

こころの健康度・生活習慣に関する調査等の結果、精神科・小児科等の医師による診察が必要だと判断された場合に、その診療にあたる医師。

(2) 登録に必要な条件

医科大学が主催、または認定する講習会等を受講していること

(3) 登録数（平成27年12月31日現在）

140名（83医療機関）

4 個人結果通知

平成27年度調査票を平成28年2月に発送し、同年8月31日までに回答があった方に対し、主要な調査項目の結果と、そのアドバイスを記載した個別の結果通知書を送付する。

平成26年度 県民健康調査
「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
支援実施報告

1. 目的

平成 23 年 3 月 11 日発生 of 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所爆発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷(トラウマ)を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、平成 23 年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っている。

平成 23 年度から平成 25 年度の調査結果を踏まえ、引き続きこころの健康状態及び生活習慣の推移を見守り、継続して支援を行う必要があることから、平成 26 年度も質問紙による調査を実施した。

今年度から、調査後、いくつかの回答項目に対する判定とアドバイスを盛り込んだ個人結果通知書を作成し、回答者に送付した。また、こころの健康度及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方々に、状況改善及び保健・医療機関につなげることを目的として、臨床心理士、保健師、看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話相談等を実施した。

2. 対象

国が指定した避難区域等の住民及び生年月日が平成 26 年 4 月 1 日以前の者で、平成 26 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者を対象とした。なお、調査票は以下の区分に分けられる。

0歳～3歳用 :平成 23 年 4 月 2 日から平成 26 年 4 月 1 日までに生まれた者

4歳～6歳用 :平成 20 年 4 月 2 日から平成 23 年 4 月 1 日までに生まれた者

小学生用 :平成 14 年 4 月 2 日から平成 20 年 4 月 1 日までに生まれた者

中学生用 :平成 11 年 4 月 2 日から平成 14 年 4 月 1 日までに生まれた者

一般用 :平成 11 年 4 月 1 日以前に生まれた者

以下、「子ども」は中学生以下の調査対象者、「一般」は一般調査対象者を指す。

3. 方法

1) 個人結果通知

平成 26 年度調査票を平成 27 年 2 月に発送し、同年 8 月 31 日までに回答があった者に対し、同年 11 月、個別に結果通知書(巻末別紙 1、一般用様式参照)を送付した。また、結果に関する相談・問い合わせ先として「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤルを案内するとともに、放射線医学県民健康管理センターホームページに「結果通知書についての Q&A」を掲載した。

結果を通知した調査票区分別の項目内容は以下のとおりである。

調査票区分	通知項目
0歳～3歳	身長、体重、食習慣(1歳以上)、運動習慣(2歳以上)、就寝時刻
4歳～6歳	身長、体重、食習慣、運動習慣、就寝時刻、こころと行動のストレス反応(SDQ ^{*1})
小学生	身長、体重、食習慣、運動習慣、就寝時刻、こころと行動のストレス反応(SDQ)
中学生	身長、体重、食習慣、運動習慣、睡眠、こころと行動のストレス反応(SDQ)
一般	肥満度(BMI ^{*2})、食習慣、運動習慣、睡眠、こころのストレス反応(K6 ^{*3})

*¹SDQ:子どもの情緒と行動に関する尺度

*²BMI:Body Mass Index(調査票内の身長及び体重から算出)

*³K6:気分の落ち込みや不安など、全般的な精神健康状態に関する尺度

なお、子どもの結果通知書には参考として、調査票記入日の月齢の身長体重標準値を記載した。

2) 選定基準による支援

平成 26 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者の中から、「こころの健康支援チーム」が質問紙調査への回答内容について、下記の基準により判断し、支援対象を選定した。支援は、緊急性の高さや状態の重症度に応じ、電話または文書による支援を行った。

なお、本報告では、平成 27 年 10 月 31 日までに調査回答があり、同年 12 月 31 日までに支援を実施したものを集計対象とした。

選定基準は、a)尺度の得点、b)尺度以外の項目によって定めた。

ア) 電話による支援(以下、電話支援)

a) 尺度の得点による支援基準

子ども:SDQ が 20 点以上に該当する者。

一般:K6 が 15 点以上に該当する者。

b) 尺度以外の項目による支援基準

子ども:自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の高い者。

一般:生活習慣について以下に該当した者。

高血圧(HT)または糖尿病(DM)の既往歴があり、通院をしていないと回答した者の中で、BMI が 27.5kg/m^2 以上の者(HT/DM・BMI)、あるいは飲酒量が週積算 21 合(一日飲酒量(合)×日数(週))以上の者(HT/DM・多量飲酒)。精神疾患の既往歴があり、通院をしていないと回答した者。

自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の高い者。

イ) 文書による支援(以下、文書支援)

a) 尺度の得点による支援基準

子ども:SDQ が 16 点以上(先行研究における基準値¹⁾)で、前述の電話による支援の基準に該当しない者。

一般:K6 が 10 点以上(先行研究における基準値(気分・不安障害相当)²⁾)で、前述の電話による支援の基準に該当しない者。

<参考文献>

1)Matsuishi T, et al.(2008) Scale properties of the Japanese version of the Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ): a study of infant and school children in community samples. Brain and Development. 30: 410-415.

2)全国調査におけるK6 調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金(統計情報高度利用総合研究事業)国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究. 分担研究書

b) 尺度以外の項目による支援基準

子ども:自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の低い者。

一般:必要な医療受診をしていない者、及び睡眠の質に満足しておらず日中に気分が滅入ったり活動量が低下したりする者のうち、前述の支援基準に該当しない者。

精神疾患の既往があり、通院状況の回答がない者。

CAGE(アルコール依存症に関する尺度)が 4 点満点中 2 点以上の者。

自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の低い者。

文書支援対象者には、相談窓口として「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の専用ダイヤルを案内する文書とともに、CAGE 基準のみに該当する者を除き、電話支援希望の有無を確認する返信用ハガキを同封して送付した。返信されたハガキに電話支援希望の記載がある者、もしくは「こころの健康支援チーム」が返信内容から支援が必要と判断した者に電話支援を行った。

3) 支援の対応と結果の分類

電話支援では対象者の健康状態に関して聞き取りを行うとともに、対象者が現在抱える問題を確認した。

また、電話支援の対応に応じて「傾聴」「受診勧奨」「生活習慣指導」「心理教育」「電話での情報提供(対象者が必要とする社会資源について情報提供を行ったもの)」「その他」に分類した。

支援結果は、下記①のように「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」の4つに分類した。

支援後の対応については、下記②のように「継続支援」「外部連絡」「文書送付」「他部門の対応」に分類した。

①支援結果の分類

経過観察1	体調や環境面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合など、ご自身で対処がなされていると判断できるもの。
経過観察2	体調不良や震災時の影響を強く受けている者、社会・学校不適応や孤立されている者など、やや心配が残ると判断されるもの。
経過観察3	何らかの理由で状況確認が困難だったもの。
支援希望なし	支援は必要ないと、対象者から申し出があったもの。

②支援後の対応

継続支援	電話での継続支援が必要と判断されたもの。
外部連絡	対象者の状況から、市町村、ふくしま心のケアセンター等との情報共有による連携が必要と判断されたもの。
文書送付	こころのケア登録医師を受診するための紹介状や一覧表、県外での医療機関や相談機関の情報、かかりつけの医師に宛てた情報提供書等を支援対象者へ送付したもの。
他部門の対応	基本調査に関する質問や甲状腺検査についてなど、放射線医学県民健康管理センターの他の部門から回答することが望ましいと判断されたもの。

4. 結果

1) 個人結果通知

子どもの結果通知は、0歳～3歳が 1,069 人、4歳～6歳が 1,470 人、小学生が 2,871 人、中学生が 1,367 人の合計 6,777 人に送付した。また、一般の結果通知送付者は 43,482 人で、子どもと合計すると 50,259 人であった。

2) 選定基準による支援の支援対象者数及び支援実施件数

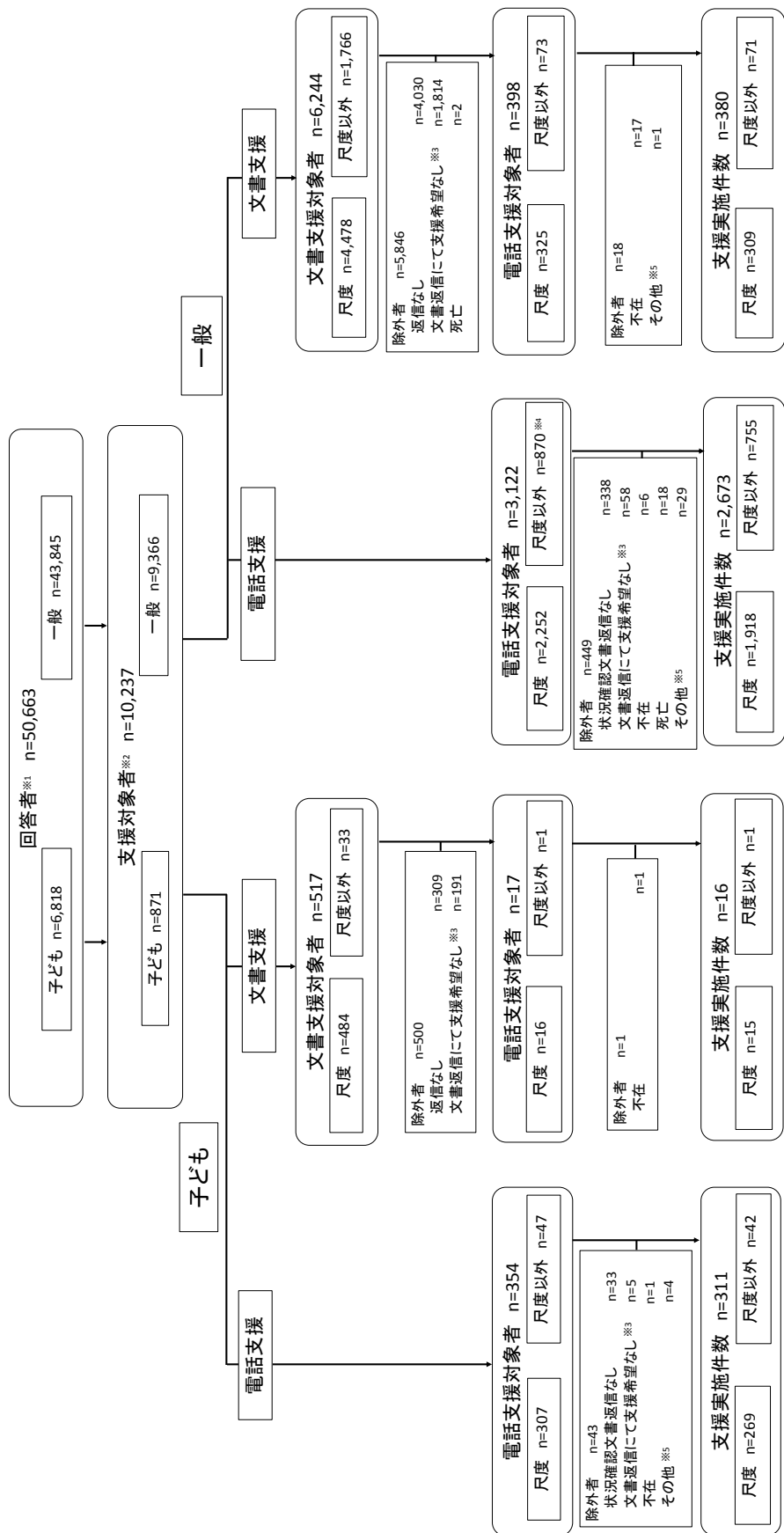
子どもの支援対象者は 871 人であり、その内訳は、電話支援対象者 354 人、文書支援対象者 517 人であった。文書支援対象者からの返信内容により、電話支援が必要と判断された者は 17 人であった。

一般の支援対象者は 9,366 人であり、その内訳は、電話支援対象者 3,122 人、文書支援対象者 6,244 人で、文書支援の結果、電話支援が必要と判断された者は 398 人であった。それに加え、文書支援の CAGE の基準のみに該当した者は 1,882 人であった。

死亡が確認された場合を除き、不在等で電話支援が実施できなかった者、及び CAGE の基準のみに該当した者については、当センターが作成した「こころの健康度と生活習慣サポートブック」を送付して情報提供を行った。

図 1 に、支援対象者数及び支援実施件数の詳細を示す。なお、CAGE の基準のみに該当した者は図に含まない。

また、結果の表中の割合(%)は、端数処理を行っているため、合計が 100%にならない場合がある。



※1 平成27年10月31日までの回答者を集計対象とした。
 ※2 平成27年12月31日までの支援対象者を集計対象とした。
 ※3 文書返信にて支援希望なし;はがき返信時に支援希望なしに○を付けた者は除外者とした。
 ※4 内、399人が生活習慣による電話支援の対象者
 ※5 電話支援の提供時間内で対応が困難だった者等

図 1 支援対象者数及び支援実施件数(尺度は尺度による支援、尺度以外は尺度以外の項目による支援を指す)

3) 子どもへの電話支援

SDQ の適用年齢は 4 歳以上のため、0 歳～3 歳については SDQ を用いず、自由記載欄の記載内容により支援を行った。また、文書支援対象者のうち電話支援を実施できた者は 0 歳～3 歳が 0 人、4 歳～6 歳が 4 人、小学生が 8 人、中学生が 4 人と少数であったため、以下の支援結果については電話支援対象者と、文書支援対象者のうち電話支援の対象となった者のみを、合わせて集計した。

(1) 支援対象者の基本属性

子どもの支援対象者のうち、電話支援対象者が 354 人、文書支援対象者のうち電話支援の対象となった者が 17 人の計 371 人であった。そのうち、男児・男子が 206 人 (55.5%)、女児・女子が 165 人 (44.5%)、県内居住者が 265 人 (71.4%)、県外居住者が 106 人 (28.6%) であった。また、支援対象者のうち、電話支援を実施できた者は 327 人 (88.1%) であった。電話支援を実施できた者の居住地は、県内が 232 人 (70.9%)、県外が 95 人 (29.1%) であった (表 1)。

表 1 基本属性(性別・居住地)

	全体	0歳～3歳	4歳～6歳	小学生	中学生
支援対象者	371	3	86	183	99
男児・男子	206 (55.5%)	1 (33.3%)	42 (48.8%)	106 (57.9%)	57 (57.6%)
女児・女子	165 (44.5%)	2 (66.7%)	44 (51.2%)	77 (42.1%)	42 (42.4%)
県内	265 (71.4%)	1 (33.3%)	69 (80.2%)	121 (66.1%)	74 (74.7%)
県外	106 (28.6%)	2 (66.7%)	17 (19.8%)	62 (33.9%)	25 (25.3%)
支援実施件数	327	3	75	164	85
県内	232 (70.9%)	1 (33.3%)	60 (80.0%)	108 (65.9%)	63 (74.1%)
県外	95 (29.1%)	2 (66.7%)	15 (20.0%)	56 (34.1%)	22 (25.9%)

(2) 支援対象者の状況

電話支援では、対象者からの訴えに基づき、現在問題になっていることについて聞き取りを行った。その結果、子どもは「学校に関すること」が最も多く認められ、次いで「身体面の健康」「怒り・イライラ・暴力」が多く認められた。また、保護者の問題としては「家族関係」の問題が最も多く認められ、次いで「学校に関すること」「身体面の健康」が多く認められた。

さらに、支援対象者が直面している状況を、より包括的に把握することを目的に、児童精神医学を専門とする医師の助言を受けて作成した質問項目をもとに、聞き取りを行った。その結果、電話支援を実施できた対象者の状況について、子ども全体で多く挙げた項目は「反抗」が43人(22.9%)、「イライラ」が57人(29.5%)、「養育者の子育て不安」が76人(30.2%)であった。また、「通院している病院の有無」は、精神科や心療内科等へ通院している者が24人(9.5%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が30人(11.9%)、通院をしていない者が198人(78.6%)であった(表2)。

表2 電話支援を実施できた対象者の状況

	全体 327	0歳～3歳 3	4歳～6歳 75	小学生 164	中学生 85
支援実施件数					
睡眠の問題					
あり	26 (9.0%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	13 (8.9%)	12 (17.4%)
なし	262 (91.0%)	3 (100.0%)	69 (98.6%)	133 (91.1%)	57 (82.6%)
不明	39 -	0 -	5 -	18 -	16 -
食欲の問題					
あり	21 (7.5%)	2 (66.7%)	3 (4.4%)	9 (6.3%)	7 (10.6%)
なし	260 (92.5%)	1 (33.3%)	65 (95.6%)	135 (93.8%)	59 (89.4%)
不明	46 -	0 -	7 -	20 -	19 -
友人関係の問題					
あり	45 (17.2%)	0 (0.0%)	4 (6.3%)	23 (17.3%)	18 (28.1%)
なし	217 (82.8%)	1 (100.0%)	60 (93.8%)	110 (82.7%)	46 (71.9%)
不明	65 -	2 -	11 -	31 -	21 -
元気があるか					
あり	219 (89.4%)	3 (100.0%)	55 (84.6%)	114 (92.7%)	47 (87.0%)
なし	26 (10.6%)	0 (0.0%)	10 (15.4%)	9 (7.3%)	7 (13.0%)
不明	82 -	0 -	10 -	41 -	31 -
身体(化)症状					
あり	28 (13.7%)	1 (50.0%)	8 (14.5%)	15 (14.9%)	4 (8.5%)
なし	177 (86.3%)	1 (50.0%)	47 (85.5%)	86 (85.1%)	43 (91.5%)
不明	122 -	1 -	20 -	63 -	38 -
反抗					
あり	43 (22.9%)	1 (50.0%)	7 (14.0%)	24 (26.1%)	11 (25.0%)
なし	145 (77.1%)	1 (50.0%)	43 (86.0%)	68 (73.9%)	33 (75.0%)
不明	139 -	1 -	25 -	72 -	41 -
イライラ					
あり	57 (29.5%)	2 (100.0%)	6 (12.5%)	33 (34.0%)	16 (34.8%)
なし	136 (70.5%)	0 (0.0%)	42 (87.5%)	64 (66.0%)	30 (65.2%)
不明	134 -	1 -	27 -	67 -	39 -

表 2(続き) 電話支援を実施できた対象者の状況

	全体 327	0歳～3歳 3	4歳～6歳 75	小学生 164	中学生 85
支援実施件数					
甘え					
あり	19 (12.9%)	2 (100.0%)	6 (14.0%)	9 (13.0%)	2 (6.1%)
なし	128 (87.1%)	0 (0.0%)	37 (86.0%)	60 (87.0%)	31 (93.9%)
不明	180 -	1 -	32 -	95 -	52 -
退屈					
あり	2 (1.5%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)
なし	133 (98.5%)	1 (50.0%)	41 (100.0%)	60 (98.4%)	31 (100.0%)
不明	192 -	1 -	34 -	103 -	54 -
発達の問題					
あり	42 (17.0%)	0 (0.0%)	6 (10.0%)	25 (19.5%)	11 (19.0%)
なし	205 (83.0%)	1 (100.0%)	54 (90.0%)	103 (80.5%)	47 (81.0%)
不明	80 -	2 -	15 -	36 -	27 -
情緒・行動の問題					
あり	38 (18.7%)	1 (50.0%)	6 (11.1%)	26 (25.5%)	5 (11.1%)
なし	165 (81.3%)	1 (50.0%)	48 (88.9%)	76 (74.5%)	40 (88.9%)
不明	124 -	1 -	21 -	62 -	40 -
精神疾患					
あり	4 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	2 (3.7%)
なし	231 (98.3%)	1 (100.0%)	60 (100.0%)	118 (98.3%)	52 (96.3%)
不明	92 -	2 -	15 -	44 -	31 -
被災に関連したトラウマ反応					
あり	22 (11.2%)	0 (0.0%)	3 (5.8%)	15 (16.0%)	4 (8.3%)
なし	174 (88.8%)	2 (100.0%)	49 (94.2%)	79 (84.0%)	44 (91.7%)
不明	131 -	1 -	23 -	70 -	37 -
学校(園)への適応状況					
適応	239 (85.4%)	3 (100.0%)	64 (97.0%)	121 (85.8%)	51 (72.9%)
不適応	41 (14.6%)	0 (0.0%)	2 (3.0%)	20 (14.2%)	19 (27.1%)
不明	47 -	0 -	9 -	23 -	15 -
家庭・環境の問題					
あり	35 (14.3%)	1 (50.0%)	6 (10.2%)	17 (13.2%)	11 (20.4%)
なし	209 (85.7%)	1 (50.0%)	53 (89.8%)	112 (86.8%)	43 (79.6%)
不明	83 -	1 -	16 -	35 -	31 -
養育者の子育て不安					
あり	76 (30.2%)	2 (100.0%)	16 (25.0%)	39 (30.7%)	19 (32.2%)
なし	176 (69.8%)	0 (0.0%)	48 (75.0%)	88 (69.3%)	40 (67.8%)
不明	75 -	1 -	11 -	37 -	26 -
養育者の身体的健康					
良好	246 (92.1%)	1 (50.0%)	62 (96.9%)	125 (90.6%)	58 (92.1%)
不良	21 (7.9%)	1 (50.0%)	2 (3.1%)	13 (9.4%)	5 (7.9%)
不明	60 -	1 -	11 -	26 -	22 -
養育者の精神的健康					
良好	222 (83.8%)	2 (100.0%)	52 (85.2%)	115 (83.9%)	53 (81.5%)
不良	43 (16.2%)	0 (0.0%)	9 (14.8%)	22 (16.1%)	12 (18.5%)
不明	62 -	1 -	14 -	27 -	20 -
通院している病院の有無					
精神科/心療内科等	24 (9.5%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	11 (8.7%)	12 (17.4%)
精神科以外	30 (11.9%)	1 (100.0%)	8 (14.5%)	17 (13.4%)	4 (5.8%)
なし	198 (78.6%)	0 (0.0%)	46 (83.6%)	99 (78.0%)	53 (76.8%)
不明	75 -	2 -	20 -	37 -	16 -
利用している相談機関					
あり	62 (25.2%)	0 (0.0%)	12 (21.4%)	34 (27.9%)	16 (23.9%)
なし	184 (74.8%)	1 (100.0%)	44 (78.6%)	88 (72.1%)	51 (76.1%)
不明	81 -	2 -	19 -	42 -	18 -

・「不明」は、電話支援時に確認できなかったもの

・割合は、「不明」を除外した合計に対して算出

(3) 支援の対応と結果の分類

電話支援を行った結果について、平成26年度も過年度と同様、「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」に分類した。さらに、「経過観察2」と判断した理由をより明確化するため、判断理由について、子ども自身の問題と養育者が抱える問題に分けて分類した。判断理由の件数は延べ数であり、割合は「経過観察2」の件数に対するものである。また、電話支援の中での対応内容も分類した。

電話支援の結果、「経過観察1」は266人(81.3%)、「経過観察2」は45人(13.8%)、「経過観察3」は10人(3.1%)、「支援希望なし」は6人(1.8%)であった(表3)。「経過観察2」と判断した理由は、子ども、養育者双方とも「体調不良(精神)」が最も多く、ともに16人(35.6%)であった(表4)。

表3 電話支援結果

支援実施件数	全体 327	0歳～3歳 3	4歳～6歳 75	小学生 164	中学生 85
経過観察1	266 (81.3%)	3 (100.0%)	67 (89.3%)	137 (83.5%)	59 (69.4%)
経過観察2	45 (13.8%)	0 (0.0%)	5 (6.7%)	18 (11.0%)	22 (25.9%)
経過観察3	10 (3.1%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	5 (3.0%)	4 (4.7%)
支援希望なし	6 (1.8%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)	4 (2.4%)	0 (0.0%)

表4 「経過観察2」の判断理由

「経過観察2」の件数	全体 45	0歳～3歳 0	4歳～6歳 5	小学生 18	中学生 22
<子ども>					
体調不良(身体)	3 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)
体調不良(精神)	16 (35.6%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	5 (27.8%)	10 (45.5%)
学校不適應	15 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	12 (54.5%)
その他	7 (15.6%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (16.7%)	3 (13.6%)
<養育者>					
体調不良(身体)	7 (15.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (22.2%)	3 (13.6%)
体調不良(精神)	16 (35.6%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	7 (38.9%)	7 (31.8%)
養育上の問題	12 (26.7%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	5 (27.8%)	5 (22.7%)
孤立	1 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)
その他	8 (17.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (38.9%)	1 (4.5%)

・内訳は延べ数

支援の対応内容は「傾聴」が264人(80.7%)、「受診勧奨」が9人(2.8%)、「生活習慣指導」が7人(2.1%)、「心理教育」が23人(7.0%)、「電話での情報提供」が12人(3.7%)、「その他(状況確認のみ等)」が61人(18.7%)であった(表5)。

表 5 支援の対応内容の分類

支援実施件数	全体 327	0歳～3歳 3	4歳～6歳 75	小学生 164	中学生 85
傾聴	264 (80.7%)	2 (66.7%)	60 (80.0%)	135 (82.3%)	67 (78.8%)
受診勧奨	9 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.4%)	5 (5.9%)
生活習慣指導	7 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	4 (2.4%)	2 (2.4%)
心理教育	23 (7.0%)	0 (0.0%)	5 (6.7%)	11 (6.7%)	7 (8.2%)
電話での情報提供	12 (3.7%)	0 (0.0%)	3 (4.0%)	4 (2.4%)	5 (5.9%)
その他(状況確認のみ等)	61 (18.7%)	1 (33.3%)	14 (18.7%)	28 (17.1%)	18 (21.2%)

・内訳は延べ数

支援後の対応は、「継続支援」が 13 人、「外部連絡」が 3 人、「文書送付」が 1 人、「他部門の対応」が 1 人であった(表 6)。

表 6 支援後の対応

支援実施件数	全体 327	0歳～3歳 3	4歳～6歳 75	小学生 164	中学生 85
継続支援	13 (4.0%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	9 (5.5%)	3 (3.5%)
外部連絡	3 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.2%)	1 (1.2%)
文書送付	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)
他部門の対応	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)

4) 一般への電話支援

(1) 支援対象者の基本属性

ア) 電話支援対象者

電話支援対象者は、尺度による支援の対象者 2,252 人と尺度以外の項目による支援の対象者 870 人の計 3,122 人であった。このうち、電話支援を実施できた者は 2,673 人 (85.6%) であった。

尺度による支援の対象者のうち、男性が 915 人 (40.6%)、女性が 1,337 人 (59.4%) であった。尺度以外の項目による支援の対象者のうち、男性が 476 人 (54.7%)、女性が 394 人 (45.3%) であった (表 7)。

電話支援対象者の居住地は県内が 2,503 人 (80.2%)、県外が 619 人 (19.8%) であった。また、電話支援を実施できた者の居住地は、県内が 2,151 人 (80.5%)、県外が 522 人 (19.5%) であった (表 8)。

表 7 電話支援対象者の性別及び年代の分布

年代	尺度による支援				尺度以外の項目による支援			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性	
10代	53	15 (28.3%)	38 (71.7%)		12	6 (50.0%)	6 (50.0%)	
20代	118	40 (33.9%)	78 (66.1%)		33	15 (45.5%)	18 (54.5%)	
30代	225	90 (40.0%)	135 (60.0%)		83	47 (56.6%)	36 (43.4%)	
40代	221	108 (48.9%)	113 (51.1%)		132	78 (59.1%)	54 (40.9%)	
50代	309	144 (46.6%)	165 (53.4%)		142	83 (58.5%)	59 (41.5%)	
60代	430	201 (46.7%)	229 (53.3%)		258	149 (57.8%)	109 (42.2%)	
70代	512	211 (41.2%)	301 (58.8%)		142	72 (50.7%)	70 (49.3%)	
80代以上	384	106 (27.6%)	278 (72.4%)		68	26 (38.2%)	42 (61.8%)	
合計	2,252	915 (40.6%)	1,337 (59.4%)		870	476 (54.7%)	394 (45.3%)	

・平成26年4月1日現在

表 8 電話支援対象者の居住地状況(県内外)

支援対象者	全体	尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	3,122	2,252		870	
県内	2,503 (80.2%)	1,783 (79.2%)	720 (82.8%)		
県外	619 (19.8%)	469 (20.8%)	150 (17.2%)		
支援実施件数	2,673	1,918		755	
県内	2,151 (80.5%)	1,530 (79.8%)	621 (82.3%)		
県外	522 (19.5%)	388 (20.2%)	134 (17.7%)		

イ) 文書支援対象者

文書支援対象者のうち、電話支援の対象となった者は、尺度による支援の対象者 325人と尺度以外の項目による支援の対象者 73人の計 398人であった。このうち、支援を実施できた者は 380人(95.5%)であった。

尺度による支援の対象者のうち、男性が 157人(48.3%)、女性が 168人(51.7%)であった。尺度以外の項目による支援の対象者のうち、男性が 42人(57.5%)、女性が 31人(42.5%)であった(表 9)。

電話支援対象者の居住地は、県内が 329人(82.7%)、県外が 69人(17.3%)であった。また、電話支援を実施できた者の居住地は、県内が 314人(82.6%)、県外が 66人(17.4%)であった(表 10)。

表 9 電話支援対象者の性別及び年代の分布(文書支援対象者中)

年代	尺度による支援				尺度以外の項目による支援			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性	
10代	4	2 (50.0%)	2 (50.0%)		0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
20代	5	1 (20.0%)	4 (80.0%)		2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	
30代	14	5 (35.7%)	9 (64.3%)		6	2 (33.3%)	4 (66.7%)	
40代	18	11 (61.1%)	7 (38.9%)		5	3 (60.0%)	2 (40.0%)	
50代	44	24 (54.5%)	20 (45.5%)		9	3 (33.3%)	6 (66.7%)	
60代	56	31 (55.4%)	25 (44.6%)		22	15 (68.2%)	7 (31.8%)	
70代	108	52 (48.1%)	56 (51.9%)		14	9 (64.3%)	5 (35.7%)	
80代以上	76	31 (40.8%)	45 (59.2%)		15	8 (53.3%)	7 (46.7%)	
合計	325	157 (48.3%)	168 (51.7%)		73	42 (57.5%)	31 (42.5%)	

・平成26年4月1日現在

表 10 電話支援対象者の居住地状況(県内外)(文書支援対象者中)

支援対象者	支援実施件数		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	398		325		73	
県内	329 (82.7%)		266 (81.8%)		63 (86.3%)	
県外	69 (17.3%)		59 (18.2%)		10 (13.7%)	
支援実施件数	380		309		71	
県内	314 (82.6%)		253 (81.9%)		61 (85.9%)	
県外	66 (17.4%)		56 (18.1%)		10 (14.1%)	

(2) 支援対象者の状況

ア) 電話支援対象者

電話支援では、対象者の訴えに基づき、現在問題になっていることについて聞き取りを行った。その結果、「身体面の健康」についての問題が最も多く認められ、次いで「睡眠」「抑うつ」の問題が多く認められた。

また、電話支援時にチェックリストを用いて支援対象者から聞き取った「体調」「睡眠状況」「通院状況」等の頻度と割合を表 11 に示す。

現在の体調について伺った結果、良好な者は 1,220 人(51.1%)、不良な者は 1,168 人(48.9%)であった。また、1 年前と比較した体調の変化は、改善した者が 268 人(12.3%)、変化がなかった者が 1,582 人(72.7%)、悪化した者が 225 人(10.3%)、以前から問題がなかった者が 101 人(4.6%)であった。

現在の睡眠状況について伺った結果、良好な者は 1,087 人(48.4%)、不良な者は 1,159 人(51.6%)であった。また、1 年前と比較した「睡眠状況」は、改善した者が 213 人(10.4%)、変化がなかった者が 1,696 人(82.7%)、悪化した者が 73 人(3.6%)、以前から問題がなかった者が 69 人(3.4%)であった。

「通院状況」は、精神科や心療内科等へ通院している者が 410 人(17.1%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が 1,429 人(59.7%)、通院をしていない者が 556 人(23.2%)であった。

表 11 電話支援を実施できた対象者の状況

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	2,673		1,918		755	
現在の体調						
良好	1,220	(51.1%)	744	(43.6%)	476	(70.0%)
不良	1,168	(48.9%)	964	(56.4%)	204	(30.0%)
不明	285	—	210	—	75	—
体調の変化						
改善	268	(12.3%)	179	(11.6%)	89	(14.0%)
変化なし	1,582	(72.7%)	1,104	(71.6%)	478	(75.4%)
悪化	225	(10.3%)	189	(12.3%)	36	(5.7%)
以前から問題なし	101	(4.6%)	70	(4.5%)	31	(4.9%)
不明	497	—	376	—	121	—
睡眠状況						
良好	1,087	(48.4%)	672	(41.9%)	415	(64.5%)
不良	1,159	(51.6%)	931	(58.1%)	228	(35.5%)
不明	427	—	315	—	112	—
睡眠の変化						
改善	213	(10.4%)	161	(11.1%)	52	(8.7%)
変化なし	1,696	(82.7%)	1,193	(82.2%)	503	(83.8%)
悪化	73	(3.6%)	62	(4.3%)	11	(1.8%)
以前から問題なし	69	(3.4%)	35	(2.4%)	34	(5.7%)
不明	622	—	467	—	155	—
通院状況						
精神科／心療内科等	410	(17.1%)	361	(20.9%)	49	(7.3%)
精神科以外	1,429	(59.7%)	1,078	(62.5%)	351	(52.5%)
なし	556	(23.2%)	287	(16.6%)	269	(40.2%)
不明	278	—	192	—	86	—
相談機関の有無						
あり	683	(43.1%)	521	(46.9%)	162	(34.0%)
なし	903	(56.9%)	589	(53.1%)	314	(66.0%)
不明	1,087	—	808	—	279	—
気持ちの落ち込み						
あり	1,130	(49.6%)	985	(60.7%)	145	(22.2%)
なし	1,146	(50.4%)	638	(39.3%)	508	(77.8%)
不明	397	—	295	—	102	—
被災に関連した不安・恐怖心(トラウマ反応)						
あり	184	(11.8%)	162	(16.2%)	22	(4.0%)
なし	1,369	(88.2%)	838	(83.8%)	531	(96.0%)
不明	1,120	—	918	—	202	—

・「不明」は、電話支援時に確認できなかったもの

・割合は、「不明」を除外した合計に対して算出

イ) 文書支援対象者

返信されたハガキで電話支援希望の有無を確認し、支援希望の記載がある者、もしくは「こころの健康支援チーム」が返信内容から支援が必要と判断した者に対して、電話支援を行った。

電話支援での対象者の訴えに基づき、現在問題になっていることについて聞き取りを行った結果、「身体面の健康」についての問題が最も多く認められ、次いで「睡眠」「家族関係」の問題が多く認められた。

また、電話支援時にチェックリストを用いて支援対象者から聞き取った「体調」「睡眠状況」「通院状況」等の頻度と割合を表 12 に示す。

現在の体調について伺った結果、良好な者は 163 人(48.1%)、不良な者は 176 人(51.9%)であった。また、1 年前と比較した体調の変化は、改善した者が 35 人(11.2%)、変化がなかった者が 227 人(72.8%)、悪化した者が 37 人(11.9%)、以前から問題がなかった者が 13 人(4.2%)であった。

現在の睡眠状況について伺った結果、良好な者は 165 人(52.2%)、不良な者は 151 人(47.8%)であった。また、1 年前と比較した「睡眠状況」は、改善した者が 20 人(6.9%)、変化がなかった者が 245 人(84.8%)、悪化した者が 12 人(4.2%)、以前から問題がなかった者が 12 人(4.2%)であった。

「通院状況」は、精神科や心療内科等へ通院している者が 34 人(9.9%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が 262 人(75.9%)、通院をしていない者が 49 人(14.2%)であった。

表 12 電話支援を実施できた対象者の状況(文書支援対象者中)

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	380		309		71	
現在の体調						
良好	163	(48.1%)	126	(46.5%)	37	(54.4%)
不良	176	(51.9%)	145	(53.5%)	31	(45.6%)
不明	41	—	38	—	3	—
体調の変化						
改善	35	(11.2%)	22	(8.9%)	13	(20.3%)
変化なし	227	(72.8%)	193	(77.8%)	34	(53.1%)
悪化	37	(11.9%)	23	(9.3%)	14	(21.9%)
以前から問題なし	13	(4.2%)	10	(4.0%)	3	(4.7%)
不明	68	—	61	—	7	—
睡眠状況						
良好	165	(52.2%)	127	(50.6%)	38	(58.5%)
不良	151	(47.8%)	124	(49.4%)	27	(41.5%)
不明	64	—	58	—	6	—
睡眠の変化						
改善	20	(6.9%)	9	(3.9%)	11	(18.0%)
変化なし	245	(84.8%)	200	(87.7%)	45	(73.8%)
悪化	12	(4.2%)	9	(3.9%)	3	(4.9%)
以前から問題なし	12	(4.2%)	10	(4.4%)	2	(3.3%)
不明	91	—	81	—	10	—
通院状況						
精神科／心療内科等	34	(9.9%)	33	(11.9%)	1	(1.5%)
精神科以外	262	(75.9%)	218	(78.7%)	44	(64.7%)
なし	49	(14.2%)	26	(9.4%)	23	(33.8%)
不明	35	—	32	—	3	—
相談機関の有無						
あり	102	(42.0%)	79	(42.5%)	23	(40.4%)
なし	141	(58.0%)	107	(57.5%)	34	(59.6%)
不明	137	—	123	—	14	—
気持ちの落ち込み						
あり	85	(27.4%)	67	(27.3%)	18	(27.7%)
なし	225	(72.6%)	178	(72.7%)	47	(72.3%)
不明	70	—	64	—	6	—
被災に関連した不安・恐怖心(トラウマ反応)						
あり	16	(5.5%)	13	(5.7%)	3	(4.7%)
なし	276	(94.5%)	215	(94.3%)	61	(95.3%)
不明	88	—	81	—	7	—

・「不明」は、電話支援時に確認できなかったもの

・割合は、「不明」を除外した合計に対して算出

(3) 支援の対応と結果の分類

電話支援を行った結果について、平成26年度も過年度と同様、「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」に分類した。さらに、「経過観察2」と判断した理由をより明確化するため、判断理由を分類した。判断理由の件数は延べ数であり、割合は「経過観察2」の件数に対するものである。また、電話支援の中での対応内容も分類した。

ア) 電話支援対象者

電話支援の結果、「経過観察1」は2,197人(82.2%)、「経過観察2」は359人(13.4%)、「経過観察3」は75人(2.8%)、「支援希望なし」は42人(1.6%)であった(表13)。「経過観察2」と判断した理由は「体調不良(身体)」が196人(54.6%)、「体調不良(精神)」が241人(67.1%)、「社会不適応」が36人(10.0%)、「孤立」が49人(13.6%)であった(表14)。

表13 電話支援結果

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	2,673		1,918		755	
経過観察1	2,197	(82.2%)	1,510	(78.7%)	687	(91.0%)
経過観察2	359	(13.4%)	317	(16.5%)	42	(5.6%)
経過観察3	75	(2.8%)	58	(3.0%)	17	(2.3%)
支援希望なし	42	(1.6%)	33	(1.7%)	9	(1.2%)

表14 「経過観察2」の判断理由

「経過観察2」の件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	359		317		42	
体調不良(身体)	196	(54.6%)	175	(55.2%)	21	(50.0%)
体調不良(精神)	241	(67.1%)	216	(68.1%)	25	(59.5%)
社会不適応	36	(10.0%)	31	(9.8%)	5	(11.9%)
孤立	49	(13.6%)	44	(13.9%)	5	(11.9%)

・内訳は延べ数

支援の対応内容は「傾聴」が2,246人(84.0%)、「受診勧奨」が449人(16.8%)、「生活習慣指導」が563人(21.1%)、「心理教育」が248人(9.3%)、「電話での情報提供」が95人(3.6%)、「その他(状況確認のみ等)」が384人(14.4%)であった(表15)。

表 15 支援の対応内容の分類

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	2,673		1,918		755	
傾聴	2,246	(84.0%)	1,605	(83.7%)	641	(84.9%)
受診勧奨	449	(16.8%)	230	(12.0%)	219	(29.0%)
生活習慣指導	563	(21.1%)	223	(11.6%)	340	(45.0%)
心理教育	248	(9.3%)	205	(10.7%)	43	(5.7%)
電話での情報提供	95	(3.6%)	45	(2.3%)	50	(6.6%)
その他(状況確認のみ等)	384	(14.4%)	291	(15.2%)	93	(12.3%)

・内訳は延べ数

支援後の対応は、「継続支援」が 304 人、「外部連絡」が 56 人、「文書送付」が 36 人、「他部門の対応」が 2 人であった(表 16)。

表 16 支援後の対応

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	2,673		1,918		755	
継続支援	304	(11.4%)	134	(7.0%)	170	(22.5%)
外部連絡	56	(2.1%)	36	(1.9%)	20	(2.6%)
文書送付	36	(1.3%)	33	(1.7%)	3	(0.4%)
他部門の対応	2	(0.1%)	1	(0.1%)	1	(0.1%)

イ) 文書支援対象者

電話支援の結果、「経過観察1」は 331 人(87.1%)、「経過観察2」は 41 人(10.8%)、「経過観察3」は 7 人(1.8%)、「支援希望なし」は 1 人(0.3%)であった(表 17)。「経過観察2」と判断した理由は「体調不良(身体)」が 23 人(56.1%)、「体調不良(精神)」が 21 人(51.2%)、「社会不適応」が 0 人(0.0%)、「孤立」が 4 人(9.8%)であった(表 18)。

表 17 電話支援結果(文書支援対象者中)

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	380		309		71	
経過観察1	331	(87.1%)	263	(85.1%)	68	(95.8%)
経過観察2	41	(10.8%)	38	(12.3%)	3	(4.2%)
経過観察3	7	(1.8%)	7	(2.3%)	0	(0.0%)
支援希望なし	1	(0.3%)	1	(0.3%)	0	(0.0%)

表 18 「経過観察2」の判断理由

「経過観察2」の件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	41		38		3	
体調不良(身体)	23	(56.1%)	20	(52.6%)	3	(100.0%)
体調不良(精神)	21	(51.2%)	20	(52.6%)	1	(33.3%)
社会不適応	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
孤立	4	(9.8%)	4	(10.5%)	0	(0.0%)

・内訳は延べ数

支援の対応内容は「傾聴」が343人(90.3%)、「受診勧奨」が40人(10.5%)、「生活習慣指導」が77人(20.3%)、「心理教育」が36人(9.5%)、「電話での情報提供」が12人(3.2%)、「その他(状況確認のみ等)」が38人(10.0%)であった(表19)。

表 19 支援の対応内容の分類

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	380		309		71	
傾聴	343	(90.3%)	274	(88.7%)	69	(97.2%)
受診勧奨	40	(10.5%)	24	(7.8%)	16	(22.5%)
生活習慣指導	77	(20.3%)	38	(12.3%)	39	(54.9%)
心理教育	36	(9.5%)	27	(8.7%)	9	(12.7%)
電話での情報提供	12	(3.2%)	6	(1.9%)	6	(8.5%)
その他(状況確認のみ等)	38	(10.0%)	37	(12.0%)	1	(1.4%)

・内訳は延べ数

支援後の対応は、「継続支援」が31人、「外部連絡」が1人、「文書送付」が4人、「他部門の対応」が0人であった(表20)。

表 20 支援後の対応

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	380		309		71	
継続支援	31	(8.2%)	17	(5.5%)	14	(19.7%)
外部連絡	1	(0.3%)	1	(0.3%)	0	(0.0%)
文書送付	4	(1.1%)	2	(0.6%)	2	(2.8%)
他部門の対応	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)

5) 尺度以外の項目（生活習慣）による電話支援

生活習慣における電話支援では、対象者の健康状況や生活習慣の変化、受療状況や健康意識を把握して、受診勧奨を実施した。また、肥満や多量飲酒の及ぼす影響や生活習慣改善にむけての取り組みを促した。生活習慣改善の取り組みには継続した支援が必要であるため、受診勧奨をした対象者には、医療機関受診と生活習慣改善についての確認を目的として、継続支援を実施した。

(1) 支援対象

高血圧 (HT) または糖尿病 (DM) の既往があり、通院をしていないと回答した者の中で、

- ① BMI が 27.5kg/m² 以上ある者 (以下、HT/DM・BMI)。
- ② 飲酒量が週積算 21 合以上の者 (以下、HT/DM・多量飲酒)。
- ③ ①、②に該当する者 (以下、HT/DM・BMI・多量飲酒)。

(2) 支援対象者の基本属性

電話支援対象者は、HT/DM・BMI の対象者が 291 人、HT/DM・多量飲酒の対象者が 95 人、HT/DM・BMI・多量飲酒の対象者が 13 人の計 399 人であった。支援の対象者のうち、男性が 275 人(68.9%)、女性が 124 人(31.1%)であった。年代では、最も多いのが 60 歳代で 109 人(27.3%)、次いで 50 歳代が 84 人(21.1%)、40 歳代が 73 人(18.3%)であった。居住地は、県内が 331 人(83.0%)、県外が 68 人(17.0%)であった(表 21)。

表 21 尺度以外の項目による電話支援対象者の性別・年代および居住地の分布

支援対象者	全体 399	HT/DM・BMI 291	HT/DM・多量飲酒 95	HT/DM・BMI・多量飲酒 13
性別				
男	275 (68.9%)	180 (61.9%)	82 (86.3%)	13 (100.0%)
女	124 (31.1%)	111 (38.1%)	13 (13.7%)	0 (0.0%)
年代				
10代	7 (1.8%)	7 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20代	16 (4.0%)	14 (4.8%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)
30代	52 (13.0%)	44 (15.1%)	5 (5.3%)	3 (23.1%)
40代	73 (18.3%)	54 (18.6%)	16 (16.8%)	3 (23.1%)
50代	84 (21.1%)	53 (18.2%)	29 (30.5%)	2 (15.4%)
60代	109 (27.3%)	74 (25.4%)	32 (33.7%)	3 (23.1%)
70代	43 (10.8%)	34 (11.7%)	7 (7.4%)	2 (15.4%)
80代以上	15 (3.8%)	11 (3.8%)	4 (4.2%)	0 (0.0%)
居住地				
県内	331 (83.0%)	241 (82.8%)	79 (83.2%)	11 (84.6%)
県外	68 (17.0%)	50 (17.2%)	16 (16.8%)	2 (15.4%)

・平成26年4月1日現在

(3) 支援対象者の状況及び支援結果

電話支援を実施できた者は、HT/DM・BMI の対象者が 248 人、HT/DM・多量飲酒の対象者が 84 人、HT/DM・BMI・多量飲酒の対象者が 13 人の計 345 人であった。

電話支援時に支援対象者から、「運動」「食事」「飲酒/喫煙」についての問題意識を聞き取った。その結果を表 22 に示す。

表 22 電話支援実施者の生活習慣に対する問題意識の有無

支援実施者	HT/DM・BMI	HT/DM・多量飲酒	HT/DM・BMI・多量飲酒
合計 345	248	84	13
運動	98 (39.5%)	26 (31.0%)	4 (30.8%)
食事	94 (37.9%)	20 (23.8%)	4 (30.8%)
飲酒/喫煙	65 (26.2%)	38 (45.2%)	9 (69.2%)

・複数回答あり

初回電話支援の結果、既に医療機関を受診している者などは、203 人(58.8%)であった。受診勧奨や生活習慣の改善など、継続支援の必要な者は 142 人(41.2%)で、HT/DM・BMI の対象者が 102 人、HT/DM・多量飲酒の対象者が 35 人、HT/DM・BMI・多量飲酒の対象者が 5 人であった(表 23)。

表 23 初回電話支援の結果

支援実施者	全体	HT/DM・BMI	HT/DM・多量飲酒	HT/DM・BMI・多量飲酒
	345	248	84	13
継続支援なし	203 (58.8%)	146 (58.9%)	49 (58.3%)	8 (61.5%)
継続支援あり	142 (41.2%)	102 (41.1%)	35 (41.7%)	5 (38.5%)

継続支援対象者 142 人のうち、継続支援完了者は 108 人(76.1%)で、HT/DM・BMI の対象者が 79 人、HT/DM・多量飲酒の対象者が 24 人、HT/DM・BMI・多量飲酒の対象者が 5 人であった。継続支援により、医療機関の受診や生活習慣の改善を確認できた者は 94 人(87.0%)で、HT/DM・BMI の対象者が 69 人、HT/DM・多量飲酒の対象者が 22 人、HT/DM・BMI・多量飲酒の対象者が 3 人であった(表 24)。

表 24 継続支援の結果

継続支援対象者	全体	HT/DM・BMI	HT/DM・多量飲酒	HT/DM・BMI・多量飲酒
継続支援完了者	142	102	35	5
改善なし	14 (13.0%)	10 (12.7%)	2 (8.3%)	2 (40.0%)
改善あり	94 (87.0%)	69 (87.3%)	22 (91.7%)	3 (60.0%)
医療機関受診	58 (61.7%)	41 (59.4%)	15 (68.2%)	2 (66.7%)
生活習慣改善	36 (38.3%)	28 (40.6%)	7 (31.8%)	1 (33.3%)

5. まとめ

平成 26 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者は 50,663 人であった。そのうち、新たな支援の取り組みとして平成 27 年 8 月 31 日までに調査回答のあった 50,259 人に対し、個人結果通知を行った。

選定基準による支援では、子どもの支援対象者は 871 人、一般の支援対象者は 9,366 人であった。CAGE(アルコール依存尺度)の基準のみに該当した支援対象者は 1,882 人であった。子どもの支援対象者の内訳は、電話支援対象者 354 人、文書支援対象者 517 人であり、そのうち返信内容から電話支援が必要と判断された者は 17 人であった。一般の支援対象者の内訳は、電話支援対象者 3,122 人、文書支援対象者 6,244 人であり、そのうち返信内容から電話支援が必要と判断された者は 398 人であった。死亡が確認された場合を除き、不在等で電話支援が実施できなかった者には、当センターが作成した「こころの健康度と生活習慣サポートブック」を送付し、情報提供を行った。また、CAGE の基準のみに該当した支援対象者に対しても同様にパンフレットを送付した。

子どもへの電話支援では、266 人(81.3%)が「経過観察1」に分類され、45 人(13.8%)が「経過観察2」に分類された。また、対象者からの訴えから、子どもの問題として「学校に関すること」「身体面の健康」「怒り・イライラ・暴力」が多く認められ、保護者の問題は「家族関係」「学校に関すること」「身体面の健康」が多く認められた。


一般への電話支援では、電話支援対象者については、2,197 人(82.2%)が「経過観察1」に分類され、359 人(13.4%)が「経過観察2」に分類された。文書支援対象者については、331 人(87.1%)が「経過観察1」に分類され、41 人(10.8%)が「経過観察2」に分類された。また、対象者からの訴えから、「身体面の健康」「睡眠」の問題が多く認められ、次いで電話支援対象者では「抑うつ」、文書支援対象者は「家族関係」が多く認められた。

生活習慣支援基準における電話支援では、支援対象者は 399 人であり、そのうち、345 人(86.5%)に電話支援を実施した。その中で 108 人(76.1%)に対して継続した電話支援を実施し、そのうちの 94 人(87.0%)からは生活習慣に関する行動変容が聴取された。

〒960-1295
 福島県福島市光が丘1よしみアパート

医大 太郎 様

A-00001 0000000000




平成26年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」 結果通知書

このたびは、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」にご協力いただきまして、ありがとうございます。ご回答いただきました内容から結果通知書を作成しました。こころの健康度や生活習慣のおおよその状態を把握していただき、あなたの健康管理にお役立てください。

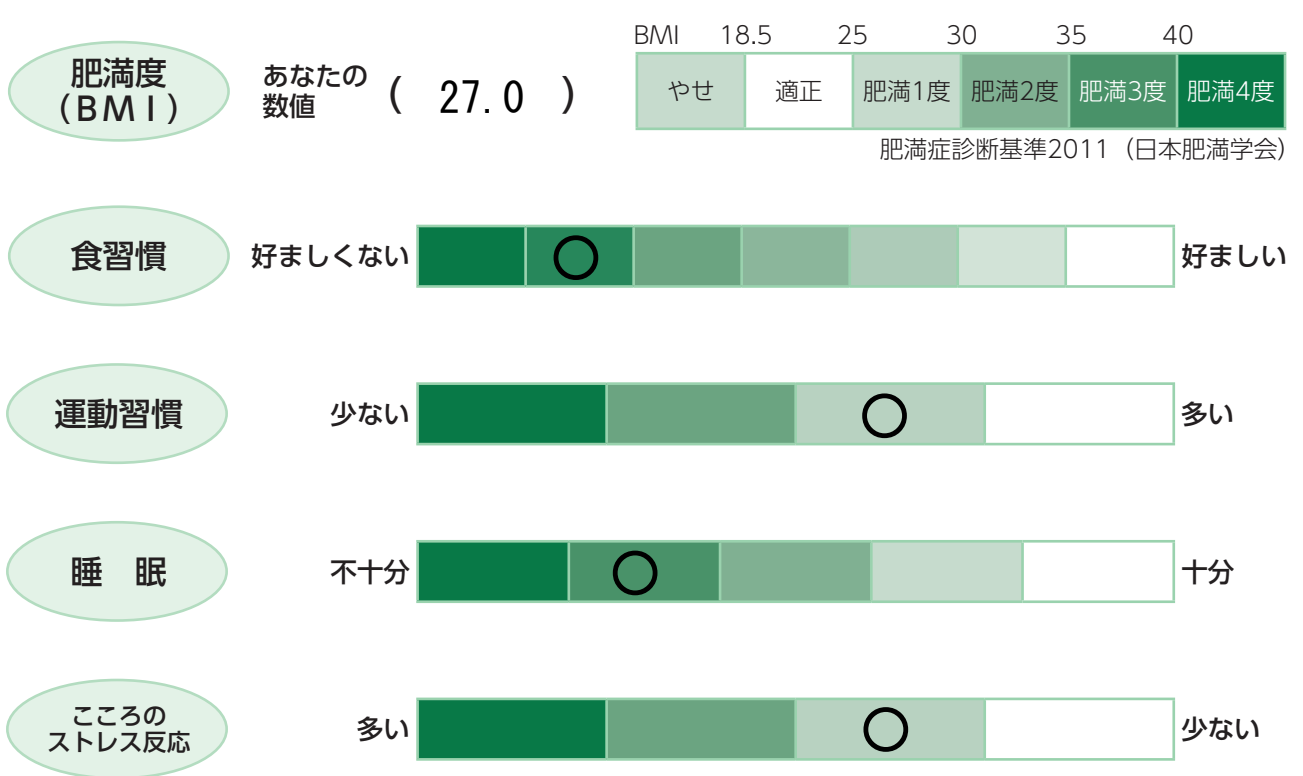
詳しい状況や問題については、この結果のみで判断することはできません。ご心配な方は、裏面に記載しておりますお問い合わせ先へご相談ください。

あなたのこころの健康度・生活習慣の状況

調査回答記入日

結果の見方について

○印は、あなたがそれぞれの項目について、どの位置にあるかを示しています。肥満度については、あなたのBMI (Body Mass Index) を記載しています。なお、回答がない、あるいは不明瞭であった項目の結果については、空欄となっています。



裏面に、結果の見方とアドバイスを掲載しています

結果の見方とアドバイス



肥満度について

BMI (Body Mass Index) は、一般に成人の肥満を判定する際に使われる指数で、右の式により計算できます。

$$\text{BMI} = \frac{\text{あなたの体重 (kg)}}{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}}$$

【アドバイス】

肥満傾向にあります。食べすぎや間食をさけて体重をコントロールしましょう。

食習慣について ○印が右側にあるほど、食べ方や食事内容が好ましいことを示しています。

【アドバイス】

早食いの傾向があります。早食いをせずよく噛んで食べましょう。朝食をとる頻度が少ない傾向にあります。朝食は頭と身体のウォームアップ！朝食をとる機会を増やしましょう。食べすぎの傾向にあります。食べすぎないように、腹八分目を心がけましょう。間食夜食をとりすぎる傾向があります。間食や夜食は控えましょう。

運動習慣について ○印が右側にあるほど、体を動かす習慣が多いことを示しています。

【アドバイス】

適度な運動ができています。引き続き、定期的な運動を心がけましょう。

睡眠について ○印が右側にあるほど、睡眠が十分であることを示しています。

【アドバイス】

睡眠が不十分な傾向にあります。生活リズムを整え、必要な睡眠をとりましょう。眠れない日が続く場合は、かかりつけ医などの専門家にご相談ください。

こころのストレス反応について

気分の落ち込みや不安の程度を、K6と呼ばれるものさしで測定しました。具体的には、「神経過敏に感じましたか」、「絶望的だと感じましたか」などの6項目について、それぞれ過去30日間にどれくらいの頻度であったかを回答していただきました。得点に応じて、ストレス反応の程度を判定しました。

【アドバイス】

ストレス反応は少ない傾向にあります。今後、こころの健康について、不安などがありましたら、お気軽に当健康管理センターまでご相談ください。

アルコールについて

お酒を飲まれる方は、飲みすぎに注意して、多くても1日2合までにしましょう。

喫煙について

喫煙は健康に悪影響をおよぼすので、喫煙者の方には禁煙をお勧めします。

この調査では、皆様の「こころ」や「からだ」の健康状態をおうかがいし、必要に応じて、保健・医療・福祉・生活に関する情報を提供するなどの支援を実施しております。今回の調査にご回答いただいた方に対し、すでに、福島県立医科大学から電話や文書を通じて、ご連絡差し上げている方もございます。今後、何か気になることがありましたら、下記の専用お問い合わせ先へご連絡ください。

今後も継続的に「こころの健康度・生活習慣に関する調査」にご回答いただきますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用ダイヤル

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

電話番号：024 - 549 - 5170 (お掛け間違いにご注意ください)

(9:00 ~ 17:00 (12/29 ~ 1/3 及び土日祝日を除く))

結果通知書に関するFAQ (よくある質問) はホームページへ掲載しています

URL <http://fukushima-mimamori.jp/qanda/mental-survey/>



平成 26 年度「妊産婦に関する調査」結果報告

I. 調査概要

1. 目的

福島県立医科大学では、福島県より委託を受け、県民の継続的な健康管理の取り組みの一つとして、平成 23 年度以降、県民健康管理調査「妊産婦に関する調査」を行った。回答の内容から、東日本大震災に伴う原子力災害により、避難生活を送られ、生活習慣の変化からのストレスや放射線への心配ごとを抱えながら、福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦の様々な生活の現状が浮きぼりになった。

こうした現状を踏まえ、平成 26 年度も引き続き調査を行うことにより、福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦の現状、からだやこころの健康度、意見・要望等を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、安心の提供と今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくことを目的に実施した。

2. 対象者

○平成 25 年 8 月 1 日から平成 26 年 7 月 31 日までに、県内各市町村において母子健康手帳を交付された方。

○上記期間内に県外市区町村から母子健康手帳を交付された方のうち、県内で妊婦健診を受診し分娩された方（いわゆる里帰り分娩をした方）。

・調査対象者 15,125 人

（平成 23 年度：16,001 人、平成 24 年度：14,516 人、平成 25 年度 15,218 人）

3. 方法

・上記対象者に対して、調査票（自記式）を郵送した。

・平成 26 年度調査は以下の設問項目を変更・削除した。

－今までの妊娠歴について、回答方法を分りやすく変更した。

－今回の妊婦健康診査の受診状況、妊娠前もしくは妊娠中の病気・状態に関するケア、分娩時の格好（胎位）、栄養方法についての設問項目を削除した。

・調査票送付日：分娩予定日より 3 期に分け、平成 26 年 11 月 20 日、平成 27 年 1 月 23 日、平成 27 年 3 月 20 日に分割発送した。

4. 集計対象期間

平成 26 年 11 月 20 日から平成 27 年 12 月 18 日

（平成 25 年度：平成 25 年 12 月 24 日から平成 26 年 12 月 26 日）

（平成 24 年度：平成 24 年 12 月 14 日から平成 25 年 11 月 30 日）

（平成 23 年度：平成 24 年 1 月 20 日から平成 25 年 3 月 31 日）

Ⅱ. 集計結果概要

- ・調査票の各項目についての結果を集計した。集計結果は、結果集計表のとおりである。なお、各項目に欠損値があるため、合計は有効回答数と一致しない場合がある。

1. 回答率について

- ・平成 26 年度の回答者数（回答率）は 7,132 人（47.2%）であった。集計対象とした有効回答数は 7,085 人、無効回答数は 47 人（無回答 7 人、重複回答 1 人、対象外 39 人）であった。
- ・平成 23 年度の回答者数（回答率）は 9,316 人（58.2%）、平成 24 年度の回答者数（回答率）は 7,181 人（49.5%）、平成 25 年度の回答数（回答率）7,260 人（47.7%）であり、平成 26 年度調査の回答率は、回答可能な時期（1 ヶ月健診終了後）に合わせて 3 回に分けて発送したため、平成 25 年度の回答率とほぼ変わらなかった。

2. 回答者数について

- ・平成 26 年度の回答者数を地域別にみると、県北地域 1,841 人（52.4%）、県中地域 1,961 人（44.8%）、県南地域 553 人（46.5%）、相双地域 512 人（42.2%）、いわき地域 1,213 人（45.8%）、会津地域 872 人（44.9%）、南会津地域 72 人（52.9%）、県外 108 人であった。南会津地域が最も回答率が高く、相双地域が最も低かった。
- ・回答者の年齢層は、30～34 歳が 3 割を占め、次いで 25～29 歳、35～39 歳が多く、これまでの調査結果の傾向と変わらなかった。

3. 妊娠結果について

- ・母子健康手帳交付後の流産の割合 0.62%、中絶の割合 0.07%は、平成 23 年度（流産 0.77%、中絶 0.06%）、平成 24 年度（流産 0.81%、中絶 0.08%）、平成 25 年度（流産 0.78%、中絶 0.04%）とほぼ変わらなかった（問 8）。
- ・早産の割合は 5.43%で、平成 23 年度（4.75%）、平成 24 年度（5.74%）、平成 25 年度（5.40%）とほぼ変わらなかった。全国（平成 26 年（2014）人口動態統計：出生に占める早産の割合 5.7%）ともほぼ変わらなかった（問 13）。
- ・出生児のうち、低出生体重児の割合は 10.1%であり、平成 23 年度（8.9%）、平成 24 年度（9.6%）、平成 25 年度（9.9%）であった。参考までに、平成 26 年（2014）人口動態統計における低出生体重の割合は全国で 9.5%、福島県では 9.7%であった。（問 14）。
- ・単胎における先天奇形・先天異常の発生率は 2.30%であり、平成 23 年度（2.85%^{注1}）平成 24 年度（2.39%）平成 25 年度（2.35%）同様、一般的な発生率（3～5%）とほぼ同様であった。先天奇形・先天異常の中で最も多かった疾患は、心臓奇形の発生率 0.74%（平成 23 年度 0.89%^{注1}、平成 24 年度 0.79%、平成 25 年度 0.91%）であったが、これは、心臓奇形の自然発生率約 1%と変わらなかった（問 14）。なお、発生率の計算には、有効回答数のみを用いて分母とした。

4. 母親のメンタルヘルスについて

- ・うつ傾向ありと判定された母親の割合（23.4%）は、平成23年度（27.1%）、平成24年度（25.5%）、平成25年度（24.5%）と比べ経年的に減少傾向を示した（問4-1、問4-2）。また、最もうつ傾向が高い地域は、平成23年度、平成24年度は相双地域、平成25年度は南会津地域（32.5%）であったが、平成26年度は会津地域（27.6%）であった。相双地域は平成23年度（32.9%）、平成24年度（32.1%）において最もうつ傾向が高かったが、平成25年度は28.2%、平成26年度は23.8%であった。（参考：健やか親子21（母子保健の国民運動計画）によると、エジンバラ産後うつ指標を用いて評価した全国の「産後うつ」の割合は9.0%（平成25年）である。本調査結果からエジンバラ産後うつ指標による産後うつの推定割合は12%と算出される。推定資料：Mishina H, et al. *Pediatr Int.* 2009; 51: 48.）

5. 妊娠・分娩のケアについて

- ・「今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアを受けられたと思いますか？」に対し、「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した割合は2.7%であり、平成24年度（3.5%）、平成25年度（2.3%）と同様であった（問3）。

6. 家庭と育児の状況について

- ・現在避難生活をしている（仮設、仮設以外含む）割合は相双地域（51.1%）で最も高く、平成24年度（61.3%）より減少したが、平成25年度（50.8%）とほぼ変わらなかった（問5）。
- ・育児の自信がもてないことがあると回答した割合は16.6%であり、平成24年度（15.4%）平成25年度（17.5%）とほぼ変わらなかった（問15）。参考までに平成22年乳幼児健康度調査によると、児が1歳の時に育児に自信がもてないことがあると回答した割合は23.0%であった。

7. 次回の妊娠の希望、要望について

- ・次回の妊娠・出産を希望すると回答した割合は57.1%であり、平成24年度（52.9%）、平成25年度（52.8%）を上回った。参考までに平成22年第14回出生動向基本調査によると、結婚10年未満の夫婦で子どもを予定している割合は58%（既に子どもがいる場合に限ると51%）であった。
- ・次回妊娠希望者が求めるサービスは、「保育所・延長保育・病児保育などの拡充」が73.3%と最も多く、次いで「育児や小児医療に関する情報やサービス」が68.9%であった。
- ・次回妊娠を希望しないと回答した人の理由としては、「希望していない」62.6%が最も多く、次いで「年齢や健康上の理由のため」が30.4%であった。「放射線の影響が心配なため」と回答した割合は3.9%であり、平成24年度（14.8%）、平成25年度（5.6%）を下回った。

8. 自由記載内容について

- ・自由記載欄には745人（10.5%）の記入があり、平成23年度3,722人（42.2%）、平成24年度1,481人（20.7%）、平成25年度867人（12.0%）と比べ、減少した。
- ・もっとも多い自由記載内容は、「育児支援サービスの充実の要望」と「育児相談」が15.0%であり、次いで、「胎児・子どもへの放射線の影響について」が9.5%であった。

9. まとめ

- ・回答率は47.2%と平成23年度(58.2%)を下回り、平成24年度(49.5%)、平成25年度(47.7%)とほぼ同様であった。
- ・母子健康手帳交付後の流産率(0.62%)、中絶率(0.07%)は平成23年度(流産0.77%、中絶0.06%)、平成24年度(流産0.81%、中絶0.08%)、平成25年度(流産0.78%、中絶0.04%)とほぼ変わらなかった。
- ・早産率5.43%は平成23年度(4.75%)、平成24年度(5.74%)、平成25年度(5.40%)とほぼ変わらなかった。低出生体重児出生率10.1%は平成23年度(8.9%)、平成24年度(9.6%)、平成25年度(9.9%)よりやや高い傾向を示した。
- ・単胎における先天奇形・先天異常の割合は2.30%であり、平成23年度(2.85%)、平成24年度(2.39%)、平成25年度(2.35%)同様、一般的な発生率(3~5%)とほぼ同様であった。
- ・うつ傾向ありと判定された母親の割合(23.4%)は平成23年度(27.1%)、平成24年度(25.5%)、平成25年度(24.5%)と比べ経年的に減少傾向を示しているが、産後うつの推定割合は全国データよりも未だ高率であった。
- ・次回の妊娠は57.1%の方が希望され、平成24年度(52.9%)、平成25年度(52.8%)を上回った。

注1：本数値は、無効回答を除いた数値であるため、平成23年度結果報告時の、無効回答を含む数値とは異なる。

Ⅲ. 支援概要

1. 支援目的

平成26年度「妊産婦に関する調査」回答者のうち、相談・支援の必要があると判断された方に、不安を軽減し安心した生活を送っていただくことを目的に、助産師・保健師等による電話・メールによる相談・支援を実施した。

2. 支援対象者

平成26年度「妊産婦に関する調査」回答者

3. 支援選定基準

- ・調査票のうつ2項目の設問に該当のある方
- ・調査票の自由記載欄の内容から抽出された方
例：落ち込みの激しい書き込みがあった方、育児支援を必要としている方、放射線の数値について気にしている方、直接的要望・具体的に回答を希望している方、支援要望のあった方など

4. 方法

- ・電話やメールによる相談・支援

Ⅳ. 支援結果概要

支援結果は結果集計表のとおりである。

※なお、平成27年12月18日以降に回答のあった方の中の要支援者に対しても支援は行なっているが、集計に加えていない。

1. 支援者数について

- ・平成26年11月20日から平成27年12月18日の期間内の回答者7,132人のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された方（要支援者）は830人であった。要支援率11.6%であり、平成23年度の要支援者1,401人(15.0%)、平成24年度の要支援者1,104人(15.4%)、平成25年度の要支援者1,101人(15.2%)の支援率を下回った。また、メールによる相談・支援を行った方は3人であった。（平成23年度は13人、平成24年度は6人、平成25年度は3人）
- ・支援の内訳として、うつ項目による支援は77.7%、自由記載内容による支援は22.3%であった（平成23年度：うつ項目による支援は87.4%、自由記載内容による支援は12.6%、平成24年度：うつ項目による支援は68.0%、自由記載内容による支援は32.0%、平成25年度：うつ項目による支援は67.6%、自由記載内容による支援は32.4%）。

2. 相談内容について

- ・「母親の心身の状態に関すること」49.5%が最も多く、次いで、「子育て関連のこと」36.1%、「家庭生活に関すること」20.5%であった。平成23年度は「放射線に関すること」が29.2%と最も多かったが、平成24、25年度は本年度同様、「母親の心身の状態に関すること」が最も多かった。なお、平成26年度の「放射線に関すること」は9.5%であった。

3. 支援完了理由について

- ・支援完了理由として、「対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了」496人(59.8%)、「情報提供・行政窓口を紹介し終了」398人(48.0%)、「既に受診先や相談先があることを確認し終了」219人(26.4%)、「対象者からの質問に適切に回答し終了」84人(10.1%)、「受診勧奨」53人(6.4%)、「市町村へ継ぐ」3人(0.4%)、「こころの専門医へ継ぐ」1人(0.1%)、「不在」181人(21.8%)、「連絡先不明」14人(1.7%)、「拒絶」5人(0.6%)、その他8人(1.0%)であった（複数回答あり。割合の分母は支援数）。

4. まとめ

- ・要支援率は平成 23 年度、平成 24 年度、平成 25 年度を下回ったが、これはうつ傾向と自由記載回答者の減少によるものと考えられる。
- ・平成 26 年度の相談内容は、平成 24 年度、平成 25 年度と同様に、「母親の心身の状態に関すること」が一番多くなり、「放射線に関すること」が減少した。

IV. 平成26年度「妊産婦に関する調査」結果集計

1. 送付数と回答状況

回答期間は、平成26年11月20日～平成27年12月18日とした。

地域	送付数		回答数（回答率）	
県北	3,515	23.2%	1,841	52.4%
県中	4,376	28.9%	1,961	44.8%
県南	1,188	7.9%	553	46.5%
相双	1,213	8.0%	512	42.2%
いわき	2,648	17.5%	1,213	45.8%
会津	1,941	12.8%	872	44.9%
南会津	136	0.9%	72	52.9%
県外	108	0.7%	108	100.0%
合計	15,125	100.0%	7,132	47.2%

2. 調査票内容項目別集計

回答者7,132人より無効回答47人（無回答7人、重複回答1人、対象外39人）を除いた7,085人について集計した。

なお、各項目には、それぞれ無回答・無効回答がある。

回答者の年齢分類

地域	15～19歳		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		無・無効回答		合計	
県北	13	0.7%	154	8.4%	514	28.0%	703	38.3%	359	19.6%	81	4.4%	2	0.1%	9	0.5%	1,835	100.0%
県中	25	1.3%	190	9.7%	575	29.5%	683	35.0%	390	20.0%	76	3.9%	0	0.0%	13	0.7%	1,952	100.0%
県南	14	2.6%	68	12.5%	161	29.5%	180	33.0%	97	17.8%	18	3.3%	0	0.0%	8	1.5%	546	100.0%
相双	5	1.0%	66	13.0%	169	33.2%	158	31.0%	87	17.1%	18	3.5%	0	0.0%	6	1.2%	509	100.0%
いわき	16	1.3%	136	11.3%	347	28.7%	396	32.8%	254	21.0%	48	4.0%	2	0.2%	9	0.7%	1,208	100.0%
会津	6	0.7%	82	9.5%	266	30.7%	291	33.6%	179	20.6%	39	4.5%	0	0.0%	4	0.5%	867	100.0%
南会津	0	0.0%	9	12.5%	20	27.8%	22	30.6%	19	26.4%	2	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	72	100.0%
県外	0	0.0%	8	8.3%	31	32.3%	40	41.7%	16	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	96	100.0%
合計	79	1.1%	713	10.1%	2,083	29.4%	2,473	34.9%	1,401	19.8%	282	4.0%	4	0.1%	50	0.7%	7,085	100.0%

※無効回答を除く。年齢は転帰（出産、死産等）発生時年齢とした。

問2 普段ご自分で健康だと思いますか？

地域	非常に健康		まあ健康な方		あまり健康ではない		健康ではない		無・無効回答		合計	
県北	469	25.6%	1,281	69.8%	77	4.2%	6	0.3%	2	0.1%	1,835	100.0%
県中	538	27.6%	1,348	69.1%	64	3.3%	1	0.1%	1	0.1%	1,952	100.0%
県南	159	29.1%	358	65.6%	25	4.6%	4	0.7%	0	0.0%	546	100.0%
相双	105	20.6%	379	74.5%	24	4.7%	1	0.2%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	364	30.1%	805	66.6%	35	2.9%	3	0.2%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	213	24.6%	616	71.0%	37	4.3%	0	0.0%	1	0.1%	867	100.0%
南会津	21	29.2%	50	69.4%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	72	100.0%
県外	31	32.3%	63	65.6%	1	1.0%	0	0.0%	1	1.0%	96	100.0%
合計	1,900	26.8%	4,900	69.2%	264	3.7%	15	0.2%	6	0.1%	7,085	100.0%

問3 今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアが受けられたと思いますか？

地域	とてもそう思う		そう思う		どちらともいえない		そう思わない		全くそう思わない		無・無効回答		合計	
県北	505	27.5%	1,092	59.5%	181	9.9%	45	2.5%	9	0.5%	3	0.2%	1,835	100.0%
県中	559	28.6%	1,137	58.2%	202	10.3%	40	2.0%	12	0.6%	2	0.1%	1,952	100.0%
県南	125	22.9%	337	61.7%	68	12.5%	11	2.0%	4	0.7%	1	0.2%	546	100.0%
相双	140	27.5%	296	58.2%	61	12.0%	11	2.2%	1	0.2%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	343	28.4%	710	58.8%	123	10.2%	26	2.2%	5	0.4%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	225	26.0%	516	59.5%	98	11.3%	23	2.7%	5	0.6%	0	0.0%	867	100.0%
南会津	17	23.6%	51	70.8%	2	2.8%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%	72	100.0%
県外	35	36.5%	55	57.3%	6	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	1,949	27.5%	4,194	59.2%	741	10.5%	157	2.2%	37	0.5%	7	0.1%	7,085	100.0%

問 4-1) ここ最近 1 ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか。

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	429	23.4%	1,402	76.4%	4	0.2%	1,835	100.0%
県中	414	21.2%	1,531	78.4%	7	0.4%	1,952	100.0%
県南	115	21.1%	429	78.6%	2	0.4%	546	100.0%
相双	114	22.4%	395	77.6%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	249	20.6%	958	79.3%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	225	26.0%	642	74.0%	0	0.0%	867	100.0%
南会津	10	13.9%	61	84.7%	1	1.4%	72	100.0%
県外	22	22.9%	74	77.1%	0	0.0%	96	100.0%
合計	1,578	22.3%	5,492	77.5%	15	0.2%	7,085	100.0%

問 4-2) ここ最近 1 ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	195	10.6%	1,636	89.2%	4	0.2%	1,835	100.0%
県中	195	10.0%	1,750	89.7%	7	0.4%	1,952	100.0%
県南	47	8.6%	497	91.0%	2	0.4%	546	100.0%
相双	59	11.6%	450	88.4%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	107	8.9%	1,100	91.1%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	112	12.9%	755	87.1%	0	0.0%	867	100.0%
南会津	4	5.6%	67	93.1%	1	1.4%	72	100.0%
県外	8	8.3%	88	91.7%	0	0.0%	96	100.0%
合計	727	10.3%	6,343	89.5%	15	0.2%	7,085	100.0%

うつ傾向 両方「はい」、いずれかが「はい」、両方「いいえ」の回答者数

地域	両方「はい」		いずれかが「はい」		両方「いいえ」		無・無効回答		合計	
県北	178	9.7%	268	14.6%	1,385	75.5%	4	0.2%	1,835	100.0%
県中	170	8.7%	269	13.8%	1,506	77.2%	7	0.4%	1,952	100.0%
県南	42	7.7%	78	14.3%	424	77.7%	2	0.4%	546	100.0%
相双	52	10.2%	69	13.6%	388	76.2%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	93	7.7%	170	14.1%	944	78.1%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	98	11.3%	141	16.3%	628	72.4%	0	0.0%	867	100.0%
南会津	3	4.2%	8	11.1%	60	83.3%	1	1.4%	72	100.0%
県外	8	8.3%	14	14.6%	74	77.1%	0	0.0%	96	100.0%
合計	644	9.1%	1,017	14.4%	5,409	76.3%	15	0.2%	7,085	100.0%

※うつ傾向 23.4% [(両方「はい」644人+いずれかが「はい」1,017人) / 合計 7,085人]

問 5 現在、避難生活をしてますか？

地域	現在避難中で 仮設住宅で生活		現在避難中で 仮設住宅以外で生活		避難生活していたこと があるが 現在は自宅で生活		避難していたことは ない		無・無効回答		合計	
	県北	1	0.1%	22	1.2%	329	17.9%	1,458	79.5%	25	1.4%	1,835
県中	1	0.1%	35	1.8%	414	21.2%	1,464	75.0%	38	1.9%	1,952	100.0%
県南	0	0.0%	2	0.4%	53	9.7%	479	87.7%	12	2.2%	546	100.0%
相双	32	6.3%	228	44.8%	138	27.1%	105	20.6%	6	1.2%	509	100.0%
いわき	2	0.2%	14	1.2%	623	51.6%	548	45.4%	21	1.7%	1,208	100.0%
会津	0	0.0%	5	0.6%	33	3.8%	813	93.8%	16	1.8%	867	100.0%
南会津	0	0.0%	2	2.8%	1	1.4%	68	94.4%	1	1.4%	72	100.0%
県外	0	0.0%	2	2.1%	5	5.2%	86	89.6%	3	3.1%	96	100.0%
合計	36	0.5%	310	4.4%	1,596	22.5%	5,021	70.9%	122	1.7%	7,085	100.0%

問5 避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか？

「避難中で仮設で生活」または「避難中で仮設以外で生活」を回答した方 346 人のみ対象

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	21	91.3%	2	8.7%	0	0.0%	23	100.0%
県中	19	52.8%	17	47.2%	0	0.0%	36	100.0%
県南	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	2	100.0%
相双	137	52.7%	123	47.3%	0	0.0%	260	100.0%
いわき	11	68.8%	5	31.3%	0	0.0%	16	100.0%
会津	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%	5	100.0%
南会津	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2	100.0%
県外	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
合計	192	55.5%	154	44.5%	0	0.0%	346	100.0%

問5 家族とコミュニケーションがとれていますか？

家族と離れて生活していますか？に「はい」と答えた方 192 人のみ対象

地域	はい		いいえ		どちらともいえない		無・無効回答		合計	
県北	18	85.7%	1	4.8%	2	9.5%	0	0.0%	21	100.0%
県中	17	89.5%	1	5.3%	1	5.3%	0	0.0%	19	100.0%
県南	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
相双	117	85.4%	3	2.2%	16	11.7%	1	0.7%	137	100.0%
いわき	9	81.8%	2	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	11	100.0%
会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県外	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
合計	164	85.4%	7	3.6%	20	10.4%	1	0.5%	192	100.0%

問6 現在どなたと同居していますか？当てはまるもの全てにご記入ください。

地域	一人暮らし		夫またはパートナー		子ども		義理または実父母		その他		有効回答
県北	0	0.0%	1,745	95.1%	1,642	89.5%	495	27.0%	123	6.7%	1,834
県中	2	0.1%	1,830	93.8%	1,730	88.7%	592	30.4%	154	7.9%	1,950
県南	0	0.0%	516	94.7%	494	90.6%	200	36.7%	49	9.0%	545
相双	0	0.0%	475	93.5%	471	92.7%	139	27.4%	41	8.1%	508
いわき	1	0.1%	1,138	94.4%	1,062	88.1%	302	25.1%	57	4.7%	1,205
会津	0	0.0%	822	95.0%	778	89.9%	340	39.3%	90	10.4%	865
南会津	0	0.0%	67	93.1%	64	88.9%	39	54.2%	10	13.9%	72
県外	0	0.0%	90	93.8%	76	79.2%	10	10.4%	4	4.2%	96
合計	3	0.0%	6,683	94.5%	6,317	89.3%	2,117	29.9%	528	7.5%	7,075

※分母は有効回答（問6に回答があった方）。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

問7 喫煙についてお尋ねいたします。

あなたご自身の喫煙についてお答えください。

1) 今回の妊娠届出時に、あなたはタバコを吸っていましたか？

地域	吸ったことはない		妊娠づく前にやめた		妊娠ついてやめた		吸っていた		無・無効回答		合計	
県北	1,241	67.6%	260	14.2%	221	12.0%	111	6.0%	2	0.1%	1,835	100.0%
県中	1,294	66.3%	247	12.7%	274	14.0%	136	7.0%	1	0.1%	1,952	100.0%
県南	343	62.8%	82	15.0%	69	12.6%	52	9.5%	0	0.0%	546	100.0%
相双	316	62.1%	64	12.6%	84	16.5%	45	8.8%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	767	63.5%	173	14.3%	168	13.9%	99	8.2%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	557	64.2%	119	13.7%	114	13.1%	76	8.8%	1	0.1%	867	100.0%
南会津	48	66.7%	8	11.1%	10	13.9%	5	6.9%	1	1.4%	72	100.0%
県外	73	76.0%	10	10.4%	8	8.3%	5	5.2%	0	0.0%	96	100.0%
合計	4,639	65.5%	963	13.6%	948	13.4%	529	7.5%	6	0.1%	7,085	100.0%

2) その後の妊娠期間中、あなたはタバコを吸っていましたか？

地域	吸っていなかった		吸っていた		無・無効回答		合計	
県北	1,757	95.7%	74	4.0%	4	0.2%	1,835	100.0%
県中	1,859	95.2%	91	4.7%	2	0.1%	1,952	100.0%
県南	521	95.4%	24	4.4%	1	0.2%	546	100.0%
相双	483	94.9%	26	5.1%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	1,155	95.6%	52	4.3%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	818	94.3%	45	5.2%	4	0.5%	867	100.0%
南会津	68	94.4%	4	5.6%	0	0.0%	72	100.0%
県外	94	97.9%	2	2.1%	0	0.0%	96	100.0%
合計	6,755	95.3%	318	4.5%	12	0.2%	7,085	100.0%

3) 現在、あなたはタバコを吸っていますか？

地域	吸っていない		吸っている		無・無効回答		合計	
県北	1,732	94.4%	99	5.4%	4	0.2%	1,835	100.0%
県中	1,820	93.2%	131	6.7%	1	0.1%	1,952	100.0%
県南	501	91.8%	44	8.1%	1	0.2%	546	100.0%
相双	460	90.4%	49	9.6%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	1,104	91.4%	103	8.5%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	790	91.1%	73	8.4%	4	0.5%	867	100.0%
南会津	69	95.8%	3	4.2%	0	0.0%	72	100.0%
県外	96	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	6,572	92.8%	502	7.1%	11	0.2%	7,085	100.0%

問8 妊娠・出産について

送付された母子手帳に対応する妊娠に関して

妊娠様式

地域	自然妊娠		排卵誘発		人工授精		体外受精		誘発+人工		誘発+体外		無・無効回答		合計	
県北	1,683	91.7%	52	2.8%	16	0.9%	74	4.0%	4	0.2%	1	0.1%	5	0.3%	1,835	100.0%
県中	1,834	94.0%	29	1.5%	18	0.9%	62	3.2%	2	0.1%	1	0.1%	6	0.3%	1,952	100.0%
県南	512	93.8%	10	1.8%	5	0.9%	19	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	546	100.0%
相双	481	94.5%	9	1.8%	4	0.8%	11	2.2%	1	0.2%	0	0.0%	3	0.6%	509	100.0%
いわき	1,116	92.4%	26	2.2%	19	1.6%	38	3.1%	4	0.3%	0	0.0%	5	0.4%	1,208	100.0%
会津	808	93.2%	20	2.3%	7	0.8%	29	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.3%	867	100.0%
南会津	69	95.8%	2	2.8%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	72	100.0%
県外	89	92.7%	6	6.3%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	6,592	93.0%	154	2.2%	69	1.0%	235	3.3%	11	0.2%	2	0.0%	22	0.3%	7,085	100.0%

妊娠の結果

地域	出産		流産		中絶		死産		合計	
県北	1,815	98.91%	16	0.87%	0	0.00%	4	0.22%	1,835	100.00%
県中	1,935	99.13%	12	0.61%	2	0.10%	3	0.15%	1,952	100.00%
県南	540	98.90%	5	0.92%	0	0.00%	1	0.18%	546	100.00%
相双	502	98.62%	6	1.18%	0	0.00%	1	0.20%	509	100.00%
いわき	1,202	99.42%	3	0.25%	2	0.17%	2	0.17%	1,209	100.00%
会津	861	99.19%	2	0.23%	1	0.12%	4	0.46%	868	100.00%
南会津	72	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	72	100.00%
県外	96	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	96	100.00%
合計	7,023	99.10%	44	0.62%	5	0.07%	15	0.21%	7,087	100.00%

※基本的に双胎は出産1回と数えた。双胎で転帰が違う方2人のみ、各転帰を入力したため、合計数が2件多い。

問9 おなかの赤ちゃん（分娩（出産・死産を含む）した赤ちゃん）は一人（単胎）ですか二人（ふたご）ですか？

地域	一人		ふたご		無・無効回答		合計	
県北	1,813	98.8%	18	1.0%	4	0.2%	1,835	100.0%
県中	1,925	98.6%	24	1.2%	3	0.2%	1,952	100.0%
県南	543	99.5%	3	0.5%	0	0.0%	546	100.0%
相双	503	98.8%	6	1.2%	0	0.0%	509	100.0%
いわき	1,194	98.8%	13	1.1%	1	0.1%	1,208	100.0%
会津	858	99.0%	9	1.0%	0	0.0%	867	100.0%
南会津	71	98.6%	1	1.4%	0	0.0%	72	100.0%
県外	96	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	7,003	98.8%	74	1.0%	8	0.1%	7,085	100.0%

問10 今までの妊娠歴について

1) 今まで流産の経験はございますか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	396	21.6%	1,432	78.0%	7	0.4%	1,835	100.0%
県中	417	21.4%	1,531	78.4%	4	0.2%	1,952	100.0%
県南	107	19.6%	437	80.0%	2	0.4%	546	100.0%
相双	89	17.5%	413	81.1%	7	1.4%	509	100.0%
いわき	244	20.2%	958	79.3%	6	0.5%	1,208	100.0%
会津	185	21.3%	679	78.3%	3	0.3%	867	100.0%
南会津	12	16.7%	59	81.9%	1	1.4%	72	100.0%
県外	8	8.3%	87	90.6%	1	1.0%	96	100.0%
合計	1,458	20.6%	5,596	79.0%	31	0.4%	7,085	100.0%

2) 今まで中絶の経験はございますか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	310	16.9%	1,514	82.5%	11	0.6%	1,835	100.0%
県中	331	17.0%	1,615	82.7%	6	0.3%	1,952	100.0%
県南	89	16.3%	454	83.2%	3	0.5%	546	100.0%
相双	87	17.1%	415	81.5%	7	1.4%	509	100.0%
いわき	212	17.5%	991	82.0%	5	0.4%	1,208	100.0%
会津	138	15.9%	721	83.2%	8	0.9%	867	100.0%
南会津	3	4.2%	68	94.4%	1	1.4%	72	100.0%
県外	8	8.3%	88	91.7%	0	0.0%	96	100.0%
合計	1,178	16.6%	5,866	82.8%	41	0.6%	7,085	100.0%

3) 今まで死産の経験はございますか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	15	0.8%	1,805	98.4%	15	0.8%	1,835	100.0%
県中	44	2.3%	1,899	97.3%	9	0.5%	1,952	100.0%
県南	7	1.3%	535	98.0%	4	0.7%	546	100.0%
相双	6	1.2%	494	97.1%	9	1.8%	509	100.0%
いわき	14	1.2%	1,188	98.3%	6	0.5%	1,208	100.0%
会津	7	0.8%	853	98.4%	7	0.8%	867	100.0%
南会津	0	0.0%	71	98.6%	1	1.4%	72	100.0%
県外	0	0.0%	95	99.0%	1	1.0%	96	100.0%
合計	93	1.3%	6,940	98.0%	52	0.7%	7,085	100.0%

4) 今まで出産の経験はございますか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	1,041	56.7%	781	42.6%	13	0.7%	1,835	100.0%
県中	1,026	52.6%	918	47.0%	8	0.4%	1,952	100.0%
県南	269	49.3%	274	50.2%	3	0.5%	546	100.0%
相双	294	57.8%	209	41.1%	6	1.2%	509	100.0%
いわき	646	53.5%	552	45.7%	10	0.8%	1,208	100.0%
会津	489	56.4%	372	42.9%	6	0.7%	867	100.0%
南会津	41	56.9%	31	43.1%	0	0.0%	72	100.0%
県外	34	35.4%	62	64.6%	0	0.0%	96	100.0%
合計	3,840	54.2%	3,199	45.2%	46	0.6%	7,085	100.0%

5) 今までふたごの出産の経験はございますか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	22	1.2%	1,805	98.4%	8	0.4%	1,835	100.0%
県中	14	0.7%	1,925	98.6%	13	0.7%	1,952	100.0%
県南	3	0.5%	540	98.9%	3	0.5%	546	100.0%
相双	5	1.0%	498	97.8%	6	1.2%	509	100.0%
いわき	8	0.7%	1,192	98.7%	8	0.7%	1,208	100.0%
会津	8	0.9%	853	98.4%	6	0.7%	867	100.0%
南会津	1	1.4%	70	97.2%	1	1.4%	72	100.0%
県外	1	1.0%	95	99.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	62	0.9%	6,978	98.5%	45	0.6%	7,085	100.0%

問11 あなたは、今回の妊娠前にかかったことのある病気がありましたか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	559	30.5%	1,271	69.3%	5	0.3%	1,835	100.0%
県中	601	30.8%	1,346	69.0%	5	0.3%	1,952	100.0%
県南	156	28.6%	383	70.1%	7	1.3%	546	100.0%
相双	164	32.2%	343	67.4%	2	0.4%	509	100.0%
いわき	376	31.1%	825	68.3%	7	0.6%	1,208	100.0%
会津	290	33.4%	574	66.2%	3	0.3%	867	100.0%
南会津	25	34.7%	47	65.3%	0	0.0%	72	100.0%
県外	24	25.0%	72	75.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	2,195	31.0%	4,861	68.6%	29	0.4%	7,085	100.0%

問11本問「はい」の内訳（複数回答あり 有効回答2,193人 無・無効回答2人）

地域	他のアレルギー性疾患※1		呼吸器の疾患※2		精神疾患※3		甲状腺疾患		腸の病気		脳の疾患※4		心臓病※5		がん		高血圧	
県北	310	41.1%	110	14.6%	72	9.5%	43	5.7%	33	4.4%	18	2.4%	11	1.5%	15	2.0%	8	1.1%
県中	364	44.3%	112	13.6%	77	9.4%	41	5.0%	31	3.8%	25	3.0%	20	2.4%	14	1.7%	13	1.6%
県南	84	39.1%	35	16.3%	29	13.5%	9	4.2%	8	3.7%	5	2.3%	5	2.3%	4	1.9%	3	1.4%
相双	94	41.4%	28	12.3%	27	11.9%	11	4.8%	4	1.8%	2	0.9%	7	3.1%	1	0.4%	5	2.2%
いわき	212	41.9%	100	19.8%	36	7.1%	20	4.0%	21	4.2%	7	1.4%	6	1.2%	11	2.2%	4	0.8%
会津	158	40.9%	55	14.2%	44	11.4%	21	5.4%	18	4.7%	8	2.1%	6	1.6%	8	2.1%	1	0.3%
南会津	13	39.4%	7	21.2%	3	9.1%	1	3.0%	1	3.0%	1	3.0%	2	6.1%	2	6.1%	0	0.0%
県外	16	51.6%	7	22.6%	2	6.5%	2	6.5%	2	6.5%	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,251	42.1%	454	15.3%	290	9.8%	148	5.0%	118	4.0%	67	2.3%	57	1.9%	55	1.8%	34	1.1%

地域	肝臓の病気※6		血液の疾患※7		糖尿病		膠原病※8		神経・筋疾患※9		高脂血症		感染症※10		その他		合計	
県北	3	0.4%	10	1.3%	9	1.2%	7	0.9%	1	0.1%	7	0.9%	3	0.4%	94	12.5%	754	100.0%
県中	15	1.8%	2	0.2%	6	0.7%	3	0.4%	7	0.9%	2	0.2%	3	0.4%	87	10.6%	822	100.0%
県南	2	0.9%	2	0.9%	0	0.0%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%	25	11.6%	215	100.0%
相双	2	0.9%	1	0.4%	3	1.3%	6	2.6%	0	0.0%	2	0.9%	3	1.3%	31	13.7%	227	100.0%
いわき	4	0.8%	3	0.6%	4	0.8%	3	0.6%	6	1.2%	3	0.6%	1	0.2%	65	12.8%	506	100.0%
会津	4	1.0%	7	1.8%	1	0.3%	2	0.5%	3	0.8%	2	0.5%	3	0.8%	45	11.7%	386	100.0%
南会津	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.1%	33	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	31	100.0%
合計	30	1.0%	26	0.9%	23	0.8%	23	0.8%	17	0.6%	17	0.6%	15	0.5%	349	11.7%	2,974	100.0%

※1 アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など、※2 肺炎、喘息など、※3 うつ病、統合性失調症など、※4 脳卒中、てんかんなど、
 ※5 心筋梗塞・狭心症、不整脈、先天性心疾患など、※6 肝臓の病気（慢性肝炎など）、※7 血液の疾患（特発性血小板減少症など）、
 ※8 膠原病（SLE）エリテマトーデスなど、※9 神経・筋疾患（重症筋無力症など）、※10 感染症（結核など）
 ※罹患期間が明確でないため、率の算出が出来ず内訳を示した。

「はい」のうち 17. その他 の内訳 (複数回答あり)

卵巣腫瘍	79	アレルギー性紫斑病	3	胸腺腫	1	帯状疱疹	1
子宮筋腫	48	乾癬	3	血管腫	1	胆のうポリープ	1
子宮内膜症	37	クッシング症候群	2	股関節臼蓋形成不全	1	椎間板ヘルニア	1
腎盂腎炎	15	ヘルニア	2	腰ヘルニア	1	頭位性めまい	1
副鼻腔炎	15	めまい	2	腰椎ヘルニア	1	特発性新生血管黄斑症	1
多のう胞性卵巣症候群	8	骨盤腹膜炎	2	骨腫瘍	1	特発性難聴	1
子宮頸上皮内腫瘍	8	子宮腺筋症	2	骨髄膜腫	1	日光アレルギー	1
胆石症	8	子宮内膜ポリープ	2	骨粗しょう症	1	乳管内乳頭腫	1
子宮外妊娠	7	子宮頸管ポリープ	2	子宮ポリープ	1	乳腺線維腺腫	1
メニエール病	6	掌蹠膿疱症	2	糸球体腎炎	1	脊柱側弯症	1
腎炎	6	線維筋痛症	2	脂腺母斑	1	皮膚炎	1
川崎病	6	変形性股関節症	2	脂肪肉腫	1	副甲状腺亢進症	1
突発性難聴	6	卵巣出血	2	痔	1	腹壁ヘルニア	1
尿管結石症	6	緑内障	2	痔核	1	網膜剥離	1
胞状奇胎	6	扁桃腺肥大症	2	耳下腺腫瘍	1	卵管水腫	1
腰椎椎間板ヘルニア	5	睪炎	2	自己免疫疾患	1	卵巣過剰刺激症候群	1
IgA 腎症	4	Vogt-小柳-原田病	1	斜視	1	良性発作性頭位めまい症	1
ネフローゼ症候群	4	アナフィラクトイド紫斑	1	深部静脈血栓症	1	脛骨巨細胞腫	1
高プロラクチン血症	4	チョコレートとう腫	1	神経因性膀胱	1	膀胱炎	1
腎結石	4	亜急性リンパ節炎	1	水腎水尿管症	1	膵臓腫瘍	1
尖圭コンジローマ	4	悪性高熱症	1	正中頸のう胞	1	水腎症	1
中耳炎	4	臼蓋形成不全	1	舌痛症	1	膀胱腫瘍	1
扁桃炎	4	胸郭出口症候群	1	線維腺腫	1		

問 12 あなたは今回の妊娠中に告げられた病気・状態がありましたか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	582	31.7%	1,246	67.9%	7	0.4%	1,835	100.0%
県中	547	28.0%	1,402	71.8%	3	0.2%	1,952	100.0%
県南	139	25.5%	398	72.9%	9	1.6%	546	100.0%
相双	144	28.3%	361	70.9%	4	0.8%	509	100.0%
いわき	355	29.4%	845	70.0%	8	0.7%	1,208	100.0%
会津	269	31.0%	594	68.5%	4	0.5%	867	100.0%
南会津	22	30.6%	50	69.4%	0	0.0%	72	100.0%
県外	19	19.8%	77	80.2%	0	0.0%	96	100.0%
合計	2,077	29.3%	4,973	70.2%	35	0.5%	7,085	100.0%

地域	全疾患の発生率		有効回答
県北	582	31.84%	1,828
県中	547	28.07%	1,949
県南	139	25.88%	537
相双	144	28.51%	505
いわき	355	29.58%	1,200
会津	269	31.17%	863
南会津	22	30.56%	72
県外	19	19.79%	96
合計	2,077	29.46%	7,050

※発生率の分母は有効回答（「はい」「いいえ」の合計数）

各疾患の発生率

地域	切迫早産		切迫流産		妊娠高血圧症候群		感染症※1		妊娠糖尿病		羊水過少		前置胎盤	
県北	252	13.8%	169	9.2%	74	4.0%	58	3.2%	66	3.6%	28	1.5%	26	1.4%
県中	233	12.0%	144	7.4%	73	3.7%	52	2.7%	62	3.2%	42	2.2%	29	1.5%
県南	47	8.8%	36	6.7%	20	3.7%	9	1.7%	7	1.3%	15	2.8%	4	0.7%
相双	71	14.1%	45	8.9%	15	3.0%	9	1.8%	14	2.8%	2	0.4%	6	1.2%
いわき	137	11.4%	135	11.3%	53	4.4%	24	2.0%	16	1.3%	31	2.6%	23	1.9%
会津	116	13.4%	104	12.1%	28	3.2%	32	3.7%	15	1.7%	10	1.2%	14	1.6%
南会津	8	11.1%	5	6.9%	2	2.8%	3	4.2%	1	1.4%	1	1.4%	1	1.4%
県外	7	7.3%	5	5.2%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.1%	3	3.1%	1	1.0%
合計	871	12.4%	643	9.1%	266	3.8%	187	2.7%	184	2.6%	132	1.9%	104	1.5%

地域	早産		不眠・不安などの精神的問題		羊水過多		流産		外傷		血栓症※2		脳卒中※3		その他	
県北	30	1.6%	12	0.7%	10	0.5%	6	0.3%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	48	2.6%
県中	23	1.2%	9	0.5%	4	0.2%	3	0.2%	3	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	44	2.3%
県南	11	2.0%	5	0.9%	5	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	1.9%
相双	5	1.0%	8	1.6%	0	0.0%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	9	1.8%
いわき	16	1.3%	5	0.4%	6	0.5%	2	0.2%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	28	2.3%
会津	10	1.2%	8	0.9%	4	0.5%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	23	2.7%
南会津	2	2.8%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.2%
県外	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
合計	97	1.4%	48	0.7%	30	0.4%	14	0.2%	6	0.1%	5	0.1%	1	0.0%	166	2.4%

※1 肺炎・インフルエンザ・破傷風等、※2 血栓症（エコノミークラス症候群）・肺塞栓症、※3 脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血など
 ※分母は有効回答（問 12 本問「はい」「いいえ」の合計数 7,050 人）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

「はい」のうち 15. その他 の内訳 (複数回答あり)

子宮筋腫	25	橋本病	3	ポリープ	1	腸炎	1
卵巣腫瘍	15	尿管結石	3	胃潰瘍	1	低音障害型感音難聴	1
副鼻腔炎	9	鼠径ヘルニア	3	円形脱毛症	1	特発性血小板減少性紫斑病	1
喘息	8	ヘルニア	2	外陰脂肪腫	1	突発性難聴	1
常位胎盤早期剥離	7	下肢静止不能症候群	2	気管支炎	1	脳動静脈奇形	1
腎盂腎炎	7	甲状腺機能低下症	2	急性膀胱炎	1	不整脈	1
静脈瘤	6	坐骨神経痛	2	限局性結節性過形成	1	腹膜炎	1
子宮頸癌	5	子宮頸管無力症	2	抗リン脂質抗体症候群	1	蜂窩織炎	1
帯状疱疹	5	尖圭コンジローマ	2	子宮ポリープ	1	慢性甲状腺炎	1
妊娠性痒疹	5	双胎間輸血症候群	2	子宮脱	1	無呼吸症候群	1
急性虫垂炎	4	妊娠性血小板減少症	2	自律神経失調症	1	網膜剥離	1
子宮頸上皮内腫瘍	4	播種性血管内凝固症候群	2	周産期心筋症	1	癒着胎盤	1
子宮頸管ポリープ	4	流行性角結膜炎	2	深部静脈血栓妊娠	1	臍帯下垂	1
メニエール病	3	てんかん	1	腎炎	1	急性腎不全	1
顔面神経麻痺	3	ハント症候群	1	髄膜腫	1	腸閉塞	1

妊娠12週以降(妊娠4か月以降)の分娩された方

地域	単胎(一人)		双胎(ふたご)		無・無効回答		合計	
県北	1,803	99.0%	18	1.0%	1	0.1%	1,822	100.0%
県中	1,921	98.7%	24	1.2%	1	0.1%	1,946	100.0%
県南	541	99.4%	3	0.6%	0	0.0%	544	100.0%
相双	502	98.8%	6	1.2%	0	0.0%	508	100.0%
いわき	1,191	98.9%	13	1.1%	0	0.0%	1,204	100.0%
会津	854	99.0%	9	1.0%	0	0.0%	863	100.0%
南会津	71	98.6%	1	1.4%	0	0.0%	72	100.0%
県外	96	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	6,979	98.9%	74	1.0%	2	0.0%	7,055	100.0%

問13 妊娠何週何日で分娩しましたか

単胎(一人)

地域	12週～21週		22週～23週		24週～27週		28週～31週		32週～36週		37週～41週		42週～		合計	
県北	4	0.2%	3	0.2%	5	0.3%	13	0.7%	61	3.4%	1,716	95.2%	1	0.1%	1,803	100.0%
県中	9	0.5%	1	0.1%	8	0.4%	10	0.5%	70	3.6%	1,820	94.7%	3	0.2%	1,921	100.0%
県南	3	0.6%	0	0.0%	1	0.2%	4	0.7%	20	3.7%	510	94.3%	3	0.6%	541	100.0%
相双	5	1.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.2%	20	4.0%	473	94.2%	2	0.4%	502	100.0%
いわき	3	0.3%	0	0.0%	1	0.1%	4	0.3%	53	4.5%	1,124	94.4%	6	0.5%	1,191	100.0%
会津	1	0.1%	0	0.0%	3	0.4%	5	0.6%	32	3.7%	812	95.1%	1	0.1%	854	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.8%	69	97.2%	0	0.0%	71	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	95	99.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	25	0.4%	4	0.1%	19	0.3%	37	0.5%	259	3.7%	6,619	94.8%	16	0.2%	6,979	100.0%

双胎(ふたご)

地域	12週～21週		22週～23週		24週～27週		28週～31週		32週～36週		37週～41週		42週～		合計	
県北	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	7	38.9%	9	50.0%	0	0.0%	18	100.0%
県中	1	4.2%	0	0.0%	2	8.3%	1	4.2%	7	29.2%	13	54.2%	0	0.0%	24	100.0%
県南	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	3	100.0%
相双	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	83.3%	1	16.7%	0	0.0%	6	100.0%
いわき	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	2	15.4%	4	30.8%	6	46.2%	0	0.0%	13	100.0%
会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	33.3%	6	66.7%	0	0.0%	9	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	3	4.1%	0	0.0%	3	4.1%	4	5.4%	26	35.1%	38	51.4%	0	0.0%	74	100.0%

早産率※(早産とは、在胎週数が22週～36週で出産すること)

単胎・双胎(ふたご)

地域	(単胎・ふたご)分娩週数								早産率	
	12週～21週	22週～23週	24週～27週	28週～31週	32週～36週	37週～41週	42週～	合計	22週～36週計	(22週～36週) / (合計-12週～21週)
県北	6	3	5	15	75	1,734	1	1,839	98	5.35%
県中	11	1	12	12	84	1,846	3	1,969	109	5.57%
県南	5	0	1	4	20	514	3	547	25	4.61%
相双	5	0	1	1	30	475	2	514	32	6.29%
いわき	3	0	3	8	61	1,136	6	1,217	72	5.93%
会津	1	0	3	5	38	824	1	872	46	5.28%
南会津	0	0	0	0	2	71	0	73	2	2.74%
県外	0	0	0	0	1	95	0	96	1	1.04%
合計	31	4	25	45	311	6,695	16	7,127	385	5.43%

*早産率は、胎児数不明、週数不明と12週未満の方を除いて集計した。

**早産率は、分娩数から22週未満の分娩数を引いたものを分母とした。

問 13 分娩様式

単胎（一人）

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
県北	1,243	68.9%	217	12.0%	322	17.9%	21	1.2%	1,803	100.0%
県中	1,292	67.3%	217	11.3%	394	20.5%	18	0.9%	1,921	100.0%
県南	394	72.8%	63	11.6%	77	14.2%	7	1.3%	541	100.0%
相双	287	57.2%	98	19.5%	108	21.5%	9	1.8%	502	100.0%
いわき	766	64.3%	159	13.4%	255	21.4%	11	0.9%	1,191	100.0%
会津	539	63.1%	104	12.2%	205	24.0%	6	0.7%	854	100.0%
南会津	53	74.6%	3	4.2%	13	18.3%	2	2.8%	71	100.0%
県外	64	66.7%	16	16.7%	16	16.7%	0	0.0%	96	100.0%
合計	4,638	66.5%	877	12.6%	1,390	19.9%	74	1.1%	6,979	100.0%

双胎（ふたご）第1子

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
県北	2	11.1%	0	0.0%	16	88.9%	0	0.0%	18	100.0%
県中	4	16.7%	0	0.0%	20	83.3%	0	0.0%	24	100.0%
県南	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	3	100.0%
相双	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	6	100.0%
いわき	1	7.7%	0	0.0%	12	92.3%	0	0.0%	13	100.0%
会津	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%	0	0.0%	9	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	8	10.8%	0	0.0%	66	89.2%	0	0.0%	74	100.0%

双胎（ふたご）第2子

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
県北	2	11.1%	0	0.0%	16	88.9%	0	0.0%	18	100.0%
県中	3	12.5%	0	0.0%	20	83.3%	1	4.2%	24	100.0%
県南	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	3	100.0%
相双	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	6	100.0%
いわき	1	7.7%	0	0.0%	12	92.3%	0	0.0%	13	100.0%
会津	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%	0	0.0%	9	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	7	9.5%	0	0.0%	66	89.2%	1	1.4%	74	100.0%

問 14 分娩時のお子様について、出産状況をご記入ください。

地域別出生児男女比(単胎・ふたご第1子、第2子)

地域	男児		女児		無・無効回答		合計	
県北	917	49.9%	920	50.0%	2	0.1%	1,839	100.0%
県中	1,011	51.3%	952	48.3%	6	0.3%	1,969	100.0%
県南	284	51.9%	260	47.5%	3	0.5%	547	100.0%
相双	270	52.5%	242	47.1%	2	0.4%	514	100.0%
いわき	646	53.1%	569	46.8%	2	0.2%	1,217	100.0%
会津	439	50.3%	431	49.4%	2	0.2%	872	100.0%
南会津	39	53.4%	34	46.6%	0	0.0%	73	100.0%
県外	54	56.3%	42	43.8%	0	0.0%	96	100.0%
合計	3,660	51.4%	3,450	48.4%	17	0.2%	7,127	100.0%

出生児体重 単胎 (一人)

(平均値±標準偏差(g) (人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	3006.9 ± 460.7 (1,801)	3049.3 ± 473.7 (894)	2965.1 ± 443.7 (907)	2
県中	2995.6 ± 477.9 (1,915)	3026.8 ± 500.8 (987)	2962.4 ± 450.3 (928)	6
県南	3026.8 ± 432.4 (538)	3040.0 ± 468.2 (280)	3012.5 ± 390.2 (258)	3
相双	2983.1 ± 486.1 (499)	3041.4 ± 486.1 (264)	2929.9 ± 441.2 (234)	3
いわき	3018.5 ± 428.6 (1,188)	3049.0 ± 456.8 (634)	2983.6 ± 391.4 (554)	3
会津	3010.3 ± 434.5 (852)	3045.9 ± 418.3 (431)	2974.0 ± 448.0 (421)	2
南会津	3033.6 ± 430.2 (71)	3055.5 ± 372.1 (37)	3009.8 ± 490.4 (34)	0
県外	3087.4 ± 356.0 (96)	3172.6 ± 372.4 (54)	2977.8 ± 304.3 (42)	0
合計	3007.4 ± 455.3 (6,960)	3043.3 ± 470.3 (3,581)	2970.3 ± 432.8 (3,378)	19

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。(人数)は有効回答である。

※男児女児の合計は性別不明の場合があるため、必ずしも全体の人数にはならない。

全体 単胎 (一人)

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満	
県北	12	0.7%	12	0.7%	19	1.1%	105	5.8%	710	39.4%
県中	20	1.0%	3	0.2%	24	1.2%	120	6.2%	760	39.6%
県南	1	0.2%	4	0.7%	3	0.6%	39	7.2%	199	36.8%
相双	5	1.0%	0	0.0%	4	0.8%	41	8.2%	194	38.6%
いわき	2	0.2%	5	0.4%	11	0.9%	85	7.1%	465	39.0%
会津	5	0.6%	2	0.2%	6	0.7%	66	7.7%	307	35.9%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	11.3%	25	35.2%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.2%	41	42.7%
合計	45	0.6%	26	0.4%	67	1.0%	469	6.7%	2,701	38.7%

地域	3.0~3.5 kg未満		3.5~4.0 kg未満		4.0~4.5 kg未満		4.5kg 以上		無・無効回答		合計	
県北	739	41.0%	189	10.5%	14	0.8%	1	0.1%	2	0.1%	1,803	100.0%
県中	783	40.8%	190	9.9%	15	0.8%	0	0.0%	6	0.3%	1,921	100.0%
県南	227	42.0%	63	11.6%	1	0.2%	1	0.2%	3	0.6%	541	100.0%
相双	203	40.4%	49	9.8%	3	0.6%	0	0.0%	3	0.6%	502	100.0%
いわき	492	41.3%	110	9.2%	15	1.3%	3	0.3%	3	0.3%	1,191	100.0%
会津	377	44.1%	80	9.4%	8	0.9%	1	0.1%	2	0.2%	854	100.0%
南会津	31	43.7%	5	7.0%	2	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	71	100.0%
県外	40	41.7%	8	8.3%	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	2,892	41.4%	694	9.9%	60	0.9%	6	0.1%	19	0.3%	6,979	100.0%

男児 単胎（一人）

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	6	0.7%	7	0.8%	12	1.3%	35	3.9%	321	35.9%
県中	12	1.2%	2	0.2%	8	0.8%	46	4.7%	385	39.0%
県南	1	0.4%	3	1.1%	2	0.7%	17	6.1%	98	35.0%
相双	3	1.1%	0	0.0%	1	0.4%	13	4.9%	94	35.6%
いわき	2	0.3%	3	0.5%	6	0.9%	40	6.3%	233	36.7%
会津	2	0.5%	0	0.0%	1	0.2%	32	7.4%	144	33.4%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.1%	15	40.5%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	21	38.9%
合計	26	0.7%	15	0.4%	30	0.8%	187	5.2%	1,311	36.6%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5 kg以上		無・無効回答		合計	
県北	388	43.4%	116	13.0%	9	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	894	100.0%
県中	412	41.7%	111	11.2%	11	1.1%	0	0.0%	1	0.1%	988	100.0%
県南	117	41.8%	41	14.6%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	280	100.0%
相双	122	46.2%	29	11.0%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	264	100.0%
いわき	273	43.0%	62	9.8%	12	1.9%	3	0.5%	1	0.2%	635	100.0%
会津	200	46.4%	46	10.7%	5	1.2%	1	0.2%	0	0.0%	431	100.0%
南会津	15	40.5%	4	10.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	37	100.0%
県外	23	42.6%	7	13.0%	2	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	54	100.0%
合計	1,550	43.3%	416	11.6%	41	1.1%	5	0.1%	2	0.1%	3,583	100.0%

女児 単胎（一人）

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	6	0.7%	5	0.6%	7	0.8%	70	7.7%	389	42.9%
県中	8	0.9%	1	0.1%	16	1.7%	74	8.0%	375	40.4%
県南	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	22	8.5%	101	39.1%
相双	1	0.4%	0	0.0%	3	1.3%	28	11.9%	100	42.4%
いわき	0	0.0%	2	0.4%	5	0.9%	45	8.1%	232	41.9%
会津	3	0.7%	2	0.5%	5	1.2%	34	8.1%	163	38.7%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	14.7%	10	29.4%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	9.5%	20	47.6%
合計	18	0.5%	11	0.3%	37	1.1%	282	8.3%	1,390	41.1%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5 kg以上		無・無効回答		合計	
県北	351	38.7%	73	8.0%	5	0.6%	1	0.1%	0	0.0%	907	100.0%
県中	371	40.0%	79	8.5%	4	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	928	100.0%
県南	110	42.6%	22	8.5%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	258	100.0%
相双	81	34.3%	20	8.5%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.8%	236	100.0%
いわき	219	39.5%	48	8.7%	3	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	554	100.0%
会津	177	42.0%	34	8.1%	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	421	100.0%
南会津	16	47.1%	1	2.9%	2	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	34	100.0%
県外	17	40.5%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	42	100.0%
合計	1,342	39.7%	278	8.2%	19	0.6%	1	0.0%	2	0.1%	3,380	100.0%

出生児体重 双胎（ふたご）

（平均値（g）±標準偏差（有効回答））

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	2057.5 ± 644.4 (36)	2071.9 ± 725.9 (23)	2031.9 ± 493.8 (13)	0
県中	2079.1 ± 683.6 (47)	2227.6 ± 576.6 (23)	1936.8 ± 757.2 (24)	1
県南	1590.2 ± 1094.7 (6)	1166.8 ± 1131.3 (4)	2437.0 ± 21.2 (2)	0
相双	2084.6 ± 263.2 (12)	2259.0 ± 82.4 (6)	1910.2 ± 269.5 (6)	0
いわき	1965.9 ± 846.0 (26)	1864.8 ± 940.2 (11)	2040.0 ± 795.5 (15)	0
会津	2214.0 ± 359.5 (18)	2126.3 ± 476.6 (8)	2284.2 ± 234.9 (10)	0
南会津	2742.0 ± 328.1 (2)	2742.0 ± 328.1 (2)	(0)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	2059.8 ± 671.9 (147)	2079.4 ± 714.1 (77)	2038.2 ± 626.7 (70)	1

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。

※男児女児の合計は性別不明の場合があるため、必ずしも全体の人数にはならない。

出生児体重

全体 双胎（ふたご）

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満		3.0～3.5 kg未満		無・無効回答		合計	
県北	3	8.3%	2	5.6%	7	19.4%	15	41.7%	9	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%
県中	5	10.4%	4	8.3%	4	8.3%	23	47.9%	11	22.9%	0	0.0%	1	2.1%	48	100.0%
県南	2	33.3%	0	0.0%	1	16.7%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
相双	0	0.0%	0	0.0%	4	33.3%	8	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	100.0%
いわき	5	19.2%	2	7.7%	3	11.5%	9	34.6%	6	23.1%	1	3.8%	0	0.0%	26	100.0%
会津	0	0.0%	1	5.6%	4	22.2%	9	50.0%	4	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	18	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	15	10.1%	9	6.1%	23	15.5%	67	45.3%	32	21.6%	1	0.7%	1	0.7%	148	100.0%

男児 双胎（ふたご）

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満		3.0～3.5 kg未満		合計	
県北	2	8.7%	1	4.3%	5	21.7%	8	34.8%	7	30.4%	0	0.0%	23	100.0%
県中	1	4.3%	2	8.7%	1	4.3%	13	56.5%	6	26.1%	0	0.0%	23	100.0%
県南	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%
相双	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
いわき	3	27.3%	1	9.1%	1	9.1%	2	18.2%	4	36.4%	0	0.0%	11	100.0%
会津	0	0.0%	1	12.5%	3	37.5%	2	25.0%	2	25.0%	0	0.0%	8	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	8	10.4%	5	6.5%	11	14.3%	32	41.6%	21	27.3%	0	0.0%	77	100.0%

女児 双胎（ふたご）

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満		3.0～3.5 kg未満		合計	
県北	1	7.7%	1	7.7%	2	15.4%	7	53.8%	2	15.4%	0	0.0%	13	100.0%
県中	4	16.7%	2	8.3%	3	12.5%	10	41.7%	5	20.8%	0	0.0%	24	100.0%
県南	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
相双	0	0.0%	0	0.0%	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
いわき	2	13.3%	1	6.7%	2	13.3%	7	46.7%	2	13.3%	1	6.7%	15	100.0%
会津	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	7	70.0%	2	20.0%	0	0.0%	10	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	7	10.0%	4	5.7%	12	17.1%	35	50.0%	11	15.7%	1	1.4%	70	100.0%

出生児体重(単胎・双胎)

無・無効回答 20 人を除く

地域	1.0 kg 未 満	1.0 } 1.5 kg 未 満	1.5 } 2.0 kg 未 満	2.0 } 2.5 kg 未 満	2.5 } 3.0 kg 未 満	3.0 } 3.5 kg 未 満	3.5 } 4.0 kg 未 満	4.0 } 4.5 kg 未 満	4.5 kg 以 上	合計	低 出 生 体 重 児	低 出 生 体 重 児 割 合
県北	15	14	26	120	719	739	189	14	1	1,837	175	9.5%
県中	25	7	28	143	771	783	190	15	0	1,962	203	10.3%
県南	3	4	4	42	199	227	63	1	1	544	53	9.7%
相双	5	0	8	49	194	203	49	3	0	511	62	12.1%
いわき	7	7	14	94	471	493	110	15	3	1,214	122	10.0%
会津	5	3	10	75	311	377	80	8	1	870	93	10.7%
南会津	0	0	0	8	27	31	5	2	0	73	8	11.0%
県外	0	0	0	5	41	40	8	2	0	96	5	5.2%
合計	60	35	90	536	2,733	2,893	694	60	6	7,107	721	10.1%

出生児身長 単胎（一人）

（平均値 (cm) ± 標準偏差 (人数)）

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	49.0 ± 3.0 (1,794)	49.3 ± 3.2 (890)	48.8 ± 2.7 (904)	9
県中	48.9 ± 3.0 (1,908)	49.1 ± 3.3 (984)	48.8 ± 2.6 (924)	13
県南	49.3 ± 2.1 (536)	49.6 ± 2.3 (278)	49.1 ± 1.9 (258)	5
相双	48.7 ± 3.8 (497)	49.0 ± 4.2 (262)	48.5 ± 2.4 (234)	5
いわき	49.1 ± 2.7 (1,186)	49.2 ± 3.2 (633)	48.9 ± 2.0 (553)	5
会津	48.7 ± 2.5 (848)	49.0 ± 2.3 (430)	48.3 ± 2.7 (418)	6
南会津	48.9 ± 1.9 (71)	49.1 ± 2.0 (37)	48.6 ± 1.8 (34)	0
県外	49.5 ± 1.6 (96)	49.9 ± 1.5 (54)	49.0 ± 1.5 (42)	0
合計	49.0 ± 2.9 (6,936)	49.2 ± 3.1 (3,568)	48.7 ± 2.5 (3,367)	43

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。(人数)は有効回答である。

※男児女児の合計は性別不明の場合があるため、必ずしも全体の人数にはならない。

出生児身長

全体 単胎（一人）

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	202	11.2%	172	9.5%	274	15.2%	352	19.5%	410	22.7%
県中	209	10.9%	187	9.7%	309	16.1%	358	18.6%	453	23.6%
県南	44	8.1%	43	7.9%	75	13.9%	113	20.9%	130	24.0%
相双	81	16.1%	45	9.0%	91	18.1%	88	17.5%	98	19.5%
いわき	132	11.1%	127	10.7%	189	15.9%	246	20.7%	258	21.7%
会津	128	15.0%	108	12.6%	143	16.7%	164	19.2%	183	21.4%
南会津	7	9.9%	10	14.1%	14	19.7%	17	23.9%	13	18.3%
県外	3	3.1%	6	6.3%	20	20.8%	19	19.8%	32	33.3%
合計	806	11.5%	698	10.0%	1,115	16.0%	1,357	19.4%	1,577	22.6%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計	
県北	228	12.6%	156	8.7%	9	0.5%	1,803	100.0%
県中	240	12.5%	152	7.9%	13	0.7%	1,921	100.0%
県南	81	15.0%	50	9.2%	5	0.9%	541	100.0%
相双	57	11.4%	37	7.4%	5	1.0%	502	100.0%
いわき	143	12.0%	91	7.6%	5	0.4%	1,191	100.0%
会津	72	8.4%	50	5.9%	6	0.7%	854	100.0%
南会津	7	9.9%	3	4.2%	0	0.0%	71	100.0%
県外	11	11.5%	5	5.2%	0	0.0%	96	100.0%
合計	839	12.0%	544	7.8%	43	0.6%	6,979	100.0%

男児 単胎（一人）

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	73	8.2%	69	7.7%	122	13.6%	173	19.4%	215	24.0%
県中	86	8.7%	89	9.0%	149	15.1%	183	18.5%	244	24.7%
県南	22	7.9%	17	6.1%	31	11.1%	59	21.1%	61	21.8%
相双	29	11.0%	24	9.1%	49	18.6%	46	17.4%	55	20.8%
いわき	66	10.4%	60	9.4%	87	13.7%	137	21.6%	137	21.6%
会津	52	12.1%	49	11.4%	63	14.6%	87	20.2%	102	23.7%
南会津	3	8.1%	7	18.9%	5	13.5%	7	18.9%	7	18.9%
県外	0	0.0%	3	5.6%	7	13.0%	11	20.4%	21	38.9%
合計	331	9.2%	318	8.9%	513	14.3%	703	19.6%	842	23.5%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計	
県北	142	15.9%	96	10.7%	4	0.4%	894	100.0%
県中	130	13.2%	103	10.4%	4	0.4%	988	100.0%
県南	49	17.5%	39	13.9%	2	0.7%	280	100.0%
相双	32	12.1%	27	10.2%	2	0.8%	264	100.0%
いわき	83	13.1%	63	9.9%	2	0.3%	635	100.0%
会津	45	10.4%	32	7.4%	1	0.2%	431	100.0%
南会津	5	13.5%	3	8.1%	0	0.0%	37	100.0%
県外	7	13.0%	5	9.3%	0	0.0%	54	100.0%
合計	493	13.8%	368	10.3%	15	0.4%	3,583	100.0%

女児 単胎（一人）

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	129	14.2%	103	11.4%	152	16.8%	179	19.7%	195	21.5%
県中	123	13.3%	98	10.6%	160	17.2%	175	18.9%	209	22.5%
県南	22	8.5%	26	10.1%	44	17.1%	54	20.9%	69	26.7%
相双	51	21.6%	21	8.9%	42	17.8%	42	17.8%	43	18.2%
いわき	66	11.9%	67	12.1%	102	18.4%	109	19.7%	121	21.8%
会津	76	18.1%	59	14.0%	80	19.0%	77	18.3%	81	19.2%
南会津	4	11.8%	3	8.8%	9	26.5%	10	29.4%	6	17.6%
県外	3	7.1%	3	7.1%	13	31.0%	8	19.0%	11	26.2%
合計	474	14.0%	380	11.2%	602	17.8%	654	19.3%	735	21.7%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計	
県北	86	9.5%	60	6.6%	3	0.3%	907	100.0%
県中	110	11.9%	49	5.3%	4	0.4%	928	100.0%
県南	32	12.4%	11	4.3%	0	0.0%	258	100.0%
相双	25	10.6%	10	4.2%	2	0.8%	236	100.0%
いわき	60	10.8%	28	5.1%	1	0.2%	554	100.0%
会津	27	6.4%	18	4.3%	3	0.7%	421	100.0%
南会津	2	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	34	100.0%
県外	4	9.5%	0	0.0%	0	0.0%	42	100.0%
合計	346	10.2%	176	5.2%	13	0.4%	3,380	100.0%

出生児身長 双胎（ふたご）

（平均値（cm）±標準偏差（人数））

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	43.2 ± 7.6 (36)	42.7 ± 9.1 (23)	44.1 ± 3.7 (13)	0
県中	43.1 ± 5.9 (47)	44.3 ± 4.6 (23)	41.9 ± 6.8 (24)	1
県南	37.4 ±13.9 (6)	33.1 ±15.7 (4)	46.0 ± 1.4 (2)	0
相双	44.6 ± 2.5 (12)	46.4 ± 1.4 (6)	42.8 ± 2.1 (6)	0
いわき	42.0 ± 7.3 (26)	41.4 ± 7.6 (11)	42.5 ± 7.3 (15)	0
会津	45.1 ± 2.6 (18)	45.1 ± 2.8 (8)	45.2 ± 2.6 (10)	0
南会津	46.4 ± 2.0 (2)	46.4 ± 2.0 (2)	(0)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	43.1 ± 6.6 (147)	43.1 ± 7.5 (77)	43.1 ± 5.6 (70)	1

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。

※男児女児の合計は性別不明の場合があるため、必ずしも全体の人数にはならない。

出生児身長

全体 双胎（ふたご）

地域	44cm 未満		44~45cm 未満		45~46cm 未満		46~47cm 未満		47~48cm 未満		48~49cm 未満		49cm 以上		無・無効回答		合計	
県北	13	36.1%	5	13.9%	4	11.1%	1	2.8%	3	8.3%	5	13.9%	5	13.9%	0	0.0%	36	100.0%
県中	14	29.2%	8	16.7%	6	12.5%	7	14.6%	8	16.7%	1	2.1%	3	6.3%	1	2.1%	48	100.0%
県南	2	33.3%	0	0.0%	1	16.7%	1	16.7%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
相双	4	33.3%	2	16.7%	0	0.0%	3	25.0%	2	16.7%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	12	100.0%
いわき	10	38.5%	5	19.2%	3	11.5%	2	7.7%	0	0.0%	3	11.5%	3	11.5%	0	0.0%	26	100.0%
会津	6	33.3%	0	0.0%	2	11.1%	4	22.2%	3	16.7%	3	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	18	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	49	33.1%	20	13.5%	17	11.5%	18	12.2%	19	12.8%	13	8.8%	11	7.4%	1	0.7%	148	100.0%

男児 双胎（ふたご）

地域	44cm 未満		44~45cm 未満		45~46cm 未満		46~47cm 未満		47~48cm 未満		48~49cm 未満		49cm 以上		合計	
県北	10	43.5%	1	4.3%	1	4.3%	1	4.3%	2	8.7%	4	17.4%	4	17.4%	23	100.0%
県中	3	13.0%	5	21.7%	4	17.4%	5	21.7%	4	17.4%	0	0.0%	2	8.7%	23	100.0%
県南	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%
相双	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	2	33.3%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	6	100.0%
いわき	4	36.4%	2	18.2%	2	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	1	9.1%	11	100.0%
会津	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	2	25.0%	1	12.5%	0	0.0%	8	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	22	28.6%	9	11.7%	8	10.4%	11	14.3%	12	15.6%	8	10.4%	7	9.1%	77	100.0%

女児 双胎（ふたご）

地域	44cm 未満		44~45cm 未満		45~46cm 未満		46~47cm 未満		47~48cm 未満		48~49cm 未満		49cm 以上		合計	
県北	3	23.1%	4	30.8%	3	23.1%	0	0.0%	1	7.7%	1	7.7%	1	7.7%	13	100.0%
県中	11	45.8%	3	12.5%	2	8.3%	2	8.3%	4	16.7%	1	4.2%	1	4.2%	24	100.0%
県南	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
相双	4	66.7%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
いわき	6	40.0%	3	20.0%	1	6.7%	2	13.3%	0	0.0%	1	6.7%	2	13.3%	15	100.0%
会津	3	30.0%	0	0.0%	2	20.0%	2	20.0%	1	10.0%	2	20.0%	0	0.0%	10	100.0%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	27	38.6%	11	15.7%	9	12.9%	7	10.0%	7	10.0%	5	7.1%	4	5.7%	70	100.0%

出生児胸囲 単胎（一人）

（平均値（cm）±標準偏差（人数））

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	31.6 ± 2.0 (1,783)	31.7 ± 2.0 (886)	31.5 ± 1.9 (897)	20
県中	31.8 ± 2.0 (1,890)	31.8 ± 2.0 (973)	31.7 ± 1.9 (917)	31
県南	31.8 ± 1.8 (533)	31.9 ± 1.9 (278)	31.8 ± 1.6 (255)	8
相双	31.7 ± 1.9 (490)	31.9 ± 2.0 (259)	31.4 ± 1.8 (231)	12
いわき	31.6 ± 1.8 (1,174)	31.7 ± 1.9 (628)	31.5 ± 1.7 (546)	17
会津	31.7 ± 2.0 (842)	31.9 ± 1.9 (427)	31.6 ± 2.1 (415)	12
南会津	32.1 ± 1.6 (71)	32.0 ± 1.5 (37)	32.1 ± 1.7 (34)	0
県外	32.0 ± 1.7 (94)	32.3 ± 1.8 (52)	31.6 ± 1.4 (42)	2
合計	31.7 ± 1.9 (6,877)	31.8 ± 2.0 (3,540)	31.6 ± 1.9 (3,337)	102

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。

出生児胸囲 双胎（ふたご）

（平均値（cm）±標準偏差（人数））

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	27.0 ± 4.8 (36)	26.5 ± 5.6 (23)	27.7 ± 3.0 (13)	0
県中	27.7 ± 3.1 (44)	27.9 ± 3.0 (22)	27.4 ± 3.1 (22)	4
県南	28.9 ± 1.3 (4)	29.0 ± 1.4 (2)	28.8 ± 1.8 (2)	2
相双	28.3 ± 1.3 (12)	29.3 ± 0.5 (6)	27.2 ± 1.1 (6)	0
いわき	27.3 ± 5.1 (23)	25.5 ± 6.3 (11)	28.9 ± 3.2 (12)	3
会津	29.2 ± 3.3 (18)	28.2 ± 2.9 (8)	30.0 ± 3.5 (10)	0
南会津	30.0 ± 1.7 (2)	30.0 ± 1.7 (2)	(0)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	27.7 ± 3.9 (139)	27.4 ± 4.4 (74)	28.2 ± 3.1 (65)	9

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。

出生児頭囲 単胎（一人）

（平均値（cm）±標準偏差（人数））

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	33.2 ± 1.6 (1,780)	33.4 ± 1.6 (885)	33.0 ± 1.6 (895)	23
県中	33.2 ± 1.7 (1,889)	33.3 ± 1.7 (972)	33.0 ± 1.8 (917)	32
県南	33.0 ± 1.5 (532)	33.2 ± 1.6 (278)	32.8 ± 1.3 (254)	9
相双	33.0 ± 1.7 (489)	33.3 ± 1.8 (259)	32.7 ± 1.6 (230)	13
いわき	33.2 ± 1.5 (1,173)	33.4 ± 1.5 (627)	33.1 ± 1.3 (546)	18
会津	33.1 ± 1.7 (843)	33.4 ± 1.4 (428)	32.8 ± 1.8 (415)	11
南会津	33.4 ± 1.4 (71)	33.5 ± 1.3 (37)	33.2 ± 1.4 (34)	0
県外	33.4 ± 1.4 (94)	33.8 ± 1.5 (52)	32.9 ± 1.0 (42)	2
合計	33.2 ± 1.6 (6,871)	33.4 ± 1.6 (3,538)	33.0 ± 1.6 (3,333)	108

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。

出生児頭囲 双胎（ふたご）

（平均値（cm）±標準偏差（人数））

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	31.0 ± 5.1 (36)	30.7 ± 6.2 (23)	31.5 ± 2.6 (13)	0
県中	30.9 ± 3.0 (44)	31.3 ± 3.2 (22)	30.4 ± 2.7 (22)	4
県南	31.3 ± 1.8 (4)	30.3 ± 2.5 (2)	32.3 ± 0.4 (2)	2
相双	31.4 ± 1.0 (12)	32.1 ± 0.5 (6)	30.8 ± 1.0 (6)	0
いわき	30.6 ± 4.3 (23)	29.6 ± 5.4 (11)	31.5 ± 2.9 (12)	3
会津	31.2 ± 2.1 (18)	30.8 ± 2.7 (8)	31.5 ± 1.5 (10)	0
南会津	33.9 ± 1.3 (2)	33.9 ± 1.3 (2)	(0)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	31.0 ± 3.6 (139)	30.9 ± 4.4 (74)	31.1 ± 2.4 (65)	9

※全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。

新生児仮死 単胎（一人）

地域	あり		なし		無・無効回答		合計	
県北	19	1.1%	1,758	97.5%	26	1.4%	1,803	100.0%
県中	27	1.4%	1,855	96.6%	39	2.0%	1,921	100.0%
県南	8	1.5%	525	97.0%	8	1.5%	541	100.0%
相双	4	0.8%	485	96.6%	13	2.6%	502	100.0%
いわき	7	0.6%	1,168	98.1%	16	1.3%	1,191	100.0%
会津	8	0.9%	833	97.5%	13	1.5%	854	100.0%
南会津	1	1.4%	69	97.2%	1	1.4%	71	100.0%
県外	0	0.0%	96	100.0%	0	0.0%	96	100.0%
合計	74	1.1%	6,789	97.3%	116	1.7%	6,979	100.0%

蘇生の有無 単胎（一人）

新生児仮死「あり」74人のみ対象

地域	した		しなかった		わからない		無・無効回答		合計	
県北	16	84.2%	2	10.5%	1	5.3%	0	0.0%	19	100.0%
県中	13	48.1%	6	22.2%	8	29.6%	0	0.0%	27	100.0%
県南	4	50.0%	4	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	100.0%
相双	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%
いわき	3	42.9%	1	14.3%	3	42.9%	0	0.0%	7	100.0%
会津	8	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	100.0%
南会津	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	47	63.5%	15	20.3%	12	16.2%	0	0.0%	74	100.0%

新生児仮死（ふたご第1子）

地域	あり	なし	無・無効回答	合計
県北	0	18	0	18
県中	1	22	1	24
県南	0	3	0	3
相双	0	6	0	6
いわき	1	12	0	13
会津	0	9	0	9
南会津	0	1	0	1
県外	0	0	0	0
合計	2	71	1	74

蘇生の有無（ふたご第1子）

新生児仮死「あり」2人のみ対象

地域	した	しなかった	わからない	合計
県北	0	0	0	0
県中	1	0	0	1
県南	0	0	0	0
相双	0	0	0	0
いわき	1	0	0	1
会津	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0
県外	0	0	0	0
合計	2	0	0	2

新生児仮死（ふたご第2子）

地域	あり	なし	無・無効回答	合計
県北	0	18	0	18
県中	1	21	2	24
県南	0	3	0	3
相双	0	6	0	6
いわき	1	11	1	13
会津	1	8	0	9
南会津	0	1	0	1
県外	0	0	0	0
合計	3	68	3	74

蘇生の有無（ふたご第2子）

新生児仮死「あり」3人のみ対象

地域	した	しなかった	わからない	合計
県北	0	0	0	0
県中	0	0	1	1
県南	0	0	0	0
相双	0	0	0	0
いわき	1	0	0	1
会津	0	1	0	1
南会津	0	0	0	0
県外	0	0	0	0
合計	1	1	1	3

先天奇形・先天異常の有無

12週以降の単胎（一人）6,979人を対象とした。

地域	あり		なし		無・無効回答		合計	
県北	51	2.8%	1,721	95.5%	31	1.7%	1,803	100.0%
県中	45	2.3%	1,840	95.8%	36	1.9%	1,921	100.0%
県南	11	2.0%	525	97.0%	5	0.9%	541	100.0%
相双	9	1.8%	485	96.6%	8	1.6%	502	100.0%
いわき	21	1.8%	1,155	97.0%	15	1.3%	1,191	100.0%
会津	18	2.1%	823	96.4%	13	1.5%	854	100.0%
南会津	0	0.0%	71	100.0%	0	0.0%	71	100.0%
県外	3	3.1%	93	96.9%	0	0.0%	96	100.0%
合計	158	2.3%	6,713	96.2%	108	1.5%	6,979	100.0%

地域	先天奇形・異常の発生率※		有効回答
県北	51	2.88%	1,772
県中	45	2.39%	1,885
県南	11	2.05%	536
相双	9	1.82%	494
いわき	21	1.79%	1,176
会津	18	2.14%	841
南会津	0	0.00%	71
県外	3	3.13%	96
合計	158	2.30%	6,871

※発生率の分母は有効回答（「あり」「なし」を回答した人の合計数）。無効回答を除いた数字である。

※平成23年度報告書内の数値は無効回答も含んだ数字であり、本報告書の発生率とは異なる。

各疾患の発生率

上記 単胎（一人）先天奇形・異常「あり」の場合を対象とした（複数回答あり）

地域	心臓奇形	腎臓・尿路奇形	多指・合指症	口唇・口蓋裂	消化管閉鎖※1	二分脊椎	鎖肛	水頭症	小頭症	白内障	その他
県北	15	4	9	3	6	3	1	1	0	0	20
県中	18	6	3	6	0	1	3	0	1	0	15
県南	1	3	0	1	2	0	1	0	0	0	4
相双	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6
いわき	4	6	2	0	0	1	0	1	0	0	10
会津	9	3	0	2	1	0	0	0	0	0	5
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	51	22	14	14	9	6	5	2	1	0	60
発生率	0.74%	0.32%	0.20%	0.20%	0.13%	0.09%	0.07%	0.03%	0.01%	0.00%	0.87%

※複数回答あり。発生率の分母は有効回答（「あり」「なし」を回答した人の合計数）

※1 消化管（食道・十二指腸・空腸・回腸）閉鎖

単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」のうち「その他」の内訳（複数回答あり）

ダウン症候群	7	ウィリアムズ症候群	1	緑内障	1	骨形成不全症	1
副耳	4	漏斗胸	1	停留嚾丸	1	頭蓋骨欠損	1
甲状腺機能低下症	3	サイトメガロウイルス感染症	1	小耳症	1	頭蓋縫合早期癒合症	1
ガラクトース血症	2	胃軸捻転	1	外耳道閉鎖	1	内反足	1
18トリソミー	2	陰のう水腫	1	耳瘻孔	1	横隔膜弛緩症	1
先天性角膜混濁	2	先天性嚢胞性腺腫様奇形	1	小脳低形成	1	副腎腫瘍	1
停留精巣	2	サーモンパッチ	1	染色体異常	1	腹壁破裂	1
難聴	2	母斑	1	総排泄腔外反症	1	アミノ酸代謝異常症	1
皮膚洞	2	血管腫	1	鰓弓症候群	1	羊膜索症候群	1
眼瞼下垂	2	腋窩リンパ管腫	1	無脾症候群	1		
いちご状血管腫	2	口角下制筋欠損症	1	胆道閉鎖症	1		
臍帯ヘルニア	2	喉頭軟化症	1	腸回転異常症	1		

先天奇形・異常の有無

12週以降の双胎（ふたご）148人を対象とした。

地域	あり		なし		無・無効回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
県北	3	8.3%	33	91.7%	0	0.0%	36	100.0%
県中	3	6.3%	41	85.4%	4	8.3%	48	100.0%
県南	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	6	100.0%
相双	0	0.0%	11	91.7%	1	8.3%	12	100.0%
いわき	1	3.8%	24	92.3%	1	3.8%	26	100.0%
会津	0	0.0%	15	83.3%	3	16.7%	18	100.0%
南会津	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2	100.0%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	7	4.7%	132	89.2%	9	6.1%	148	100.0%

地域	先天奇形・異常の発生率	有効回答
県北	8.33%	36
県中	6.82%	44
県南	0.00%	6
相双	0.00%	11
いわき	4.00%	25
会津	0.00%	15
南会津	0.00%	2
県外	0.00%	0
合計	5.04%	139

※発生率の分母は有効回答（「あり」「なし」を回答した人の合計数）。

※平成23年度結果報告では、無効回答を含む合計数を分母としていたため今回の数値とは異なる。

各疾患の内訳

上記 双胎（ふたご）先天奇形・異常「あり」の場合を対象とした（複数回答あり）

地域	二分脊椎	口唇口蓋裂	水頭症	心臓奇形	白内障	腎・尿路奇形	小頭症	消化管閉鎖	鎖肛	多指・合指症	その他
県北	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
県中	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	2

上記 双胎（ふたご）先天奇形・先天異常「あり」のうち、「その他」の内訳

難聴	2
----	---

問 15 育児に自信がもてないことがありますか？

問 15、問 16 は、出産の方 7,023 人のみを対象とした。

地域	はい		いいえ		何ともいえない		無・無効回答		合計	
県北	342	18.8%	694	38.2%	757	41.7%	22	1.2%	1,815	100.0%
県中	301	15.6%	792	40.9%	812	42.0%	30	1.6%	1,935	100.0%
県南	89	16.5%	238	44.1%	204	37.8%	9	1.7%	540	100.0%
相双	85	16.9%	195	38.8%	214	42.6%	8	1.6%	502	100.0%
いわき	163	13.6%	576	47.9%	444	36.9%	19	1.6%	1,202	100.0%
会津	156	18.1%	360	41.8%	333	38.7%	12	1.4%	861	100.0%
南会津	9	12.5%	31	43.1%	29	40.3%	3	4.2%	72	100.0%
県外	23	24.0%	20	20.8%	52	54.2%	1	1.0%	96	100.0%
合計	1,168	16.6%	2,906	41.4%	2,845	40.5%	104	1.5%	7,023	100.0%

問 16 1ヶ月健診に関してご記入ください。お子様の発育はどうでしたか？

1ヶ月健診平均受診時期 (生後60日以下で1ヶ月健診を受診した6,975人(単胎6,842人、ふたご132人、不明1人)を対象とした。

地域	該当数	受診時 平均生後日数
県北	1,800	34.7
県中	1,933	33.0
県南	530	32.7
相双	501	32.5
いわき	1,188	32.6
会津	858	32.9
南会津	71	32.6
県外	94	33.0
合計	6,975	33.3

体重 単胎 (一人)

(平均値(g)±標準偏差(人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	4272.5 ± 618.6 (1,763)	4389.3 ± 620.9 (875)	4157.4 ± 594.6 (888)	2
県中	4192.9 ± 587.9 (1,885)	4303.6 ± 606.7 (970)	4075.5 ± 543.4 (915)	3
県南	4204.0 ± 598.6 (525)	4306.2 ± 642.0 (273)	4093.3 ± 527.1 (252)	1
相双	4173.0 ± 574.3 (488)	4304.2 ± 556.7 (256)	4028.2 ± 559.6 (232)	1
いわき	4189.6 ± 573.2 (1,170)	4290.8 ± 616.5 (623)	4074.3 ± 495.4 (547)	0
会津	4143.9 ± 580.7 (841)	4247.0 ± 584.5 (429)	4036.6 ± 557.5 (412)	0
南会津	4193.4 ± 594.5 (69)	4283.4 ± 603.4 (37)	4089.3 ± 575.8 (32)	0
県外	4262.7 ± 524.7 (94)	4358.1 ± 553.6 (54)	4133.8 ± 458.6 (40)	0
合計	4207.2 ± 593.0 (6,835)	4316.6 ± 609.1 (3,517)	4091.2 ± 552.4 (3,318)	7

体重 双胎 (ふたご)

(平均値(g)±標準偏差(人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	3173.8 ± 924.5 (34)	3293.4 ± 871.5 (21)	2980.6 ± 1009.7 (13)	0
県中	3180.8 ± 1077.1 (44)	3334.3 ± 1086.7 (22)	3027.3 ± 1070.1 (22)	1
県南	3786.0 ± 140.2 (4)	3720.0 ± 198.0 (2)	3852.0 ± 48.1 (2)	0
相双	3226.2 ± 592.9 (12)	3525.3 ± 143.5 (6)	2927.0 ± 733.4 (6)	0
いわき	3407.6 ± 850.2 (18)	3399.6 ± 963.8 (8)	3413.9 ± 801.8 (10)	0
会津	3454.2 ± 602.3 (17)	3265.7 ± 693.6 (7)	3586.1 ± 526.5 (10)	0
南会津	4342.5 ± 357.1 (2)	4342.5 ± 357.1 (2)	(0)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	3286.0 ± 899.5 (131)	3380.2 ± 882.3 (68)	3184.3 ± 913.8 (63)	1

身長 単胎 (一人)

(平均値 (cm) ± 標準偏差 (人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	53.5 ± 2.9 (1,760)	53.9 ± 3.0 (874)	53.0 ± 2.9 (886)	5
県中	53.1 ± 2.8 (1,878)	53.5 ± 2.8 (964)	52.7 ± 2.6 (914)	10
県南	52.6 ± 2.7 (521)	53.0 ± 2.7 (270)	52.2 ± 2.6 (251)	5
相双	53.1 ± 2.8 (486)	53.6 ± 2.7 (256)	52.5 ± 2.8 (230)	3
いわき	53.2 ± 2.8 (1,167)	53.6 ± 2.7 (621)	52.7 ± 2.9 (546)	3
会津	53.2 ± 2.9 (838)	53.6 ± 3.0 (427)	52.9 ± 2.7 (411)	3
南会津	52.9 ± 2.9 (69)	53.9 ± 2.1 (37)	51.9 ± 3.4 (32)	0
県外	53.3 ± 2.5 (94)	53.9 ± 2.1 (54)	52.6 ± 2.8 (40)	0
合計	53.2 ± 2.8 (6,813)	53.6 ± 2.8 (3,503)	52.8 ± 2.8 (3,310)	29

身長 双胎 (ふたご)

(平均値 (cm) ± 標準偏差 (人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	49.3 ± 4.2 (34)	50.1 ± 3.5 (21)	48.0 ± 5.1 (13)	0
県中	48.1 ± 5.5 (44)	48.8 ± 5.8 (22)	47.4 ± 5.3 (22)	1
県南	50.9 ± 0.8 (4)	50.5 ± 0.9 (2)	51.4 ± 0.1 (2)	0
相双	49.0 ± 4.2 (12)	51.1 ± 2.0 (6)	46.8 ± 4.9 (6)	0
いわき	49.3 ± 3.9 (18)	49.1 ± 4.9 (8)	49.4 ± 3.2 (10)	0
会津	50.9 ± 3.3 (17)	51.0 ± 3.8 (7)	50.8 ± 3.1 (10)	0
南会津	52.5 ± 3.5 (2)	52.5 ± 3.5 (2)	(0)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	49.2 ± 4.5 (131)	49.8 ± 4.4 (68)	48.5 ± 4.6 (63)	1

問17 福島県で次回の妊娠・出産をお考えですか？

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計	
県北	1,050	57.2%	763	41.6%	22	1.2%	1,835	100.0%
県中	1,112	57.0%	812	41.6%	28	1.4%	1,952	100.0%
県南	317	58.1%	215	39.4%	14	2.6%	546	100.0%
相双	288	56.6%	210	41.3%	11	2.2%	509	100.0%
いわき	698	57.8%	488	40.4%	22	1.8%	1,208	100.0%
会津	496	57.2%	359	41.4%	12	1.4%	867	100.0%
南会津	39	54.2%	31	43.1%	2	2.8%	72	100.0%
県外	44	45.8%	50	52.1%	2	2.1%	96	100.0%
合計	4,044	57.1%	2,928	41.3%	113	1.6%	7,085	100.0%

次回の妊娠・出産に関することで、あったらよいと思うサービス

地域	保育所・延長保育・病児保育などの充実		育児や小児医療に関する情報やサービス		産休・育児休暇などの充実		放射線と健康リスクに関する情報		その他		有効回答
県北	765	75.5%	689	68.0%	595	58.7%	379	37.4%	111	11.0%	1,013
県中	808	74.7%	736	68.0%	605	55.9%	428	39.6%	104	9.6%	1,082
県南	218	71.7%	208	68.4%	174	57.2%	119	39.1%	27	8.9%	304
相双	191	69.2%	209	75.7%	148	53.6%	119	43.1%	26	9.4%	276
いわき	504	74.7%	475	70.4%	369	54.7%	257	38.1%	84	12.4%	675
会津	337	70.1%	330	68.6%	283	58.8%	159	33.1%	44	9.1%	481
南会津	25	64.1%	28	71.8%	24	61.5%	9	23.1%	3	7.7%	39
県外	18	46.2%	20	51.3%	7	17.9%	7	17.9%	7	17.9%	39
合計	2,866	73.3%	2,695	68.9%	2,205	56.4%	1,477	37.8%	406	10.4%	3,909

※分母は有効回答（「はい」と答えた方で「次回の妊娠・出産に関することで、あったらよいと思うサービス」に記載のあった方）。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

次回の妊娠を希望しない方の理由

地域	希望していない		年齢や健康上の理由		今いる子どもに手がかかる		収入が不安定		家事・育児の協力者がいない		保育所などの預け先がない	
県北	490	64.4%	247	32.5%	207	27.2%	145	19.1%	69	9.1%	45	5.9%
県中	503	61.9%	247	30.4%	239	29.4%	151	18.6%	85	10.5%	54	6.7%
県南	148	69.2%	63	29.4%	62	29.0%	30	14.0%	27	12.6%	17	7.9%
相双	131	62.4%	61	29.0%	68	32.4%	33	15.7%	18	8.6%	17	8.1%
いわき	284	58.2%	153	31.4%	151	30.9%	87	17.8%	41	8.4%	31	6.4%
会津	226	63.1%	97	27.1%	85	23.7%	62	17.3%	29	8.1%	12	3.4%
南会津	22	71.0%	11	35.5%	4	12.9%	3	9.7%	2	6.5%	0	0.0%
県外	26	52.0%	10	20.0%	18	36.0%	0	0.0%	2	4.0%	7	14.0%
合計	1,830	62.6%	889	30.4%	834	28.5%	511	17.5%	273	9.3%	183	6.3%

地域	放射線の影響が心配		家族と離れて生活しているため		避難生活をしているため		その他		有効回答
県北	33	4.3%	10	1.3%	6	0.8%	45	5.9%	761
県中	39	4.8%	17	2.1%	3	0.4%	68	8.4%	812
県南	6	2.8%	3	1.4%	0	0.0%	11	5.1%	214
相双	13	6.2%	9	4.3%	10	4.8%	13	6.2%	210
いわき	17	3.5%	8	1.6%	1	0.2%	44	9.0%	488
会津	5	1.4%	4	1.1%	0	0.0%	24	6.7%	358
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%	31
県外	1	2.0%	5	10.0%	0	0.0%	8	16.0%	50
合計	114	3.9%	56	1.9%	20	0.7%	214	7.3%	2,924

※分母は有効回答（「いいえ」と答えた方で「次回の妊娠を希望しない方の理由」の記載のあった方）。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

3. 自由記載内容

有効回答 7,085 人中、調査票に自由記載があった 745 人の内容について集計した。

自由記載内容内訳

育児支援サービスの充実の要望について	112	15.0%
育児相談 ^{※※}	112	15.0%
胎児・子どもへの放射線の影響について	71	9.5%
医療サービスの充実や体のケアに対する要望	68	9.1%
本調査への意見・苦情	59	7.9%
放射線についての情報発信や調査結果の公表への要望について	58	7.8%
本人の精神的不調への訴え	56	7.5%
医療サービスの不足への不安や不満	48	6.4%
身体的不調 ^{※※}	47	6.3%
この調査への賛同	35	4.7%
外出・外遊びでの放射線の心配	28	3.8%
離乳食・食物への放射線の影響について	28	3.8%
人間関係 ^{※※※}	27	3.6%
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	26	3.5%
除染・遊び場の確保への要望	24	3.2%
家族離散・避難に対する不安や不満	23	3.1%
甲状腺検査への要望について	23	3.1%
検査健診全体への要望	21	2.8%
経済的な不安・負担に対するもの	17	2.3%
水への放射線の影響についての心配	16	2.1%
経済的支援の要望	13	1.7%
内部被ばく（ホールボディカウンタ等）検査の要望	13	1.7%
心のケアや相談窓口の充実の要望について	8	1.1%
今回妊娠の転帰との関連	7	0.9%
健診・検診への要望	7	0.9%
母乳・ミルクへの放射線の影響について	6	0.8%
県民健康管理調査への要望	6	0.8%
次回妊娠への放射線の影響への不安について	5	0.7%
外部被ばく（ガラスバッチ配布、線量計配布等）に関する事	2	0.3%
尿検査の要望	1	0.1%
母乳検査の要望	1	0.1%
その他	165	22.1%

※記載内容の割合の分母は、自由記載ありの人数 745 人

※複数回答あり

※※ 平成 23 年度調査ではみられなかった内容

※※※平成 24 年度調査ではみられなかった内容

4. 支援状況

平成 26 年 要支援者数 830 人（回答 7,132 人）（要支援率 11.6%）

支援に関する集計は、平成 26 年 11 月 20 日～平成 27 年 12 月 18 日の期間に回答のあった人すべてを対象に行った。

要支援者数

地域	送付数	回答数		支援数	
県北	3,515	1,841	52.4%	216	11.7%
県中	4,376	1,961	44.8%	232	11.8%
県南	1,188	553	46.5%	60	10.8%
相双	1,213	512	42.2%	68	13.3%
いわき	2,648	1,213	45.8%	117	9.6%
会津	1,941	872	44.9%	119	13.6%
南会津	136	72	52.9%	5	6.9%
県外	108	108	100.0%	13	12.0%
合計	15,125	7,132	47.2%	830	11.6%

※回答数の割合の分母は送付数。支援数の割合の分母は回答数。

地域別要支援者の内訳

地域	うつ項目による支援		自由記載内容による支援		合計	
県北	178	82.4%	38	17.6%	216	100.0%
県中	170	73.3%	62	26.7%	232	100.0%
県南	42	70.0%	18	30.0%	60	100.0%
相双	52	76.5%	16	23.5%	68	100.0%
いわき	93	79.5%	24	20.5%	117	100.0%
会津	98	82.4%	21	17.6%	119	100.0%
南会津	3	60.0%	2	40.0%	5	100.0%
県外	9	69.2%	4	30.8%	13	100.0%
総計	645	77.7%	185	22.3%	830	100.0%

地域別「主な相談内容」の内訳

地域	母親の心身の状態 に関する事		子育て関連 生活の事		家庭生活 に関する事		子どもの心身の健康 に関する事		放射線の影響や 心配に関する事		避難生活 に関する事		その他		有効回答
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	105	48.6%	72	33.3%	41	19.0%	31	14.4%	14	6.5%	2	0.9%	84	38.9%	216
県中	121	52.2%	89	38.4%	56	24.1%	27	11.6%	27	11.6%	0	0.0%	81	34.9%	232
県南	30	50.0%	24	40.0%	11	18.3%	9	15.0%	7	11.7%	0	0.0%	17	28.3%	60
相双	29	42.6%	25	36.8%	14	20.6%	14	20.6%	7	10.3%	3	4.4%	27	39.7%	68
いわき	60	51.3%	45	38.5%	24	20.5%	17	14.5%	14	12.0%	1	0.9%	42	35.9%	117
会津	60	50.4%	41	34.5%	22	18.5%	18	15.1%	7	5.9%	0	0.0%	45	37.8%	119
南会津	1	20.0%	1	20.0%	1	20.0%	3	60.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	5
県外	5	38.5%	3	23.1%	1	7.7%	1	7.7%	2	15.4%	0	0.0%	5	38.5%	13
総計	411	49.5%	300	36.1%	170	20.5%	120	14.5%	79	9.5%	6	0.7%	302	36.4%	830

※分母は有効回答（支援数）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

支援完了理由の内訳

	傾聴※1		情報提供※2		既受診先あり※3		Q&A 対応※4		受診勧奨※5		市町村へ※6		ころへ※7	
県北	124	57.4%	102	47.2%	57	26.4%	25	11.6%	19	8.8%	0	0.0%	0	0.0%
県中	143	61.6%	116	50.0%	58	25.0%	24	10.3%	17	7.3%	1	0.4%	0	0.0%
県南	36	60.0%	26	43.3%	17	28.3%	7	11.7%	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%
相双	39	57.4%	27	39.7%	16	23.5%	4	5.9%	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
いわき	72	61.5%	57	48.7%	33	28.2%	11	9.4%	7	6.0%	1	0.9%	1	0.9%
会津	70	58.8%	57	47.9%	33	27.7%	11	9.2%	6	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津	4	80.0%	2	40.0%	3	60.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県外	8	61.5%	11	84.6%	2	15.4%	1	7.7%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%
総計	496	59.8%	398	48.0%	219	26.4%	84	10.1%	53	6.4%	3	0.4%	1	0.1%

	放射線へ※8		専門医紹介※9		不在		連絡先不明		拒絶		その他		有効回答
県北	0	0.0%	0	0.0%	51	23.6%	3	1.4%	2	0.9%	2	0.9%	216
県中	0	0.0%	0	0.0%	47	20.3%	6	2.6%	2	0.9%	3	1.3%	232
県南	0	0.0%	0	0.0%	12	20.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	60
相双	0	0.0%	0	0.0%	17	25.0%	0	0.0%	1	1.5%	2	2.9%	68
いわき	0	0.0%	0	0.0%	22	18.8%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%	117
会津	0	0.0%	0	0.0%	31	26.1%	3	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	119
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
県外	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13
総計	0	0.0%	0	0.0%	181	21.8%	14	1.7%	5	0.6%	8	1.0%	830

※分母は有効回答（支援数）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

※1 対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了。

※2 適切な情報提供・行政窓口を紹介し終了。

※3 既に受診先や相談先があることを確認し終了。

※4 相手の疑問・質問に適切に回答し終了。

※5 医師の診察を受けることを勧めて終了。

※6 市町村へ継ぎ終了。

※7 ころの専門医へ継ぎ終了。

※8 放射線相談窓口へ継ぎ終了。

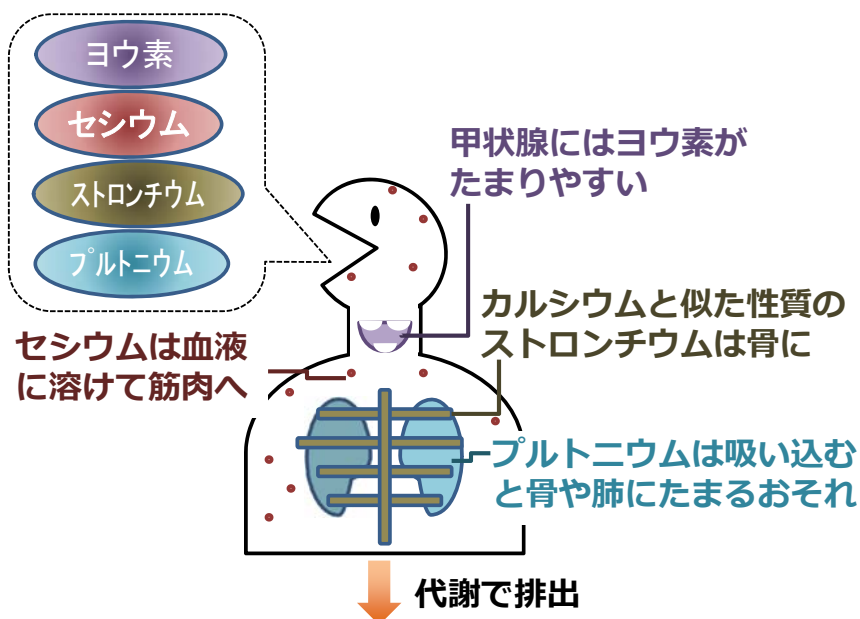
※9 専門医へ専門的回答をお願いし終了。

福島原発事故における 甲状腺被ばくの線量推定

平成28年2月15日
弘前大学 床次眞司

甲状腺線量の推定と不確かさ

放射性物質を体内に取り込むと…？



不確かさ

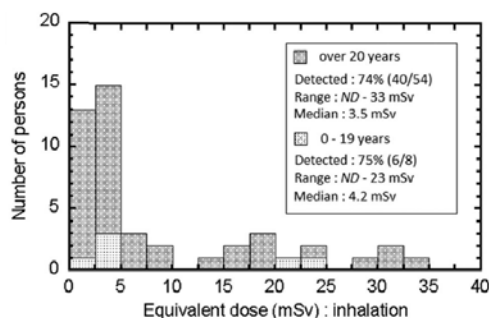
- ・甲状腺取込率
- ・摂取の時期
- ・ヨウ素の形態
- ・呼吸率など

甲状腺被ばくに関する情報

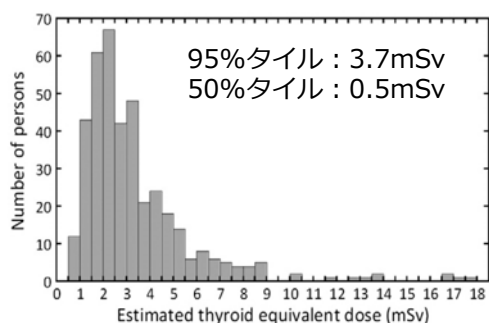
- ① 浪江町等住民の甲状腺線量
- ② 初動対応者・避難者の甲状腺線量
- ③ 飯館村等住民の甲状腺線量
- ④ 甲状腺線量の再構築
(環境省委託事業)
- ⑤ 国連科学委員会報告書
(環境モニタリングデータに基づく推定)

① 浪江町等住民の甲状腺線量

- 浪江町等住民62名(0から83歳)の甲状腺中I-131を計測。子供と成人の最大甲状腺等価線量は、それぞれ23mSvと33mSvであった。
- 核種摂取比(I-131/Cs-134)を用いて浪江町住民2393名の体内セシウム量から甲状腺等価線量を推定。最大で18mSvであった。



核種摂取比率を推定
WBC測定データ



②初動対応者・避難者の甲状腺線量

- 事故後1ヶ月以内に初動対応者等(計173名)をWBCにより測定。およそ30%の被験者から汚染が検出された。
- 甲状腺等価線量の最大値はおよそ20mSvである。

被験群	滞在期間	測定人数
1	3/11-3/18	45
2	3/14-3/22	66
3	3/18-3/31	31
4	3/22-4/10	31



被験群	甲状腺等価線量(mSv)
1	< 20.04
2	< 1.79
3	< 1.10
4	<1.36

引用: Matsuda et al., Radiat. Res. 179, 663 (2013)

③飯館村等住民の甲状腺線量

- 飯館村等の住民15名の尿から甲状腺線量を推計した。
- 尿の採取は2011年5-6月に行い、ICRPの体内動態モデルなどから線量を推計した。
- 住民の中には庭先の作物を摂取した方もいた。
- 甲状腺線量は、最大で成人で27-66mSv、子供で44mSvであった。

被験群	甲状腺線量
成人	66
成人	58
成人	ND
成人	ND
成人	ND
成人	ND
成人	ND
成人	50
成人	27
成人	50
子供	44
子供	ND
子供	ND
子供	ND

引用: Kamada et al., J Environ. Radiat. 110, 84 (2012)

④ 甲状腺線量の再構築

甲状腺線量の推定値 (90%タイル※拡散シミュレーションによる推定は除く)

自治体	1歳児	成人	方法
双葉町	30	10	全身計測
大熊町	20	< 10	全身計測
富岡町	10	< 10	全身計測
楡葉町	10	< 10	全身計測
広野町	20	< 10	全身計測
浪江町	20	< 10	全身計測、甲状腺計測
飯舘村	30	20	甲状腺計測、全身計測
川俣町	10	< 10	甲状腺計測、全身計測
川内村	< 10	< 10	全身計測
葛尾村	20	< 10	浪江町の推定値を代用
いわき市	30	10	拡散シミュレーション、甲状腺計測
南相馬市	20	< 10	浪江町の推定値を代用
福島県内 (上記以外)	< 10	< 10	拡散シミュレーション

(mSv)

引用: 福島県県民健康調査, 第2回甲状腺評価部会スライド

⑤ 国連科学委員会報告書

	吸入による内部被ばく	経口による内部被ばく
経路	①放射性プルームの大気移動 ②地表面に沈着した核種からの再浮遊	①核種を含む食品
使用データ	①地上及び航空機による地表面の沈着核種密度 ②放出核種の種類と量の推定値と大気拡散シミュレーションにより推定された大気中及び地表面の放射性物質の濃度 ※不確かさ 甲状腺取込率、ヨウ素形態など	①食品及び飲料水中の放射性物質濃度 <ul style="list-style-type: none"> 1年目：市場流通の食品及び飲料水の核種測定データ 2年目以降：土壤汚染濃度データからシミュレーションにより推定した食品中核種濃度。福島県沖海域での測定したデータ及び放射性核種拡散シミュレーションにより推定した海水中の核種濃度 ②日本人の食品摂取量 ※不確かさ 甲状腺取込率、検査食品の選定の偏りなど
核種	I-131, Cs-137, Te132など	I-131, Cs-134, Cs-137
	I-131が甲状腺被ばくに最も寄与する	

引用: 国連科学委員会2013年報告書など.

⑤国連科学委員会報告書

年齢層	甲状腺吸収線量 (mSv)					
	予防的避難地区			計画的避難地区		
	避難前および避難中	避難先	事故後1年間合計	避難前および避難中	避難先	事故後1年間合計
成人	0~23	0.8~16	7.2~34	15~28	1~8	16~35
小児(10歳)	0~37	1.5~29	12~58	25~45	1.1~14	27~58
幼児(1歳)	0~46	3~49	15~82	45~63	2~27	47~83

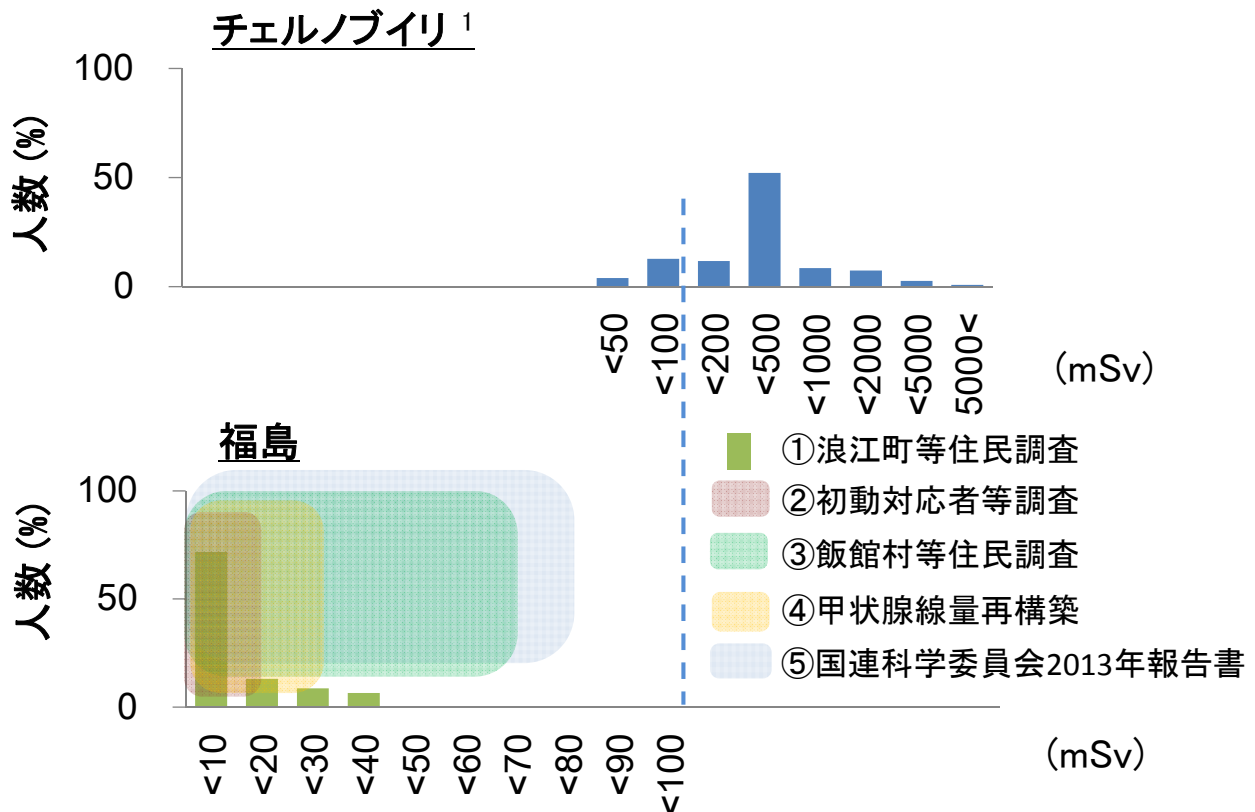
引用:国連科学委員会2013年報告書. GyをSvと仮定.

⑤国連科学委員会報告書

地域	1年間の甲状腺吸収線量 (mSv)		
	成人	10歳児	1歳児
福島県の避難対象外行政区画の住民	7.8~17	15~31	33~52
宮城県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県、岩手県の住民	0.6~5.1	1.3~9.1	2.7~15
その他の都道府県の住民	0.5~0.9	1.2~1.8	2.6~3.3

引用:国連科学委員会2013年報告書. GyをSvと仮定.

甲状腺等価線量-チェルノブイリとの比較



1: 国連科学委員会2008年報告書. GyをSvと仮定.

まとめ

- 国内の調査や国連科学委員会報告書における甲状腺線量は概ね80mSvもしくはそれ以下の水準にあった。
- 甲状腺の線量を推計する場合には、様々な不確かさが伴う。

「県民健康調査」検討委員会における データ提供に係る検討部会の設置について

平成28年2月15日
福島県県民健康調査課

県民健康調査に関する幅広い研究の促進を通して、県民の健康の維持増進など、県民の利益につなげることを目的に、公益性の高い研究に対してデータ提供を行う。

データ提供にあたっては、信頼性の高い研究を求めていくとともに、個人情報の取扱いには細心の注意を払う。

これらを踏まえて、データ提供に係るルールを検討するため、関係分野の専門家等で構成する部会を設置する。

1 名 称

学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会（仮称）

2 役 割

部会を設置し、データの提供に係るルールについて、個人情報、法律、疫学、統計等の専門的見地から広く助言等を得る。

具体的には、個人情報の保護に十分配慮し、提供するデータ、データの提供先、審査委員会（※）の審査範囲、審査委員会の審査内容等について検討し、データの提供に係るルールの骨子となる考え方を提示する役割を担う。

また、検討の経過、内容、結論等については、検討委員会に適宜報告する。

なお、会議の公開、議事録等については、検討委員会の取扱いに準ずるものとし、広く県民に公表する。

※ 審査委員会とは、県に対してデータ提供の申請があった場合に、定められた審査基準に基づき申請内容を審査し、県に対して助言する機関のことをいう。

3 構 成

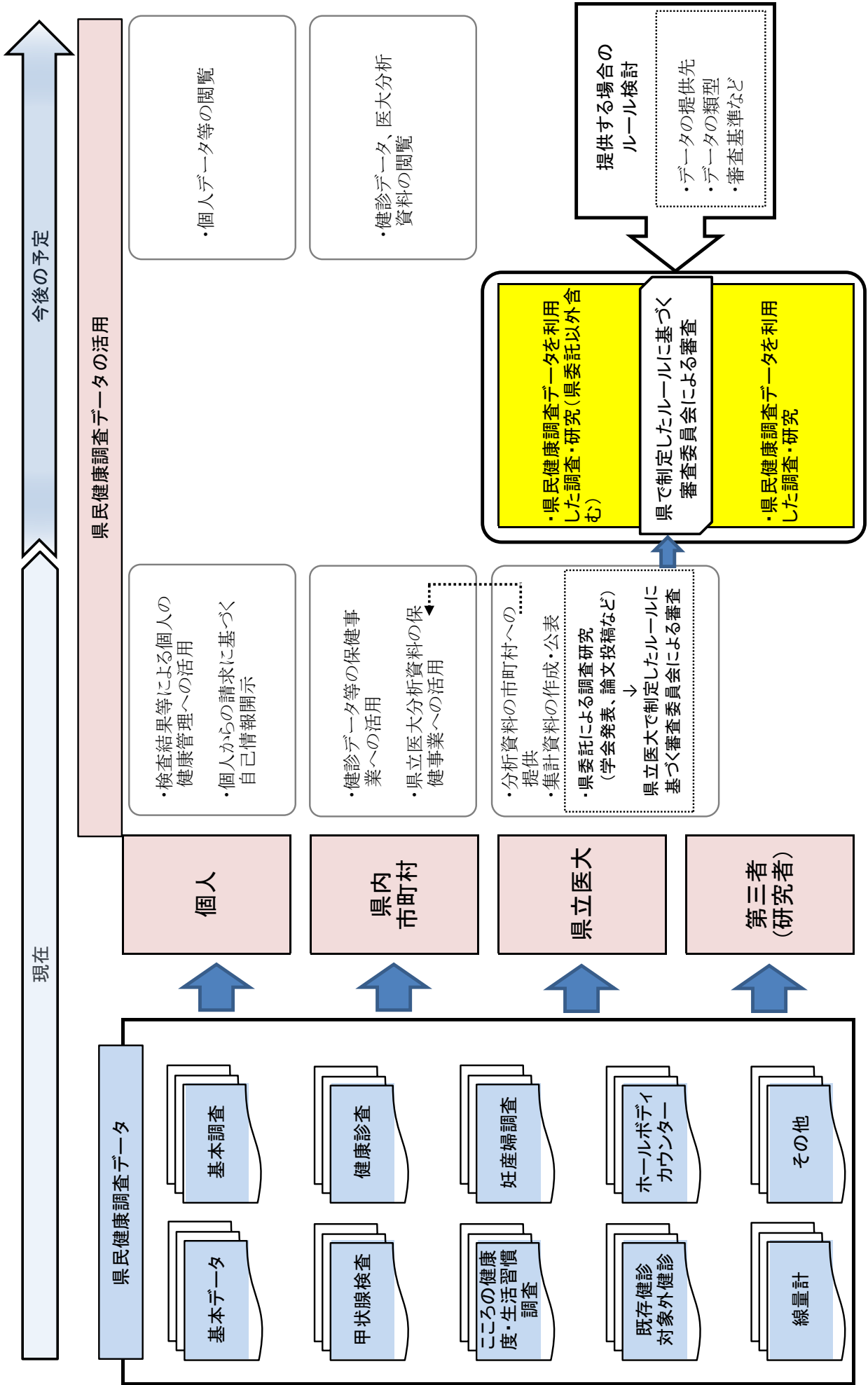
部会員は、検討委員会委員の疫学等の有識者のほか、個人情報、法律、疫学、統計等の有識者を招聘する。

また、必要に応じて部会員以外の有識者の参加を求め、議論を深めることとする。

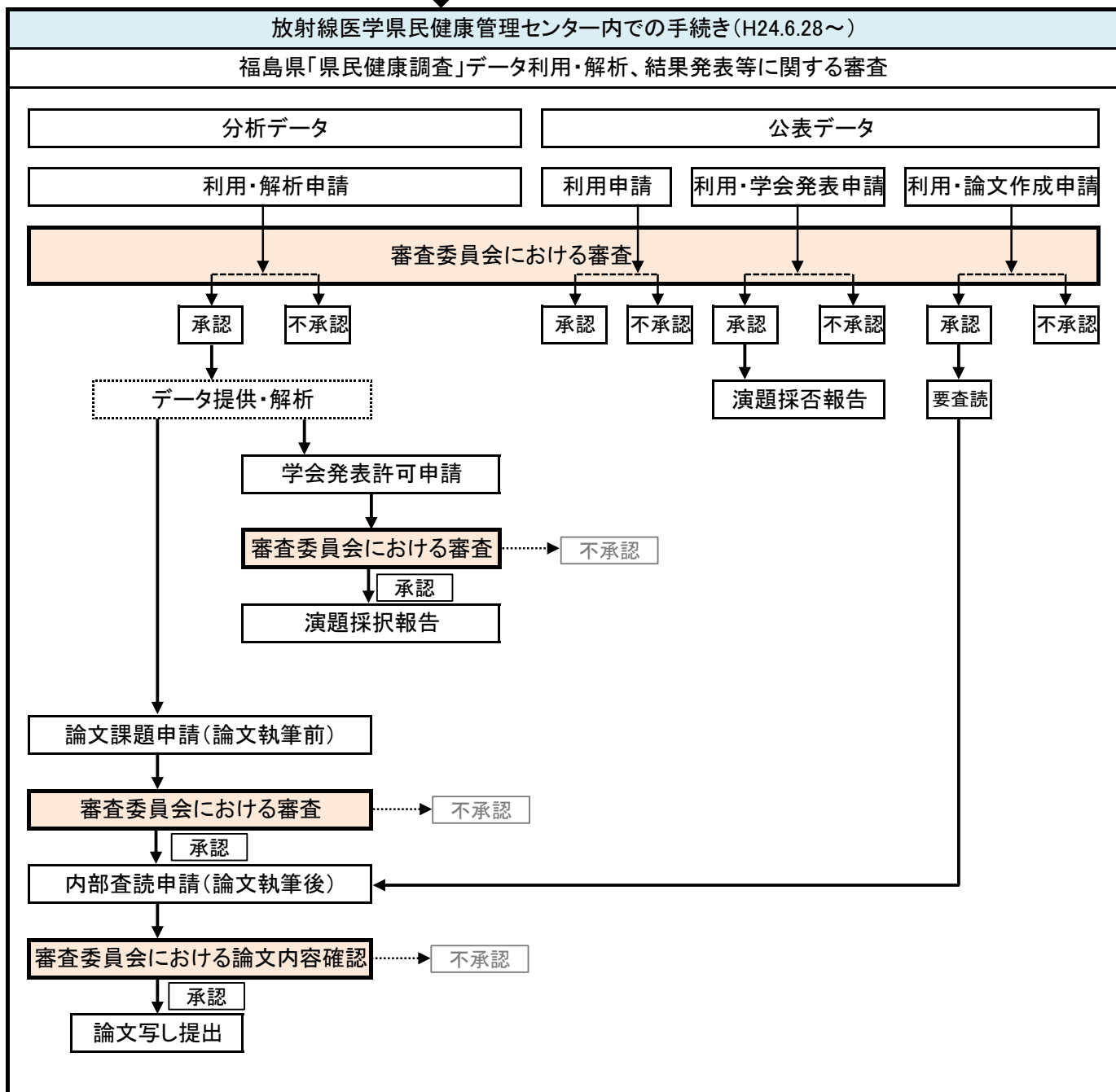
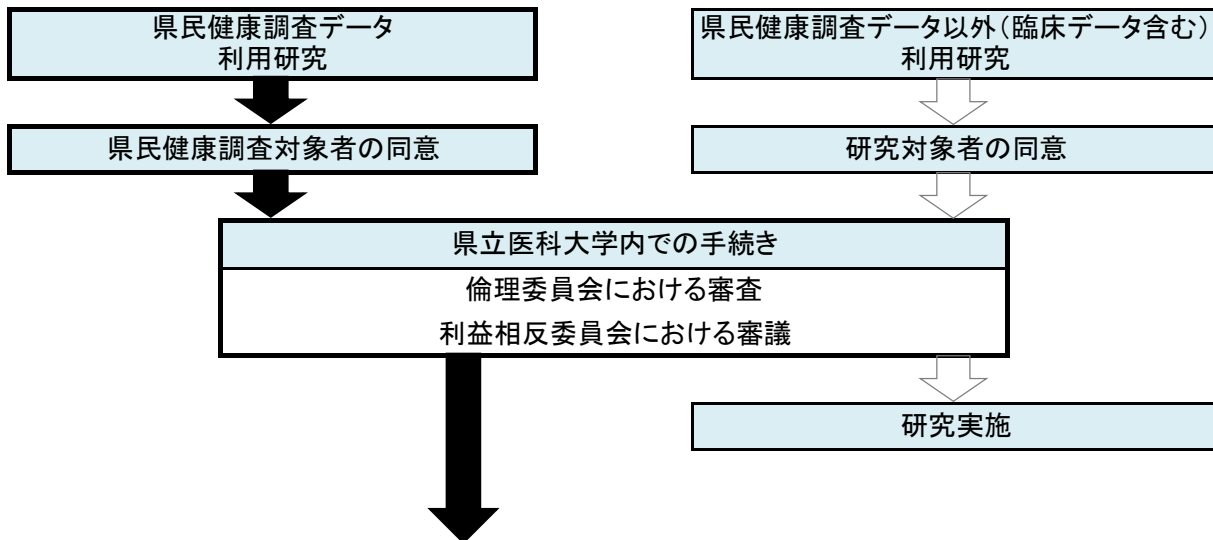
【部会員の構成イメージ（案）】

- | | | |
|------------|---------|---------------------|
| ① 星 北斗 | 検討委員会座長 | ⑥ 統計の専門家 |
| ② 津金 昌一郎 | 委員 | ⑦ データベースの専門家 |
| ③ 個人情報の専門家 | | ⑧ 県民健康調査担当者（県立医科大学） |
| ④ 法律の専門家 | | ⑨ 行政担当者（福島県） |
| ⑤ 疫学の専門家 | | |

県民健康調査データの活用全体イメージ図



福島県立医科大学における研究に関するフロー



福島県立医科大学における研究に関する審査内容について

県立医科大学内手続き

1 倫理審査委員会

福島県立医科大学に所属する職員、博士研究員、大学院生及び大学院研究生が人を直接対象とした医学、看護学の研究及び医療行為（以下「研究等」という。）を行う場合において、ヘルシンキ宣言及び看護研究のための倫理指針が遵守され、研究等の適正な推進を図ることを目的とするもの。

2 利益相反委員会

福島県立医科大学の役員及び職員の活動によって発生する利益相反を適切にマネジメントすることにより、本法人の産学官連携活動の積極的な推進に資することを目的とするもの。

放射線医学県民健康管理センター内手続き

3 福島県「県民健康調査」データ利用・解析等に関する審査委員会

県民健康調査の調査データの適切な利用、解析及び結果発表について審査を行う。

(1) 申請資格

- ア 県民健康調査の専門委員会委員
- イ 県民健康調査の専門委員会委員に準ずる者で、いずれかの専門委員会の承認を受けた者

(2) 審査項目

- ア 課題名、申請者
- イ 利用希望データの種類・範囲
- ウ データの利用目的
- エ 解析計画
- オ 解析結果の公表方法
- カ データ使用・保管に関する事項

(3) 審査基準

- ア 研究開発成果の取扱いに関する検討会報告書(文部科学省:平成17年5月20日)に照らし合わせて、データ等が適切に利用・報告されるかどうか
- イ 県民健康調査の目的である「長期にわたる県民の健康の見守り」に沿っているか
- ウ 申請書のとおり利用・解析・結果発表された場合に問題がないか
- エ データの取り扱う資格・資質に問題はないか
- オ データの取り扱いに不備はないか
- カ その他、データ利用に関して問題はないか

(4) 審査委員会委員

- 委員長 放射線医学県民健康管理センター長
- 委員 放射線医学県民健康管理センター副センター長、部門長、室長、事務局次長（復興担当）、その他審査委員会が必要と認めた者

1 県民健康調査における中間取りまとめ 最終案

2
3 平成 28 年 2 月 日 福島県県民健康調査検討委員会

4
5
6 1. はじめに

7 本検討委員会は、福島県の実施する県民健康調査が十分な成果を収めるよう、またその調
8 査結果が県民・国民の信頼を得られるよう、さまざまな専門的見地から助言や提言を行うこ
9 とを任務としている。

10 この調査の開始から 5 年目という区切りの時期を迎え、これまでの調査により把握出来た
11 こと出来なかったこと、得られた調査結果に対する評価等についての議論を経て、一定のま
12 とめを行った上で明文化し次の段階に進むことが必要であると考え、今回、取りまとめるも
13 のである。

14
15
16 2. 県民健康調査の目的について

17 本調査の目的は、本委員会設置要綱に次のように記されている通りである。

18 「東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散や避難等を踏ま
19 え、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期
20 発見、早期治療につなげ、もって、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図る。」

21 この記述から、本調査は 2 つの目的を内包していることが分かる。すなわち第 1 に、事故
22 による被ばく線量の評価を行うとともに被ばくによる健康への影響について考察すること。
23 第 2 には、被ばくによるものであると避難等によるものとを問わず、事故の影響が県民の健
24 康に及ぶ事態を想定してその予防や治療に寄与することである。

25
26
27 3. 各種調査の結果と評価

28
29 (1) 基本調査

30 【調査結果の概要】

31 事故後 4 か月間における外部被ばく実効線量の推計を実施。平成 27 年 9 月末現在、回
32 答数は、**561,966 人**、回答率は **27.3%**、推計期間が 4 か月未満の方及び放射線業務従事者
33 を除く **457,031 人**の推計結果は、最高値 25mSv、**62.0%**が 1mSv 未満、93.8%が 2mSv
34 未満、99.8%が 5mSv 未満となっている。なお、これまで得られている被ばく線量分布が
35 県全体の状況を正しく反映しているか否か、その代表性について検証する作業が行われて
36 いる。

1 【評価・今後の方向性】

- 2 ① 本調査で得られた線量推計結果や当時の行動記録は、事故後4か月間の外部被ばくに
3 限られたデータであるが、今後被ばくによる健康影響を長期的に見守っていく上での
4 基礎となるものである。
- 5 ② 本調査で得られた線量推計結果 (事故後4か月間の外部被ばく実効線量：99.8%が5mSv
6 未滿等) は、これまで得られている科学的知見に照らして、統計的有意差をもって確
7 認できるほどの健康影響が認められるレベルではないと評価する。
- 8 ③ 代表性の検証により、これまでに集計、公表している外部被ばく線量の分布が県民全
9 体の状況を正しく反映し、偏りのないものとなっていることが確認された場合、更な
10 る回答率の向上を目標とするよりも、自らの被ばく線量を知りたいという県民に対し
11 窓口を用意するという方向にシフトすべきである。

12
13
14 (2) 甲状腺検査

15 【調査結果の概要】

16 平成 23 年 10 月に開始した先行検査（一巡目の検査）においては、震災時福島県に居
17 住の概ね 18 歳以下の県民を対象とし、約 30 万人が受診（受診率 81.5%）、これまでに 113
18 人が甲状腺がんの「悪性ないし悪性疑い」と判定され、このうち、99 人が手術を受け、
19 乳頭がん 95 人、低分化がん 3 人、良性結節 1 人という確定診断が得られている。[平成
20 27 年 6 月 30 日集計]

21
22 【評価・今後の方向性】

23 (甲状腺検査部会の中間とりまとめを踏まえ、本委員会として要約・整理・追加した。)

24
25 ◇ 先行検査（一巡目の検査）を終えて、わが国の地域がん登録で把握されている甲状腺
26 がんの罹患統計などから推定される有病数に比べて数十倍のオーダーで多い甲状腺が
27 んが発見されている。*¹このことについては、将来的に臨床診断されたり、死に結び
28 ついたりすることがないがんを多数診断している可能性が指摘されている。

29 これまでに発見された甲状腺がんについては、被ばく線量がチェルノブイリ事故と比
30 べてはるかに少ないこと、被ばくからがん発見までの期間が概ね 1 年から 4 年と短いこ
31 と、事故当時 5 歳以下からの発見はないこと、地域別の発見率に大きな差がない*²こ
32 とから、放射線の影響とは考えにくいと評価する。

33 但し、放射線の影響の可能性は小さいとはいえ現段階ではまだ完全には否定できず、
34 影響評価のためには長期にわたる情報の集積が不可欠であるため、検査を受けること
35 による不利益についても丁寧に説明しながら、今後も甲状腺検査を継続していくべきであ
36 る。

- 1 ① 放射線被ばくの影響評価には、長期にわたる継続した調査が必須である。
- 2 ② 事故初期の放射性ヨウ素による内部被ばく線量の情報は、今回の事故の影響を判断す
3 る際に極めて重要なものであり、こうした線量評価研究との連携を常に視野に入れて
4 調査を進めていくべきである。
- 5 ③ 今後、仮に被ばくの影響で甲状腺がんが発生するとして、どういうデータ(分析)に
6 よって、影響を確認していくのか、その点の「考え方」を現時点で予め示しておくべ
7 きである。
- 8 ④ 放射線の影響を受けやすいという観点からは、検査対象者の中で、特に、事故当時の
9 乳幼児における検査結果は重要なものである。
- 10 ⑤ 県外への転出等が増加する年代に対する受診案内の確実な送付を徹底すべきである。
- 11 ⑥ 個々の甲状腺がんの原因の特定は困難であるものの、集団として捉えた場合、二次検
12 査を受ける患者の多くは、今回の甲状腺検査がなければ、少なくとも当面は(多くは
13 おそらく一生涯)、発生し得なかった診療行為を受けることになると考えられるため、
14 甲状腺検査を契機として保険診療に移行した場合の経済的負担を解消する施策は継
15 続すべきである。
- 16 ⑦ 今回の原子力発電所事故は、福島県民に、「不要な被ばく」に加え、「不要だったかも
17 しれない甲状腺がんの診断・治療」のリスク負担をもたらしている。しかし、甲状腺
18 検査については、事故による被ばくにより、将来、甲状腺がんが発生する可能性が否
19 定できないこと、不安の解消などから検査を受けたいという多数県民の意向もあるこ
20 と、さらには、事故の影響による甲状腺がんの増加の有無を疫学的に検討し、県民な
21 らびに国内外に示す必要があることなどを考慮しなければならない。
- 22 ⑧ 甲状腺検査においては、県民の理解の促進を図り、受診者等の同意を得て実施してい
23 くという方針の下で、利益のみならず不利益も発生しうること、甲状腺がん(乳頭が
24 ん)は、発見時点での病態が必ずしも生命に影響を与えるものではない(生命予後の
25 良い)がんであることを県民にわかりやすく説明したうえで、被ばくによる甲状腺が
26 ん増加の有無を検討することが可能な調査の枠組みの中で、現行の検査を継続してい
27 くべきである。
- 28 ⑨ 甲状腺検査の対象者やがんと診断された者の置かれた状況に鑑み、カウンセリング等
29 の精神的なサポートを充実させていくべきである。

31 (3) 健康診査

32 【調査結果の概要】

33 平成 23 年度から避難区域等に居住していた県民を対象に、白血球分画等の検査項目を
34 追加した健康診査を実施している。また、平成 24 年度からは、特定健診や事業所健診等
35 の対象となっていない方に、特定健診と同等の健康診査の受診機会を提供している。

36 平成 23 年度から平成 25 年度に実施した避難区域等居住歴のある県民を対象とした健
37 診結果^{*3}(16 歳以上)からは、震災直後増加した肥満、肝機能障害は多くの地域で改善

1 傾向・あるいは上昇に歯止めがかかっていることが読み取れるものの、高血圧、脂質異常
2 を有する者の割合は高いままであり、糖尿病は依然として増加し続けていること、また、
3 腎機能障害の割合は、特に 65 歳以上の受診者で増加傾向にあることから、いずれの生活
4 習慣関連調査項目も震災前の状態には戻っていないと言える。

5 こうした分析結果を市町村に還元し、疾病予防・健康づくりに活用されているとともに、
6 健診結果説明会の開催や各市町村広報誌を介した健康啓発にも取り組んでいる。

7 平成 23、24、25 年度を通じ、避難区域等居住歴のある小児において赤血球数、白血球
8 数、血小板数の値に変化はみられなかった。白血球分画のうち、好中球、リンパ球、単球、
9 好酸球、好塩基球の実数値平均値は小児の各年齢層、平成 23、24、25 年度を通じて大き
10 な変化は認められなかった。

11 受診率（避難区域等居住県民を対象とした健康診査）

12	平成 23 年度	24 年度	25 年度	26 年度*	
13					
14	15 歳以下	64.5%	43.5%	38.7%	35.6%
15	(0- 6 歳	64.6%	45.0%	40.9%	37.4%)
16	(7-15 歳	64.4%	42.6%	37.5%	34.7%)
17	16 歳以上	30.9%	25.4%	23.0%	22.2%

18 ※ 速報値：平成 27 年 9 月 1 日現在

19 【評価・今後の方向性】

- 20 ① 白血球数・分画の結果から、放射線の直接的な影響については、現在のところ確認さ
21 れていない。一方、循環器危険因子（肥満、高血圧、脂質異常、糖尿病、腎機能障害、
22 高尿酸血症）の増加がみられ、放射線の間接的な影響（避難等による生活環境の変化
23 などによる健康影響）が考えられ、これについては対策を一層重視していくべきであ
24 る。
- 25 ② 乳幼児の採血については、保護者の十分な理解に基づく希望がある場合にのみの限定
26 的な実施に留めるべきである。

27 (4) こころの健康度・生活習慣に関する調査

28 【調査結果の概要】

29 平成 23 年度から避難区域等に居住していた県民を対象に、「こころ」や「からだ」の
30 健康上の問題を把握し、適切なケアを提供するため、アンケート調査を実施している。回
31 答内容から、こころの健康上、相談・支援の必要があると判断された方には、電話等によ
32 る相談、支援などを行っている。

33 平成 23 年度から平成 25 年度の調査結果^{*4}では、こころの健康に関して支援が必要と
34 考えられる大人、子どもの割合は、共に年々減少している。しかし、大人ではまだ 2 割近
35 くの方で被災によって生じた「トラウマ反応」が長引いている可能性があり、気分障害や
36
37

不安障害の可能性のある方の割合も全国平均と比べて3倍以上となっている。どの年齢区分の子どもでも、支援が必要と考えられる子どもの割合は、被災していない地域の子どもの割合と比べて高い数値である。

生活習慣に関しては、震災前後で3kg以上体重が変化した方が3-4割に上っている、一方、喫煙率が低下するとともに定期的な運動をする人の割合は増えており、少しずつ生活習慣の改善を心掛ける方が増えているといえる。

放射線リスク認知に関する質問の回答について、平成23年度と25年度結果を比較すると、「晩発的影響の可能性が高い」と答えている人が48.1%から39.6%へ、「次世代への影響の可能性が高い」と答えている人が60.2%から48.1%へとそれぞれ下がっていることから、徐々にではあるが放射線のリスクへの不安が低下していることがうかがわれる。

回答率

	平成23年度	24年度	25年度	26年度*
子ども	63.4%	41.3%	35.8%	26.3%
一般	40.7%	29.9%	25.0%	23.4%
合計	43.9%	31.3%	26.3%	23.8%

※ 速報値：平成27年10月1日現在

【評価・今後の方向性】

- ① 避難地域等の居住歴がある県民の心理状況を把握し、電話等による支援を行ってきたことは評価される。一方、毎年調査票が送付され回答を求められる心理的負荷や現行調査のアプローチからのみではハイリスク非回答者への支援に結びつかないことを今後一層考慮していくべきであり、区市町村や関係機関による総合的なメンタルヘルス対策に移行していくべきである。
- ② 避難等による生活環境の変化などによる健康影響がメンタル面でも認められており、こうした放射線の間接的な影響への対策を一層重視していくべきである。
- ③ 「次世代への影響」といった極めて長期的な影響を心配している方が未だ半数近くいることから、引き続き、心配について聞き取りの機会を増やし、健康調査の結果も含め求められる情報を丁寧に説明する努力が必要である。

(5) 妊産婦に関する調査

【調査結果の概要】

平成23年度から、県内市町村において母子健康手帳を交付された方等を対象に、妊産婦のからだやこころの健康状態を把握し、不安に寄り添いつつ必要なケアを提供するとともに、今後の福島県内の産婦人科医療の充実へつなげていくことを目的として、アンケート調査を実施している。回答内容に基づいて、必要があると判断された方には、専任の助

1 産師、保健師等による電話連絡を行っている。

2 平成 23 年度から平成 25 年度の調査結果^{※5}では、早産率はそれぞれ、4.75%、5.74%、
3 5.40%、低出生体重児出生率は 8.9%、9.6%、9.9%と、同時期の全国平均の早産率 5.7%、
4 低出生体重児出生率 9.6%とほとんど変わらなかった。

5 一方、妊婦のうつ傾向は、27.1%、25.5%、24.5%と年度ごとに低下傾向を認めるもの
6 の未だ高率^{※6}であった。

7 先天異常の発生率については、平成 23 年度から平成 25 年度で、それぞれ 2.85%、2.39%、
8 2.35%と、一般的な発生率 3~5%^{※7}に比べむしろ低かった。

9 なお、平成 25 年度厚生労働科学研究「先天異常モニタリング解析による本邦の先天異
10 常発生状況の推移とその影響要因（放射線被ばくの影響、出生前診断の影響等を含む）に
11 関する研究」の研究報告書においては、福島県の震災後の 36 分娩施設、17,773 児の調査
12 結果は全国的事例と同様の傾向にあり、他都道府県と比較して、特に高い先天異常発生率
13 は認められていないとされている。

14
15 回答率

平成 23 年度	24 年度	25 年度	26 年度 [※]
58.2%	49.5%	47.7%	46.6%

18 ※ 速報値：平成 27 年 10 月 1 日現在

19
20 【評価・今後の方向性】

- 21 ① 震災後の妊産婦の置かれた状況や心理状況を把握し、電話等による支援を行ってきた
22 ことは評価される。一方、震災後 4 年半を経て、これから妊娠・出産する人に対しど
23 のような取組が必要であるか、調査の必要性を含め、本調査のあり方については今後
24 議論が必要である
- 25 ② 本県における先天異常の発生率は、一般的なレベルを超えていないことを積極的に情
26 報発信していく必要がある。

27
28
29 4. その他

30
31 (1) 調査結果の活用について

- 32 ① 個人情報保護も重要であるが、データの市町村における活用の促進についても検討が
33 必要であり、市町村保健事業等個人の健康管理の取組との連携に活用すべきである。
- 34 ② 調査結果が国内外の専門家にも広く活用されるよう、データの管理や提供のルールを
35 定める必要がある。
- 36 ③ 調査結果等について国際的にも正しく評価されるようにすべきであり、適宜英語など
37 でのリリースを充実させるべきである。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37

(2) 他の調査との連携

- ① 甲状腺がんのみならず、各種がんの発生状況を捉えるため、がん登録の精緻化を加速させ、その結果を適宜公表していくべきである。

5. おわりに

県民健康調査開始時、調査の目的として「県民の健康不安の解消」を掲げていたことや非公開で事前の資料説明を行っていたことが、調査結果の評価に関し委員会が予断を以て臨んでいるかのような疑念を生むことになったことから、これを一つの教訓として、委員会を運営してきた。

東京電力福島第一原子力発電所事故から5年が経過したが、福島県は未だ復興の途上にある。福島未来を創造していくためには、県民の健康増進、特にこれからの福島未来を担う若い世代の健康を見守ることは極めて重要である。そのためにも県民健康調査が県民の理解と協力を得て、福島将来に資するものとなるよう、今後とも本委員会において議論を重ね、専門的立場から助言を行っていくこととしたい。

- 1 (資料・出典)
- 2
- 3 ※1 福島県における甲状腺がん有病者数の推計 (第4回甲状腺検査評価部会資料)
- 4
- 5 ※2 県民健康調査「甲状腺検査(先行検査)」結果概要【確定版】(第20検討委員会資料)
- 6 ②-10 表9.地域別にみたB・C判定者、および悪性ないし悪性疑いの者の割合
- 7
- 8 ※3 平成23～25年度 県民健康調査「健康診査」健診項目別受診実績基礎統計表
- 9 (第17回検討委員会資料)
- 10
- 11 ※4 平成25年度 「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要
- 12 平成25年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果報告書
- 13 (第19回検討委員会資料)
- 14 平成24年度 「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要
- 15 平成24年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果報告書
- 16 (第15回検討委員会資料)
- 17 平成23年度 「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要
- 18 平成23年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果報告書
- 19 (第11回検討委員会資料)
- 20
- 21 ※5 平成25年度「妊産婦に関する調査」結果報告(第18回検討委員会資料)
- 22 平成24年度「妊産婦に関する調査」結果報告(第14回検討委員会資料)
- 23 平成23年度「妊産婦に関する調査」結果報告(第8回検討委員会資料)
- 24
- 25 ※6 平成25年度「妊産婦に関する調査」結果報告(第18回検討委員会資料)
- 26 ⑥-2最下行～⑥-3 4行目
- 27 (参考: 健やか親子21(母子保健の国民運動計画)によると、エジンバラ産後うつ指
- 28 標を用いて評価した「産後うつ」の割合は9.0%(平成25年)であるところ、本調査結
- 29 果から算出されるエジンバラ産後うつ指標による産後うつの推定割合は13%。
- 30 推定資料: Mishina H, et al. *Pediatr Int.* 2009; 51: 48.)
- 31
- 32 ※7 産婦人科診療ガイドライン 産科編2014(編集・監修 日本産科婦人科学会 日本産
- 33 婦人科医会) 81頁
- 34 「出生時に確認できる形態上の異常(胎児奇形)頻度は、3～5%とされ、その原因は
- 35 多岐にわたる。」

中間取りまとめ (案) への委員意見

※下表「対象部分」は「最終案」の頁番号・行数。「委員修正案・意見等」において、一部、案 (Ver.1) [21 回資料] の頁番号等の記載有り。
 太枠囲みは、前案への意見照会に対し提出があったもの。

項目	対象部分	委員名	委員修正案・意見等	修正の座長方針
表題等	1 頁 1 行等	北島	県民健康調査における中間とりまとめ → 県民健康調査における中間 <u>取</u> りまとめ	・ 修正案採用
はじめに	1 頁 12 行	清 水 (修)	「策定する」→「 <u>作成する</u> 」	・ 意見を踏まえ修正 →「取りまとめる」
はじめに	1 頁 12 行	春日	「策定 <u>し、合わせて今後の論点を明らかに</u> するものである。」(【議論する論点】は残すのか?)	・ 上記参考 ※【議論する論点】は残さないため
調査目的	1 頁 21 行	児玉	「第 1 に、事故による被ばく線量の評価を行い、ひいてはそれによる健康影響の有無の考察を行うこと。」の部分ですが、「考察」とは線量評価に基づいて健康影響の有無を推定することを意味しているのでしょうか?それとも、健康影響の有無を観察するのでしょうか?	・ 基本調査では、外部被ばく線量に基づく評価を実施。 ・ 甲状腺検査では、影響の有無の観察を継続。 ・ 意見を踏まえ記載修正 →「被ばく線量の評価を行うとともに被ばくによる健康への影響について考察すること。」
基本調査	評価・今後の方向性 2 頁 2 行	稲葉	①本調査で得られた線量推計結果や当時の行動記録は、 <u>事故後4か月間の外部被曝に限られたデータ</u> であるが、今後被ばくによる健康影響を長期的に観察していく上での <u>基礎貴重なデータ</u> となり得るものである。 ②本調査で得られた線量推計結果は、これまで得られている科学的知見に照らして、 <u>特段の健康影響が懸念されるレベルではないと評価する。</u> ③ <u>内部被曝線量推計のデータベース化などを進め、総被曝線量の推計に近づける努力が必要である。</u>	・ 修正案①②④採用 (他の委員意見も勘案) ・ 修正案③は、そもそも基本調査は外部被ばく線量推計、内部被ばくについては「甲状腺検査」で述べられているためここでの追加は行わない。

			<p>④現在行われている<u>代表性の検証</u>調査により、これまでに集計、公表している外部被ばく線量の分布が県民全体の状況を正しく反映し、偏りのない縮図となっていることが確認された場合、更なる回答率の向上を目標とするよりも、自らの被ばく線量を知りたいという県民に対し窓口を用意するという方向にシフトすべきである。</p> <p>(上記修正の理由)</p> <p>①このレベルの被ばく量であれば影響は出にくいとみてよいか、②回答率の向上より窓口を用意するという方向にシフトすべき、はいずれも妥当。</p> <p>ただ①の表現は変更すべきと思う。まず、「健康影響が認められるレベルの被ばく線量ではない」という前段と、「今後被ばくによる健康影響を長期的に観察していく上での貴重なデータ」という後段の関係が不明です。前段と後段を切り離すべき。また、基本調査で把握しているのは、外部被曝線量のみであり、内部被曝は調査できていないことに言及する必要あり。</p>	
基本調査	評価・今後の方向性 2頁2行	北島	<p>基本調査は4か月の外部被ばく線量の評価であるが、事故後1年間(或いは数年)の内部被ばく・外部被ばくを含めた評価は県民健康調査の枠組みで検討しなくても良いのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期の被ばく線量評価が重要。 ・検討委員会としても、現在進められている国における初期内部被ばく研究を注視していく。
基本調査	評価・今後の方向性① 2頁4行	春日	<p>「当時の行動記録は、<u>今後被ばくによる健康影響を長期的に見守って</u>観察していく上での<u>重要</u>貴重なデータとなり得るものである。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修正案採用 (「見守って」の部分)

基本調査	評価・今後の方向性② 2頁6行	清水 (修)	「これまで得られている科学的知見に照らして」の記述について。これは具体的にどんな科学的知見を指すのか、問われると思います。県立医大が採用している「100mSv以下では云々」の評価基準は、広く納得を得ることが難しいと思います。「注」を付けるなどして、丁寧な説明を加えることが必要です。	・意見は基本調査資料の評価に反映させる。
基本調査	評価・今後の方向性② 2頁6行	春日	「科学的知見に照らして、 <u>大多数の県民に関しては統計的に確認できるほどの</u> 」	・意見を踏まえ修正 「②本調査で得られた線量推計結果（事故後4か月間の外部被ばく実効線量：99.8%が5mSv未満等）は、これまで得られている科学的知見に照らして、統計的有意差をもって確認できるほどの…」
基本調査	評価・今後の方向性② 2頁6行	北島	「統計的に確認」 → 「統計的 <u>有意差をもって</u> 確認」（正確な表現への修正。）	・修正案採用（前行参照）
基本調査	評価・今後の方向性③ 2頁9行	北島	「偏りのない縮図～シフトすべきである。」の部分 (1)基本調査の結果については、回答者に個別データを通知していないのか。 (2)偏りがないことが確認されれば、窓口を用意する旨が記載されているが、偏りが仮に存在しても、必要ならば窓口を用意することは可能ではないか。 (3)一方で、県民としては、事故後4か月間に限らずその後どの程度被ばくしたのか、今後どの程度被ばくが予想されるのか、放射性ヨウ素による被ばくはどの程度したのか、が関心事項と想定されるが、窓口を用意して個々に応ずることができる程度までデータが整理されている	・(1)個別に通知している。 ・ここでの窓口とは、回答受付窓口である。

			のかを検討すべき。	
基本調査	評価・今後の方向性② 2頁9行	清水 (修)	「偏りのない縮図」→「 <u>偏りのないもの</u> 」	・修正案採用
基本調査	評価・今後の方向性	床次	今後、回収率の向上は望めないことから、これまで得られたデータを有効に活用して福島県民全体の推定値（あるいは線量幅で示す）を示すことが良いと思う。現状のデータを解析し、避難者の被ばくをパターン化してカテゴリ別に線量の推定値を求めておき、未提出者がどのカテゴリに属するかを選択させる方法がある。（基本調査の手法を変える）。個人の細かな記憶に頼るのは限界がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・得られている結果の代表性が検証されれば、集計表から概ねの推測は可能。（県全体として95%が5mSv以下、98%が2mSv以下という状況であり、大多数の県民の当時の被ばく線量の目安は得られている。） ・基本調査開始当初の避難地域18パターン例はあり、これも参考となる。 ・仮に設定されたパターンを選択と簡易版記入に利便性の点で大差はないのではないか。
甲状腺	評価・今後の方向性 2頁23行	清水 (修)	「(甲状腺検査部会中間とりまとめより)」→「 <u>甲状腺検査部会の中間とりまとめを踏まえ、本委員会として以下のように要約・整理する。</u> 」	<ul style="list-style-type: none"> ・修正案採用 「甲状腺検査部会の中間とりまとめを踏まえ、本委員会として要約・整理・<u>追加した。</u>」
甲状腺	評価・今後の方向性 2頁25行	稲葉	◇ 先行検査（一巡目の検査）を終えて、これまでに発見された甲状腺がんについては、 <u>被曝からがん発見までの期間が短いこと</u> 、被ばく線量がチェルノブイリ事故と比べてはるかに少ないこと、事故当時5歳以下からの発見はないことなどから、放射線の影響とは考えにくいと評価する。	・前文記載追加採用

		<p>◇ 甲状腺部会の中間とりまとめ</p> <p>3. <u>(削除)</u></p> <p>7. 今回の原子力発電所事故は、福島県民に、「不要な被ばく」に加え、「不要だったかもしれない甲状腺がんの診断・治療」のリスク負担をもたらしている。しかし、甲状腺検査については、事故による被ばくにより、将来、甲状腺がんが発生する可能性が否定できないこと、不安の解消などから検査を受けたいという多数県民の意向もあること、さらには、事故の影響による甲状腺がんの増加の有無を疫学的に検証し、県民ならびに国内外に示す必要があることなどを考慮しなければならない。</p> <p>(上記修正の理由)</p> <p>① 甲状腺部会の中間とりまとめを了とするか？ 注意深く論点が網羅され、全体として非常によく練られていると思います。3と7以外は了。</p> <p>② 3の文意は難解で、専門家はともかく、この報告書の読み手である一般社会には理解されないと思う。やろうとしていることも現実的でないと思う。</p> <p>③ 7と、過剰診断の問題に関して。過剰診断は「甲状腺検査問題」の核心であり、言及されなければならない。しかし「過剰診断」が何を意味するか、委員によっても</p>	<p>・3. 削除でなく、シンプルな記載とする。 (修正案) 「どういうデータ(分析)によって、どの程度の大きさの影響を確認していく<u>できるのか</u>、」</p> <p>・7. 「疫学的検証」の部分については、「検証」を「検討」にすることとして現案尊重。</p>
--	--	--	--

		<p>受け取り方が違うので、十分な議論を行う必要がある。</p> <p>過剰診断問題とは、言うまでもなく、二次検診に回す「足切り値」を1センチにするか、1.5センチにするかというような、重要だが技術的な問題ではない。死亡率を減少させることのない、あるいは死亡率の減少を目的としないがん検診はしてはならない、という大原則に関わる問題である。甲状腺癌の治癒率は95%を越えており、検診による死亡率減少の余地はあまりない。したがって、死亡率減少という利益を過剰診断に伴う（医学的、社会的）コストの上昇が容易に上回ってしまうので、甲状腺癌の検診は「してはならない」。</p> <p>それを県民の不安解消と多数県民の意向を理由として、「寄り添って見守る」ための検診であるとして実施した。実際問題として、もし検診をしなければ、県民が個人レベルで大挙して医療機関を受診し、不統一な診断基準のもと混乱をきたした可能性が高い。しかし、大原則を曲げざるをえなかったこれらの「やむをえなかった」事情に、疫学的検証を加えるかどうかは議論したい。私は、疫学検証を目的に加えると、例えば対照群を得るために他県での検診を再開するといった行き過ぎにつながりかねないと懸念する。疫学的検証については8で「被曝による甲状腺がん増加の有無を検証可能な調査の枠組み」として触れられており、その記載で必要にして十分であると考えている。</p>	
--	--	--	--

甲状腺	評価・今後の方向性 2頁25行	津金	甲状腺評価部会の中間とりまとめにおいては、「1 先行検査で得られた検査結果、対応、治療についての評価」において、調査結果に対して、“わが国の地域がん登録で把握されている甲状腺がんの罹患統計などから推定される有病数に比べて数十倍のオーダーが多い”とのファクトの記述があり、その解釈についての現状での異なる意見が記されている。少なくともファクトに関する記述は、県民健康調査の中間とりまとめにおいても記すべきであるとする。それを無視して、「2 放射線の影響評価」における記述である“放射線の影響とは考えにくいと評価する”という記述が冒頭に記されているのは適当ではなく、⑦に記されている“不要だったかもしれない甲状腺がんの診断・治療”という記述に唐突感がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ記載を追加。 → 「わが国の地域がん登録で把握されている甲状腺がんの罹患統計などから推定される有病数に比べて数十倍のオーダーが多い甲状腺がんが発見されている。このことについては、将来的に臨床診断されたり、死に結びついたりすることがないがんを多数診断している可能性が指摘されている。」 ・併せて、該当の資料（※1）を明示。
甲状腺	評価・今後の方向性 2頁29行	床次	中間とりまとめにおいて、冒頭部分では「被ばく線量がチェルノブイリ事故に比べてはるかに少ない」と書かれてあるが、これまでの委員会において福島での事故による被ばく線量が明確に示されたか？また、2.において線量評価の必要性が書かれているが今後の方向性には触れられていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・概ねの理解が共有されていると思うが、改めて次回、床次委員に説明をしていただきたい。 ・2.については、現在進められている国における初期内部被ばく研究を注視していくこととしている。
甲状腺	評価・今後の方向性 2頁30行	北島	「被ばくからがん発見までの期間が短いこと」という記載について、“短い”という主観的な表現ではなく、具体的な数字を示した方が良いのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ記載を追加。 → 「被ばくからがん発見までの期間が概ね1年から4年と短いこと、」

甲状腺	評価・今後の方向性 2頁33行	座長	前文が【評価・今後の方向性】の概略となるよう記載追加。	<ul style="list-style-type: none"> ・前文に以下の記載を追加。 「但し、放射線の影響評価のためには長期にわたる情報の集積が不可欠であり、また県民の意向もあることから、検査を受けることによる不利益も考慮しながら甲状腺検査を今後も継続していくべきである。」
甲状腺	評価・今後の方向性 2頁33行	春日	<p>(修正案)</p> <p>「但し、放射線の影響の可能性は小さいとはいえ現段階ではまだ完全には否定できず、影響評価のためには長期にわたる情報の集積が不可欠であるため、検査を受けることによる不利益についても丁寧に説明しながら、今後も甲状腺検査を継続していくべきである。」</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29行目の結論（影響とは考えにくいと評価する）から（影響評価のためには長期の情報集積が不可欠）へのつながりへ、論理的に一段階、理由の補足が必要と思います。 ・「県民の意向もあることから」、という節は、県民の希望や意見にもしっかり対応して、という意味なのだ和理解していますが、一方でこの表現は、科学的理由ではなく不安解消を目的とするようにも受け止められかねません（そうなると、おわりにの第一段落で教訓としていることと矛盾してしまいます）。3頁の⑦の説明もあるので、ここでは削除してもよいと思います。 ・「不利益にも考慮」するだけでなく、「丁寧な説明」が必要と思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、前行の修正を再修正する。

甲状腺	評価・今後の方向性 2頁31行	清水 (修)	一巡目で判明した甲状腺がんが被曝の影響とは考えにくい理由として被曝線量と年齢構成が挙げられています。一部専門家の中で「地理的な分布」が主要な論点として取り上げられています。調査において重点が置かれている内容の1つですので、検討委員会としてもこの点に触れることが望ましいと思います。	・意見を踏まえ記載追加 →「地域別の発見率に大きな差がないこと、」
甲状腺	評価・今後の方向性 2頁31行	北島	「地域別の発見率に大きな差がないこと」と、「大きな」という主観的な言葉を用いているが、出典や具体的な数字等を示した方が良いのではないかな。	・意見を踏まえ出典(※2)を明示。
甲状腺	評価・今後の方向性 3頁2行	児玉	2.項で放射性ヨウ素による内部被ばく線量情報に関して線量評価研究との連携の必要性が述べられていますが、きわめて適切な意見だと思います。 3.項では影響の確認についても述べられています。現時点で予め考え方を示しておくことは大きな意味を持つと考えます。	・(意見)
甲状腺	評価・今後の方向性③ 3頁5行	北島	部会の提起について、本委員会の委員のみで判断するのではなく、疫学・統計学の専門家を中心とした研究組織において仮説を立ててもらいたい。	・県から医大への委託研究で行おうとしているもの。
甲状腺	評価・今後の方向性④ 3頁8行	北島	「④ 検査対象者の中で、特に、事故当時の乳幼児において、甲状腺がんの発生状況と生命予後についての追跡調査が重要である。」における「生命予後についての追跡調査」とは、具体的にどのような分析を行うことを想定しているのか。	・現在の調査の枠組みの中で、乳幼児は最も重要な検査の対象であることを述べたものであるが、意見を踏まえ平易な表現とする。 → ④ <u>放射線の影響を受けやすいという観点からは、検査対象者の中で、特に、事故当時の乳幼児における検査結果は重要なものである。</u>

甲状腺	評価・今後の方向性⑤ 3頁10行	北島	「⑤ 県外への転出等が増加する年代に対する追跡の仕方を検討、徹底すべきである。」において、「・・・追跡の仕方を検討、徹底すべき」とあるが、わかりやすい表現にした方が良いのではないか。	・意見を踏まえ修正 → ⑤ 県外への転出等が増加する年代に対する <u>受診案内の確実な送付</u> を徹底すべきである。
甲状腺	評価・今後の方向性⑥ 3頁11行	北島	「過剰診断」については、定義や捉え方が曖昧であり、委員会としての見解を示すことは可能なのか。	・部会において「過剰診断」を踏まえたまとめがされているところ。
甲状腺	評価・今後の方向性⑥ 3頁14行	座長	「保険診療に移行した場合、現時点では、二次検査以降の医療費については公費負担が望ましい。」の記載を甲状腺検査サポート事業開始を踏まえ修正。	→ 「 <u>保険診療に移行した場合の経済的負担を解消する施策は継続すべきである。</u> 」
甲状腺	評価・今後の方向性⑦ 3頁20行	清水 (修)	「疫学的に検証し」→「疫学的に <u>検討し</u> 」	・修正案採用
甲状腺	評価・今後の方向性⑧ 3頁22行	座長	「県民の同意を得て実施していくという方針の下で、」を具体的な記載に変更。	→ 「 <u>県民の理解の促進を図り、受診者等の同意を得て実施していくという方針の下で、</u> 」
甲状腺	評価・今後の方向性⑧ 3頁26行	清水 (修)	「検証可能な」→「 <u>検討することが可能な</u> 」	・修正案採用

甲状腺	評価・今後の方向性 3頁28行	成井	<p>「部会の中間とりまとめ」に加えて、この検査によって甲状腺がんが発見され治療を受けることになった人たちへの精神的ケア（カウンセリング）体制の充実が必要。身近なところで不安を支えポジティブに生活できるようサポートを受けることができるよう、居住地域の医療機関や相談機関で公費によるカウンセリングを受けられるようにしていくことを加えてください。</p> <p>こころの健康度調査でも、「晩発的影響の可能性が高い」39.6%、「次世代への影響の可能性が高い」48.1%と放射線リスクの不安は高いのが現状です。これから啓蒙を進めていくにしても、本人のみならず周囲の人々のそうした偏見とも対峙して生きていくこととなります。子どもたちが成長し恋愛や結婚、出産そうしたライフイベントごとに不安と葛藤が起こり精神的危機となります。</p>	<p>・意見を踏まえ記載追加</p> <p>「⑨ 甲状腺検査の対象者やがんと診断された者の置かれた状況に鑑み、カウンセリング等の精神的なサポートを充実させていくべきである。」</p>
健康診査	調査結果の概要 3頁37行	北島	<p>改善傾向・あるいは上昇に歯止めがかか<u>っていること</u>、高血圧、脂質異常を有する者の割合は高いまま、糖尿病は依然として増加し続けて<u>いること</u>、<u>また</u>、腎機能障害の割合は、特に65歳以上の受診者で増加傾向にある<u>ことから</u>、いずれの生活習慣関連調査項目も震災前の状態には戻っていない<u>と言える</u>。</p> <p>(分かりやすい表現に修正)</p>	<p>・修正案採用（他の委員からの意見もあり）</p>
健康診査	調査結果の概要 4頁1行	春日	<p>「上昇に歯止めがかか<u>っていることが読み取れるもの</u>のみ、高血圧、脂質異常を有する者の割合は高いまま<u>であり</u>、糖尿病は」</p>	<p>・修正案採用（他の委員からの意見もあり）</p>

健康診査	調査結果の概要 4頁1行	清水 (修)	「歯止めがかかり、」→「歯止めが <u>かかったものの、</u> 」	・修正案採用（他の委員からの意見もあり）
健康診査	調査結果の概要 4頁5行	清水 (修)	「分析結果を市町村に」→「分析結果を <u>県は</u> 市町村に」	・現案のまま ※主語は自明
健康診査	調査結果の概要 4頁5行	清水 (修)	「活用されている」→「活用 <u>する</u> 」	・現案のまま ※この主体は市町村
健康診査	調査結果の概要 4頁5行	北島	「疾病予防・健康づくりに活用されている～取り組んでいる。」の部分 該当部取組に関して、自治体の具体的な取組を県より検討委員会で説明して頂くべきではないか。	・医大に説明を求める
健康診査	調査結果の概要 4頁20行等	清水 (修)	（案Ver.1）29,30行を【評価・今後の方向性】の項目に移行。そして「これについては対策を一層重視していくべきである」を付加する。 （案Ver.1）5頁2～5行削除	・修正案採用
健康診査	調査結果の概要 4頁21行	清水 (修)	「ていない。」→「ていない。 <u>一方、</u> 」	・修正案採用

健康診査	調査結果の概要 4頁21行	北島	「循環器危険因子～考えられる」の部分 循環器危険因子とは、何が増加したのかを「循環器危険因子（〇〇）」と具体的に示すべきではないか。	・意見を踏まえ、 「循環器危険因子（肥満、高血圧、脂質異常、糖尿病、腎機能障害、高尿酸血症）」とする。
健康診査	調査結果の概要 4頁21行	春日	「循環器危険因子」は何を指しているのか。	・前行参照
健康診査	調査結果の概要 4頁22行	北島	「避難による間接的な影響」 → <u>「放射線の間接的な影響（避難等による生活環境の変化などによる健康影響）」</u> (上記修正の理由) （案 Ver. 1） P5 【評価・今後の方向性】では、本文章で記載されている「放射線の間接的な影響」が「避難等による生活環境の変化などによる健康影響」を表していることが明確であるが、（案 Ver. 1） P4 等の他の部位での記載についても、「放射線の間接的な影響（避難等による生活環境の変化などによる健康影響）」と記載を明確にすべき。	・修正案採用
健康診査	評価・今後の方向性 4頁19行	稲葉	① 放射線被曝による直接的な身体影響と、放射線被曝や環境汚染を受け止める上で生じた個人や社会の変化による影響に分ければ良いと思います。 ② 放射線被ばくによる血液の異常等の兆候は観察されていないと思う。 ③ 乳幼児の採血は再検討すべきであると思う。	・(意見)

健康診査	評価・今後の方向性	北島	血液の異常等とは具体的には何を指しているのか。 (案 Ver. 1) 5 頁 2 行	血液の異常は具体的には、「白血球数、白血球分画の平均値の変化」であるが、他の委員意見により本記載は削除。
健康診査	評価・今後の方向性	児玉	評価の部分で「放射線被ばくの影響によって起こりうる血液の異常等については「・・・その兆候は観察されない。」とありますが、受診率も低く、十分な評価ができるほどの情報が収集されていると言えるのでしょうか？ (案 Ver. 1) 5 頁 2 行	・(意見)
健康診査	評価・今後の方向性	春日	「その兆候は観察され <u>て</u> いない。」 (案 Ver. 1) 5 頁 3 行	・他の委員意見により本記載は削除。
健康診査	評価・今後の方向性	春日	「放射線の間接的な影響への対策に <u>も力を入れる</u> 移行していくべきである。」 (案 Ver. 1) 5 頁 5 行	・他の委員意見により本記載は削除。
健康診査	評価・今後の方向性 4 頁 25 行	北島	・血算＋白血球分画を行うことが必要かについて、科学的な検討が必要ではないか。 ・採血ではなく、体調不良などがある場合は速やかにかかりつけ医を受診するということの周知を強化すべきではないのか。	・必要であれば検討委員会で議論。 ・現案において、「限定的な実施に留めるべき」としているところ。
健康診査	評価・今後の方向性	成井	健康への放射線の間接的影響への対策は重要になっていきます。環境の変化は、生活習慣を変え生活習慣病を増大するだけでなく、「労働から切り離された日常」「家族や親しいものとの分断された生活」などにより無気力になることでますます動かなくなり生活習慣病を引き起こしています。放射線の問題による心理面からの健康への影響という側面からの整理も必要だと思います。また	・(意見)

			<p>間接的影響は、(4)の心の健康度・生活習慣とも関連して見ていくべきかと思います。</p> <p>(市町村の疾病予防・健康づくりにも生活習慣病予防のための健康意識や運動・食事の啓蒙だけでなくメンタルヘルスを積極的に取り入れていく必要があります。)</p>	
こころ・生活習慣	調査結果の概要 5頁6行	春日	「一方、喫煙率 <u>も</u> の低下 <u>するとともに</u> や定期的な運動を」	<ul style="list-style-type: none"> 修正案採用 「一方、喫煙率<u>が</u>低下するとともに定期的な運動を」
こころ・生活習慣	調査結果の概要 5頁11行	春日	「放射線のリスク <u>への不安が低下</u> 認知が低減している」 (「認知が低減」という語句使用に疑問。)	<ul style="list-style-type: none"> 修正案採用
こころ・生活習慣	調査結果の概要 5頁11行	北島	「徐々にではあるが～うかがわれる。」の部分 「リスク認知」と記載するのであれば、リスク認知の低減について良いと捉えるべきなのかそうでないのかの解釈が必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 意見を踏まえ語句変更(前行参照)
こころ・生活習慣	評価・今後の方向性 5頁19行	稲葉	①②③とも賛成です。(5)妊産婦に関する調査でも同じ問題があるが、次世代への影響は原爆でも福島でも見つかっていないことを、機会があるたびに伝えていかないといけないと思う。	<ul style="list-style-type: none"> (意見)
こころ・生活習慣	評価・今後の方向性 5頁19行	成井	<p>【評価・今後の方向性】の内容に異存はありません。</p> <p>調査が心理的負担になることもありますが、県により見守られている側面もありますので、今後も調査は続ける必要があると思います。</p> <p>ただ、学齢期の子どもたちは、県教育庁が行っている</p>	<p>こころの健康調査(教育庁義務教育課)</p> <p>目的:健康相談等の個別指導に役立てる。</p> <p>対象:県内小学生、中学生、高校1年生</p> <p>方法:<u>27年度</u> 県から浜松医科大学に委託 学校で<u>児童等が自ら「心のサポート」シート記入</u></p>

			心の健康調査でSDQを毎年とっているのですが、重複して同じ検査をとるのはどうかと思います。現状で当検査が親子を関連付けてみる事ができないのであれば、学校ではSCが配置され調査後のケアが担任やSCの連携によってなされ、保護者の協力も得られやすいことから、学齢期の子どものこころの健康度調査は、教育庁を窓口に一本化できないでしょうか？	調査票4種類（小1、小2、小3～中3、高1） 結果：学校及び個人にフィードバック （「心のサポート」アドバイスシート） ※ 当初の <u>25、26年度</u> は、国が浜松医科大学に委託。その際は、上記に加え、 <u>保護者に対しても、SDQ（9項目）を含むアンケート調査実施。</u> （27年度は、保護者アンケート（SDQ9項目）は実施されていない。
こころ・生活習慣	評価・今後の方向性① 5頁21行	清水 (修)	「評価されるべきである」→「評価 <u>される</u> 」	・修正案採用
こころ・生活習慣	評価・今後の方向性② 5頁25行	清水 (修)	「健康影響が認められて」→「健康影響が <u>メンタル面でも認められて</u> 」	・修正案採用
こころ・生活習慣	評価・今後の方向性 5頁25行	北島	「避難等による生活環境の変化などによる健康影響がメンタル面でも認められており」の記載について、出典や具体的な数字等の根拠を示した方が良いのではないかと。	・意見を踏まえ出典（※4：4頁35行）を明示。
こころ・生活習慣	評価・今後の方向性② 5頁26行	春日	「間接的な影響への対策に <u>も力を入れる</u> 移行していくべきである。」	・意見を踏まえ「一層重視していく」とする。

<p>こころ・生活習慣</p>	<p>評価・今後の方向性② 5頁26行</p>	<p>清水 (修)</p>	<p>「対策に移行していく」→「対策<u>を一層重視する</u>」</p>	<p>・意見を踏まえ「一層重視していく」とする。</p>
<p>こころ・生活習慣</p>	<p>評価・今後の方向性③ 5頁28行</p>	<p>春日</p>	<p>③「次世代への影響」といった極めて長期的な影響を心配している方が未だ半数近くいることから、<u>引き続き、心配について聞き取りの機会を増やし、健康調査の結果も含め求められる情報を丁寧に説明する</u>放射線リスクに関する正しい理解を促す努力が必要である。</p>	<p>・修正案採用</p>
<p>こころ・生活習慣</p>	<p>評価・今後の方向性③ 5頁28行</p>	<p>清水 (修)</p>	<p>「放射線リスクに関する正しい理解を促す」の記述について。この程度の被曝では次世代に影響が及ぶことは考えられない、というのが「正しい理解」であるとの趣旨でしょうが、そのことを多少なりとも説明する必要があります。この「正しい理解」なるものが自明の真理であるかどうか、疑念を抱く人がいるはずです。広島・長崎の経験から何がいえるか、触れておくことが望ましいのではないのでしょうか。</p>	<p>・前行修正にて対応</p>
<p>妊産婦</p>	<p>調査結果の概要 5頁35行</p>	<p>清水 (修)</p>	<p>「不安の軽減や」→「不安<u>に寄り添いつつ</u>」</p>	<p>・修正案採用</p>
<p>妊産婦</p>	<p>調査結果の概要 6頁2行</p>	<p>清水 (修)</p>	<p>「調査結果から」→「調査結果<u>では</u>」</p>	<p>・修正案採用</p>

妊産婦	調査結果の概要 6頁3行	清水 (修)	「と同時期の」→「と、 <u>同時期の</u> 」	・修正案採用
妊産婦	調査結果の概要 6頁5行	清水 (修)	「同じく、」→「 <u>しかし、</u> 」	・意見を踏まえ修正 「一方、」
妊産婦	調査結果の概要 6頁5行	清水 (修)	「と低下傾向」→「と、 <u>年度ごとに</u> 低下傾向」	・修正案採用
妊産婦	調査結果の概要 6頁6行	北島	「未だ高率であった」と、主観的な言葉を用いているが、比較対象の出典や具体的な数字等を示した方が良いのではないか。	・意見を踏まえ出典(※6)を明示。
妊産婦	調査結果の概要 6頁8行	清水 (修)	「高くはなかった」→「 <u>むしろ低かった</u> 」	・修正案採用
妊産婦	調査結果の概要 6頁8行	北島	「むしろ低かった」と、主観的な言葉を用いているが、比較対象の出典等の根拠を示した方が良いのではないか。	・意見を踏まえ出典(※7)を明示。

妊産婦	調査結果の概要 6頁12行	清水 (修)	「の調査によれば、」 → 「の調査 <u>結果は</u> 」	・修正案採用
妊産婦	調査結果の概要 6頁12行	北島	「 <u>他都道府県と比較して</u> 、特に高い先天異常発生率は認められていない。」 (正確な表現に修正)	・修正案採用
妊産婦	調査結果の概要 6頁13行	清水 (修)	「認められていない」 → 「認められない <u>とされている</u> 」	・修正案採用
妊産婦	評価・今後の方向性 6頁20行	稲葉	①②とも賛成です。	・(意見)
妊産婦	評価・今後の方向性 6頁22行	成井	「評価されるべきである」は、(4)ところ…と同じく「 評 価される 」に変更した方が良い。	・修正案採用
妊産婦	評価・今後の方向性① 6頁23行	清水 (修)	「議論が必要である」の記述について。どんな内容について議論が必要であるのか、触れておきたいと考えます。調査の必要性の有無について、ということなのかどうか。	・お見込みの通り「調査の必要性について」である。

妊産婦	評価・今後の方向性① 6頁23行	成井	「今後の本調査のあり方については議論が必要である。」は、漠然としすぎている。ストレートに「 <u>調査の必要性を含め、本調査のあり方については今後議論が必要である</u> 」又は、「 <u>県市町村の妊産婦支援事業との連携、統合などを含め、本調査のあり方や必要性について今後議論が必要である。</u> 」という表現はどうでしょうか？ 清水（修）先生の「どんな内容について議論が必要であるのか、触れておきたいと考えます。」との御意見に賛成です。	・修正案（前者）採用
妊産婦	評価・今後の方向性② 6頁25行	北島	「通常のレベルを出ていない」 → 「 <u>一般的な発生率を超えていない</u> 」 （「通常のレベル」を本文中の表現と一致させるべき。）	・修正案採用 「、一般的な <u>レベル</u> を超えていない」 （本文中表現と一致させ、語句重複を避けた。）
妊産婦	評価・今後の方向性	成井	震災後に生まれてきている子どもたちにも、ストレス障害と思われる傾向が見られます。母親の精神的安定を図るため、妊娠中からの放射線を含む子育ての啓蒙が必要と思います。	・（意見）
その他	(1)調査結果の活用① 6頁32行	清水 (修)	「活用についても」→「 <u>活用の促進も</u> 」	・修正案採用 「活用の促進についても」
その他	(1)調査結果の活用② 6頁34行	北島	「調査結果が世界に広く活用されるよう、 <u>データの管理や提供のルールを定める必要がある。</u> 」 → 「調査結果は <u>国内外の専門家にも広く活用されるべきとの意見もあるため、目的外利用については学術的な利用を前提として、調査のデータやそれらを提供する</u> 」	・意見と踏まえ修正 「世界に」 → 「 <u>国内外の専門家にも</u> 」 （「目的外利用については学術的な利用を前提として」

			<p>際」のルールを定めていく必要がある。」 (「世界に広く活用される」とあるが、そのように利用できる形で同意を取得しているのか。)</p>	<p>の部分については、専門家による検討の場で議論していく。)</p>
その他	(1)調査結果の活用③ 6頁36行	北島	<p>(1)調査結果の活用について③ 調査結果の英語リリースについては医大で適宜実施されているが、充実すべき点はあるのか。</p>	<p>・問題意識は共有されており、ここでは、現案の一般的な記載に留めたい。</p>
その他	(2)他の調査との連携 7頁2行	児玉	<p>甲状腺がんについては、甲状腺検査部会中間とりまとめの第3項に「今後、仮に被ばくの影響で甲状腺がんが発生するとして、どういうデータ(分析)によって、どの程度の大きさの影響を確認できるのか、その点の「考え方」を現時点で予め示しておくべきである」と述べられています。 甲状腺がん以外の健康影響についても、特に甲状腺がん以外のがんについても、同様に「考え方」を示しておくべきではないでしょうか。</p>	<p>・この件については、4. その他 (2)他の調査との連携「がん登録の精緻化を加速」において包含している。</p>
おわりに	7頁6行	明石	<p>この検討委員会は、科学的な見地から助言や提言を行う、ことを本来の目的としていたと思います。途中で委員の交代はあり、進め方は変わりましたが、「非公開で準備会合を開くなどの運営を行っていた」のでしょうか。そういう風に見えたのかもしれませんが、こういう記載があれば、この報告書がそうだったと認めることになり、報告書の本来の趣旨と異なると思います。 ここは削除し、新たな出発を行ったと言う意味にするか、より科学的な知見や結果を求める、内容にするべきではないでしょうか。</p>	<p>・意見を踏まえ修正</p>

おわりに	7 頁 6 行	児玉	<p>この部分に「中間とりまとめ」で扱った事柄の「まとめ」を書き込むとわかりやすくなっていいかと思います。また、過去を振り返ることは必要だとは思いますが、それに加えて県民健康調査のあるべき将来像について加筆し、ポジティブなトーンで締めくくるのはどうでしょうか。「今後の方向性」のまとめを書き込むのも一方法かもしれません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ修正
おわりに	7 頁 6 行	高村	<p><u>東京電力福島第一原子力発電所事故から 5 年が経過したが、福島県は未だ復興の途上にある。福島を創造していくためにも、県民の健康増進、特にこれからの福島を担う若い世代の健康を見守ることは極めて重要である。そのためにも県民健康調査が県民の理解と協力を得て、福島の将来に資するものとなるよう、今後とも検討を進めていくこととしたい。</u></p> <p>(上記修正の理由)</p> <p>本文章では、以前行われていた非公開での準備会合についてや初期の調査の目的について、反省の弁を述べられています。私見ですが、今回の中間とりまとめの最後は、やはり福島県が今後県民の健康維持、増進に取り組んでいくというメッセージをもっと前面に出してよいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修正案採用 <p>「県民健康調査開始時、調査の目的として「県民の健康不安の解消」を掲げていたことや非公開で事前の資料説明を行っていたことが、調査結果の評価に関し委員会が予断を以て臨んでいるかのような疑念を生むことになったことから、これを一つの教訓として、委員会を運営してきた。</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所事故から 5 年が経過したが、福島県は未だ復興の途上にある。福島を創造していくためには、県民の健康増進、特にこれからの福島を担う若い世代の健康を見守ることは極めて重要である。そのためにも県民健康調査が県民の理解と協力を得て、福島の将来に資するものとなるよう、今後とも本委員会において議論を重ね、専門的立場から助言を行っていくこととしたい。」</p>

おわりに	7 頁 6 行	高村	<p>前回は述べさせていただきましたが、最後の「おわりに」において、「県民健康調査開始時、調査の目的として「県民の健康不安の解消」を掲げていたことや非公開で事前の資料説明を行っていたことが、調査結果の評価に関し委員会が予断を以て望んでいるかのような疑念を生むことになったことから、これを一つの教訓として、委員会を運営してきた」と記載していますが、この部分は特に必要ないのではないかと思います。</p> <p>前半については目的として特に問題があると思われず、きちんと科学的なアプローチで住民の健康を見守ることが「県民の健康不安の解消」につながることはある種当然ではないかと思いますし、後半についても、特に中間取りまとめで触れる内容ではないと思います。</p> <p>ですので、「おわりに」という項目としては、第一段落は削除して、第二段落のみでよいのではないかと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前行の案のままをしたい。
------	---------	----	---	---